

02

RESEARCH



住宅幸福論調査 Episode3 分析レポート 単身世帯の住生活実態調査

橋口理文

株式会社ディ・プラス 取締役

はしぐち・まさふみ／東京大学経済学部卒業後、(株)リクルートに入社。主に新規事業関連企業のマーケティングリサーチを担当。マーケティングリサーチ・エージェンシー取締役を経て、2019年に住生活、高等教育、観光・地方創生を中心とするリサーチ&コンサルティング企業(株)ディ・プラスを設立。(現・取締役)。

吉永奈央子

リサーチャー

株式会社ディ・プラス フェロー

よしなが・なおこ／上智大学文学部卒業後、インターネットリサーチ会社に入社。リサーチャーとして様々な調査に関わり、退社後もフリーリサーチャー、(株)ディ・プラス フェローとして調査業に従事。また、東京学芸大学大学院を修了、公認心理師、臨床心理士として心理発達支援にも携わる。

0. 回答者プロフィール … 058

I. 未婚単身世帯の住生活実態 … 078

「家」での生活実態

- 「家」のハード評価 … 078
- 「家」での過ごし方【現状】… 080
- 「家」での過ごし方【希望】… 081
- 「家」での過ごし方【現状と希望】… 082
- 「家」での交流頻度 … 083
- 「家」での交流意向 … 084
- 「家」満足度 … 085
- 「家」における「感情」… 086
- 「家」における「エウダイモニア」… 088

「街」での生活実態

- 「街」のハード評価 … 090
- 居住エリアを選んだ理由 … 091
- 地域での友人数 … 092
- 友人になったきっかけ … 093
- 友人との交流場所 … 094
- 「街」での交流実態【現状】… 095
- 「街」での交流実態【希望】… 096
- 「街」での交流実態【現状と希望】… 097
- 「街」での交流頻度 … 098
- 「街」での交流意向 … 099
- 地域に対する感情・意識 ①地域への帰属意識 … 100
- 地域に対する感情・意識 ②サードプレイスの有無 … 101
- 地域に対する感情・意識 ③地域への愛着 … 102
- 地域に対する感情・意識 ④住民への信頼 … 103
- 地域に対する感情・意識 ⑤地域での居場所感 … 104
- 地域に対する感情・意識のまとめ … 105
- 「街」満足度 … 106

総合満足度

- 住生活満足度 … 108
- 人生満足度 … 109

未婚単身世帯の暮らしと意識のまとめ … 110

補) 未婚単身世帯と一般世帯の未婚層との差異 … 110

II. 未婚単身世帯の住生活満足度分析 … 112

住生活満足度と人生満足度の関係 … 112

住生活満足度と住宅スペック … 113

住生活満足度と「家」「街」ソフト領域 … 114

満足度の上がる家と街との関係

- 「家」のハード評価 … 115
- 「家」での過ごし方【現状】… 116
- 「家」における「感情」… 117
- 「家」における「エウダイモニア」… 118
- 「街」のハード評価 … 119
- 「街」の要素 … 120

【寄稿】

ウェルビーイング研究に基づく「住まいの幸福」の再考 … 122
職業能力開発総合大学校 助教 有馬雄祐

III. 未婚単身世帯の孤独度分析 … 138

孤独の水準（誰が・どの程度孤独なのか）

- 孤独の心性 … 138
- UCLA指標について … 140
- UCLA指標の加重平均積算値分布 … 141
- 孤独指標の定義と分布 … 142
- 孤独指標と家族に関する規範意識 … 143
- 孤独指標とパーソナリティ … 144

孤独の影響

- 孤独指標地域と地域に対する感情・意識のまとめ … 145
- 孤独指標と地域への関与感 … 146
- 孤独指標と地域からの排除感 … 147
- 孤独指標と住生活満足度 … 148
- 孤独指標と人生満足度 … 149
- WHO-5について … 150
- 孤独指標と精神的健康状態 (WHO-5) … 151
- 孤独指標と精神的健康状態 (WHO-5 指標) … 152

孤独の緩衝材

- 孤独指標と「家」「街」ソフト領域 … 156
- 孤独指標と「家」での過ごし方【現状】… 157
- 孤独指標と「家」のハード評価 … 158
- 孤独指標と「街」のハード評価 … 159
- 孤独指標と「街」の要素 … 160
- 孤独指標と地域以外の関係者からの被承認感 … 162
- 参考) ネットコミュニティ利用実態と孤独指標 a) SNS 利用状況 … 163
- 参考) ネットコミュニティ利用実態と孤独指標 b) SNS 利用時間 … 164
- 参考) ネットコミュニティ利用実態と孤独指標 c) SNS でつながっている人数 … 165

孤独の構造

- 人生満足度と孤独指標との相関 … 166

孤独指標の重回帰分析 … 168

- 参考) 孤独指標と住生活との相関 … 172

【コラム】

人生満足度と年齢の関係性の再考

— 所得と他者との交流が「中年の危機」を緩和する — … 174

職業能力開発総合大学校 助教 有馬雄祐

調査概要

■ 調査方法：インターネット調査

- 株式会社マクロミルのインターネット・リサーチパネルを利用。

■ 調査対象

- 未婚単身世帯：20～64歳／一都三県居住／未婚／ひとり暮らしの男女3000名。
- 一般（2人以上）世帯：20～64歳／一都三県居住／同居者ありの男女1000名。
 - いずれも「学生」は含まない。

■ 回収サンプル数の設定

- 未婚単身世帯：『平成30年住宅・土地統計調査』（総務省）における持ち家・借家比率を元に、サンプル数の設定、回収を行った。
- 一般（2人以上）世帯：性年代ごとに同数サンプル（100名）の回収を行った。
 - 年代は、「20代」「30代」「40代」「50代」「60～64歳」の5区分である。

■ 未婚単身世帯の割付

	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
25歳未満・持ち家	1	2	4	2
25～34歳・持ち家	4	4	14	6
35～44歳・持ち家	12	11	35	17
45～54歳・持ち家	32	26	79	42
55～64歳・持ち家	46	39	100	56
25歳未満・借家	52	50	214	87
25～34歳・借家	88	91	416	147
35～44歳・借家	64	57	283	98
45～54歳・借家	65	61	249	112
55～64歳・借家	44	40	177	73

■ 調査対象時期

- 未婚単身世帯：2020年1月29日（水）～2月3日（月）
- 一般（2人以上）世帯：2020年1月30日（木）～1月31日（金）

■ ウェイトバックについて

- 今回の調査分析では、一般（2人以上）世帯の集計について、実際の一都三県の性年代比率に調整を行った。
なお、ウェイトバック係数は、『平成27年国勢調査』のデータに基づいて算出した。

■ 一般（2人以上）世帯 ウェイトバック係数

	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
男性	20代	0.017	0.013	0.027	0.020
	30代	0.023	0.019	0.040	0.028
	40代	0.030	0.024	0.049	0.037
	50代	0.022	0.018	0.037	0.027
	60～64歳	0.011	0.010	0.016	0.013
女性	20代	0.018	0.014	0.030	0.021
	30代	0.024	0.020	0.045	0.031
	40代	0.030	0.026	0.054	0.039
	50代	0.023	0.020	0.039	0.029
	60～64歳	0.013	0.011	0.018	0.014

0. 回答者プロフィール

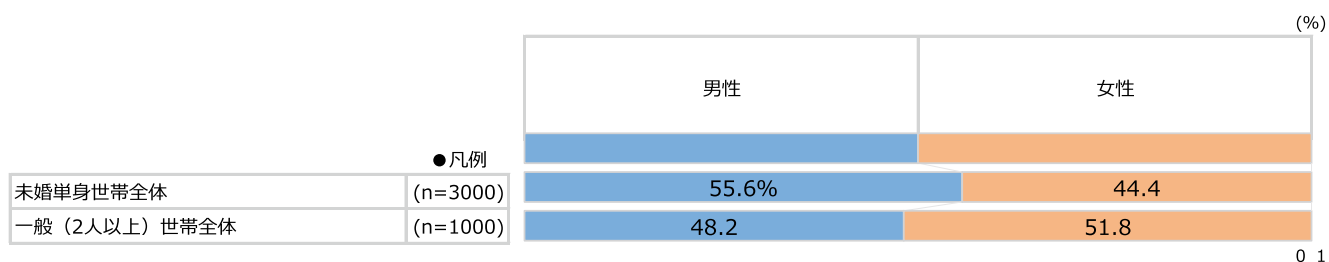


基本属性

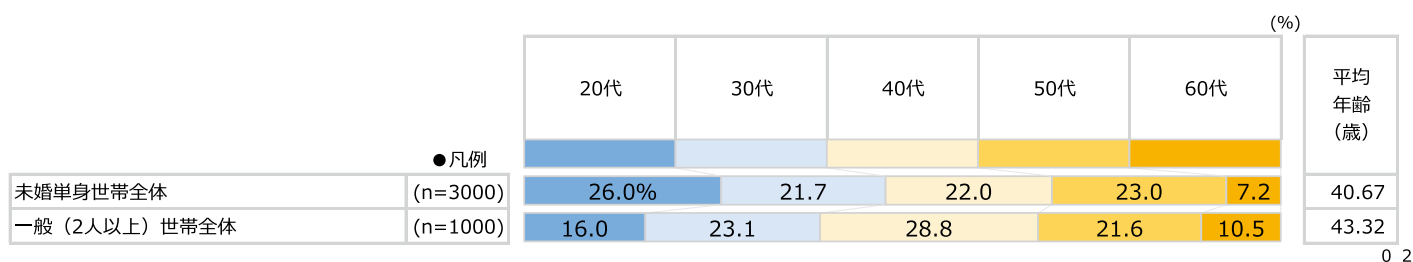
■ 性別・年代・居住地

- 性別をみると、未婚単身世帯全体では、男性が55.6%、女性が44.4%。
一般世帯全体では、男性が48.2%、女性が51.8%となっている。
- 年代をみると、未婚単身世帯全体では、20代が26.0%で最も高い。
一般世帯全体では、40代が28.8%で最も高く、3割弱を占める。
- 居住地をみると、未婚単身世帯全体では、東京都が52.4%で過半数を占める。
一般世帯全体でも、未婚単身世帯全体と同様に東京都が35.4%で最も高い。

■ 性別（属性データ）

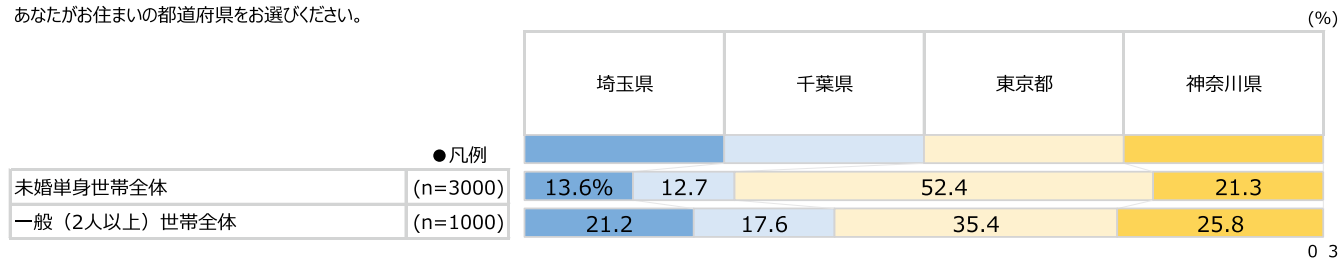


■ 年代（属性データ）



■ 居住地（全体／単一回答）

あなたがお住まいの都道府県をお選びください。





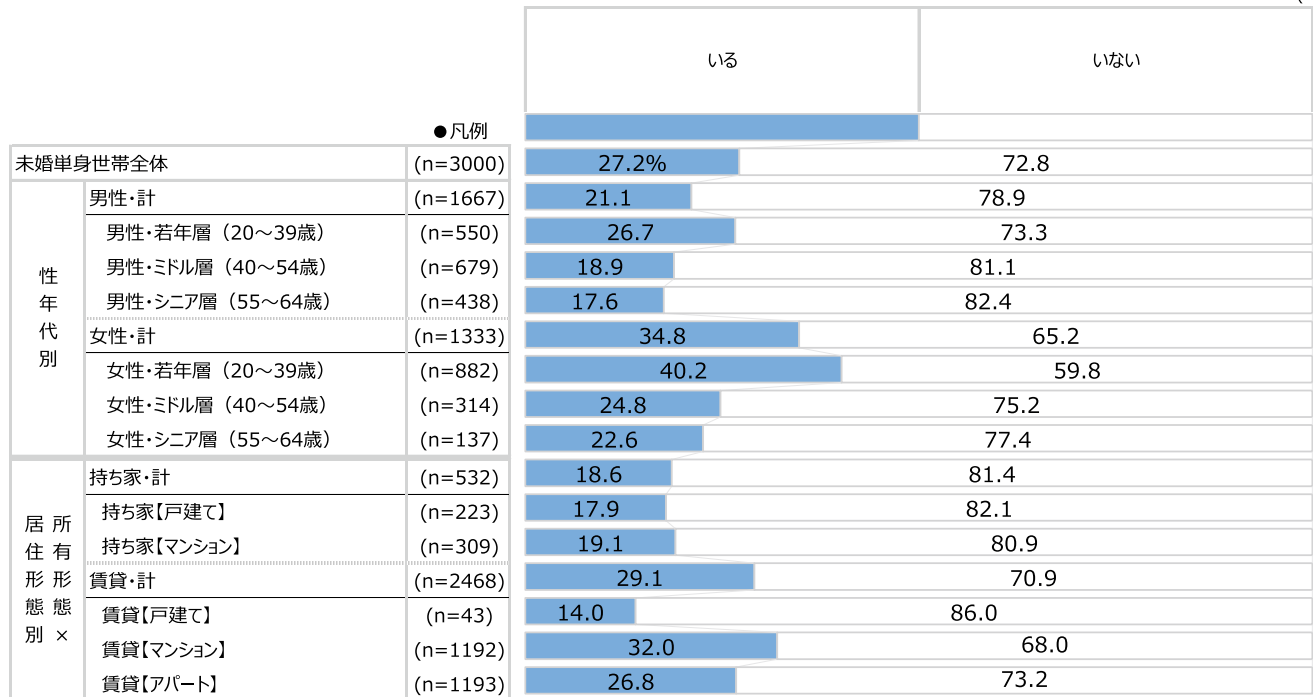
■ 恋人の有無【未婚単身世帯】

- 恋人の有無をたずねたところ、未婚単身世帯全体では「いる」(27.2%)は3割弱にとどまり、「いない」(72.8%)が7割を占める。
- 性年代別に「いる」をみると、女性・計が34.8%で男性・計(21.1%)を10ポイント以上上回る。
男女ともに年代が上がるほど「いる」のスコアが低くなっている。
- 所有形態×居住形態別に「いる」をみると、賃貸・計(29.1%)が持ち家・計(18.6%)を大きく上回る。
賃貸の中でも、【マンション】が32.0%で他の層と比べて高い。

■ 恋人の有無（未婚単身世帯全体／単一回答）

あなたは現在、おつき合っている恋人がいますか。

(%)



0_4

基本属性【参考：一般世帯】

■ 未既婚【一般世帯】

- 結婚の有無をみると、一般世帯全体では、「結婚している」が82.0%と8割以上を占める。
- 所有形態×居住形態別にみると、持ち家【マンション】が87.6%で他の層と比べて高い。

■ 未既婚（一般世帯全体／単一回答）

結婚の有無を教えてください。

		結婚の有無			未婚・計 (%)
		結婚している	未婚・計		
			結婚していない (結婚したことはあるが離婚、 死別した)	結婚していない (結婚したことがない)	
●凡例					
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	82.0%	3.1	14.9	18.0
居 所 住 有 形 形 態 別 ×	持ち家・計	82.6	2.7	14.7	17.4
	持ち家【戸建て】	79.8	2.7	17.5	20.2
	持ち家【マンション】	87.6	2.8	9.6	12.4
	賃貸・計	81.6	3.6	14.8	18.4
	賃貸【戸建て】	80.0	4.0	16.0	20.0
	賃貸【マンション】	80.6	4.1	15.3	19.4
	賃貸【アパート】	83.8	2.9	13.3	16.2

※一般世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

0_5

■ 同居人数【一般世帯】

- 同居している人数をみると、一般世帯全体では、平均人数は3.20人。
- 未既婚別にみると、平均人数に大きな差はないが、未婚・計で「3人」(42.9%)、既婚・計で「2人」(34.1%)がそれぞれ高くなっている。
- 所有形態×居住形態別にみると、「2人」で賃貸・計(46.4%)が持ち家・計(27.3%)を大きく上回る。
賃貸の中でも、【マンション】で「2人」が52.4%を占め、他の層と比べて高い。

■ 同居人数（一般世帯全体／実数回答）

同居している人数はあなたも含めて何人ですか。

		同居人数				平均 人数 (人)
		2人	3人	4人以上	無回答	
●凡例						
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	31.5%	35.5	32.4	0.7	3.20
婚 未 別 既	未婚・計	28.2	42.9	27.1	1.7	3.08
	既婚・計	34.1	33.7	31.7	0.5	3.15
居 所 住 有 形 形 態 別 ×	持ち家・計	27.3	36.9	35.3	0.4	3.25
	持ち家【戸建て】	22.9	35.3	41.3	0.4	3.34
	持ち家【マンション】	35.1	39.8	24.7	0.4	3.10
	賃貸・計	46.4	31.6	20.7	1.3	2.86
	賃貸【戸建て】	32.0	32.0	32.0	4.0	3.04
	賃貸【マンション】	52.4	27.6	19.4	0.6	2.76
	賃貸【アパート】	41.9	37.1	20.0	1.0	2.98

0_7

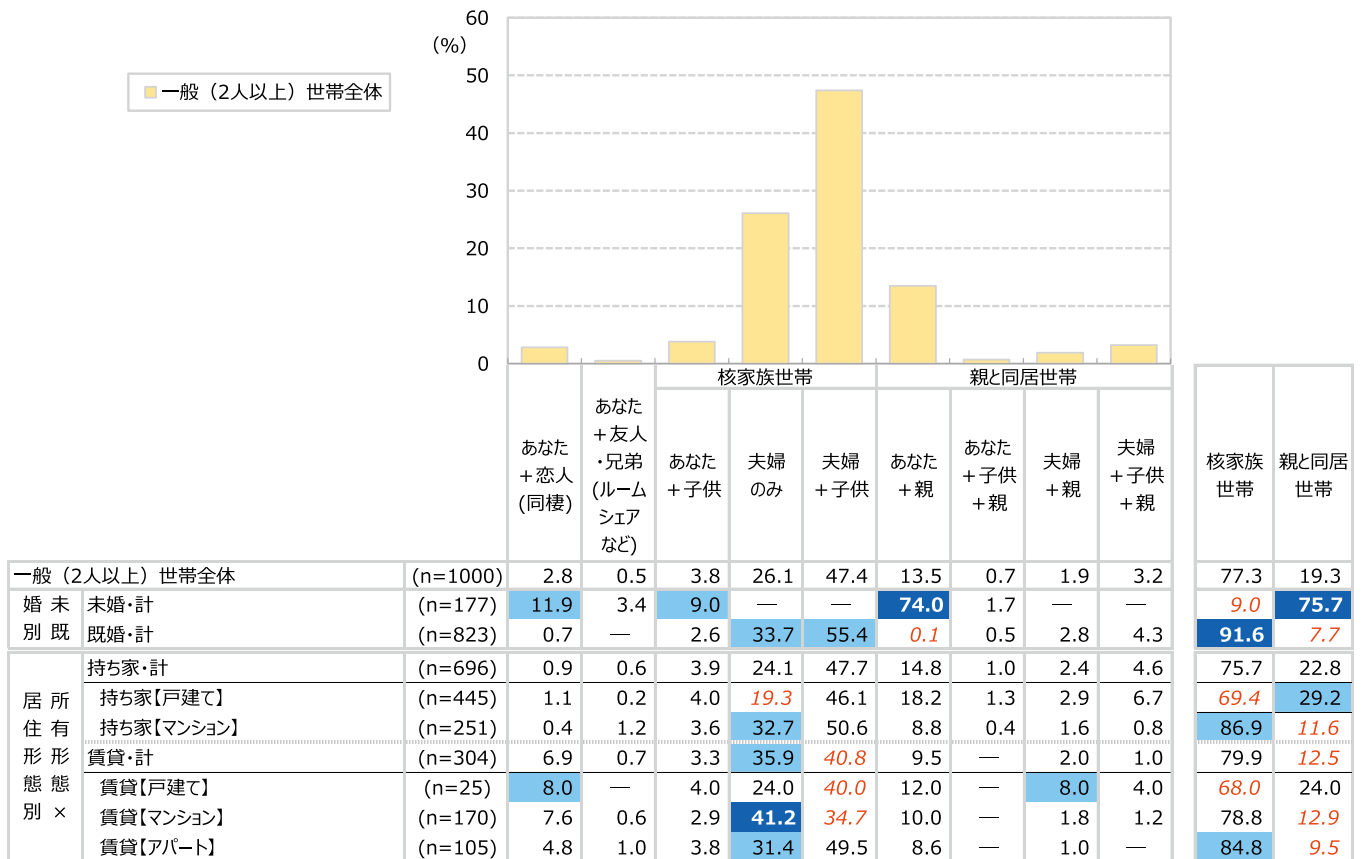


■ 家族構成【一般世帯】

- 家族構成をみると、一般世帯全体では、核家族世帯で「夫婦+子供」(47.4%)、親と同居世帯で「あなた+親」(13.5%)が高い。
- 未婚別々にみると、未婚・計では、「あなた+親」が74.0%で最も高い。
- 所有形態×居住形態別にみると、賃貸・計で「夫婦のみ」(35.9%)が持ち家・計(24.1%)を大きく上回る。
賃貸の中でも、【マンション】が41.2%で他の層と比べて高い。

■ 家族構成（一般世帯全体／単一回答）

現在のお住まいに同居しているご家族にもっとも近いものをお選びください。



※「夫婦」はあなた+配偶者、「親」は配偶者の親も含む

※一般世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

0_6

基本属性

職業

□ 職業についてたずねたところ『就業者・計』で未婚単身世帯全体(89.4%)が一般世帯全体(76.5%)を大きく上回る。

未婚単身世帯

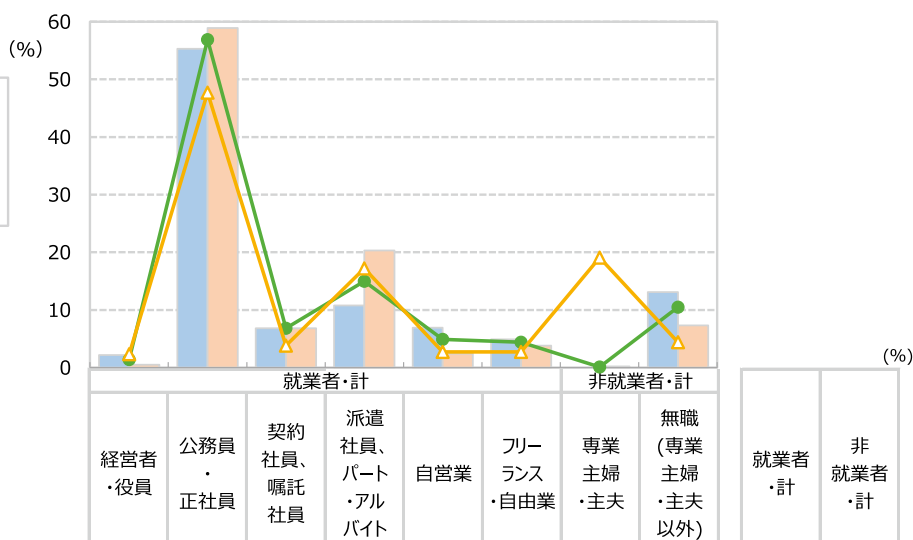
- 性年代別に『就業者・計』みると、女性・計(92.6%)が男性・計(86.9%)を上回る。
男女ともに年代が低いほど、「公務員・正社員」のスコアが高くなっている。
- 所有形態×居住形態別に『就業者・計』をみると、賃貸・計(91.2%)が持ち家・計(81.4%)を上回る。
賃貸の中でも、【マンション】が93.3%で他の層と比べて高い。

一般世帯

□ 未既婚別に『就業者・計』をみると、未婚・計が86.4%で既婚・計(72.9%)を上回る。

職業 (全体/単一回答)

あなたの職業はどれにあてはまりますか。



		就業者・計								非就業者・計		
		経営者・役員	公務員・正社員	契約社員、嘱託社員	派遣社員、パート・アルバイト	自営業	フリーランス・自由業	専業主婦・主夫	無職(専業主婦・主夫以外)	就業者・計	非就業者・計	
未婚単身世帯全体		(n=3000)	1.4	56.9	6.8	15.0	4.9	4.4	0.1	10.5	89.4	10.6
性年代別	男性・計	(n=1667)	2.2	55.3	6.8	10.8	6.9	4.9	—	13.1	86.9	13.1
	男性・若年層(20~39歳)	(n=550)	0.4	74.4	5.1	9.1	2.2	2.2	—	6.7	93.3	6.7
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=679)	1.8	54.9	7.2	10.9	7.2	5.6	—	12.4	87.6	12.4
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=438)	5.3	32.0	8.2	12.8	12.3	7.3	—	22.1	77.9	22.1
	女性・計	(n=1333)	0.5	58.9	6.8	20.3	2.4	3.8	0.2	7.3	92.6	7.4
	女性・若年層(20~39歳)	(n=882)	0.2	67.1	6.6	18.0	1.4	2.3	—	4.4	95.6	4.4
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=314)	0.6	47.5	6.7	25.5	3.5	7.0	—	9.2	90.8	9.2
女性・シニア層(55~64歳)	(n=137)	1.5	32.1	8.0	22.6	6.6	6.6	1.5	21.2	77.4	22.6	
居所形態別	持ち家・計	(n=532)	4.1	47.4	5.3	9.0	10.0	5.6	—	18.6	81.4	18.6
	持ち家【戸建て】	(n=223)	3.6	43.0	5.4	9.9	12.6	4.9	—	20.6	79.4	20.6
	持ち家【マンション】	(n=309)	4.5	50.5	5.2	8.4	8.1	6.1	—	17.2	82.8	17.2
	賃貸・計	(n=2468)	0.9	59.0	7.1	16.3	3.8	4.2	0.1	8.8	91.2	8.8
	賃貸【戸建て】	(n=43)	4.7	41.9	2.3	27.9	7.0	2.3	—	14.0	86.0	14.0
賃貸【マンション】	(n=1192)	1.4	62.6	5.9	13.8	4.5	5.1	0.1	6.6	93.3	6.7	
賃貸【アパート】	(n=1193)	0.2	55.6	8.3	18.7	3.1	3.4	0.1	10.6	89.3	10.7	
一般(2人以上)世帯全体		(n=1000)	2.3	47.7	3.8	17.2	2.7	2.7	19.1	4.4	76.5	23.5
婚別	未婚・計	(n=177)	0.6	49.7	4.0	20.9	5.6	5.6	1.7	11.9	86.4	13.6
	既婚・計	(n=823)	3.2	44.6	4.7	15.6	2.6	2.3	23.2	3.9	72.9	27.1

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字



世帯年収

- 世帯年収についてたずねたところ、未婚単身世帯全体では「200～400万円未満」が35.1%で最も高く、『400万円未満』が5割を占める。一方、一般世帯全体の『400万円未満』は2割弱にとどまる。

未婚単身世帯

- 性年代別にみると、「200～400万円未満」で女性・計（44.7%）が男性・計（27.5%）を上回る。男女ともに年代が高いほど、「200万円未満」のスコアが高くなっている。
- 所有形態×居住形態別にみると、持ち家・計は「200万円未満」（22.7%）で賃貸・計を上回り、中でも、持ち家【戸建て】は「200万円未満」が30.0%で他の層と比べて高い。一方、「200～400万円未満」では、賃貸・計（38.7%）が持ち家・計を上回る。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「200～400万円未満」で未婚・計（19.8%）が既婚・計（10.0%）を上回る。一方、「400～600万円未満」「600～800万円未満」「1000万円以上」で既婚・計が未婚・計を上回る。

■ 世帯年収（全体／単一回答）

あなたの世帯年収（税込み）はどれくらいですか。

		200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円以上	答えたくない
●凡例								
未婚単身世帯全体 (n=3000)		16.9%	35.1		21.8	7.4	3.3	2.6
性年代別	男性・計 (n=1667)	18.2	27.5		23.9	10.3	4.7	3.6
	男性・若年層（20～39歳） (n=550)	11.1	36.9		31.6	9.8	1.1	5.8
	男性・ミドル層（40～54歳） (n=679)	17.5	23.4		23.6	11.9	6.6	4.6
	男性・シニア層（55～64歳） (n=438)	28.1	21.9		14.8	8.2	6.4	4.8
	女性・計 (n=1333)	15.2	44.7		19.2	3.8	1.4	1.4
	女性・若年層（20～39歳） (n=882)	12.4	51.4		20.0	2.7	0.7	1.2
	女性・ミドル層（40～54歳） (n=314)	19.4	31.5		19.7	6.4	3.8	2.2
女性・シニア層（55～64歳） (n=137)	24.1	32.1		13.1	5.1	1.0	7.3	
居住形態別 ×	持ち家・計 (n=532)	22.7	18.6		19.5	9.6	7.1	7.3
	持ち家【戸建て】 (n=223)	30.0	20.6		18.8	9.9	5.8	3.1
	持ち家【マンション】 (n=309)	17.5	17.2		20.1	9.4	8.1	10.4
	賃貸・計 (n=2468)	15.6	38.7		22.3	6.9	2.4	1.6
	賃貸【戸建て】 (n=43)	23.3	30.2		11.6	9.3	9.3	7.0
	賃貸【マンション】 (n=1192)	11.2	34.5		25.4	10.2	3.8	2.3
賃貸【アパート】 (n=1193)	19.7	43.3		19.6	3.5	0.9	0.7	
一般（2人以上）世帯全体 (n=1000)	7.2	10.6	18.5	14.2	13.1	16.6	19.7	
婚別	未婚・計 (n=177)	10.2	19.8	13.0	4.5	11.3	13.0	28.2
	既婚・計 (n=823)	7.2	10.0	19.9	15.7	13.0	17.6	16.6

0.9

現在の住まい

■ 所有形態

- 現在の住まいについてたずねたところ、未婚単身世帯全体で『賃貸・計』(82.3%)が『持ち家・計』(17.7%)を上回る。一方、一般世帯全体では『持ち家・計』(69.7%)が『賃貸・計』(30.3%)を上回る。

● 未婚単身世帯

- 性年代別にみると、男性・計で『持ち家・計』(23.0%)、女性・計で『賃貸・計』(88.9%)が高い。男女ともに年代が上がるほど「民間賃貸」が減少し、男性・シニア層で53.7%、女性・シニア層で42.3%となっている。

● 一般世帯

- 未婚別にみると、「持ち家(自己所有)」で既婚・計(54.7%)が未婚・計(16.9%)を大きく上回る。

■ 所有形態 (全体/単一回答)

現在のお住まいは以下のどれですか。

		持ち家・計							賃貸・計							
		持ち家(自己所有)		持ち家(親族所有)		民間賃貸	公団・公社賃貸	会社の寮・社宅、官舎、学生寮	親族から借りている	その他			持ち家・計	賃貸・計		
●凡例																
未婚単身世帯全体 (n=3000)		15.9%	1.8	72.6			3.7	5.5	0.5			17.7	82.3			
性年代別	男性・計 (n=1667)	20.8	2.2	67.7			4.0	4.9	0.4			23.0	77.0			
	男性・若年層 (20~39歳) (n=550)	4.4	1.1	81.1			2.2	10.9	0.4			5.5	94.5			
	男性・ミドル層 (40~54歳) (n=679)	23.3	2.9	65.8			4.3	2.9	0.7			26.2	73.8			
	男性・シニア層 (55~64歳) (n=438)	37.7	2.5	53.7			5.7	0.5			40.2	59.8				
	女性・計 (n=1333)	9.8	1.3	78.7			3.5	6.2	0.6			11.1	88.9			
	女性・若年層 (20~39歳) (n=882)	2.9	0.6	85.0			2.4	8.6	0.5			3.5	96.5			
女性・ミドル層 (40~54歳) (n=314)	13.4	3.2	76.8			4.8	1.6	0.3			16.6	83.4				
女性・シニア層 (55~64歳) (n=137)	46.0	1.5	42.3			7.3	0.7	2.2			47.4	52.6				
一般 (2人以上) 世帯全体 (n=1000)		48.4			21.3	25.8	2.2	1.5	0.6	0.1			69.7	30.3		
未婚別	未婚・計 (n=177)	16.9	51.4			27.7	2.8	—	1.1			68.4	31.6			
	既婚・計 (n=823)	54.7			15.2	25.4	2.3	1.8	0.5	0.1			69.9	30.1		

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

0_10



■ 所有形態×居住形態

- 未婚単身世帯全体は『賃貸・計』が8割を超える。「賃貸(マンション)」(39.7%)、「賃貸(アパート)」(39.8%)は同程度である。
- 一方、一般世帯全体では『持ち家・計』が7割を占める。中でも「持ち家(戸建て)」(44.9%)が最も高く、未婚単身世帯全体(7.4%)を大きく上回る。

● 未婚単身世帯

- 性年代別にみると、「持ち家(戸建て)」で男性・計(10.9%)が女性・計(3.1%)を上回る。
男女ともに年代が上がるほど「持ち家(戸建て)」が増加し、男性・シニア層で20.3%、女性・シニア層で16.1%となっている。

● 一般世帯

- 未婚婚別にみると、「持ち家(戸建て)」で未婚・計(50.8%)が既婚・計(43.1%)を上回る。

■ 所有形態×居住形態 (全体)

		●凡例	持ち家 (戸建て)	持ち家 (マンション)	賃貸 (戸建て)	賃貸 (マンション)	賃貸 (アパート)	持ち家 ・計	賃貸 ・計
未婚単身世帯全体		(n=3000)	7.4%	10.3	1.4	39.7	39.8	17.7	82.3
性 年 代 別	男性・計	(n=1667)	10.9	12.1	2.3	35.7	37.8	23.0	77.0
	男性・若年層(20~39歳)	(n=550)	3.1	2.4	2.0	39.8	50.7	5.5	94.5
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=679)	11.2	15.0	2.1	36.5	34.6	26.2	73.8
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=438)	20.3	19.9	3.0	29.2	26.5	40.2	59.8
	女性・計	(n=1333)	3.1	8.0	0.4	44.8	42.2	11.1	88.9
	女性・若年層(20~39歳)	(n=882)	1.0	2.5	0.3	46.6	48.0	3.5	96.5
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=314)	3.2	13.4	0.6	47.1	35.0	16.6	83.4
	女性・シニア層(55~64歳)	(n=137)	16.1	31.4	—	27.7	21.9	47.4	52.6
一般(2人以上)世帯全体		(n=1000)	44.9	24.8	2.6	16.8	10.4	69.7	30.3
婚 未 別 既	未婚・計	(n=177)	50.8	17.5	2.8	18.6	9.6	68.4	31.6
	既婚・計	(n=823)	43.1	26.7	2.4	16.6	10.7	69.9	30.1

※各全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

住居の広さ

□ 現在の住まいの広さについてたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均面積は33.8㎡で、一般世帯全体（80.9㎡）を下回る。未婚単身世帯全体で「20㎡未満」が30.4%で最も高く、一般世帯全体（4.9%）を大きく上回る。

未婚単身世帯

- 性年代別に平均面積をみると、男性・計（38.1㎡）が女性・計（28.5㎡）を上回る。
- 平均面積はどの年代も男性が女性を上回り、特に男性・シニア層で53.0㎡と他の層に比べて広がっている。
- 所有形態×居住形態別に平均面積をみると、持ち家・計（72.2㎡）が賃貸・計（25.6㎡）を大きく上回る。持ち家の中でも、【戸建て】の平均面積が89.0㎡で他の層と比べて広い。

一般世帯

- 未既婚別に平均面積をみると、既婚・計（84.3㎡）で未婚・計（66.6㎡）を上回る。

住居の広さ（全体／実数回答）

現在のお住まいの広さ（延床面積）はどれくらいですか。

		（％）							平均面積（㎡）	
		20㎡未満	20㎡以上 30㎡未満	30㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 50㎡未満	50㎡以上 80㎡未満	80㎡以上 100㎡未満	100㎡以上	※0㎡を含まず	
●凡例										
性年代別	未婚単身世帯全体 (n=3000)	30.4%		28.6		13.7	8.3	12.4	25.4	33.8
	男性・計 (n=1667)	28.0		24.0		13.5	9.7	15.8	35.5	38.1
	男性・若年層（20～39歳） (n=550)	40.2			32.9		12.4	6.7	6.0	24.8
	男性・ミドル層（40～54歳） (n=679)	24.6		22.4		15.5	10.8	17.5	4.1	39.2
	男性・シニア層（55～64歳） (n=438)	17.8	15.3	11.9	11.6	25.6	6.2	11.6		53.0
	女性・計 (n=1333)	33.5		34.4		14.0	6.6	8.0	13.2	28.3
	女性・若年層（20～39歳） (n=882)	41.4			37.9		11.8	4.3	3.1	23.0
	女性・ミドル層（40～54歳） (n=314)	19.7		32.2		20.4	8.9	14.0	1.6	35.0
	女性・シニア層（55～64歳） (n=137)	13.9	16.8	13.9	16.1	26.3	5.1	18.0		49.2
居所形態別	持ち家・計 (n=532)	6.6	3.9	6.2	28.5	43.4	12.2	19.2		72.2
	持ち家【戸建て】 (n=223)	6.3	4.9	5.4	18.4	18.4	41.7			89.0
	持ち家【マンション】 (n=309)	6.8	3.2	6.8	11.0	61.5	7.8	2.9		60.1
	賃貸・計 (n=2468)	35.5			33.9		15.4	8.3	5.7	25.6
	賃貸【戸建て】 (n=43)	11.6	11.6	20.9	14.0	18.6	4.7	18.6		61.7
	賃貸【マンション】 (n=1192)	29.4			36.2		16.0	10.2	7.1	27.0
	賃貸【アパート】 (n=1193)	41.6			33.2		14.7	6.1	3.0	23.0
一般（2人以上）世帯全体 (n=1000)	4.9	2.9	6.6	9.4	33.4	17.2	25.7		80.9	
未既婚別	未婚・計 (n=177)	14.7	7.3	6.8	14.1	22.6	14.1	20.3		66.6
	既婚・計 (n=823)	3.4	1.9	7.0	7.8	34.8	18.0	27.1		84.3

0_11



住居の築年数

□ 現在の住まいの築年数についてたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均年数は21.3年で、一般世帯全体（19.2年）と大きな差はみられない。

未婚単身世帯

□ 性年代別に平均年数をみると、男性・計（23.6年）が女性・計（18.5年）を上回る。男女ともに年代が上がるほど、築年数が古くなっている。特に、女性・若年層で「0年～5年」が25.7%と全体の4分の1程度を占め、他の層と比べて高い。

□ 所有形態×居住形態別に平均年数をみると、持ち家・計（24.4年）が賃貸・計（20.7年）をやや上回る。持ち家の中でも、【戸建て】の平均年数が28.3年で他の層と比べて古い。

一般世帯

□ 未婚既別に平均年数をみると、未婚・計が27.7年で既婚・計（18.1年）と比べて古い。

住居の築年数（全体／実数回答）

あなたのお住いは現在築何年ですか。

		(%)								平均年数 (年) ※0年を含まず
		0年～5年	6年～10年	11年～15年	16年～20年	21年～25年	26年～30年	31年～40年	41年以上	
●凡例										
未婚単身世帯全体 (n=3000)		14.8%	12.6	13.1	14.8	8.5	16.5	12.7	7.0	21.3
性年代別	男性・計 (n=1667)	10.6	10.0	12.3	15.1	9.2	19.3	14.5	9.1	23.6
	男性・若年層 (20～39歳) (n=550)	18.4	12.4	15.3	14.4	6.7	18.7	10.5	3.6	19.5
	男性・ミドル層 (40～54歳) (n=679)	8.0	10.2	13.4	15.6	8.7	20.0	14.1	10.0	24.2
	男性・シニア層 (55～64歳) (n=438)	4.8	6.6	6.8	15.3	13.0	18.9	20.1	14.4	27.8
	女性・計 (n=1333)	20.2	16.0	14.1	14.4	7.7	12.9	10.4	4.4	18.5
	女性・若年層 (20～39歳) (n=882)	25.7	18.7	14.3	12.7	6.2	12.2	7.4	2.7	16.1
	女性・ミドル層 (40～54歳) (n=314)	11.1	11.1	14.3	19.1	8.6	12.4	16.2	7.0	22.3
女性・シニア層 (55～64歳) (n=137)	5.1	9.5	12.4	14.6	14.6	18.2	16.1	9.5	25.1	
居所 所有 形態別 ×	持ち家・計 (n=532)	7.7	9.2	14.7	15.8	13.7	12.8	12.2	13.9	24.4
	持ち家【戸建て】 (n=223)	8.1	6.7	8.5	13.5	13.5	15.2	13.9	20.6	28.3
	持ち家【マンション】 (n=309)	7.4	11.0	19.1	17.5	13.9	11.0	11.0	9.1	21.6
	賃貸・計 (n=2468)	16.4	13.4	12.8	14.6	7.4	17.3	12.8	5.5	20.7
	賃貸【戸建て】 (n=43)	11.6	2.3	14.0	14.0	20.9	23.3			29.9
	賃貸【マンション】 (n=1192)	16.5	15.2	14.6	14.3	7.1	15.7	12.2	4.4	19.6
賃貸【アパート】 (n=1193)	16.1	12.2	11.5	14.8	7.5	19.1	13.1	5.9	21.4	
一般 (2人以上) 世帯全体 (n=1000)	16.7	14.0	15.6	16.8	10.8	9.3	9.8	7.0	19.2	
婚未 別既	未婚・計 (n=177)	6.2	4.0	8.5	18.6	15.8	12.4	20.3	14.1	27.7
	既婚・計 (n=823)	18.3	14.9	15.2	16.4	11.3	10.0	8.4	5.5	18.1

0_12

通勤時間

□ 現在の通勤時間についてたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均時間は42.6分で、一般世帯全体（46.0分）と大きな差はない。

未婚単身世帯

- 性年代別に平均時間をみると、男女で大きな差はない。男女ともシニア層で「0分」が3割前後を占める。
- 所有形態×居住形態別に平均時間をみると、持ち家・計（48.2分）が賃貸・計（41.6分）よりやや長い。

一般世帯

- 未既婚別に平均時間をみると、大きな差はみられない。「0分」で既婚・計（29.6%）が未婚・計（19.2%）を大きく上回る。

■通勤時間（全体／実数回答）

通勤・通学時間はドアツードアで何分ですか。

		30分以内・計							60分以内・計									平均時間 (分) ※0分を 含まず
		0分	10分 以内	20分 以内	30分 以内	40分 以内	50分 以内	60分 以内	60分超	30分 以内・計	60分 以内・計							
●凡例																		
未婚単身世帯全体	(n=3000)	14.6%	10.3	10.9	15.3	9.9	11.3	15.2	12.4	51.2	36.5			42.6				
性年代別	男性・計	(n=1667)	18.3	10.3	10.9	13.6	7.9	10.4	14.0	14.7	53.0	32.3			44.2			
	男性・若年層（20～39歳）	(n=550)	8.9	12.2	13.5	17.1	8.9	12.5	14.4	12.5	51.6	35.8			41.9			
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=679)	16.8	9.6	10.3	12.4	9.1	9.3	16.2	16.3	49.0	34.6			45.8			
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=438)	32.4		9.1	8.4	11.0	4.6	9.6	10.0	61.0	24.2			44.9			
	女性・計	(n=1333)	10.1	10.4	11.0	17.4	12.5	12.4	16.8	9.5	48.8	41.7			40.9			
	女性・若年層（20～39歳）	(n=882)	5.7	9.9	12.0	18.8	14.3	12.4	18.0	9.0	46.4	44.7			40.8			
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=314)	14.3	11.1	9.6	12.4	10.2	13.7	16.6	12.1	47.5	40.4			42.8			
	女性・シニア層（55～64歳）	(n=137)	28.5		11.7	8.0	19.7	6.6	9.5	9.5	67.9	25.5			36.7			
居所有形態別	持ち家・計	(n=532)	25.9	10.3	6.6	12.6	7.1	8.1	13.3	16.0	55.5	28.6			48.2			
	持ち家【戸建て】	(n=223)	29.6		9.9	6.7	13.0	5.8	6.7	9.9	59.2	22.4			48.7			
	持ち家【マンション】	(n=309)	23.3	10.7	6.5	12.3	8.1	9.1	15.9	14.2	52.8	33.0			47.8			
	賃貸・計	(n=2468)	12.2	10.3	11.9	15.8	10.5	12.0	15.6	11.6	50.2	38.2			41.6			
	賃貸【戸建て】	(n=43)	9.3	23.3		16.3	14.0	7.0	7.0	23.3	62.8	14.0			40.1			
	賃貸【マンション】	(n=1192)	10.7	10.4	12.0	18.0	11.2	13.3	13.8	10.5	51.2	38.3			40.6			
一般（2人以上）世帯全体	賃貸【アパート】	(n=1193)	13.7	9.1	11.5	13.8	10.4	11.0	18.0	12.4	48.2	39.4			43.3			
	一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	26.1	11.1	10.2	9.1	5.4	9.2	12.6	16.2	56.6	27.2			46.0			
	婚未別	未婚・計	(n=177)	19.2	11.9	9.0	11.3	5.1	7.9	14.7	20.9	51.4	27.7			49.0		
	既婚・計	(n=823)	29.6	10.2	9.7	8.3	5.7	9.4	12.0	15.1	57.8	27.1			45.9			

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字



■ 住宅購入費【持ち家】

□ 持ち家居住者に住宅購入費についてたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均価格は3287.3万円で、一般世帯全体（4156.5万円）を下回る。

● 未婚単身世帯

□ 性年代別に平均価格をみると、女性・計（3392.4万円）が男性・計（3246.3万円）を上回る。

平均価格は男性で年代が上がるほど低くなるのに対し、女性は高くなっている。

□ 所有形態×居住形態別に平均価格をみると、【戸建て】（3323.8万円）が【マンション】（3272.4万円）をやや上回っている。

● 一般世帯

□ 未既婚別に平均価格をみると、既婚・計（4386.9万円）が未婚・計（3422.5万円）を上回る。

■ 住宅購入費（持ち家居住者／実数回答）

おおそで構いませんので、現在のお住いの価格はいくらでしたか。

		（%）							平均価格 （万円） ※わからないを 含まず	
		2000 万円 未満	2000 万円 以上～ 4000 万円 未満	4000 万円 以上～ 6000 万円 未満	6000 万円 以上～ 8000 万円 未満	8000 万円 以上～ 1億円 未満	1億円 以上	わから ない		
●凡例										
未婚単身世帯全体	(n=532)	13.3%	30.6	12.8	10.8	0.8	39.7		3287.3	
性年代別	男性・計	(n=384)	12.5	30.7	13.8	11.3	1.0	0.8	39.8	3246.3
	男性・若年層（20～39歳）	(n=30)	13.3	10.0	6.7	3.3	33.3		60.0	3908.2
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=178)	11.2	32.0	16.3	1.1	1.1	—	38.2	3271.3
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=176)	13.6	33.0	12.5	1.1	0.6	1.1	38.1	3148.3
	女性・計	(n=148)	15.5	30.4	10.1	14.1	—	0.7	39.2	3392.4
	女性・若年層（20～39歳）	(n=31)	16.1	22.6	3.2	3.2	—	—	54.8	2442.6
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=52)	15.4	34.6	13.5	3.8	—	—	32.7	3228.9
女性・シニア層（55～64歳）	(n=65)	15.4	30.8	10.8	4.6	—	1.5	36.9	3856.3	
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	13.3	30.6	12.8	10.8	0.8	39.7		3287.3
	持ち家【戸建て】	(n=223)	10.8	17.9	10.3	0.9	0.9	0.9	58.3	3323.8
	持ち家【マンション】	(n=309)	15.2	39.8	14.6	2.9	0.6	0.6	26.2	3272.4
一般（2人以上）世帯全体	(n=697)	4.2	29.5	22.2	5.7	1.1	1.4	35.9	4156.5	
婚別	未婚・計	(n=121)	8.3	12.4	5.0	0.8	0.8	1.7	71.1	3422.5
	既婚・計	(n=575)	3.8	30.8	25.7	8.2	1.6	1.6	28.3	4386.9

0_14

■ 家賃【賃貸】

□ 賃貸居住者に家賃についてたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均金額は8.2万円で、一般世帯全体（12.7万円）を下回る。

● 未婚単身世帯

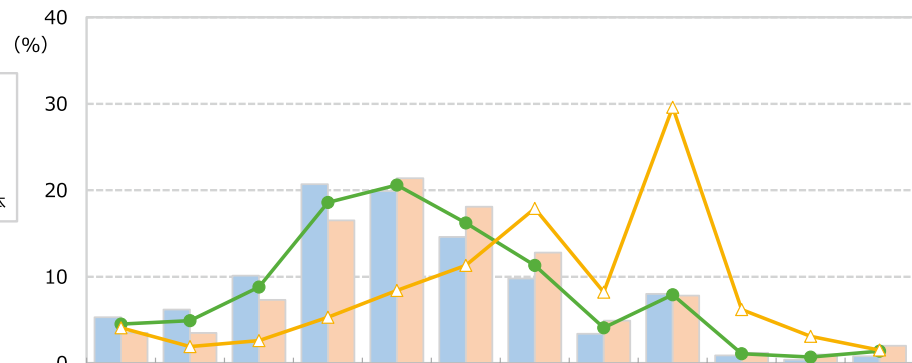
- 性年代別に平均金額をみると、女性・計（8.9万円）が男性・計（7.5万円）を上回る。
平均金額はどの年代も女性が男性を上回り、特に女性・ミドル層、女性・シニア層は10万円以上で他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に平均金額をみると、【マンション】（8.8万円）が他の層を上回る。

● 一般世帯

- 未既婚別に平均金額をみると、既婚・計（13.0万円）が未婚・計（10.7万円）を上回る。

■ 家賃（賃貸居住者／実数回答）

住居費は月々おいくらですか。



			3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～6万円未満	6万円～7万円未満	7万円～8万円未満	8万円～9万円未満	9万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～50万円未満	50万円以上	平均金額(万円) ※0円を含まず
性年代別	未婚単身世帯全体	(n=2468)	4.5	4.9	8.8	18.6	20.6	16.2	11.3	4.1	7.9	1.1	0.7	1.4	8.2
	男性・計	(n=1283)	5.3	6.2	10.1	20.7	19.9	14.6	9.8	3.4	8.0	0.9	0.4	0.8	7.5
	男性・若年層（20～39歳）	(n=520)	7.3	5.2	10.0	19.2	20.0	16.9	10.2	3.7	6.5	0.4	0.2	0.4	6.6
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=501)	3.6	6.2	10.2	22.2	20.6	13.4	10.0	3.6	8.2	1.2	0.2	0.8	7.9
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=262)	4.6	8.0	10.3	20.6	18.3	12.2	8.8	2.3	10.7	1.5	1.1	1.5	8.6
	女性・計	(n=1185)	3.5	3.5	7.3	16.5	21.4	18.1	12.8	4.9	7.8	1.2	1.0	2.0	8.9
	女性・若年層（20～39歳）	(n=851)	4.2	3.8	6.5	16.8	23.6	20.0	12.5	4.0	6.0	0.9	1.1	0.7	7.5
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=262)	1.5	3.1	8.8	13.4	16.4	14.9	15.3	7.3	12.6	2.3	0.4	4.2	11.9
	女性・シニア層（55～64歳）	(n=72)	2.8	2.8	11.1	23.6	12.5	6.9	8.3	6.9	12.5	—	2.8	9.7	13.7
居住形態別×	賃貸・計	(n=2468)	4.5	4.9	8.8	18.6	20.6	16.2	11.3	4.1	7.9	1.1	0.7	1.4	8.2
	賃貸【戸建て】	(n=43)	11.6	9.3	9.3	18.6	11.6	2.3	7.0	2.3	14.0	9.3	4.7	—	7.5
	賃貸【マンション】	(n=1192)	3.1	2.1	4.9	12.0	19.3	18.2	16.2	6.5	13.8	1.7	0.8	1.4	8.8
	賃貸【アパート】	(n=1193)	3.5	7.2	12.7	25.6	22.9	15.3	6.9	1.8	2.1	0.2	0.4	1.3	7.6
一般（2人以上）世帯全体	(n=303)	4.1	1.9	2.6	5.3	8.4	11.3	17.9	8.2	29.6	6.2	3.1	1.5	12.7	
未婚既婚別	未婚・計	(n=56)	5.4	—	7.1	5.4	7.1	19.6	16.1	1.8	28.6	3.6	3.6	1.8	10.7
	既婚・計	(n=248)	4.0	2.4	1.2	4.8	7.7	9.7	17.3	9.7	31.9	6.9	3.2	1.2	13.0

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字



住宅にかかる費用の負担感

□ 住宅にかかる費用の負担感についてたずねたところ、未婚単身世帯全体の『大きな負担感・計』は49.2%で、一般世帯全体（41.1%）を上回る。

未婚単身世帯

□ 性年代別に『大きな負担感・計』をみると、女性・計（56.9%）が男性・計（43.0%）を上回る。

男女とも年代が高いほど、『大きな負担感・計』のスコアが低くなっている。

□ 所有形態×居住形態別に『大きな負担感・計』をみると、賃貸・計（54.5%）が持ち家・計（24.6%）を大きく上回る。賃貸の中でも、【マンション】、【アパート】は5割台半ばを占めている。

一般世帯

□ 未婚既別に『大きな負担感・計』をみると、既婚・計（42.4%）が未婚・計（26.0%）を上回る。

住宅にかかる費用の負担感（全体／単一回答）

毎月住宅にかかる費用をどの程度負担に感じていますか。

		大きな負担感・計							(%)
		とても大きな負担で家計を圧迫している	大きな負担を感じている	やや大きな負担を感じている	時々負担に感じることもある	どちらともいえない	あまり負担を感じていない	ほとんど負担には感じない	大きな負担感・計
●凡例									
未婚単身世帯全体 (n=3000)		11.1%	17.6	20.5	18.8	13.0	11.5	7.6	49.2
性年代別	男性・計 (n=1667)	10.2	15.3	17.5	19.1	16.3	13.6	7.9	43.0
	男性・若年層 (20~39歳) (n=550)	10.9	17.8	19.1	19.1	14.9	10.4	7.8	47.8
	男性・ミドル層 (40~54歳) (n=679)	10.5	13.8	18.6	19.1	17.5	13.0	7.5	42.9
	男性・シニア層 (55~64歳) (n=438)	8.9	14.4	13.9	19.2	16.2	18.7	8.7	37.2
	女性・計 (n=1333)	12.3	20.4	24.2	18.3	8.8	8.9	7.1	56.9
	女性・若年層 (20~39歳) (n=882)	13.4	20.1	25.7	18.0	7.9	8.4	6.5	59.2
	女性・ミドル層 (40~54歳) (n=314)	12.7	21.7	22.3	20.1	9.6	8.6	5.1	56.7
女性・シニア層 (55~64歳) (n=137)	4.4	19.7	18.2	16.1	12.4	13.1	16.1	42.3	
居所有形態別 ×	持ち家・計 (n=532)	5.1	9.8	9.8	17.7	18.0	22.0	17.7	24.6
	持ち家【戸建て】 (n=223)	7.2	10.3	9.4	14.8	18.4	16.1	23.8	26.9
	持ち家【マンション】 (n=309)	3.6	9.4	10.0	19.7	17.8	26.2	13.3	23.0
	賃貸・計 (n=2468)	12.4	19.2	22.8	19.0	11.9	9.3	5.4	54.5
	賃貸【戸建て】 (n=43)	11.6	11.6	18.6	14.0	16.3	18.6	9.3	41.9
	賃貸【マンション】 (n=1192)	12.4	20.3	23.1	20.1	11.5	8.8	3.9	55.8
賃貸【アパート】 (n=1193)	12.7	18.9	23.3	18.7	11.7	9.2	5.4	55.0	
一般 (2人以上) 世帯全体 (n=1000)	7.6	16.4	17.1	16.3	18.2	14.4	10.0	41.1	
婚未既別	未婚・計 (n=177)	4.0	9.6	12.4	14.1	30.5	11.9	17.5	26.0
	既婚・計 (n=823)	7.7	18.0	16.8	17.7	15.6	14.9	9.4	42.4

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

0_16

住宅に関する規範意識

- 住宅に関する規範意識についてたずねたところ、未婚単身世帯全体では、『持ち家志向』で「持ち家を買わないと、高齢になった時に住むところなくなる恐れがある」、『自由志向』で「持ち家を買うか賃貸住宅に住むかは、本人の価値観次第だ」が最も高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、『持ち家志向』は一般世帯全体、『自由志向』は未婚単身世帯全体がそれぞれ高い。ただし、「日本政府は、誰でも持ち家を持てるような政策をするべきだ」「持ち家を買うか賃貸住宅に住むかは、本人の価値観次第だ」では差がみられない。

未婚単身世帯

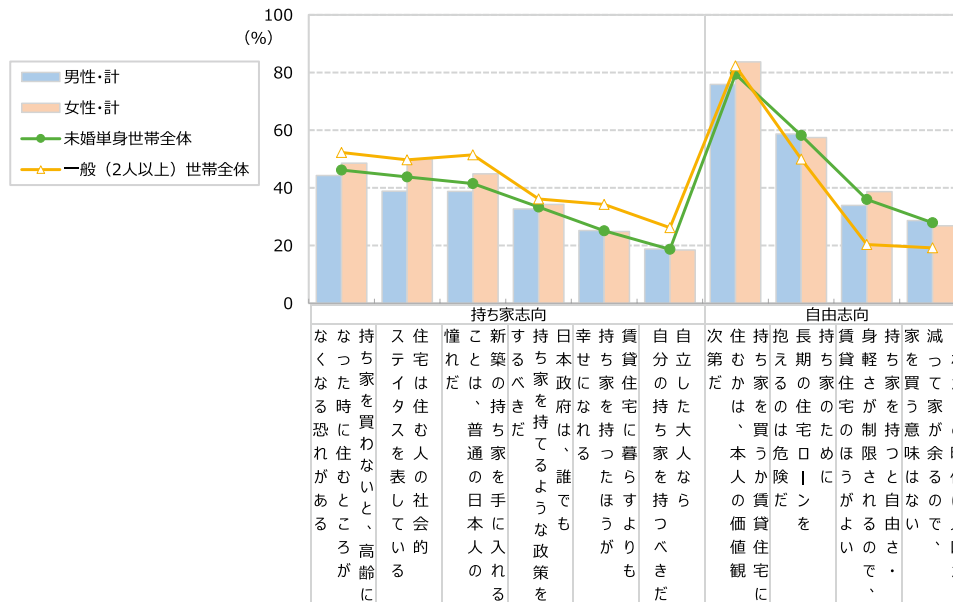
- 性年代別にみると、「住宅は住む人の社会的ステイタスを表している」で、女性・計（49.9%）が男性・計（38.9%）を大きく上回る。
- 所有形態×居住形態別にみると、「持ち家を持つと自由さ・身軽さが制限されるので、賃貸住宅のほうがよい」「これからの時代は人口が減って家が余るので、家を買う意味はない」で賃貸・計が持ち家・計を15ポイント以上上回る。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「持ち家を買わないと、高齢になった時に住むところなくなる恐れがある」で既婚・計が未婚・計を15ポイント程度上回る。

住宅に関する規範意識『そう思う・計』（全体／各単一回答）

住宅についての以下のような考え方に、あなたはどの程度賛同しますか。



		(n=3000)	46.2	43.8	41.5	33.4	25.1	18.7	79.4	58.2	36.0	27.9
性年代別	未婚単身世帯全体	(n=3000)	46.2	43.8	41.5	33.4	25.1	18.7	79.4	58.2	36.0	27.9
	男性・計	(n=1667)	44.3	38.9	38.8	32.7	25.2	18.8	75.9	58.7	33.9	28.7
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	42.0	43.8	38.5	36.2	26.7	19.5	74.7	55.5	39.5	37.5
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	45.2	37.4	36.8	31.5	25.0	19.1	75.6	57.6	33.0	23.6
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	45.9	35.2	42.0	30.1	23.5	17.6	77.9	64.4	28.3	25.6
	女性・計	(n=1333)	48.6	49.9	44.9	34.3	24.9	18.5	83.7	57.5	38.7	26.9
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	45.9	50.2	48.0	35.1	27.6	21.0	82.4	52.2	39.8	26.5
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	54.5	47.5	37.9	33.1	18.2	13.1	86.0	68.8	38.5	28.0
	女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	52.6	53.3	40.9	31.4	23.4	15.3	86.9	66.4	32.1	26.3
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	57.3	37.0	43.0	28.8	32.0	22.9	76.3	50.6	13.5	15.4
	持ち家【戸建て】	(n=223)	56.5	33.2	46.6	32.7	35.9	26.9	74.0	54.7	19.3	18.4
	持ち家【マンション】	(n=309)	57.9	39.8	40.5	25.9	29.1	20.1	78.0	47.6	9.4	13.3
	賃貸・計	(n=2468)	43.8	45.3	41.1	34.4	23.6	17.8	80.0	59.8	40.9	30.6
	賃貸【戸建て】	(n=43)	44.2	34.9	46.5	34.9	20.9	16.3	67.4	53.5	34.9	23.3
	賃貸【マンション】	(n=1192)	45.8	46.1	41.8	34.2	22.7	17.3	80.6	60.9	42.8	31.8
	賃貸【アパート】	(n=1193)	42.0	44.4	39.8	34.4	23.7	18.0	79.7	59.2	39.2	29.7
	一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	52.3	49.7	51.5	36.2	34.3	26.2	82.3	50.0	20.4	19.2
	未婚既婚別	未婚・計	(n=177)	39.5	44.1	49.2	36.2	26.0	20.3	78.5	55.4	26.0
既婚・計		(n=823)	54.3	50.7	51.9	37.1	36.3	27.9	83.0	49.3	18.5	18.0

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※カテゴリごとに未婚単身世帯全体の降順でソート



家族に関する規範意識

- 家族に関する規範意識についてたずねたところ、未婚単身世帯全体、一般世帯全体ともに、全般的に『自由志向』へ賛同する割合が高く、「結婚や出産は個人の価値観によるので他人がとやかく言うべきではない」が最も高い。

未婚単身世帯

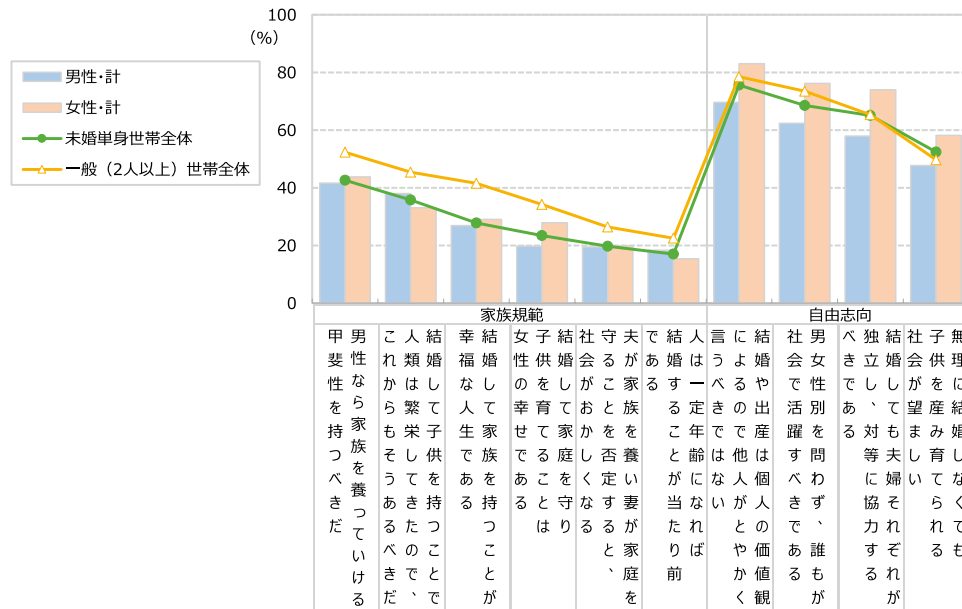
- 性年代別にみると、『自由志向』は全般的に女性・計が男性・計に比べて高い。
- 男性・若年層で「夫が家族を養い妻が家庭を守ることを否定すると、社会がおかしくなる」「人は一定年齢になれば結婚することが当たり前である」のスコアが他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別でみると、『自由志向』の各項目、「結婚して家族を持つことが幸福な人生である」「結婚して家族を守り子供を育てることは女性の幸せである」で賃貸・計が持ち家・計を上回る。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「結婚して子供を持つことで人類は繁栄してきたので、これからもそうあるべきだ」「結婚して家族を持つことが幸福な人生である」で既婚・計が未婚・計を10ポイント程度上回る。

■ 家族に関する規範意識 『そう思う・計』（全体／各単一回答）

家庭についての以下のような考え方に、あなたはどの程度賛同しますか。



		家族規範										自由志向					
		甲斐性なら家族を養ってあげたい	男性なら家族を養ってあげたい	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ	結婚はしなから繁栄するべきだ
未婚単身世帯全体	(n=3000)	42.6	35.8	27.8	23.4	19.7	17.0	18.3	75.6	68.5	65.1	52.4					
性年代別	男性・計	(n=1667)	41.6	38.0	26.9	19.7	19.5	18.3	69.6	62.4	57.9	47.7					
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	42.5	39.8	35.6	22.2	25.5	26.9	69.1	62.9	60.2	51.5					
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	40.1	35.3	23.0	17.8	16.8	15.9	67.9	62.0	57.0	45.9					
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	42.7	39.7	21.9	19.6	16.2	11.2	72.8	62.3	56.6	45.7					
	女性・計	(n=1333)	43.8	33.1	29.0	27.9	19.9	15.4	83.0	76.2	74.0	58.2					
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	44.2	35.9	35.4	32.0	21.8	18.1	81.3	77.4	75.2	56.3					
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	42.7	24.8	14.6	19.1	15.6	9.9	85.4	72.9	71.3	64.6					
女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	43.8	33.6	20.4	21.9	17.5	10.2	89.1	75.9	73.0	55.5						
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	41.0	33.1	20.1	18.8	17.7	14.1	72.6	61.5	57.9	45.1					
	持ち家【戸建て】	(n=223)	42.6	35.9	23.8	17.9	17.9	16.6	70.4	57.0	55.2	39.9					
	持ち家【マンション】	(n=309)	39.8	31.1	17.5	19.4	17.5	12.3	74.1	64.7	59.9	48.9					
	賃貸・計	(n=2468)	42.9	36.4	29.5	24.4	20.1	17.6	76.2	70.1	66.7	53.9					
	賃貸【戸建て】	(n=43)	41.9	34.9	30.2	20.9	11.6	16.3	58.1	51.2	46.5	51.2					
賃貸【マンション】	(n=1192)	42.7	35.7	28.3	24.4	21.6	18.2	76.2	70.0	67.4	52.5						
賃貸【アパート】	(n=1193)	42.6	36.7	30.3	24.0	18.8	16.8	76.4	70.5	66.5	55.0						
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	52.3	45.4	41.5	34.2	26.4	22.5	78.5	73.5	65.3	49.7						
未婚既婚別	未婚・計	(n=177)	50.3	37.3	34.5	30.5	28.2	18.6	73.4	71.8	64.4	58.2					
	既婚・計	(n=823)	53.7	48.7	43.9	36.1	25.6	24.1	79.5	74.8	65.9	48.1					

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※カテゴリごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

将来の住まい

■ 持ち家の予想

□ 今後、住居を購入すると思うかについてたずねたところ、『購入予想・計』は未婚単身世帯全体で18.6%、一般世帯全体で21.6%で大きな差はみられない。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に『購入予想・計』をみると、男女で大きな差はみられない。
男女とも年代が低いほど『購入予想・計』は高くなり、男性・若年層で27.8%、女性・若年層で24.3%と高い。
- 所有形態×居住形態別に『購入予想・計』をみると、賃貸・計(19.5%)が持ち家・計(14.3%)を上回る。

● 一般世帯

□ 未婚別では、大きな差はみられない。

■ 持ち家の予想 (全体/単一回答)

あなたは今後、ご自分の住居を購入することになると思いますか。

		購入予想・計					購入 予想 ・計
		必ず 購入する	たぶん 購入する ことになる と思う	どちらとも いえない・ わからない	たぶん 購入しない と思う	絶対 購入しない	
●凡例							
未婚単身世帯全体	(n=3000)	3.1	15.5	39.3	26.8	15.3	18.6
性 年 代 別	男性・計	2.9	14.8	37.4	27.5	17.3	17.8
	男性・若年層 (20~39歳)	4.2	23.6	42.0	19.8	10.4	27.8
	男性・ミドル層 (40~54歳)	2.5	13.4	40.2	26.5	17.4	15.9
	男性・シニア層 (55~64歳)	2.1	5.9	27.4	38.6	26.0	8.0
	女性・計	3.2	16.4	41.7	25.9	12.8	19.6
	女性・若年層 (20~39歳)	3.6	20.6	48.0	18.8	9.0	24.3
	女性・ミドル層 (40~54歳)	2.5	10.2	32.2	36.0	19.1	12.7
女性・シニア層 (55~64歳)	2.2	2.9	23.4	48.2	23.4	5.1	
居 所 住 有 形 態 別 ×	持ち家・計	3.8	10.5	36.1	28.4	21.2	14.3
	持ち家【戸建て】	3.6	10.3	28.7	30.0	27.4	13.9
	持ち家【マンション】	3.9	10.7	41.4	27.2	16.8	14.6
	賃貸・計	2.9	16.6	40.0	26.4	14.1	19.5
	賃貸【戸建て】	4.7	18.6	25.6	25.6	25.6	23.3
	賃貸【マンション】	3.4	18.1	41.9	24.2	12.4	21.5
賃貸【アパート】	2.3	14.9	38.7	28.7	15.3	17.3	
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	6.6	14.9	34.3	32.0	12.1	21.6
婚 未 既 別	未婚・計	4.0	17.5	39.0	27.7	11.9	21.5
	既婚・計	7.7	14.5	31.5	34.1	12.3	22.1

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

0_19



持ち家の希望種類

- 持ち家の希望種類についてたずねたところ、未婚単身世帯全体で「新築・マンション」「中古・マンション」が41.9%で高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、「中古・マンション」で未婚単身世帯全体のスコアが高い。

未婚単身世帯

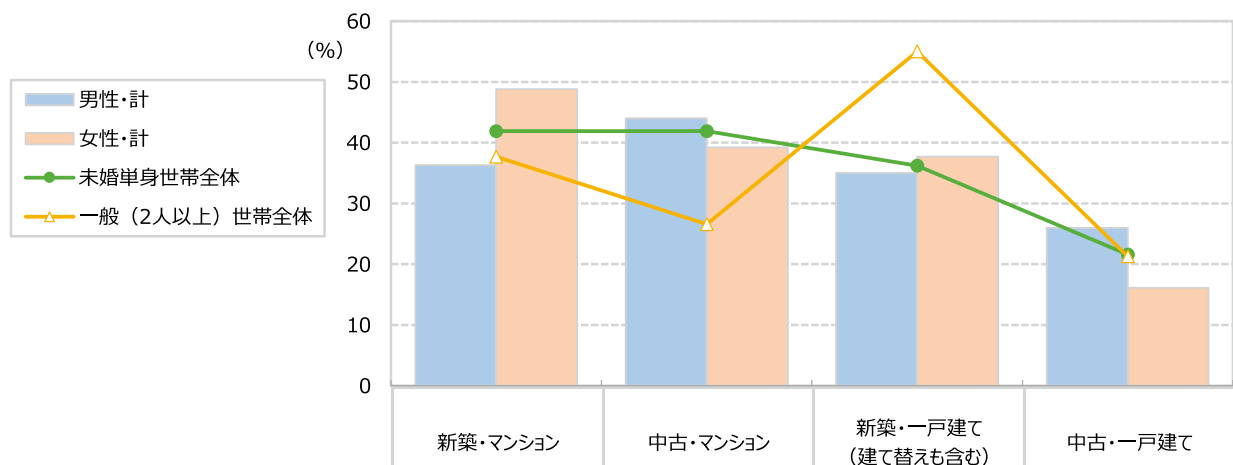
- 性年代別にみると、男性・計で「中古マンション」(44.0%)、女性・計で「新築・マンション」(48.8%)が最も高い。
男女ともに若年層で「新築・一戸建て」が他の層に比べて高い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「新築・マンション」で賃貸・計(42.8%)が持ち家・計(37.4%)を上回る。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「中古・一戸建て」で未婚・計(26.6%)が既婚・計(19.3%)を上回る。

持ち家の希望種類 (全体/複数回答)

あなたが今後、ご自分の住居を購入する場合、どのような住まいをみたいと思いますか。



		新築・マンション	中古・マンション	新築・一戸建て (建て替えも含む)	中古・一戸建て
未婚単身世帯全体	(n=3000)	41.9	41.9	36.2	21.6
性年代別	男性・計	36.3	44.0	35.0	26.0
	男性・若年層 (20~39歳)	38.7	38.7	44.5	28.2
	男性・ミドル層 (40~54歳)	37.7	47.0	30.6	27.5
	男性・シニア層 (55~64歳)	31.1	45.9	29.7	21.0
	女性・計	48.8	39.2	37.7	16.1
	女性・若年層 (20~39歳)	50.7	32.1	46.7	17.6
	女性・ミドル層 (40~54歳)	47.8	54.1	18.5	14.0
	女性・シニア層 (55~64歳)	39.4	51.1	24.1	11.7
居所住有形態別	持ち家・計	37.4	38.2	35.5	17.7
	持ち家【戸建て】	17.5	22.4	58.7	25.1
	持ち家【マンション】	51.8	49.5	18.8	12.3
	賃貸・計	42.8	42.7	36.3	22.5
	賃貸【戸建て】	18.6	16.3	58.1	46.5
	賃貸【マンション】	48.7	45.0	32.0	19.7
賃貸【アパート】	38.6	41.9	39.6	24.1	
一般(2人以上)世帯全体	(n=1000)	37.7	26.6	55.0	21.3
婚未別既	未婚・計	38.4	28.8	51.4	26.6
	既婚・計	37.3	25.6	54.4	19.3

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※未婚単身世帯全体の降順でソート

10年後の同居希望

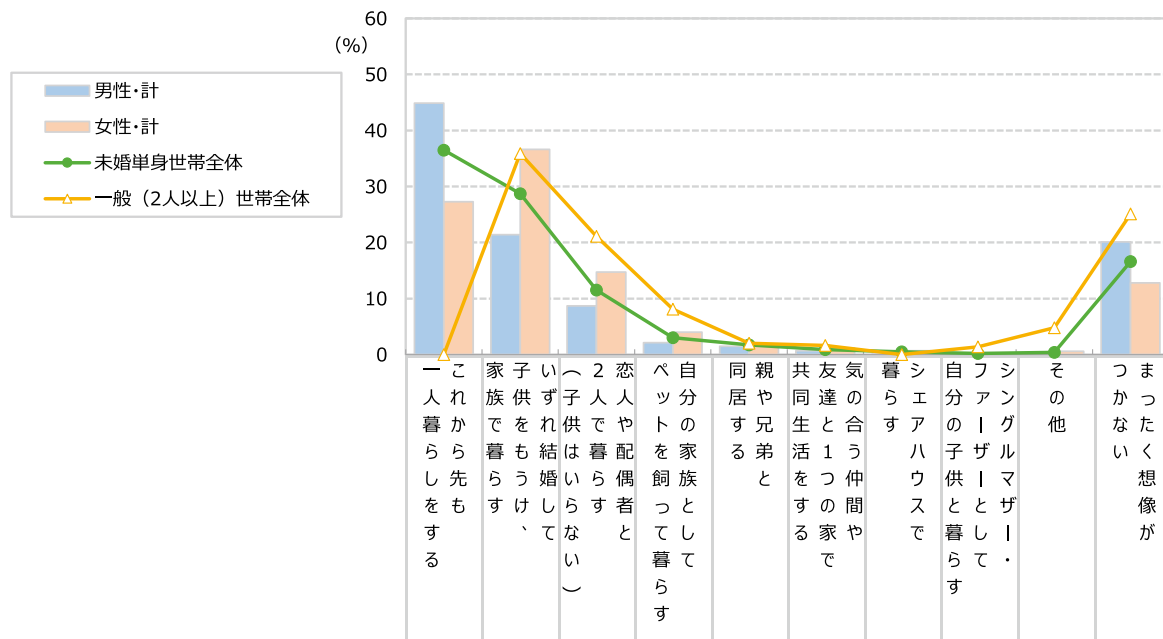
- 賃貸居住者に10年後の同居希望についてたずねたところ、未婚単身世帯全体で「これから先も一人暮らしをする」が36.5%で最も高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、「いずれ結婚して子供をもうけ、家族で暮らす」で未婚単身世帯全体が20ポイント程度低い。

未婚単身世帯

- 性年代別にみると、男性・計で「これから先も一人暮らしをする」(44.9%)、女性・計で「いずれ結婚して子供をもうけ、家族で暮らす」(36.6%)が最も高い。

10年後の同居希望（賃貸居住者／単一回答）

これから10年くらいの人生を考えた時、あなたは誰と暮らしていきたいと思いますか。



未婚単身世帯全体		(n=2468)	36.5	28.7	11.5	3.0	1.7	0.9	0.5	0.2	0.4	16.6
性年代別	男性・計	(n=1283)	44.9	21.4	8.7	2.1	1.5	0.7	0.3	0.1	0.3	20.1
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=520)	31.7	37.1	6.9	1.7	1.2	0.4	0.2	0.2	0.4	20.2
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=501)	50.7	13.6	9.6	2.4	1.4	0.6	0.2	—	0.4	21.2
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=262)	59.9	5.0	10.3	2.3	2.3	1.5	0.8	—	—	17.9
	女性・計	(n=1185)	27.3	36.6	14.7	4.0	1.9	1.2	0.7	0.3	0.6	12.8
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=851)	20.0	49.8	13.4	1.9	1.2	0.8	0.5	0.4	0.5	11.6
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=262)	43.1	3.8	19.8	9.5	3.4	1.9	0.8	—	0.8	16.8
	女性・シニア層 (55~64歳)	(n=72)	56.9	—	11.1	8.3	4.2	2.8	2.8	—	1.4	12.5
	居住形態別 ×	賃貸・計	(n=2468)	36.5	28.7	11.5	3.0	1.7	0.9	0.5	0.2	0.4
	賃貸【戸建て】	(n=43)	46.5	7.0	11.6	2.3	—	—	2.3	—	—	30.2
	賃貸【マンション】	(n=1192)	37.2	28.1	11.7	2.9	2.0	0.7	0.4	0.3	0.3	16.4
	賃貸【アパート】	(n=1193)	35.7	29.8	11.6	2.9	1.4	1.3	0.5	0.1	0.6	16.2
一般 (2人以上) 世帯全体		(n=303)	—	35.9	21.1	8.1	2.0	1.6	—	1.4	4.8	25.1
婚未別	未婚・計	(n=56)	—	48.2	21.4	5.4	5.4	3.6	—	1.8	—	14.3
	既婚・計	(n=248)	—	34.7	20.6	8.1	1.2	1.2	—	1.2	6.0	27.0

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※未婚単身世帯全体の降順でソート ※一般世帯には「これから先も一人暮らしをする」は非表示



10年後の同居予想

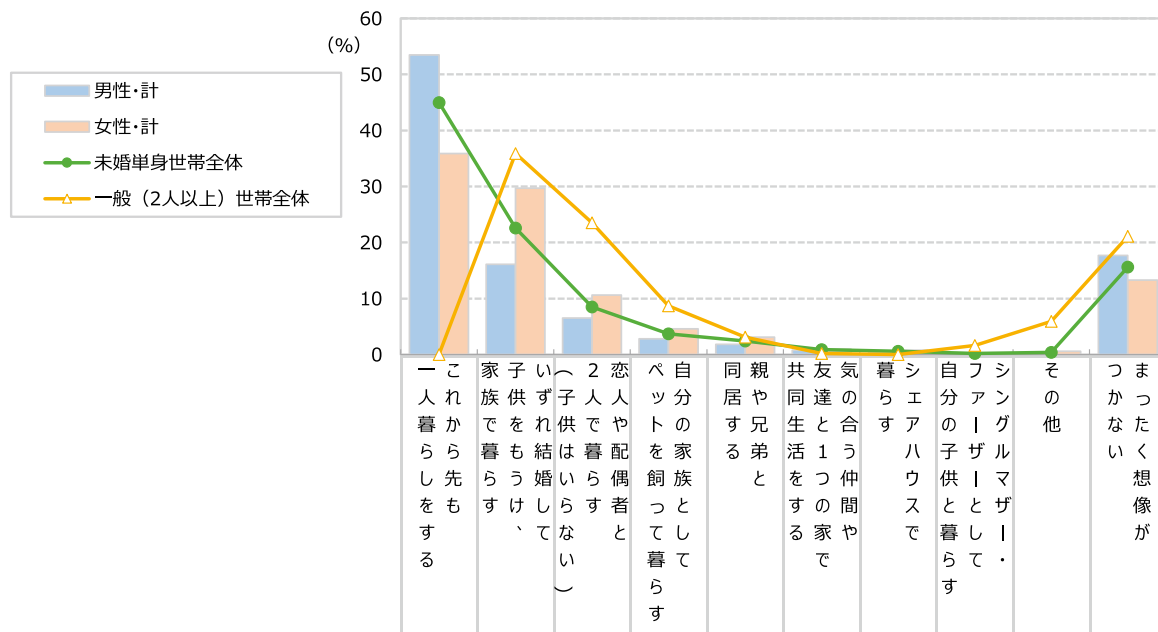
- 賃貸居住者に10年後の同居予想についてたずねたところ、未婚単身世帯全体で「これから先も一人暮らしをする」が45.0%で最も高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、「いずれ結婚して子供をもうけ、家族で暮らす」で未婚単身世帯全体が20ポイント以上低い。

未婚単身世帯

- 性年代別にみると、「これから先も一人暮らしをする」で男性・計（53.5%）が女性・計（35.9%）を大きく上回る。女性・若年層は「いずれ結婚して子供をもうけ、家族で暮らす」（40.9%）が他の層と比べて高い。

10年後の同居予想（賃貸居住者／単一回答）

では、あなたの今後の人生において、もっとも可能性が高そうに思えるものはどれですか。



未婚単身世帯全体		(n=2468)	45.0	22.6	8.5	3.7	2.4	0.9	0.6	0.2	0.4	15.6
性年代別	男性・計	(n=1283)	53.5	16.1	6.5	2.8	1.8	0.8	0.4	0.2	0.2	17.7
	男性・若年層（20～39歳）	(n=520)	41.3	29.6	5.6	2.3	1.5	0.6	0.4	0.2	—	18.5
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=501)	57.7	8.8	7.4	3.2	1.6	1.2	0.2	0.2	0.4	19.4
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=262)	69.5	3.4	6.9	3.1	2.7	0.4	0.8	—	0.4	13.0
	女性・計	(n=1185)	35.9	29.7	10.6	4.6	3.1	1.0	0.8	0.3	0.6	13.3
	女性・若年層（20～39歳）	(n=851)	28.2	40.9	9.8	3.4	2.7	0.8	0.6	0.5	0.2	12.9
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=262)	53.4	1.5	14.5	7.6	4.6	1.5	1.1	—	0.8	14.9
	女性・シニア層（55～64歳）	(n=72)	62.5	—	6.9	8.3	2.8	1.4	1.4	—	4.2	12.5
	居住形態別 ×	賃貸・計	(n=2468)	45.0	22.6	8.5	3.7	2.4	0.9	0.6	0.2	0.4
	賃貸【戸建て】	(n=43)	58.1	2.3	2.3	7.0	—	—	2.3	—	—	27.9
	賃貸【マンション】	(n=1192)	43.7	23.1	9.6	3.4	2.6	0.9	0.6	0.3	0.3	15.5
	賃貸【アパート】	(n=1193)	45.9	22.8	7.8	3.9	2.3	0.9	0.4	0.1	0.5	15.4
一般（2人以上）世帯全体		(n=303)	—	35.9	23.5	8.7	3.1	0.2	—	1.6	5.9	21.1
婚未別	未婚・計	(n=56)	—	44.6	17.9	3.6	7.1	1.8	—	3.6	3.6	17.9
	既婚・計	(n=248)	—	35.5	23.0	9.7	2.0	—	—	1.2	6.5	22.2

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体黒文字
 ※未婚単身世帯全体の降順でソート ※一般世帯には「これから先も一人暮らしをする」は非表示

I.

未婚単身世帯の住生活実態



「家」での生活実態

■ 「家」のハード評価

★ 未婚単身世帯の住んでいる家は『適度な遮断』、『快適』、『広さ・余裕』で相対的に低い評価。

- 家についてあてはまることをたずねたところ、未婚単身世帯全体として高いのは、「外からの視線が気にならない」「部屋の中でゴキブリや虫が出ない」「日当たりや風通しがよい」で、いずれも45%を超えている。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体のスコアが低い項目が多い。特に、「屋外の騒音が気にならない」「住民同士が交流できる共有スペースがある」などの『適度な遮断』に属する項目や、『快適』、『広さ・余裕』に属する項目でスコアの低さが目立つ。一般世帯・未婚・計との差も同様である。

● 未婚単身世帯

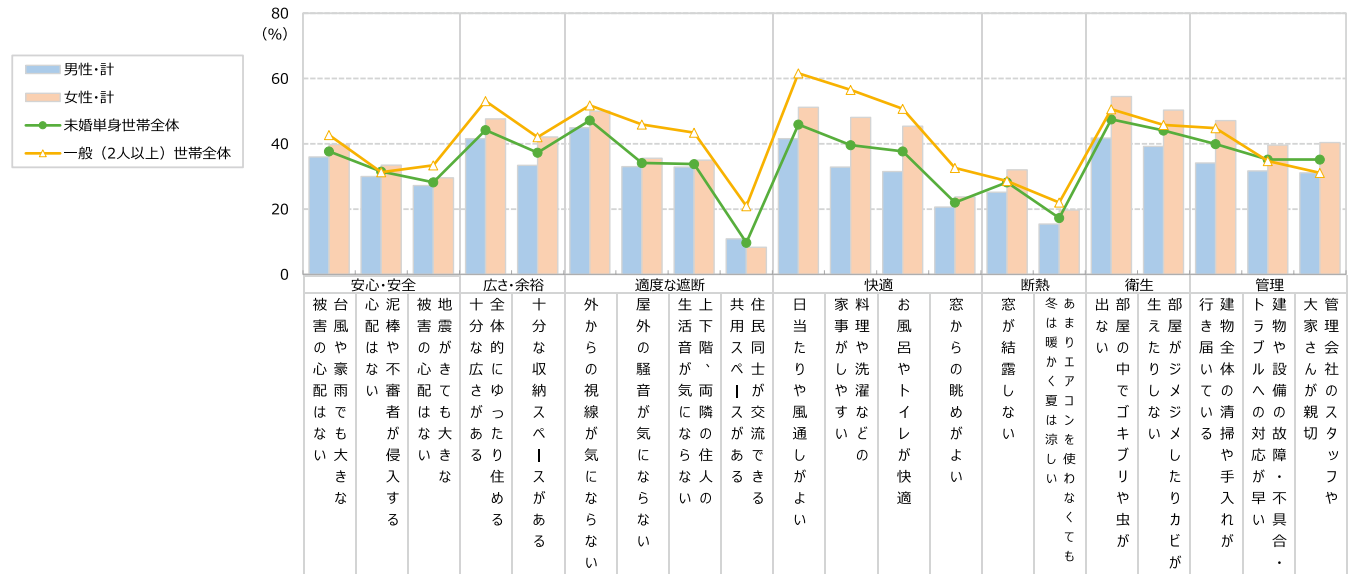
- 性年代別にみると、女性・計が男性・計と比べて高い項目が多く、特に女性・シニア層が他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別にみると、持ち家【マンション】が他の層と比べて高い。

● 一般世帯

- 未既婚別にみると、「泥棒や不審者が侵入する心配はない」『広さ・余裕』「住民同士が交流できる共有スペースがある」「窓からの眺めがよい」以外の項目で、既婚・計が未婚・計を上回る。

■「家」のハード評価『あてはまる・計』（全体／各単一回答）

現在のお住まいについて、以下の各項目はどの程度あてはまりますか。



		(n=3000)	37.7	31.5	28.2	44.2	37.3	47.2	34.1	33.8	9.7	45.9	39.6	37.7	22.0	28.2	17.3	47.5	44.1	39.9	35.2	35.2
未婚単身世帯全体		(n=3000)	37.7	31.5	28.2	44.2	37.3	47.2	34.1	33.8	9.7	45.9	39.6	37.7	22.0	28.2	17.3	47.5	44.1	39.9	35.2	35.2
性別	男性・計	(n=1667)	36.0	30.0	27.2	41.6	33.4	44.9	33.0	32.9	10.9	41.6	32.9	31.5	20.6	25.2	15.4	41.8	39.2	34.1	31.7	31.1
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	30.9	30.5	26.4	40.5	34.0	44.7	31.1	35.1	15.6	36.7	34.0	35.3	21.3	28.7	20.4	46.7	41.3	38.2	33.1	31.8
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	37.1	29.0	27.7	38.1	32.5	41.5	32.0	30.2	8.8	41.8	31.7	29.3	20.0	24.0	14.3	39.3	37.3	34.8	32.7	31.2
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	40.6	30.8	27.4	48.2	34.0	50.2	37.0	34.5	8.2	47.5	33.3	30.1	20.8	22.6	10.7	39.5	39.7	27.9	28.5	29.9
	女性・計	(n=1333)	39.8	33.5	29.6	47.6	42.1	50.0	35.6	35.0	8.3	51.2	48.1	45.4	23.7	32.0	19.7	54.5	50.3	47.1	39.6	40.4
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	37.0	32.2	27.9	46.6	40.2	48.9	34.5	33.4	7.5	48.6	48.0	47.3	21.0	31.2	18.4	55.0	51.4	46.7	39.1	39.2
女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	42.4	32.8	30.9	47.1	44.3	48.4	36.6	34.1	8.6	57.3	46.8	41.1	27.4	31.8	19.7	54.8	48.4	46.8	38.5	42.7	
女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	52.6	43.1	37.2	54.7	48.9	61.3	40.1	46.7	12.4	54.0	51.8	43.1	32.8	37.2	28.5	51.1	47.4	50.4	45.3	42.3	
居住形態	持ち家・計	(n=532)	43.6	35.2	33.1	60.3	44.2	52.1	37.8	41.0	14.5	56.0	48.3	45.9	29.9	36.1	21.6	48.9	46.8	41.7	31.8	31.6
	持ち家【戸建て】	(n=223)	30.5	25.6	26.9	59.6	44.4	44.8	35.9	39.9	8.1	49.3	41.3	41.3	17.0	31.4	12.6	28.7	33.6	16.6	16.1	6.3
	持ち家【マンション】	(n=309)	53.1	42.1	37.5	60.8	44.0	57.3	39.2	41.7	19.1	60.8	53.4	49.2	39.2	39.5	28.2	63.4	56.3	59.9	43.0	49.8
	賃貸・計	(n=2468)	36.4	30.8	27.2	40.8	35.8	46.1	33.3	32.3	8.7	43.7	37.8	35.9	20.3	26.5	16.4	47.2	43.6	39.5	36.0	36.0
	賃貸【戸建て】	(n=43)	25.6	20.9	16.3	44.2	37.2	34.9	27.9	37.2	11.6	25.6	32.6	20.9	16.3	9.3	7.0	25.6	20.9	20.9	25.6	37.2
	賃貸【マンション】	(n=1192)	41.5	35.8	31.5	40.3	34.7	48.4	33.3	35.7	8.1	45.7	38.8	36.8	26.2	28.1	19.5	55.5	49.4	47.1	37.3	38.0
賃貸【アパート】	(n=1193)	31.5	25.4	23.1	41.0	36.9	43.6	33.4	28.7	8.1	42.1	37.0	35.8	14.3	25.2	13.4	39.2	38.6	32.4	35.0	33.9	
婚姻別	一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	42.7	31.3	33.4	53.1	42.0	51.8	45.9	43.4	20.9	61.6	56.5	50.7	32.6	28.6	22.0	50.6	45.8	44.8	34.7	31.1
	未婚・計	(n=177)	37.3	30.5	28.8	52.5	42.4	45.2	37.3	35.6	19.2	50.8	42.9	41.2	31.6	18.6	15.3	32.8	33.3	32.8	28.8	23.7
	既婚・計	(n=823)	44.5	33.0	35.0	53.7	43.0	53.5	48.8	45.7	22.1	64.6	60.0	53.5	34.0	31.2	24.1	54.2	49.8	48.4	37.2	32.7

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体英文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「家」での過ごし方【現状】

★未婚単身世帯、特に男性は、インテリアや家での生活へのこだわりが低め。

- 家での過ごし方をみると、未婚単身世帯全体は「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」(28.5%)がトップ。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体のスコアが低い項目が多い。特に「思い出の写真や記念の品を飾っている」「観葉植物や家庭菜園を育てている」「家でペットを飼っている」でスコア差が大きくなっている。一般世帯・未婚・計との比較でも、「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」で未婚単身世帯全体の方が高い以外は、同様の結果である。

未婚単身世帯

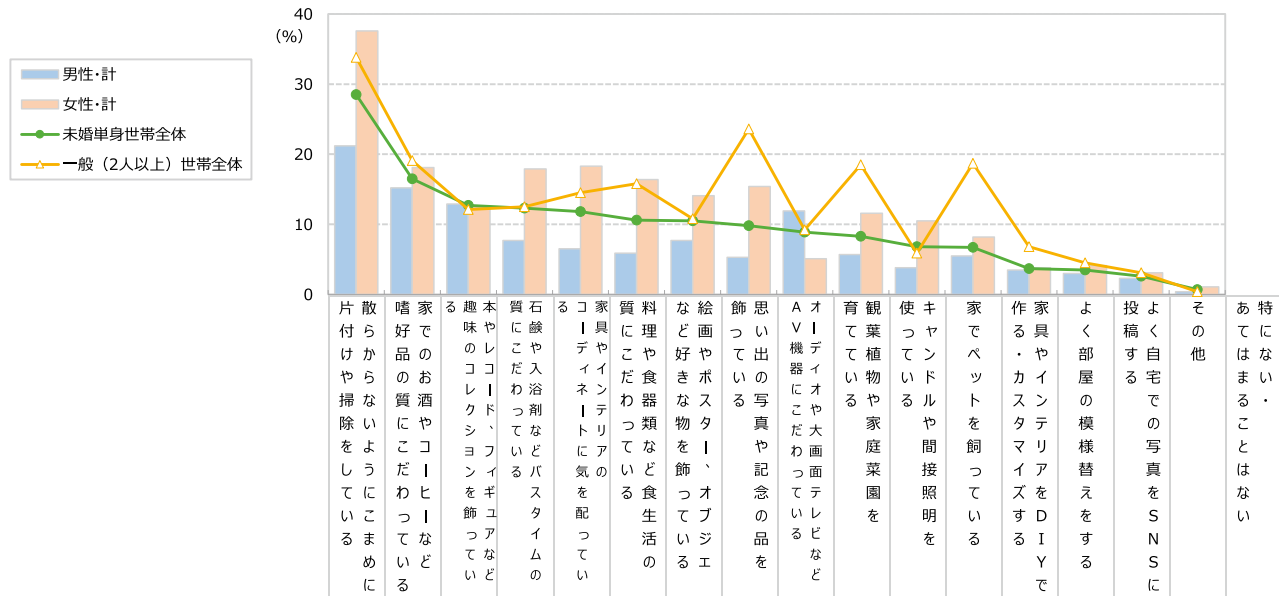
- 性年代別にみると、女性・計が男性・計と比べて高い項目が多い。男性はいずれの年代も「特にない・あてはまることはない」が4割を超える。
- 所有形態×居住形態別にみると、「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」で賃貸・計(29.3%)が持ち家・計(24.6%)をやや上回る。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」「思い出の写真や記念の品を飾っている」「観葉植物や家庭菜園を育てている」で既婚・計が未婚・計を上回る。

「家」での過ごし方【現状】(全体/複数回答)

現在のお住まいでの普段の生活において、「あてはまること」をすべてお選びください。



		(n=3000)	28.5	16.5	12.7	12.3	11.8	10.6	10.5	9.8	8.9	8.3	6.8	6.7	3.7	3.5	2.6	0.7	36.1
性年代別	未婚単身世帯全体	(n=3000)	28.5	16.5	12.7	12.3	11.8	10.6	10.5	9.8	8.9	8.3	6.8	6.7	3.7	3.5	2.6	0.7	36.1
	男性・計	(n=1667)	21.2	15.2	12.9	7.7	6.5	5.9	7.7	5.3	11.9	5.7	3.8	5.5	3.5	3.0	2.3	0.4	43.6
	男性・若年層(20~39歳)	(n=550)	22.7	13.6	13.8	6.7	7.5	6.5	8.5	6.0	10.7	4.2	5.3	4.2	4.9	4.4	3.3	0.5	42.5
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=679)	21.4	15.6	11.9	8.1	6.6	5.7	6.3	4.9	11.6	6.0	4.1	6.8	3.2	1.9	1.8	0.3	45.5
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=438)	19.2	16.7	13.2	8.4	5.3	5.5	8.7	5.0	13.7	7.1	1.6	5.0	2.3	3.0	1.8	0.2	42.0
	女性・計	(n=1333)	37.6	18.1	12.5	17.9	18.3	16.4	14.1	15.4	5.1	11.6	10.5	8.2	3.8	4.1	3.1	1.1	26.7
	女性・若年層(20~39歳)	(n=882)	34.7	15.0	15.2	16.6	19.2	16.2	14.3	15.6	5.7	7.8	11.0	5.2	4.3	4.1	3.6	1.4	27.1
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=314)	43.6	20.4	6.7	19.7	17.2	15.3	12.7	13.1	3.5	16.9	10.2	12.7	1.6	3.8	2.5	0.3	27.4
女性・シニア層(55~64歳)	(n=137)	42.3	32.8	8.8	22.6	15.3	19.7	16.1	19.0	5.1	24.1	8.0	16.8	5.8	4.4	0.7	1.5	22.6	
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	24.6	17.9	13.0	10.2	10.7	8.8	11.7	8.5	15.0	12.6	4.9	11.3	4.5	3.0	1.5	0.4	36.5
	持ち家【戸建て】	(n=223)	17.9	16.1	14.3	8.5	8.5	8.1	6.3	7.6	16.1	12.6	4.0	10.3	4.5	1.8	1.8	0.4	39.0
	持ち家【マンション】	(n=309)	29.4	19.1	12.0	11.3	12.3	9.4	15.5	9.1	14.2	12.6	5.5	12.0	4.5	3.9	1.3	0.3	34.6
	賃貸・計	(n=2468)	29.3	16.2	12.7	12.7	12.0	10.9	10.3	10.0	7.5	7.4	7.2	5.7	3.5	3.6	2.9	0.8	36.0
	賃貸【戸建て】	(n=43)	23.3	11.6	20.9	9.3	4.7	4.7	4.7	9.3	16.3	2.3	4.7	16.3	2.3	2.3	2.3	—	30.2
	賃貸【マンション】	(n=1192)	31.2	18.3	12.1	14.3	13.8	12.8	9.6	10.7	8.2	8.8	9.1	6.6	3.0	3.3	3.4	0.9	34.1
賃貸【アパート】	(n=1193)	27.6	14.0	13.2	11.1	10.4	9.6	11.2	9.6	6.5	6.2	5.4	4.2	3.9	4.0	2.3	0.7	38.2	
一般(2人以上)世帯全体	(n=1000)	33.8	19.1	12.1	12.5	14.5	15.8	10.8	23.6	9.2	18.5	5.9	18.7	6.8	4.5	3.1	0.4	26.2	
未婚別	未婚・計	(n=177)	22.0	16.4	19.2	15.3	12.4	17.5	13.0	17.5	8.5	13.0	5.6	18.6	7.3	5.1	3.4	—	30.5
	既婚・計	(n=823)	35.2	20.5	10.3	12.2	15.2	16.0	11.3	25.5	10.0	19.3	6.0	18.7	6.7	4.5	3.0	0.6	25.3

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/Spt以上高い数値に網掛け/Spt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

1_10

「家」での過ごし方【希望】

- 家での希望の過ごし方をたずねたところ、未婚単身世帯全体は「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」(28.4%)がトップ。
- 未婚単身世帯全体が一般世帯全体のスコアを下回る項目が多い。特に「観葉植物や家庭菜園を育てている」「家でペットを飼っている」でスコアの差が大きい。

● 未婚単身世帯

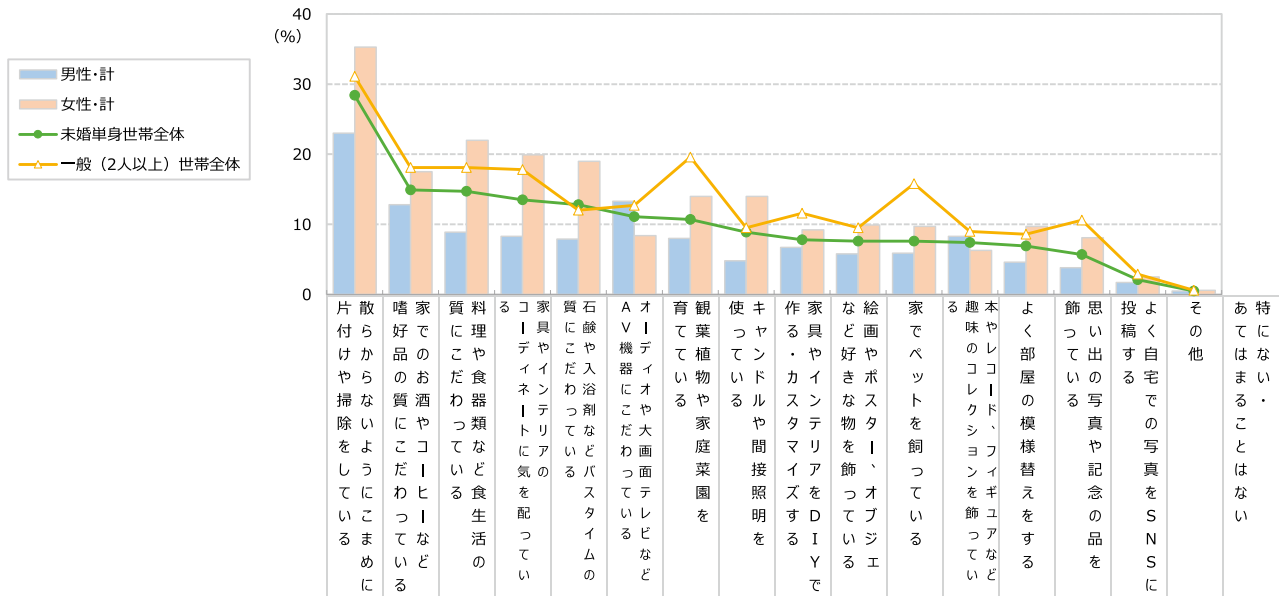
- 性年代別にみると、女性・計が男性・計と比べて高い項目が多い。男性ではいずれの年代も「特にない・あてはまることはない」が4割を超える。
- 所有形態×居住形態別にみると、持ち家【戸建て】で「特にない・あてはまることはない」(48.4%)が他の層と比べて高い。

● 一般世帯

- 未既婚別にみると、「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」で既婚・計(31.6%)が未婚・計(26.6%)を上回っているのが目立つ。

■「家」での過ごし方【希望】(全体/複数回答)

現在のお住まいでの普段の生活において、今後やりたいことをすべてお選びください。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	28.4	14.9	14.7	13.5	12.8	11.1	10.7	8.9	7.8	7.6	7.6	7.4	6.9	5.7	2.1	0.5	37.5
性年代別	男性・計	(n=1667)	23.0	12.8	8.9	8.3	7.9	13.3	8.0	4.8	6.7	5.8	5.9	8.3	4.6	3.8	1.7	0.5	44.3
	男性・若年層(20~39歳)	(n=550)	21.6	12.9	9.8	10.2	6.0	14.5	7.3	5.1	7.6	7.1	6.5	10.0	4.9	4.2	2.5	0.4	40.9
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=679)	22.1	12.7	8.8	8.7	8.2	12.4	8.1	5.4	7.4	4.7	5.3	7.4	5.0	3.5	1.9	0.3	46.5
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=438)	26.0	13.0	7.8	5.5	9.8	13.2	8.9	3.4	4.3	5.7	5.9	7.5	3.7	3.9	0.5	0.9	45.2
	女性・計	(n=1333)	35.3	17.5	22.0	19.9	19.0	8.4	14.0	14.0	9.2	9.9	9.7	6.3	9.7	8.1	2.5	0.6	28.9
	女性・若年層(20~39歳)	(n=882)	34.1	18.8	24.7	21.2	19.7	9.9	13.9	15.4	9.3	11.0	8.4	7.9	10.2	9.8	2.7	0.6	27.3
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=314)	37.6	14.3	18.5	16.6	17.2	6.1	14.6	11.1	8.6	7.3	12.1	2.9	9.9	3.8	2.5	0.3	31.5
女性・シニア層(55~64歳)	(n=137)	37.2	16.1	12.4	19.0	18.2	4.4	12.4	11.7	10.2	8.8	12.4	3.6	5.8	7.3	0.7	1.5	32.8	
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	25.9	13.0	10.7	10.7	11.5	11.8	11.5	7.9	7.7	6.6	7.3	6.8	6.0	3.9	1.5	0.4	41.5
	持ち家【戸建て】	(n=223)	21.5	9.4	9.9	9.0	11.2	11.2	11.2	6.3	8.1	5.4	6.7	6.3	3.6	3.1	1.8	0.4	48.4
	持ち家【マンション】	(n=309)	29.1	15.5	11.3	12.0	11.7	12.3	11.7	9.1	7.4	7.4	7.8	7.1	7.8	4.5	1.3	0.3	36.6
	賃貸・計	(n=2468)	29.0	15.3	15.6	14.1	13.1	11.0	10.5	9.1	7.8	7.8	7.6	7.5	7.1	6.1	2.2	0.6	36.6
	賃貸【戸建て】	(n=43)	30.2	20.9	7.0	2.3	2.3	11.6	7.0	4.7	11.6	9.3	7.0	14.0	4.7	7.0	4.7	—	34.9
賃貸【マンション】	(n=1192)	28.3	15.2	15.4	13.8	12.6	11.6	11.7	10.7	7.0	7.9	7.4	6.3	7.4	6.3	1.8	0.6	35.6	
賃貸【アパート】	(n=1193)	29.0	15.0	16.2	14.5	13.8	10.5	9.6	7.8	8.2	7.5	7.8	8.5	7.0	5.9	2.4	0.6	38.1	
一般(2人以上)世帯全体	未婚・計	(n=1000)	31.1	18.1	18.1	17.8	12.0	12.7	19.6	9.5	11.6	9.5	15.8	9.0	8.6	10.6	2.9	0.6	30.4
	既婚・計	(n=823)	31.6	18.0	18.1	18.3	12.0	12.5	19.3	9.1	11.2	9.6	15.2	9.0	7.7	11.3	2.6	0.7	31.2

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

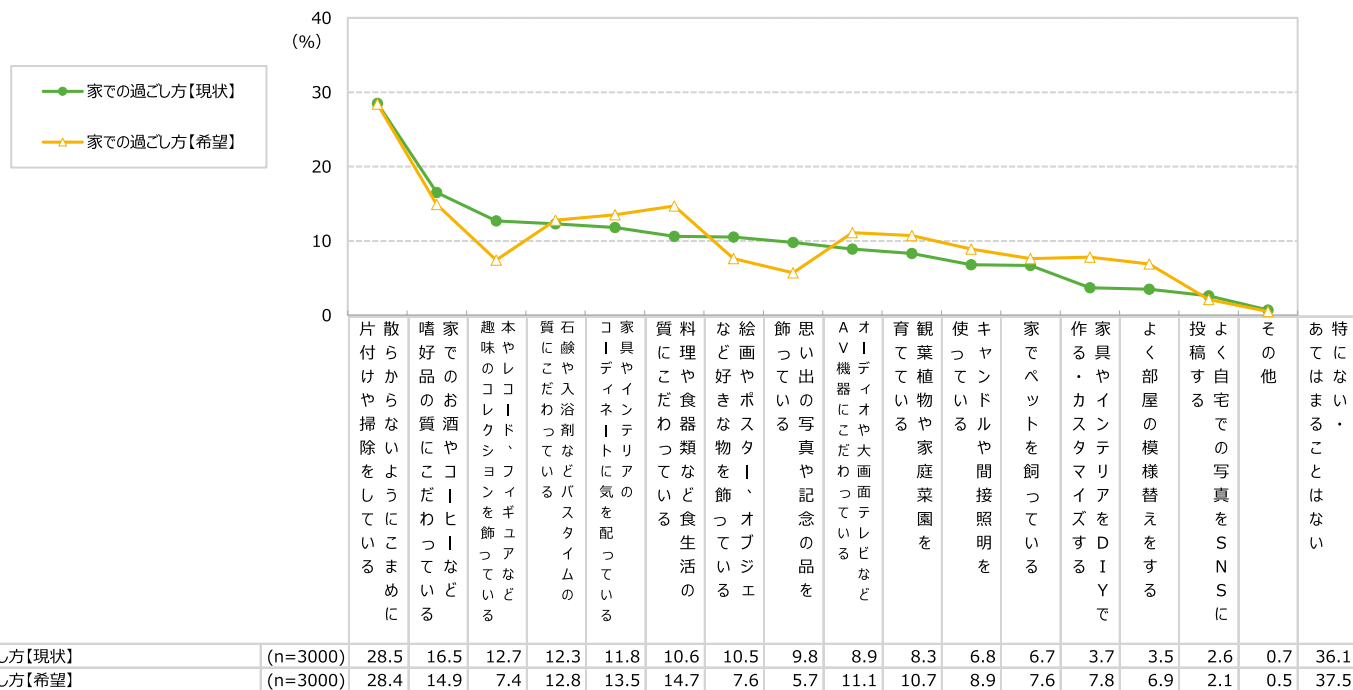
■「家」での過ごし方【現状と希望】

- 未婚単身世帯全体の「家」での過ごし方について【現状】と【希望】を比べた。
- 注目すべきは、【現状】と【希望】とでスコアに大きな差がないこと、項目によっては【希望】が【現状】を下回ることである。
- これらの選択肢は、ある種「家での生活に対するこだわり度」を表していると考えられるが、未婚単身世帯のそうした意向はそれほど高くはないといえそうだ。

■「家」での過ごし方【現状と希望】（未婚単身世帯全体／各複数回答）

現在のお住まいでの普段の生活において、「あてはまること」をすべてお選びください。

現在のお住まいでの普段の生活において、今後やりたいことをすべてお選びください。



※家での過ごし方【現状】の降順でソート

1_10-11

■「家」での交流頻度

★未婚単身世帯も一般世帯も「家」における交流頻度は高くはないが、未婚単身世帯の交流のなさが際立つ。

- 「家」における交流頻度をみると、未婚単身世帯全体は「月に1回程度以上」が14.7%であり、一般世帯全体（11.2%）よりもやや高いが、「ほとんどない」は64.5%であり、一般世帯全体（58.2%）を上回っている。
- ただし、未婚単身世帯と一般世帯・未婚・計を比べると、未婚単身世帯全体の交流頻度の方が高いことがわかる。一般世帯・未婚・計の「ほとんどない」は7割に達する。

●未婚単身世帯

- 性年代別に「月に1回程度以上」をみると、女性・計（18.2%）が男性・計（11.9%）を上回る。
- 所有形態×居住形態別に「月に1回程度以上」をみると、賃貸・計が15.5%で持ち家・計（11.3%）をやや上回る。

●一般世帯

- 未既婚別に「ほとんどない」をみると、未婚・計（70.6%）が既婚・計（55.8%）を大きく上回る。

■「家」での交流頻度（全体／単一回答）

日頃、ご自宅に友人を招く機会はどの程度ありますか。

(%)

		月に1回程度以上	2~3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	1年に1回程度	ほとんどない
●凡例						
未婚単身世帯全体	(n=3000)	14.7%	9.1	7.6	4.1	64.5
性年代別	男性・計	11.9	6.7	5.8	3.2	72.4
	男性・若年層（20~39歳）	18.4	9.8	6.9	3.5	61.5
	男性・ミドル層（40~54歳）	9.1	4.7	4.7	2.9	78.5
	男性・シニア層（55~64歳）	8.2	5.9	5.9	3.2	76.7
	女性・計	18.2	12.1	10.0	5.2	54.5
	女性・若年層（20~39歳）	20.7	14.5	10.8	4.9	49.1
	女性・ミドル層（40~54歳）	10.8	6.4	7.6	5.4	69.7
女性・シニア層（55~64歳）	19.0	9.5	10.2	6.6	54.7	
居所 所有 形態 別 ×	持ち家・計	11.3	7.0	7.9	4.9	69.0
	持ち家【戸建て】	10.8	6.7	5.8	2.7	74.0
	持ち家【マンション】	11.7	7.1	9.4	6.5	65.4
	賃貸・計	15.5	9.6	7.6	3.9	63.5
	賃貸【戸建て】	11.6	4.7	4.7	0	79.1
	賃貸【マンション】	16.0	9.6	7.8	4.0	62.5
賃貸【アパート】	15.3	9.9	7.5	4.0	63.4	
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	11.2	10.9	10.9	8.7	58.2
婚未 別既	未婚・計	9.0	8.5	7.9	4.0	70.6
	既婚・計	12.0	11.5	11.5	9.1	55.8

1_9

■「家」での交流意向

- 「家」における今後の交流意向をたずねたところ、未婚単身世帯全体は『交流したい・計』が11.2%で、一般世帯全体(14.6%)をやや下回る。「まったく交流したくない」をみると、未婚単身世帯全体は36.3%に及ぶ。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、『交流したい・計』のスコアに大きな差はない。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に『交流したい・計』をみると、女性・計(14.9%)が男性・計(8.2%)を上回る。男女とも若年層の方がスコアが高い。
- 所有形態×居住形態別に『交流したい・計』をみると、賃貸・計が11.8%で持ち家・計(8.3%)をやや上回る。

● 一般世帯

- 未既婚別に『交流したい・計』をみると、既婚・計が16.4%で未婚・計(12.4%)をやや上回る。

■「家」での交流意向（全体／単一回答）

あなたは今後、友人や地域の人を自宅に招いて交流をしたいと思いますか。

		交流したい・計					交流したい・計 (%)
		とても交流したい	ある程度日常的に交流したい	たまに交流したい	あまり交流したいとは思わない	まったく交流したくない	
●凡例							
未婚単身世帯全体	(n=3000)	3.0	8.1	25.7	26.9	36.3	11.2
性年代別	男性・計 (n=1667)	2.5	5.6	24.4	29.3	38.1	8.2
	男性・若年層 (20~39歳) (n=550)	4.4	9.6	27.6	24.2	34.2	14.0
	男性・ミドル層 (40~54歳) (n=679)	1.8	3.8	23.0	29.3	42.1	5.6
	男性・シニア層 (55~64歳) (n=438)	1.4	3.4	22.6	35.8	36.8	4.8
	女性・計 (n=1333)	3.7	11.3	27.3	23.8	34.0	14.9
	女性・若年層 (20~39歳) (n=882)	4.8	13.5	27.0	21.9	32.9	18.3
	女性・ミドル層 (40~54歳) (n=314)	1.6	6.7	26.4	25.8	39.5	8.3
女性・シニア層 (55~64歳) (n=137)	1.5	7.3	31.4	31.4	28.5	8.8	
居住形態別 ×	持ち家・計 (n=532)	2.1	6.2	28.2	28.9	34.6	8.3
	持ち家【戸建て】 (n=223)	1.3	6.3	28.7	26.9	36.8	7.6
	持ち家【マンション】 (n=309)	2.6	6.1	27.8	30.4	33.0	8.7
	賃貸・計 (n=2468)	3.2	8.5	25.2	26.4	36.6	11.8
	賃貸【戸建て】 (n=43)	2.3	2.3	30.2	32.6	32.6	4.7
	賃貸【マンション】 (n=1192)	2.8	8.8	24.9	27.3	36.2	11.6
賃貸【アパート】 (n=1193)	3.6	8.5	25.4	25.1	37.3	12.2	
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	3.4	11.2	30.3	30.6	24.4	14.6
婚未別既	未婚・計 (n=177)	2.3	10.2	22.0	32.2	33.3	12.4
	既婚・計 (n=823)	4.0	12.4	31.1	30.4	22.1	16.4

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

1_12

「家」満足度

★未婚単身世帯の「現在の住まいに対する満足度」(「家」満足度)は、一般世帯よりも低い。加重平均で0.59点の差。

- 現在の住まいの満足度について10段階でたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均点は6.28で、一般世帯全体(6.87)を下回る。
- 未婚単身世帯全体(6.28)の平均点は、一般世帯・未婚・計(6.41)よりやや低い。

未婚単身世帯

- 年代別に平均点をみると、女性・計(6.49)が男性・計(6.11)を上回る。特に、男性・ミドル層が5.93で他の層と比べて低い。
- 所有形態×居住形態別に平均点をみると、持ち家・計(6.80)が賃貸・計(6.17)を上回る。持ち家の中でも、【マンション】の平均点が6.96で他の層と比べて高い。

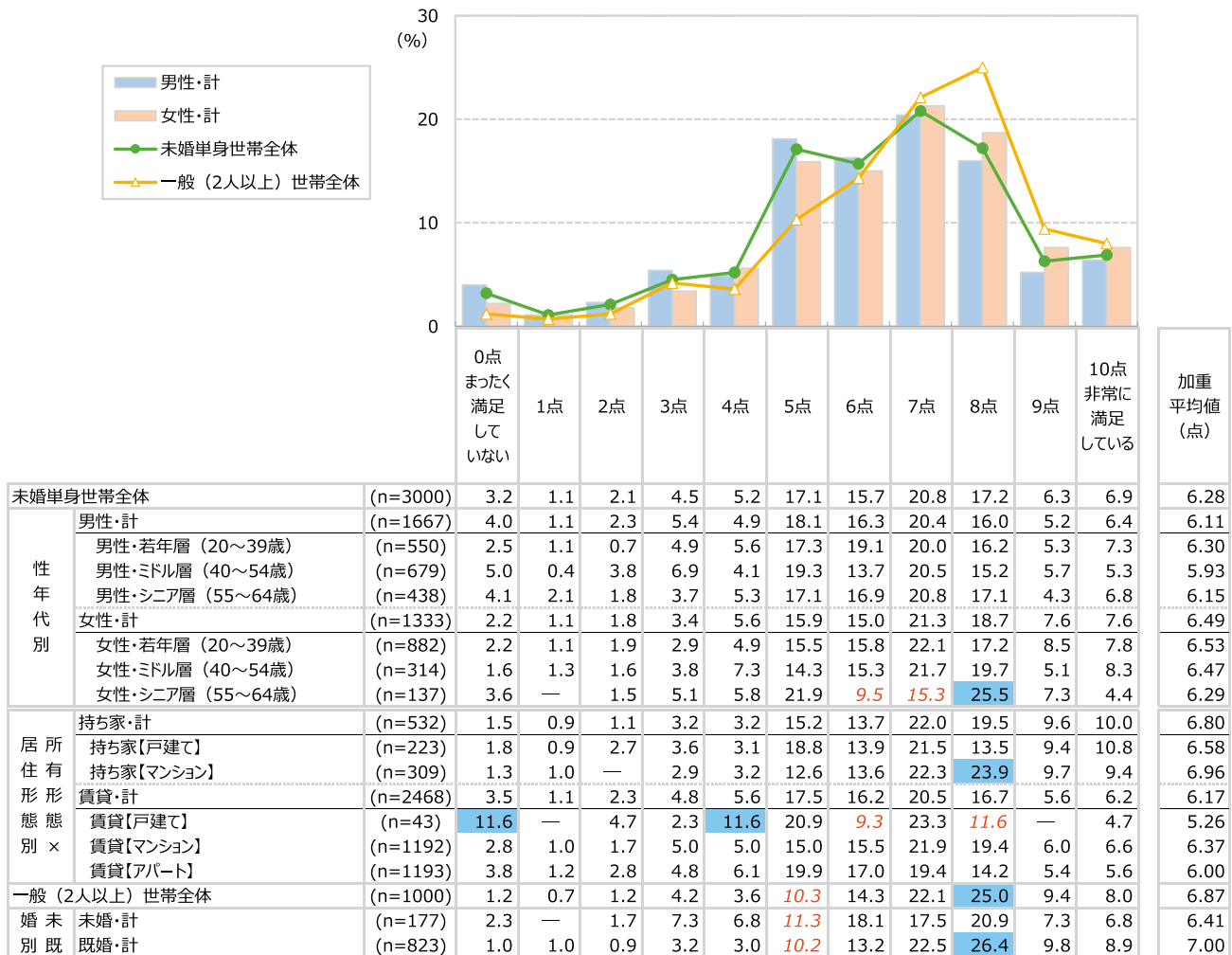
一般世帯

- 未既婚別に平均点をみると、既婚・計が7.00で未婚・計(6.41)を上回る。

「家」満足度(全体/単一回答)

あなたは、「現在のお住まい」について、どの程度満足していますか。

「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点とした場合、何点くらいになるかをお答えください。



※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

1_15

■ 「家」における「感情」

- ここでいう「感情」とは、「楽しい」や「悲しい」などの、日々の暮らしで経験されるネガティブ/ポジティブな感情を指す。
- 過去1週間の家での気分についてたずねたところ、未婚単身世帯全体は「くつろいだ、リラックスした気分」(36.8%)が最も高い。『ネガティブ感情』の中では、「ストレス」(25.6%)が高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体は『ポジティブ感情』が低く、『ネガティブ感情』で高い項目が多い。『ネガティブ感情』の中では「孤独」でスコアの差が大きい。なお、一般世帯・未婚・計は『ポジティブ感情』のスコアが相対的に高いが、「孤独」以外の『ネガティブ感情』はむしろ未婚単身世帯を上回る項目が多いことがわかる。

● 未婚単身世帯

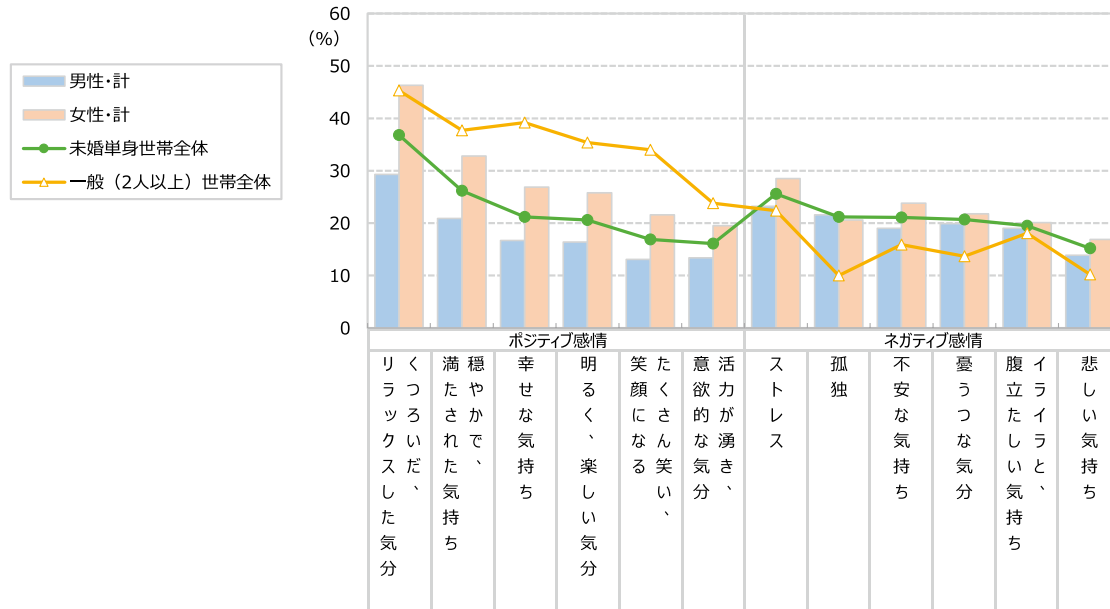
- 性年代別にみると、『ポジティブ感情』で女性・計が男性・計を上回り、『ネガティブ感情』の「ストレス」「不安な気持ち」でも女性・計が男性・計を上回る。男性・ミドル層、シニア層で『ポジティブ感情』のスコアが他の層と比べて低い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「くつろいだ、リラックスした気分」で持ち家・計が賃貸・計を上回る。一方、『ネガティブ感情』で賃貸・計が持ち家・計を上回る。

● 一般世帯

- 未既婚別にみると、未婚・計は既婚・計と比べて『ポジティブ感情』のスコアが低く、『ネガティブ感情』のスコアが高い。

■「家」における「感情」『感じた・計』（全体／各単一回答）

過去1週間、現在のお住まいであなたはどのような気分でしたか。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	36.8	26.2	21.2	20.6	16.9	16.1	25.6	21.2	21.1	20.7	19.5	15.2
性年代別	男性・計	(n=1667)	29.3	20.9	16.7	16.4	13.1	13.4	23.2	21.6	19.0	19.9	19.0	13.9
	男性・若年層（20～39歳）	(n=550)	33.5	27.5	20.7	22.7	18.7	19.6	26.7	24.4	23.1	23.6	22.4	18.9
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=679)	27.2	17.1	15.9	15.6	12.2	13.4	24.6	21.1	19.3	21.8	20.5	13.4
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=438)	27.2	18.7	12.8	9.6	7.3	5.7	16.7	18.9	13.2	12.1	12.6	8.4
	女性・計	(n=1333)	46.3	32.8	26.9	25.8	21.6	19.5	28.5	20.6	23.8	21.8	20.1	16.9
	女性・若年層（20～39歳）	(n=882)	46.6	32.7	27.4	26.1	21.7	20.5	29.9	23.8	26.5	23.7	21.0	19.3
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=314)	44.6	33.4	27.1	24.2	22.3	15.6	28.0	14.3	19.4	18.8	20.1	13.1
女性・シニア層（55～64歳）	(n=137)	48.2	32.1	22.6	27.7	19.7	21.9	20.4	14.6	16.1	16.8	14.6	10.2	
居所形態別 ×	持ち家・計	(n=532)	41.2	27.4	23.5	20.5	16.9	15.8	18.4	17.3	14.8	15.6	15.4	11.5
	持ち家【戸建て】	(n=223)	35.9	21.1	18.8	16.6	14.8	12.1	22.9	22.0	17.9	19.3	19.3	16.1
	持ち家【マンション】	(n=309)	45.0	32.0	26.9	23.3	18.4	18.4	15.2	13.9	12.6	12.9	12.6	8.1
	賃貸・計	(n=2468)	35.9	25.9	20.7	20.6	16.9	16.2	27.1	22.0	22.4	21.8	20.4	16.0
	賃貸【戸建て】	(n=43)	23.3	18.6	16.3	14.0	11.6	9.3	27.9	23.3	18.6	18.6	18.6	14.0
	賃貸【マンション】	(n=1192)	38.8	28.4	23.2	22.4	17.6	17.6	24.7	18.8	21.0	19.6	19.4	14.3
賃貸【アパート】	(n=1193)	33.4	23.8	18.4	18.9	16.2	14.8	29.2	24.7	23.9	23.8	21.3	17.8	
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	45.3	37.7	39.2	35.4	34.0	23.8	22.4	10.0	15.9	13.7	18.1	10.2	
婚別	未婚・計	(n=177)	36.2	33.3	27.7	23.2	24.9	20.3	27.7	13.6	22.6	22.0	23.7	14.7
	既婚・計	(n=823)	46.8	38.9	40.7	38.0	36.0	24.8	21.3	9.1	14.0	11.7	16.4	8.9

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

■ 「家」における「エウダイモニア」

- 「エウダイモニア」とは、人生の意味やフロー経験など、良い人生を送るうえで重要な心的態度・経験のことを指す。詳細は後ページに掲載される『寄稿：ウェルビーイング研究に基づく「住まいの幸福」の再考』にて解説する。
- 家での暮らしについてどのように感じているかをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「家では、自分らしくいられる」(63.4%)が最も高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体が一般世帯全体のスコアを下回る項目が多く、特に「この家があるおかげで、将来に対して楽観的でいられる」「家に誇りを感じる」で差が大きい。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計とを比べると、「家では、自分らしくいられる」「家では、気分転換しやすく、気持ちをリフレッシュすることができる」は未婚単身世帯全体の方が高いが、「家では、自分の成長につながる時間を過ごすことができる」「この家があるおかげで、将来に対して楽観的でいられる」や、「家に誇りを感じる」などが低い。

● 未婚単身世帯

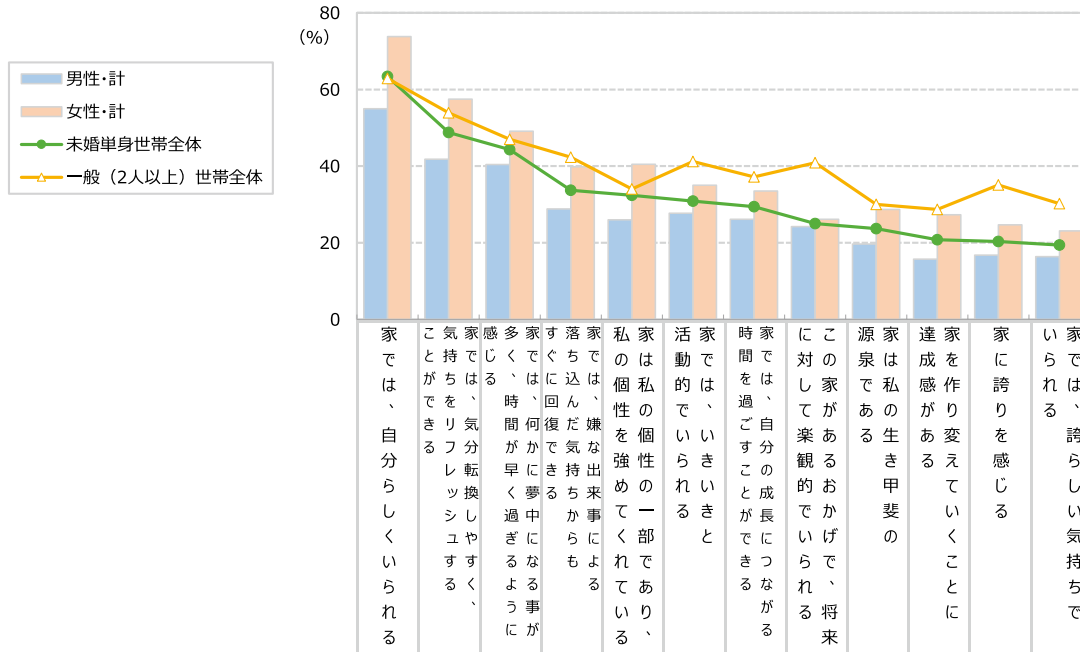
- 性年代別にみると、一般的に男性の方がスコアが低い項目が多く、特にミドル層、シニア層が低い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「この家があるおかげで、将来に対して楽観的でいられる」「家に誇りを感じる」「家では、誇らしい気持ちでいられる」で持ち家・計が賃貸・計を上回る。

● 一般世帯

- 未既婚別にみると、既婚・計は未婚・計と比べてスコアが高い項目が多い。

■「家」における「エウダイモニア」『あてはまる・計』（全体／各単一回答）

現在のお住まいでの暮らしについて、あなたはどのように感じていますか。



		(n=3000)	63.4	48.8	44.3	33.7	32.4	30.9	29.4	25.0	23.7	20.8	20.3	19.4
性 年 代 別	未婚単身世帯全体	(n=3000)	63.4	48.8	44.3	33.7	32.4	30.9	29.4	25.0	23.7	20.8	20.3	19.4
	男性・計	(n=1667)	55.0	41.8	40.4	28.8	26.0	27.7	26.1	24.2	19.7	15.7	16.8	16.4
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	54.4	46.4	45.8	34.2	31.5	32.0	35.1	25.6	22.7	22.9	20.0	21.5
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	53.2	40.9	37.4	27.7	24.4	25.8	22.8	22.8	20.2	13.5	17.1	15.2
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	58.7	37.4	38.4	23.7	21.5	25.1	19.9	24.4	15.3	9.8	12.3	12.1
	女性・計	(n=1333)	73.8	57.5	49.1	39.8	40.5	35.0	33.5	26.1	28.7	27.3	24.7	23.1
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	72.2	56.7	50.0	39.1	43.1	34.7	34.6	24.1	29.7	32.0	25.5	23.6
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	74.5	58.3	45.9	41.7	31.8	35.0	30.6	25.2	25.2	18.2	22.3	20.4
	女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	82.5	61.3	51.1	40.1	43.8	36.5	32.8	40.9	30.7	18.2	24.8	26.3
居 所 住 有 形 態 別	持ち家・計	(n=532)	64.8	51.5	44.5	35.7	34.8	34.4	29.3	46.6	25.6	21.4	31.8	24.2
	持ち家【戸建て】	(n=223)	57.8	48.4	39.9	34.1	32.7	30.9	29.1	43.5	22.0	20.2	28.3	23.3
	持ち家【マンション】	(n=309)	69.9	53.7	47.9	36.9	36.2	36.9	29.4	48.9	28.2	22.3	34.3	24.9
	賃貸・計	(n=2468)	63.0	48.2	44.2	33.3	31.9	30.1	29.4	20.4	23.3	20.7	17.8	18.4
	賃貸【戸建て】	(n=43)	41.9	32.6	30.2	18.6	16.3	14.0	20.9	14.0	11.6	14.0	4.7	9.3
	賃貸【マンション】	(n=1192)	64.3	50.6	44.0	35.6	32.6	33.6	31.5	21.7	25.1	19.8	20.9	20.6
賃貸【アパート】	(n=1193)	62.7	46.8	44.7	31.6	32.0	27.5	27.6	18.9	22.3	22.0	15.3	16.5	
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	62.9	53.9	47.0	42.3	34.0	41.2	37.2	40.9	30.0	28.7	35.1	30.2	
婚 別	未婚・計	(n=177)	58.2	43.5	47.5	33.9	34.5	34.5	35.0	37.9	24.3	23.2	29.9	26.6
	既婚・計	(n=823)	65.2	56.9	47.8	45.3	35.0	43.0	39.4	42.0	32.6	30.4	37.1	31.8

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「街」での生活実態

「街」のハード評価

★未婚単身世帯は、相対的に「利便性、多様性が高く、コミュニティ度の低い」エリアに住んでいる傾向。

- 今住んでいる地域についてあてはまることをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る」(68.8%)、「買い物や病院など日常生活の利便性が高い」(62.3%)などの利便性に関する項目や、「一戸建てやマンション、賃貸アパートなど多様な住宅がある」(67.1%)といった多様性に関する項目が6割を超えている。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、上記で挙げた利便性に関する項目や、『多様性』に属する項目は未婚単身世帯全体のスコアが高い一方、「子育てや教育により環境が整っている」や、『コミュニティ』に属する項目で一般世帯・未婚・計の方が高くなっている。

未婚単身世帯

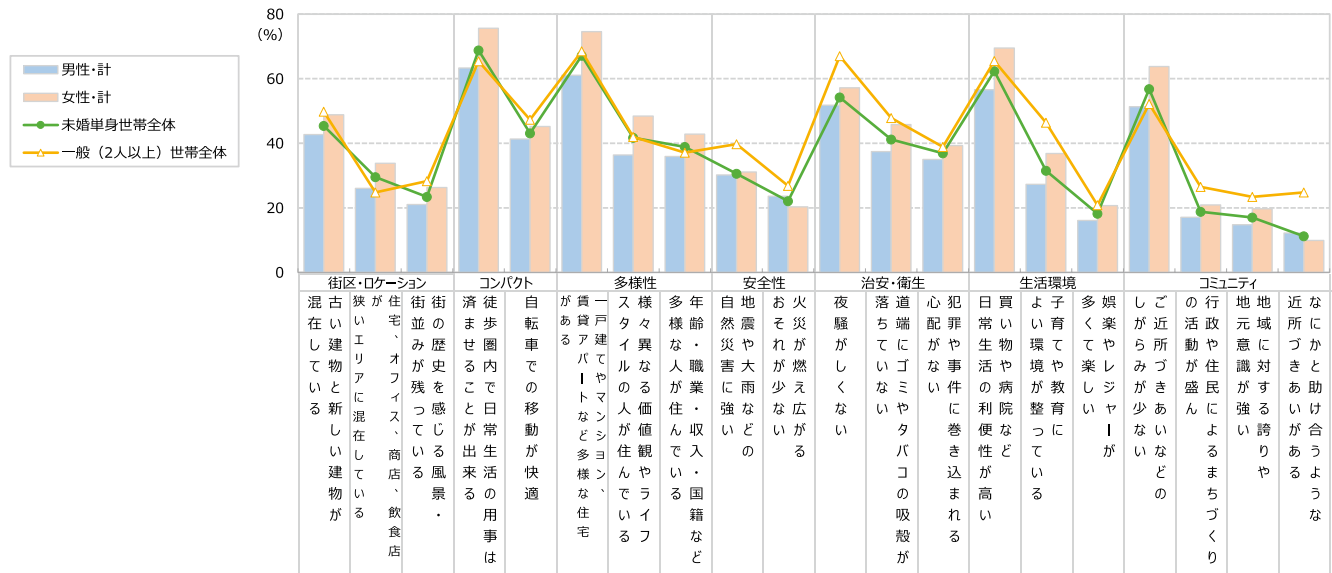
- 性年代別にみると、男女ともに「徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る」がトップ。男性・計が女性・計を下回る項目が多く、男性・ミドル層とシニア層が特に低い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「ご近所づきあいなどのしがらみが少ない」で賃貸・計が持ち家・計を10ポイント以上上回る。

一般世帯

- 未婚別別にみると、既婚・計は「夜騒がしくない」(69.6%)が最も高く、未婚・計のスコア(58.8%)を大きく上回る。

「街」のハード評価『あてはまる・計』(全体/各単一回答)

現在のお住まいの地域について、以下の各項目はどの程度あてはまりますか。



		街区・ロケーション	コンパクト	多様性	安全性	治安・衛生	生活環境	コミュニティ	近所づきあいが盛んな	行政サービスが充実している	地域意識が高い	近所づきあいが盛んな										
未婚単身世帯全体	(n=3000)	45.4	29.5	23.4	68.8	43.1	67.1	41.7	38.9	30.6	22.1	54.2	41.2	36.9	62.3	31.5	18.2	56.8	18.8	17.0	11.2	
	男性・計	(n=1667)	42.7	26.0	21.0	63.3	41.3	61.1	36.4	35.9	30.2	23.6	51.8	37.4	35.0	56.6	27.3	16.1	51.3	17.1	14.8	12.2
性年代別	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	45.5	28.5	23.3	64.9	44.7	63.6	41.1	38.9	26.4	25.5	47.8	36.7	35.3	57.6	30.5	20.2	54.7	21.6	16.7	14.2
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	42.3	24.4	21.1	60.7	41.2	59.5	36.7	34.5	33.4	20.8	50.7	37.6	34.0	55.7	25.3	14.1	49.6	15.8	14.7	10.2
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	40.0	25.1	18.0	65.5	37.2	60.5	30.1	34.2	30.1	25.8	58.4	38.1	36.1	56.6	26.3	14.2	49.5	13.5	12.6	12.8
	女性・計	(n=1333)	48.8	33.8	26.3	75.6	45.2	74.6	48.4	42.8	31.1	20.3	57.2	45.8	39.3	69.5	36.8	20.7	63.8	20.9	19.7	9.9
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	48.6	33.8	26.8	74.8	46.6	74.8	50.2	43.7	28.8	18.0	55.9	43.8	38.1	67.8	39.3	20.6	64.2	21.4	19.6	8.7
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	50.6	34.7	24.5	77.1	39.5	73.9	41.7	37.6	34.1	22.6	55.1	48.4	41.1	73.9	31.2	22.9	61.8	19.4	20.4	11.8
女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	46.0	32.1	27.7	77.4	49.6	74.5	51.8	48.9	39.4	29.2	70.8	53.3	43.1	70.8	33.6	16.1	65.7	20.4	19.0	13.1	
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	39.1	23.1	22.6	63.2	41.4	59.6	35.5	35.2	35.2	28.4	54.7	40.6	37.2	58.6	30.3	15.4	46.1	18.2	17.1	17.9
	持ち家【戸建て】	(n=223)	41.3	15.7	18.4	50.2	37.2	52.5	26.9	23.3	33.2	23.8	58.7	40.4	37.2	46.2	27.8	12.1	33.6	12.1	16.1	25.1
	持ち家【マンション】	(n=309)	37.5	28.5	25.6	72.5	44.3	64.7	41.7	43.7	36.6	31.7	51.8	40.8	37.2	67.6	32.0	17.8	55.0	22.7	17.8	12.6
	賃貸・計	(n=2468)	46.8	30.8	23.5	70.0	43.4	68.7	43.1	39.7	29.7	20.8	54.1	41.3	36.8	63.1	31.8	18.8	59.2	18.9	17.0	9.7
	賃貸【戸建て】	(n=43)	37.2	20.9	18.6	46.5	27.9	46.5	23.3	23.3	27.9	4.7	55.8	27.9	30.2	34.9	25.6	14.0	39.5	11.6	14.0	16.3
賃貸【マンション】	(n=1192)	46.3	33.9	25.7	74.3	42.0	69.6	45.6	41.7	31.0	24.3	51.8	41.8	38.5	65.5	33.5	21.7	60.2	20.8	19.0	9.9	
賃貸【アパート】	(n=1193)	47.8	28.2	21.5	66.8	45.3	68.7	41.2	38.1	28.2	17.4	56.4	41.1	35.3	62.0	30.3	16.1	59.0	17.4	14.9	9.1	
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	49.8	24.8	28.3	65.4	47.3	68.5	42.0	37.1	39.7	26.8	67.0	47.8	38.9	65.5	46.4	20.8	52.2	26.5	23.4	24.8	
未婚別	未婚・計	(n=177)	52.0	24.3	23.2	63.3	44.6	59.3	35.0	28.2	33.3	23.2	58.8	39.5	36.7	55.4	37.3	15.8	42.4	23.2	28.2	23.2
	既婚・計	(n=823)	48.1	25.6	29.4	66.2	47.1	70.1	43.6	39.1	41.3	27.9	69.6	49.8	40.0	67.2	49.1	22.0	54.6	27.5	22.6	25.4

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体未文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

■ 居住エリアを選んだ理由

★ 未婚単身世帯の居住エリア選択理由は、まず「通勤・通学の利便性」と「手頃な家賃・住宅価格」。

- 今住んでいる地域に住むことを決めた理由をたずねたところ、未婚単身世帯全体は「通勤・通学に便利だから」(53.8%)が最も高く、「買い物など日常生活が便利だから」(36.0%)が続く。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、「通勤・通学に便利だから」「家賃・住宅価格が手頃だから」で未婚単身世帯全体のスコアが高い。一方、一般世帯全体は「生まれ育った地域だから」「実家へのアクセスがよいから」が高い。

● 未婚単身世帯

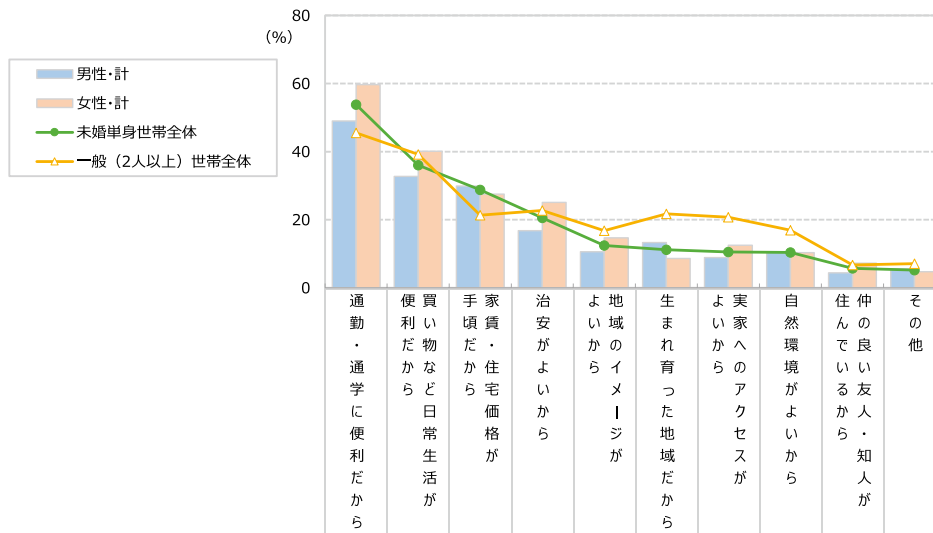
- 性年代別にみると、男女ともに「通勤・通学に便利だから」がトップで、年代が若いほどスコアが高くなっている。「通勤・通学に便利だから」「買い物など日常生活が便利だから」「治安がよいから」で、女性・計が男性・計のスコアを5ポイント以上上回る。
- 所有形態×居住形態別にみると、「通勤・通学に便利だから」(57.2%)、「家賃・住宅価格が手頃だから」(30.7%)で賃貸・計が持ち家・計を上回る。

● 一般世帯

- 未婚・計にみると、未婚・計は「生まれ育った地域だから」(42.9%)が最も高く、既婚・計のスコア(16.5%)を大きく上回る。

■ 居住エリアを選んだ理由 (全体／複数回答)

あなたが現在お住いの地域に住むことを決めた理由はどのようなものですか。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	53.8	36.0	28.8	20.5	12.4	11.2	10.5	10.4	5.7	5.2	
性年代別	男性・計	(n=1667)	49.0	32.7	29.9	16.8	10.6	13.3	8.9	10.5	4.4	5.6	
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	53.5	29.6	26.5	19.3	9.5	8.0	10.4	10.4	3.6	5.8	
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	50.7	33.6	32.0	14.6	11.3	14.7	8.7	8.5	4.1	4.7	
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	40.9	35.2	30.8	17.1	10.7	17.6	7.5	13.7	5.9	6.8	
	女性・計	(n=1333)	59.7	40.1	27.5	25.1	14.7	8.6	12.5	10.3	7.2	4.7	
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	64.3	37.9	26.3	25.7	14.7	5.9	11.6	8.6	7.1	4.1	
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	56.4	47.8	30.6	25.5	15.0	13.1	15.9	13.4	7.6	5.7	
	女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	38.0	37.2	27.7	20.4	13.9	16.1	10.9	13.9	6.6	6.6	
	居住形態別 × 所有形態別	持ち家・計	(n=532)	37.8	33.8	19.9	20.9	10.3	28.0	13.5	15.0	3.4	5.6
		持ち家【戸建て】	(n=223)	21.5	21.5	13.9	22.9	6.3	44.4	8.1	15.2	2.7	9.0
持ち家【マンション】		(n=309)	49.5	42.7	24.3	19.4	13.3	16.2	17.5	14.9	3.9	3.2	
賃貸・計		(n=2468)	57.2	36.5	30.7	20.4	12.8	7.6	9.9	9.4	6.2	5.1	
賃貸【戸建て】		(n=43)	37.2	30.2	23.3	14.0	11.6	27.9	14.0	7.0	14.0	7.0	
賃貸【マンション】		(n=1192)	60.3	39.5	28.2	22.7	14.3	7.0	10.6	9.6	6.0	5.0	
賃貸【アパート】		(n=1193)	55.6	34.5	33.3	18.9	11.8	7.5	9.2	9.4	6.2	4.2	
一般(2人以上)世帯全体		(n=1000)	45.5	39.2	21.3	22.7	16.8	21.7	20.7	16.9	6.7	7.1	
婚姻別	未婚・計	(n=177)	29.9	31.1	15.3	24.3	10.2	42.9	7.9	11.9	6.8	4.5	
	既婚・計	(n=823)	47.4	39.9	21.7	23.7	19.0	16.5	21.3	20.3	6.9	7.4	

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

■ 地域での友人数

★未婚単身世帯の7割は(現在住んでいる地域に)「親しい友人はいない」。

- 住んでいる地域の友人数をたずねたところ、未婚単身世帯全体は「親しい友人はいない」が70.4%を占め、一般世帯全体のスコア(58.8%)を大きく上回る。平均人数で見ると、未婚単身世帯全体は3.78人で、一般世帯全体(4.87人)を下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、未婚単身世帯全体の「親しい友人はいない」(70.4%)のスコアが一般世帯・未婚・計(61.0%)を上回る。
 - ただし平均人数は、未婚単身世帯全体(3.78人)、一般世帯・未婚・計(3.83人)で同程度。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に「親しい友人はいない」をみると、男性・計(73.2%)が女性・計(66.9%)を上回る。平均人数で見ると、男性・若年層が4.42人での層と比べてやや多い。
- 所有形態×居住形態別にみると、友人数に大きな差はみられない。

● 一般世帯

- 未婚別に平均人数をみると、既婚・計(5.35人)が未婚・計(3.83人)を上回る。

■ 地域での友人数(全体/実数回答)

現在お住まいの地域に、よく会って話をする親しい友人は何人いますか。

(%)

		1人	2人	3人	4~5人	6人以上	親しい友人はいない	平均人数(人) ※0人を含まず
●凡例								
未婚単身世帯全体	(n=3000)	7.3%	7.25	5.5	7	3.9	70.4	3.78
性年代別	男性・計	6.8	5.64	8.5	5	4.1	73.2	4.00
	男性・若年層(20~39歳)	8.4	5.1	6.2	6.7	4.9	68.7	4.42
	男性・ミドル層(40~54歳)	5.9	5.33	8.4	0	3.4	77.6	3.60
	男性・シニア層(55~64歳)	6.2	6.84	6.6	4.4	1	71.9	3.92
	女性・計	8.0	9.2	6.3	5.9	3.7	66.9	3.55
	女性・若年層(20~39歳)	8.0	9.1	5.0	5.6	3.6	68.7	3.55
	女性・ミドル層(40~54歳)	7.6	8.9	8.3	5.4	3.8	65.9	3.53
	女性・シニア層(55~64歳)	8.0	10.9	10.2	9.5	3.6	57.7	3.57
居住形態別×	持ち家・計	7.0	6.05	8.5	6	3.4	72.2	3.72
	持ち家【戸建て】	6.3	4.55	8.5	8	3.1	74.4	3.61
	持ち家【マンション】	7.4	7.15	8.5	5	3.6	70.6	3.79
	賃貸・計	7.4	7.55	4.5	7	4.0	70.0	3.79
	賃貸【戸建て】	7.0	14.0	2.3	4.7	11.6	60.5	4.35
	賃貸【マンション】	7.4	7.36	5.6	0	3.4	69.5	3.76
	賃貸【アパート】	7.4	7.34	5.5	2	4.1	71.5	3.76
一般(2人以上)世帯全体	(n=1000)	5.4	8.3	9.5	10.0	8.0	58.8	4.87
未婚別	未婚・計	5.6	9.6	9.6	9.0	5.1	61.0	3.83
	既婚・計	4.9	7.5	8.9	10.6	9.4	58.8	5.35

1_2

友人になったきっかけ

- 親しい友人がいる者に友人になったきっかけをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「会社や仕事を通じての友人」(46.5%)が最も高く、「幼馴染や学友など古くからの友人」(44.8%)が同程度で続く。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体は「会社や仕事を通じての友人」「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」のスコアが高い一方、「同じ地域や集合住宅に住む者同士として」のスコアが低い。

未婚単身世帯

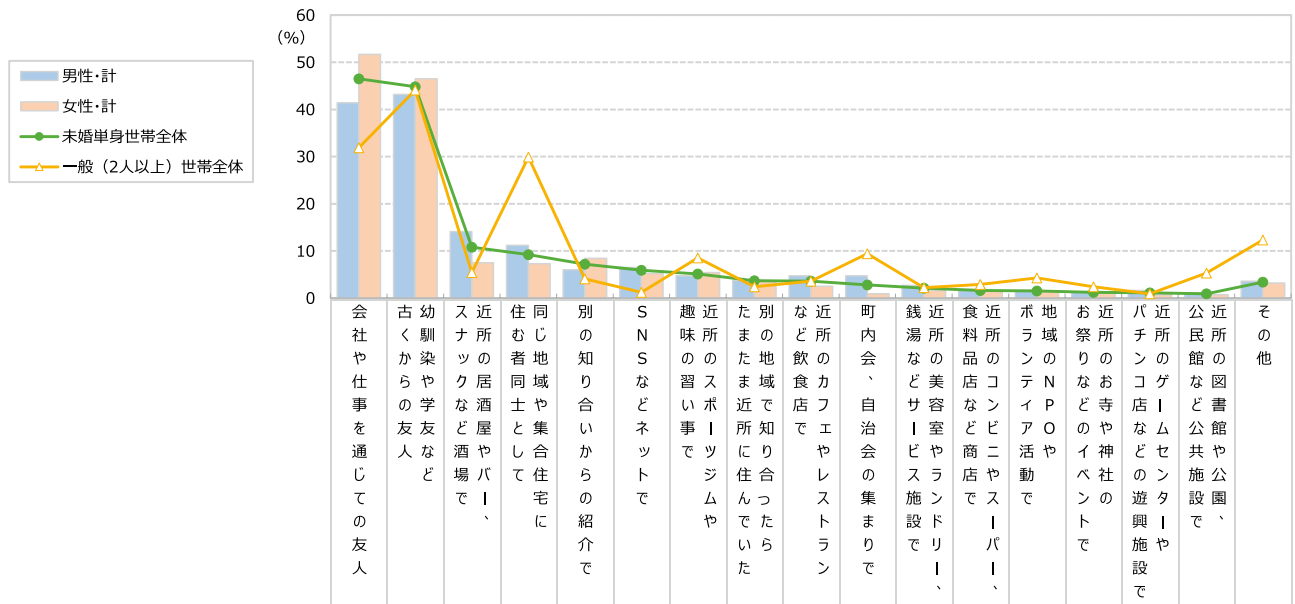
- 性年代別にみると、「会社や仕事を通じての友人」で女性・計(51.7%)が男性・計(41.4%)を大きく上回る一方、「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」は男性・計(14.1%)が女性・計(7.5%)を上回る。男性・若年層は「SNSなどネットで」(11.0%)が他の層と比べてやや高く、男性・シニア層は「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」(20.3%)が他の層と比べて高め。
- 所有形態×居住形態別にみると、「会社や仕事を通じての友人」で賃貸・計(48.5%)が持ち家・計(36.5%)を上回る。一方、「同じ地域や集合住宅に住む者同士として」は持ち家・計が賃貸・計を上回り、特に、持ち家【マンション】(19.8%)で他の層と比べて高い。

一般世帯

- 未既婚別にみると、未婚・計は「幼馴染や学友など古くからの友人」(71.0%)が7割を超えて高い。

■ 友人になったきっかけ(親しい友人がいる者/複数回答)

親しい友人とは、どのようにして知り合いましたか。



未婚単身世帯全体		(n=888)	46.5	44.8	10.8	9.2	7.2	5.9	5.1	3.7	3.6	2.8	2.1	1.6	1.5	1.2	1.1	0.9	3.4	
性年代別	男性・計	(n=447)	41.4	43.2	14.1	11.2	6.0	6.5	4.7	3.8	4.7	4.7	2.7	1.8	1.6	1.3	1.6	1.1	3.6	
	男性・若年層(20~39歳)	(n=172)	40.7	51.2	8.7	7.6	6.4	11.0	2.3	4.7	2.3	2.3	3.5	0.6	1.2	1.2	1.2	—	2.3	
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=152)	42.8	40.1	15.1	12.5	5.9	5.3	7.9	3.3	7.2	6.6	3.3	2.0	1.3	0.7	1.3	0.7	4.6	
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=123)	40.7	35.8	20.3	14.6	5.7	1.6	4.1	3.3	4.9	5.7	0.8	3.3	2.4	2.4	2.4	3.3	4.1	
	女性・計	(n=441)	51.7	46.5	7.5	7.3	8.4	5.2	5.4	3.6	2.5	0.9	1.6	1.4	1.4	1.1	0.7	0.7	3.2	
	女性・若年層(20~39歳)	(n=276)	51.1	51.1	5.4	4.0	8.0	7.2	4.7	3.6	1.4	—	0.7	0.4	1.1	1.4	0.7	—	1.8	
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=107)	60.7	42.1	11.2	9.3	8.4	2.8	5.6	2.8	6.5	1.9	2.8	3.7	1.9	0.9	—	0.9	2.8	
	女性・シニア層(55~64歳)	(n=58)	37.9	32.8	10.3	19.0	10.3	—	8.6	5.2	—	3.4	3.4	1.7	1.7	—	1.7	3.4	10.3	
	居住形態別×	持ち家・計	(n=148)	36.5	41.2	9.5	16.2	6.1	1.4	6.1	2.7	4.1	8.8	0.7	2.0	3.4	0.7	0.7	2.0	5.4
		持ち家【戸建て】	(n=57)	31.6	47.4	8.8	10.5	—	—	7.0	—	3.5	10.5	1.8	3.5	3.5	1.8	1.8	5.3	7.0
持ち家【マンション】		(n=91)	39.6	37.4	9.9	19.8	9.9	2.2	5.5	4.4	4.4	7.7	—	1.1	3.3	—	—	—	4.4	
賃貸・計		(n=740)	48.5	45.5	11.1	7.8	7.4	6.8	4.9	3.9	3.5	1.6	2.4	1.5	1.1	1.4	1.2	0.7	3.0	
賃貸【戸建て】		(n=17)	29.4	76.5	17.6	—	5.9	5.9	—	5.9	—	5.9	—	5.9	5.9	—	—	—	—	
賃貸【マンション】		(n=364)	51.4	44.2	11.8	9.1	7.1	6.3	6.0	4.1	3.8	1.6	3.6	1.1	1.1	1.9	1.4	0.5	3.0	
賃貸【アパート】	(n=340)	46.2	46.2	9.7	6.2	7.6	7.4	4.1	3.8	2.9	1.5	1.5	2.1	0.9	0.6	0.6	0.9	3.2		
一般(2人以上)世帯全体	(n=412)	31.9	44.1	5.4	29.9	4.1	1.2	8.5	2.4	3.6	9.4	2.2	2.9	4.3	2.4	0.9	5.3	12.3		
未婚既婚別	未婚・計	(n=69)	27.5	71.0	7.2	17.4	1.4	4.3	4.3	5.8	1.4	4.3	2.9	2.9	1.4	—	2.9	1.4	1.4	
	既婚・計	(n=339)	33.0	38.9	6.2	33.0	5.0	0.6	10.0	2.1	4.1	11.8	2.4	3.5	5.6	3.2	0.9	5.6	13.9	

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

友人との交流場所

- 親しい友人がいる者に友人との交流場所をたずねたところ、未婚単身世帯全体は「近所のカフェやレストランなど飲食店で」(43.0%)が最も高く、「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」(37.5%)、「互いの自宅で」(35.9%)が続く。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体は「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」「別の地域で」のスコアが高い一方、「近所のカフェやレストランなど飲食店で」「互いの自宅で」のスコアが低い。
- ただし、未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、未婚単身世帯全体の方が「互いの自宅で」が高い。一般世帯・未婚・計は、「SNSやLINEで」「近所のコンビニやスーパー、食料品店など商店で」などが上回っている。

未婚単身世帯

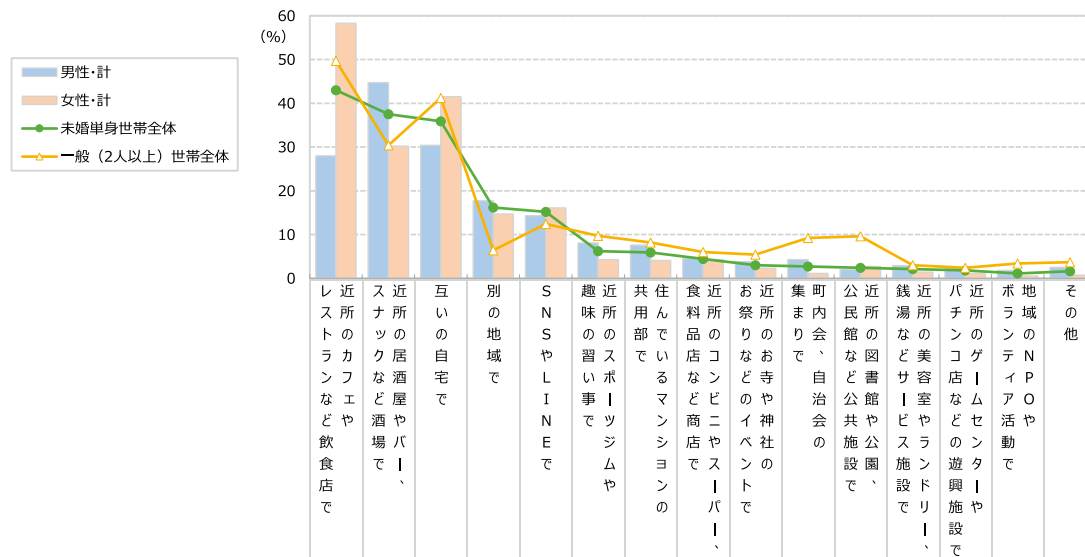
- 性年代別にみると、男性・計で「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」(44.7%)が高く、女性・計で「近所のカフェやレストランなど飲食店で」(58.3%)、「互いの自宅で」(41.5%)が高い。
- 所有形態×居住形態別にみると、賃貸・計で「近所のカフェやレストランなど飲食店で」(44.6%)、「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」(39.6%)が持ち家・計と比べて高い。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「近所の居酒屋やバー、スナックなど酒場で」(39.1%)、「SNSやLINEで」(21.7%)で未婚・計が既婚・計を上回る。

■友人との交流場所（親しい友人がいる者／複数回答）

現在住んでいる地域での親しい友人とは、どのような場所で交流していますか。



未婚単身世帯全体		(n=888)	43.0	37.5	35.9	16.2	15.2	6.2	5.9	4.4	3.0	2.7	2.4	2.1	1.8	1.1	1.6
性年代別	男性・計	(n=447)	28.0	44.7	30.4	17.7	14.3	8.1	7.6	4.5	3.8	4.3	2.0	2.9	2.5	1.8	2.5
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=172)	27.9	43.6	34.3	14.0	19.2	9.9	9.3	5.2	3.5	—	1.2	3.5	1.2	2.3	2.3
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=152)	32.9	48.7	27.0	21.7	13.8	7.2	7.9	3.9	3.3	6.6	2.0	3.3	2.6	0.7	2.6
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=123)	22.0	41.5	29.3	17.9	8.1	6.5	4.9	4.1	4.9	7.3	3.3	1.6	4.1	2.4	2.4
	女性・計	(n=441)	58.3	30.2	41.5	14.7	16.1	4.3	4.1	4.3	2.3	1.1	2.7	1.4	1.1	0.5	0.7
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=276)	59.4	33.3	43.8	16.3	19.2	4.3	3.3	3.6	1.8	—	1.8	0.7	1.4	0.7	0.4
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=107)	51.4	28.0	31.8	14.0	9.3	4.7	3.7	4.7	2.8	3.7	2.8	1.9	0.9	—	1.9
	女性・シニア層 (55~64歳)	(n=58)	65.5	19.0	48.3	8.6	13.8	3.4	8.6	6.9	3.4	1.7	6.9	3.4	—	—	—
居住形態別	持ち家・計	(n=148)	35.1	27.0	38.5	17.6	7.4	4.7	8.8	3.4	2.7	6.1	4.1	1.4	0.7	2.7	2.7
	持ち家【戸建て】	(n=57)	29.8	28.1	43.9	8.8	3.5	—	—	3.5	5.3	12.3	3.5	3.5	—	1.8	5.3
	持ち家【マンション】	(n=91)	38.5	26.4	35.2	23.1	9.9	5.5	14.3	3.3	1.1	2.2	4.4	—	1.1	3.3	1.1
	賃貸・計	(n=740)	44.6	39.6	35.4	15.9	16.8	6.5	5.3	4.6	3.1	2.0	2.0	2.3	2.0	0.8	1.4
	賃貸【戸建て】	(n=17)	35.3	47.1	23.5	23.5	—	—	5.9	5.9	5.9	5.9	—	—	—	5.9	—
賃貸【マンション】	(n=364)	43.4	40.9	34.1	15.1	15.4	8.0	6.6	4.4	3.6	1.6	2.5	2.2	1.1	0.3	1.6	
賃貸【アパート】	(n=340)	46.2	37.9	37.1	16.8	19.1	5.6	2.4	4.7	2.6	2.4	1.8	2.6	2.9	0.9	1.2	
一般 (2人以上) 世帯全体	(n=412)	49.7	30.4	41.2	6.4	12.4	9.7	8.2	6.0	5.4	9.2	9.6	3.0	2.4	3.4	3.7	
未婚既婚別	未婚・計	(n=69)	49.3	39.1	29.0	8.7	21.7	5.8	8.7	14.5	7.2	5.8	4.3	4.3	5.8	1.4	1.4
	既婚・計	(n=339)	47.5	28.9	43.4	6.8	10.3	11.2	8.8	4.4	5.6	10.3	9.7	2.9	2.1	4.1	3.5

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け／白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「街」での交流実態【現状】

★「街」での交流が少ない未婚単身世帯、「近所の人に挨拶をする」は1/4程度にとどまる。

- 地域での普段の生活についてたずねたところ、未婚単身世帯全体は「近所の人に挨拶をする」(26.7%)が最も高いが、「この中にはない」が47.6%を占めている。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体の低さが目立つ。特に「近所の人に挨拶をする」では大差がついている。
 - 一般世帯・未婚・計と比べても「近所の人に挨拶をする」で大差がついているが、それ以外の項目は同程度のスコアである。

未婚単身世帯

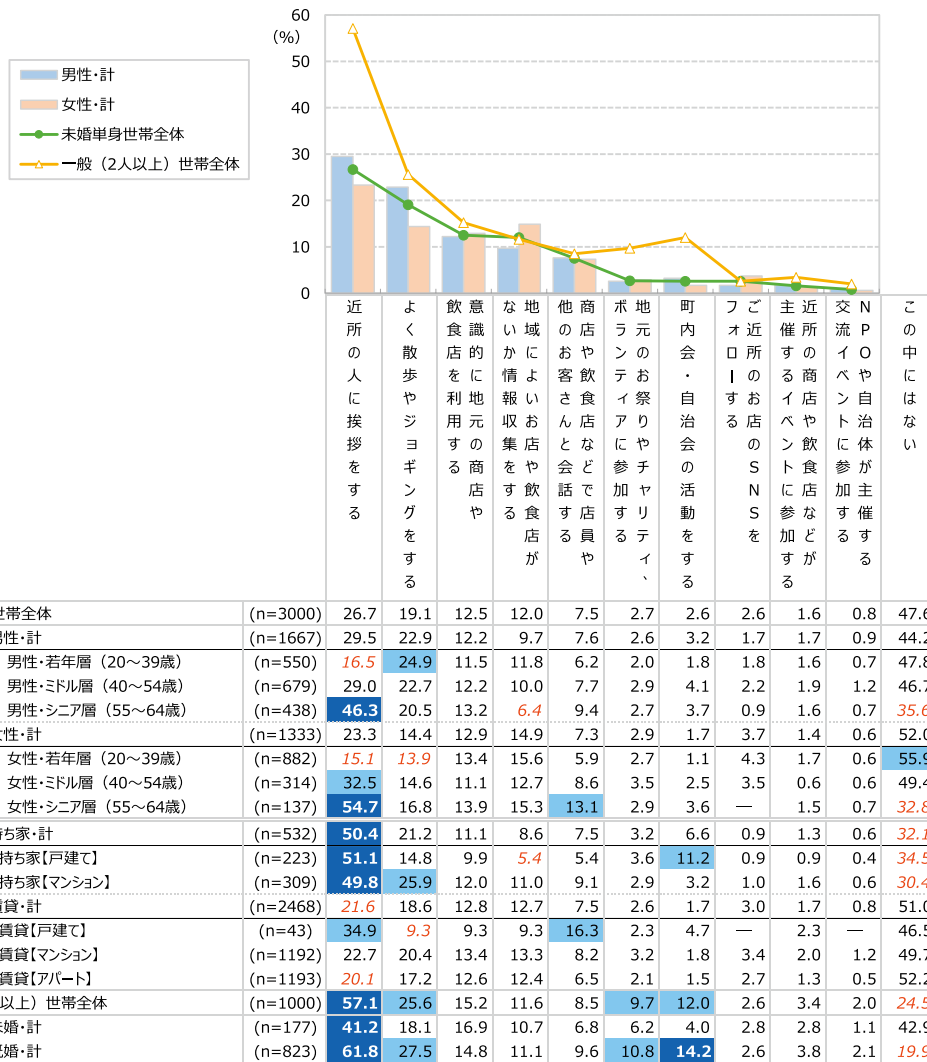
- 性年代別にみると、「近所の人に挨拶をする」「よく散歩やジョギングをする」で男性・計が女性・計を上回る一方、「地域によりお店や飲食店がないか情報収集をする」で女性・計が男性・計を上回る。「近所の人に挨拶をする」は男女とも年代が高いほどスコアが高くなっている。
- 所有形態×居住形態別にみると、「近所の人に挨拶をする」で持ち家・計(50.4%)で賃貸・計(21.6%)を大きく上回る。

一般世帯

- 未既婚別にみると、「近所の人に挨拶をする」「よく散歩やジョギングをする」「町内会・自治会の活動をする」で既婚・計が未婚・計を上回る。

「街」での交流実態【現状】(全体/複数回答)

お住まいの地域でのあなたの普段の生活において、「あてはまること」をすべてお選びください。



※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※未婚単身世帯全体の降順でソート

「街」での交流実態【希望】

- 地域での普段の生活で今後やりたいことをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「よく散歩やジョギングをする」(23.1%)が最も高いが、「この中にはない」が50.1%を占めている。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、未婚単身世帯全体はすべての項目でスコアが低い。特に、「よく散歩やジョギングをする」「近所の人に挨拶をする」「地元のお祭りやチャリティ、ボランティアに参加する」「町内会・自治会の活動をする」の低さが目立つ。
 - 一般世帯・未婚・計との比較でも同様の結果であり、未婚単身世帯は地域への関わり方への意欲が弱いことがわかる。

● 未婚単身世帯

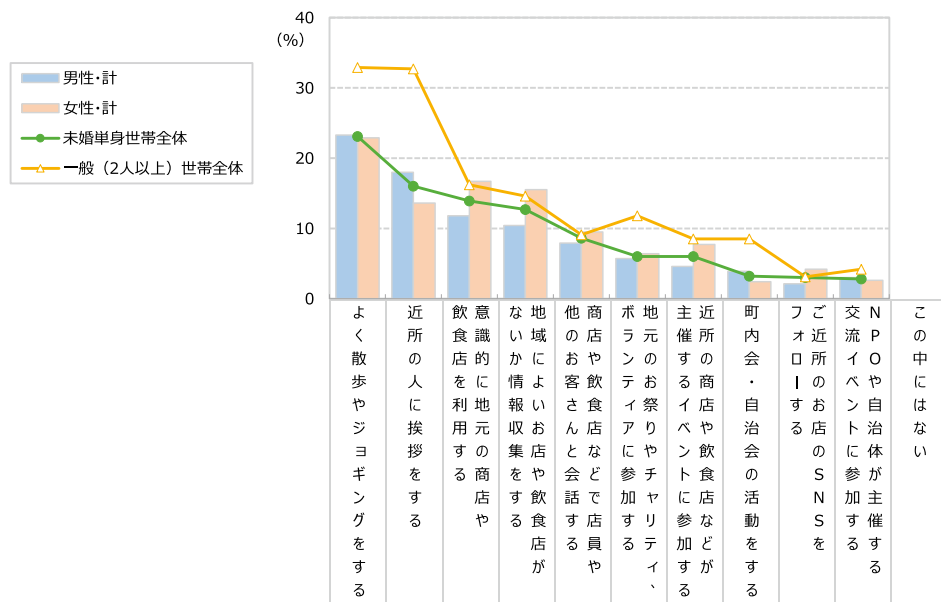
- 性年代別にみると、「意識的に地元の商店や飲食店を利用する」「地域によいお店や飲食店がないか情報収集をする」で女性・計が男性・計を上回る。男女ともシニア層で「近所の人に挨拶をする」のスコアが高い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「近所の人に挨拶をする」で持ち家・計(26.3%)で賃貸・計(13.8%)を大きく上回る。

● 一般世帯

- 未婚既婚別にみると、「よく散歩やジョギングをする」「近所の人に挨拶をする」「地元のお祭りやチャリティ、ボランティアに参加する」で既婚・計が未婚・計を上回る。

■「街」での交流実態【希望】(全体/複数回答)

お住まいの地域でのあなたの普段の生活において、今後やりたいことをすべてお選びください。



		(n=3000)	23.1	16.0	13.9	12.7	8.6	6.0	6.0	3.2	3.0	2.8	50.1
未婚単身世帯全体		(n=3000)	23.1	16.0	13.9	12.7	8.6	6.0	6.0	3.2	3.0	2.8	50.1
性年代別	男性・計	(n=1667)	23.3	18.0	11.8	10.4	7.9	5.7	4.6	3.9	2.1	3.0	50.3
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	20.9	13.1	12.5	11.8	8.5	5.8	4.2	4.0	3.3	2.9	49.5
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	24.0	16.5	11.0	10.5	7.5	6.3	5.7	3.4	2.1	3.1	52.4
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	25.3	26.5	11.9	8.7	7.5	4.6	3.2	4.6	0.7	3.0	47.9
	女性・計	(n=1333)	22.9	13.6	16.7	15.5	9.5	6.4	7.7	2.4	4.2	2.6	49.8
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	22.1	9.5	17.3	15.8	10.5	6.2	7.6	1.8	5.3	2.9	49.7
居住形態別	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	20.7	17.8	15.6	13.4	7.6	5.7	6.7	3.8	2.2	1.9	54.1
	女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	32.8	29.9	14.6	18.2	7.3	8.8	10.9	2.9	1.5	2.2	40.9
	持ち家・計	(n=532)	25.2	26.3	10.5	12.8	5.3	5.8	4.7	5.8	2.3	3.0	43.6
	持ち家【戸建て】	(n=223)	17.5	24.2	5.8	9.0	4.5	4.0	3.1	6.3	3.1	2.2	50.2
	持ち家【マンション】	(n=309)	30.7	27.8	13.9	15.5	5.8	7.1	5.8	5.5	1.6	3.6	38.8
	賃貸・計	(n=2468)	22.7	13.8	14.7	12.6	9.3	6.0	6.2	2.7	3.2	2.8	51.5
形態別×	賃貸【戸建て】	(n=43)	20.9	16.3	7.0	—	14.0	16.3	9.3	7.0	—	7.0	53.5
	賃貸【マンション】	(n=1192)	23.9	13.3	15.3	12.6	10.2	5.7	5.9	3.4	3.1	3.1	51.7
	賃貸【アパート】	(n=1193)	21.3	14.2	14.7	13.2	8.5	6.0	6.3	1.8	3.4	2.4	51.0
	一般 (2人以上) 世帯全体	(n=1000)	32.9	32.7	16.2	14.6	9.1	11.8	8.5	8.5	3.1	4.2	35.9
未婚既婚別	未婚・計	(n=177)	26.0	25.4	16.9	14.7	10.7	6.8	6.2	5.1	3.4	4.5	44.6
	既婚・計	(n=823)	35.4	35.0	15.8	14.3	8.6	13.0	9.2	9.4	2.8	4.3	33.4

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体太文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

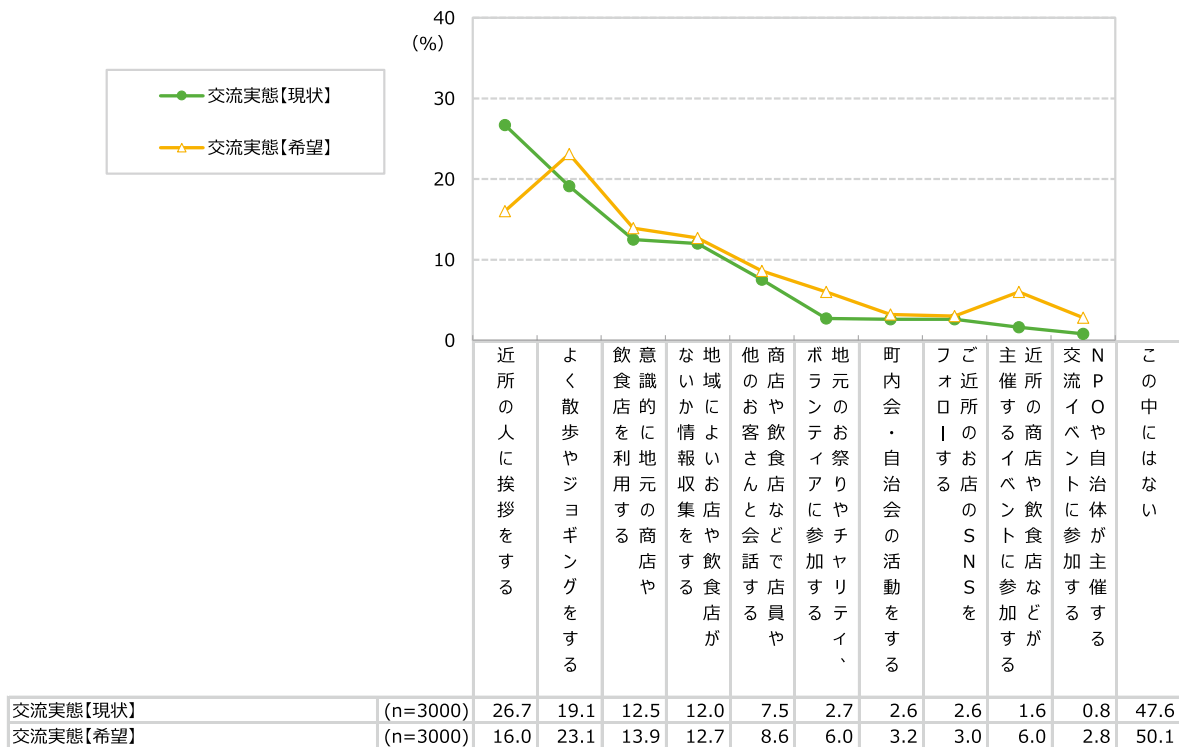
■「街」での交流実態【現状と希望】

- 未婚単身世帯全体の「街」での交流実態について【現状】と【希望】を比べた。
- 【現状】と【希望】とでスコアに大きな差がないこと、「近所の人に挨拶をする」はむしろ【希望】の方が低いことなどが注目されよう。
 - スコアの絶対水準は低いものの、「よく散歩やジョギングをする」「地元のお祭りやチャリティ、ボランティアに参加する」「近所の商店や飲食店などが主催するイベントに参加する」で、【希望】が【現状】を上回っているのが目立つ程度である。
- 未婚単身世帯の「街」に関わりたいという意向は必ずしも高くないといえそうだ。この結果は、既述の『「家」での過ごし方【現状と希望】』でみたものとまったく同じである。

■「街」での交流実態【現状と希望】（未婚単身世帯全体／各複数回答）

お住まいの地域でのあなたの普段の生活において、「あてはまること」をすべてお選びください。

お住まいの地域でのあなたの普段の生活において、今後やりたいことをすべてお選びください。



※交流実態【現状】の降順でソート

1_6-7

「街」での交流頻度

- 「街」における交流頻度をたずねたところ、未婚単身世帯全体は『よく交流している・計』が3.9%で、一般世帯全体（10.3%）を下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、『よく交流している・計』で未婚単身世帯全体（3.9%）が一般世帯・未婚・計（8.5%）をやや下回る。

未婚単身世帯

- 性年代別に「まったく交流はない」をみると、女性・計（63.3%）が男性・計（52.8%）を大きく上回り、女性・若年層（69.3%）が他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に「まったく交流はない」をみると、賃貸・計（61.8%）が持ち家・計（37.4%）を大きく上回る。

一般世帯

- 未婚婚別に「まったく交流はない」をみると、未婚・計は33.3%で既婚・計（23.5%）を上回る。

「街」での交流頻度（全体／単一回答）

あなたは日頃の生活において、近隣住民や地域の人との程度の交流がありますか。

(%)

		よく交流している・計					よく交流している・計
		かなり頻繁に交流している	ある程度日常的に交流している	たまに交流している	あまり交流はない	まったく交流はない	
●凡例							
未婚単身世帯全体	(n=3000)	0.7	3.3	10.8	27.8	57.5	3.9
性年代別	男性・計	0.7	3.7	12.7	30.1	52.8	4.4
	男性・若年層（20～39歳）	1.5	4.9	10.2	24.2	59.3	6.4
	男性・ミドル層（40～54歳）	0.3	2.8	12.1	29.5	55.4	3.1
	男性・シニア層（55～64歳）	0.2	3.7	16.9	38.6	40.6	3.9
	女性・計	0.7	2.7	8.3	25.0	63.3	3.4
	女性・若年層（20～39歳）	0.6	2.3	7.5	20.4	69.3	2.8
	女性・ミドル層（40～54歳）	1.0	1.6	7.6	31.8	58.0	2.5
居所有形態別×	持ち家・計	0.6	4.9	18.6	38.5	37.4	5.5
	持ち家【戸建て】	0.4	5.8	25.1	39.0	29.6	6.3
	持ち家【マンション】	0.6	4.2	13.9	38.2	43.0	4.9
	賃貸・計	0.7	2.9	9.1	25.5	61.8	3.6
	賃貸【戸建て】	—	—	23.3	32.6	44.2	—
	賃貸【マンション】	0.8	3.0	8.6	26.3	61.2	3.9
一般（2人以上）世帯全体	賃貸【アパート】	0.5	2.8	9.0	24.6	63.1	3.4
	一般（2人以上）世帯全体	1.8	8.5	23.2	40.4	26.1	10.3
未婚婚別	未婚・計	1.7	6.8	18.6	39.5	33.3	8.5
	既婚・計	1.8	10.0	23.9	40.8	23.5	11.8

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

1_5

「街」での交流意向

- 「街」における今後の交流意向をたずねたところ、未婚単身世帯全体は『交流したい・計』が11.4%で、一般世帯全体（20.6%）の半分程度のスコアにとどまる。先にみた「交流頻度」と比べれば今後の交流意向は高いといえるが、「あまり交流したくない」と「まったく交流したくない」を合わせたスコアが過半数を占めており、地元の街での交流意向はそれほど高くはないといえよう。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、『交流したい・計』で未婚単身世帯全体（11.4%）が一般世帯・未婚・計（15.8%）をやや下回る。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に『交流したい・計』をみると、女性・シニア層（20.4%）が他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に『交流したい・計』をみると、持ち家・計が15.2%で賃貸・計（10.6%）をやや上回る。

● 一般世帯

- 未既婚別に『交流したい・計』をみると、既婚・計は23.2%で未婚・計（15.8%）を上回る。

■「街」での交流意向（全体／単一回答）

あなたは今後、同じ集合住宅や地域に住む人たちと交流をどの程度したいと思いますか。

(%)

		交流したい・計					交流 したい ・計
		とても 交流したい	ある程度 交流したい	たまに 交流したい (どちらとも いえない)	あまり 交流したくない	まったく 交流したくない	
●凡例							
未婚単身世帯全体	(n=3000)	1.5	9.9	31.5	26.2	30.9	11.4
性年代別	男性・計	1.4	10.4	33.2	25.7	29.4	11.8
	男性・若年層（20～39歳）	2.2	11.8	29.5	22.7	33.8	14.0
	男性・ミドル層（40～54歳）	1.3	8.8	30.9	28.4	30.5	10.2
	男性・シニア層（55～64歳）	0.5	11.0	41.3	25.1	22.1	11.4
	女性・計	1.7	9.3	29.3	26.9	32.8	11.0
	女性・若年層（20～39歳）	1.6	8.3	28.2	25.2	36.7	9.9
	女性・ミドル層（40～54歳）	2.5	7.6	31.5	29.9	28.3	10.2
	女性・シニア層（55～64歳）	0.7	19.7	31.4	30.7	17.5	20.4
居所有形態別×	持ち家・計	0.9	14.3	39.8	21.6	23.3	15.2
	持ち家【戸建て】	0.9	14.3	40.4	18.8	25.6	15.2
	持ち家【マンション】	1.0	14.2	39.5	23.6	21.7	15.2
	賃貸・計	1.7	9.0	29.7	27.2	32.5	10.6
	賃貸【戸建て】	2.3	16.3	34.9	23.3	23.3	18.6
	賃貸【マンション】	1.5	7.7	30.2	28.2	32.4	9.2
	賃貸【アパート】	1.6	9.7	29.4	26.2	33.0	11.3
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	2.3	18.2	40.5	25.9	13.0	20.6
婚未別既	未婚・計	1.7	14.1	36.2	30.5	17.5	15.8
	既婚・計	2.7	20.5	41.6	23.6	11.7	23.2

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

1_8

■ 地域に対する感情・意識 ①地域への帰属意識

- 地域の一員と感じているかたずねたところ、未婚単身世帯全体は『感じる・計』が10.0%で一般世帯全体(24.4%)を大きく下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計で『感じる・計』を比べると、未婚単身世帯全体(10.0%)が一般世帯・未婚・計(18.1%)を下回る。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に『感じる・計』をみると、男性・計(10.0%)と女性・計(10.1%)は同程度。女性・シニア層で『感じる・計』(17.5%)が他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に『感じる・計』をみると、持ち家・計(14.8%)が賃貸・計(9.0%)を上回り、特に持ち家【戸建て】のスコア(17.0%)が高い。

● 一般世帯

- 未既婚別に『感じる・計』をみると、既婚・計(26.4%)が未婚・計(18.1%)を上回る。

■ ①地域への帰属意識 (全体/単一回答)

あなたは、現在のお住まいの地域の一員であるという実感をどの程度感じていますか。

		感じる・計					感じる・計 (%)
		とても感じる	感じるがある	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	
●凡例							
未婚単身世帯全体 (n=3000)		1.5	8.5	28.8	29.9	31.3	10.0
性年代別	男性・計 (n=1667)	1.5	8.5	30.6	28.3	31.2	10.0
	男性・若年層 (20~39歳) (n=550)	1.5	8.9	30.4	24.0	35.3	10.4
	男性・ミドル層 (40~54歳) (n=679)	1.9	7.7	30.2	27.8	32.4	9.6
	男性・シニア層 (55~64歳) (n=438)	0.9	9.1	31.5	34.2	24.2	10.0
	女性・計 (n=1333)	1.6	8.6	26.5	32.0	31.4	10.1
	女性・若年層 (20~39歳) (n=882)	1.5	7.6	24.4	32.8	33.8	9.1
	女性・ミドル層 (40~54歳) (n=314)	2.5	7.3	29.9	31.2	29.0	9.9
女性・シニア層 (55~64歳) (n=137)	—	17.5	32.1	28.5	21.9	17.5	
居住形態別 ×	持ち家・計 (n=532)	1.1	13.7	36.1	27.4	21.6	14.8
	持ち家【戸建て】 (n=223)	1.3	15.7	34.5	23.8	24.7	17.0
	持ち家【マンション】 (n=309)	1.0	12.3	37.2	30.1	19.4	13.3
	賃貸・計 (n=2468)	1.6	7.4	27.2	30.4	33.4	9.0
	賃貸【戸建て】 (n=43)	—	7.0	39.5	23.3	30.2	7.0
	賃貸【マンション】 (n=1192)	1.8	9.3	27.3	29.7	31.9	11.1
賃貸【アパート】 (n=1193)	1.5	5.5	26.2	31.5	35.2	7.0	
一般 (2人以上) 世帯全体 (n=1000)	5.3	19.1	34.7	28.2	12.7	24.4	
婚別	未婚・計 (n=177)	6.8	11.3	37.3	29.9	14.7	18.1
	既婚・計 (n=823)	5.1	21.3	34.1	28.1	11.4	26.4

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

■ 地域に対する感情・意識 ② サードプレイスの有無

- 地域に自宅以外でリラックスして楽しく過ごす場所やお店（サードプレイス）があるかをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「ある」が36.6%で一般世帯全体（41.9%）を下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計で「ある」を比べると、未婚単身世帯全体（36.6%）と一般世帯・未婚・計（35.0%）に大きな差はない。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に「ある」をみると、男性・計（35.8%）と女性・計（37.7%）に大きな差はない。
- 所有形態×居住形態別に「ある」をみると、持ち家・計（35.9%）と賃貸・計（36.8%）に大きな差はない。

● 一般世帯

- 未既婚別に「ある」をみると、既婚・計（44.1%）が未婚・計（35.0%）を上回る。

■ ② サードプレイスの有無（全体／単一回答）

あなたは、現在住んでいる地域に、自宅以外でリラックスして楽しく過ごす場所やお店がありますか。

(%)

		ある	ない
●凡例			
未婚単身世帯全体	(n=3000)	36.6%	63.4
性年代別	男性・計	35.8	64.2
	男性・若年層（20～39歳）	39.3	60.7
	男性・ミドル層（40～54歳）	32.5	67.5
	男性・シニア層（55～64歳）	36.3	63.7
	女性・計	37.7	62.3
	女性・若年層（20～39歳）	38.2	61.8
	女性・ミドル層（40～54歳）	35.7	64.3
	女性・シニア層（55～64歳）	38.7	61.3
居所 所有 形態別 ×	持ち家・計	35.9	64.1
	持ち家【戸建て】	31.4	68.6
	持ち家【マンション】	39.2	60.8
	賃貸・計	36.8	63.2
	賃貸【戸建て】	51.2	48.8
	賃貸【マンション】	37.4	62.6
	賃貸【アパート】	35.1	64.9
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	41.9	58.1
婚未 別既	未婚・計	35.0	65.0
	既婚・計	44.1	55.9

2_3

■ 地域に対する感情・意識 ③地域への愛着

- 地域に愛着を感じているかをたずねたところ、未婚単身世帯全体は『感じる・計』が41.4%で一般世帯全体（55.1%）を大きく下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計で『感じる・計』を比べても、未婚単身世帯全体（41.4%）と一般世帯・未婚・計（46.9%）に5ポイント以上の差がある。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に『感じる・計』をみると、女性・計（47.2%）が男性・計（36.8%）が大きく上回る。特に、女性・ミドル層で『感じる・計』（55.1%）が5割を超えて他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に『感じる・計』をみると、持ち家・計（45.7%）が賃貸・計（40.5%）を上回り、特に持ち家【マンション】のスコア（48.5%）が高い。

● 一般世帯

- 未既婚別に『感じる・計』をみると、既婚・計（57.6%）が未婚・計（46.9%）を大きく上回る。

■ ③地域への愛着（全体／単一回答）

あなたは、現在住んでいる地域にどの程度愛着を感じていますか。

		感じる・計					感じる・計 (%)
		とても感じる	感じるがある	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	
●凡例							
未婚単身世帯全体 (n=3000)		9.5%	31.9	30.6	15.9	12.1	41.4
性年代別	男性・計 (n=1667)	8.1	28.7	33.4	15.7	14.1	36.8
	男性・若年層 (20~39歳) (n=550)	5.3	27.1	34.7	17.5	15.5	32.4
	男性・ミドル層 (40~54歳) (n=679)	8.8	27.8	34.6	14.1	14.6	36.7
	男性・シニア層 (55~64歳) (n=438)	10.5	32.0	29.9	16.0	11.6	42.5
	女性・計 (n=1333)	11.3	35.9	27.0	16.1	9.7	47.2
	女性・若年層 (20~39歳) (n=882)	8.8	35.5	27.6	17.1	11.0	44.3
	女性・ミドル層 (40~54歳) (n=314)	15.9	39.2	25.2	12.1	7.6	55.1
女性・シニア層 (55~64歳) (n=137)	16.8	30.7	27.7	19.0	5.8	47.4	
居住形態別 ×	持ち家・計 (n=532)	13.0	32.7	32.1	13.2	9.0	45.7
	持ち家【戸建て】 (n=223)	12.6	29.1	31.8	13.9	12.6	41.7
	持ち家【マンション】 (n=309)	13.3	35.3	32.4	12.6	6.5	48.5
	賃貸・計 (n=2468)	8.8	31.7	30.2	16.5	12.8	40.5
	賃貸【戸建て】 (n=43)	4.7	32.6	30.2	16.3	16.3	37.2
	賃貸【マンション】 (n=1192)	9.6	33.6	30.0	14.4	12.3	43.2
賃貸【アパート】 (n=1193)	8.2	30.2	30.2	18.5	12.9	38.4	
一般 (2人以上) 世帯全体 (n=1000)	10.3	44.8	27.1	11.4	6.4	55.1	
婚未別 既	未婚・計 (n=177)	10.7	36.2	28.2	14.7	10.2	46.9
	既婚・計 (n=823)	10.7	46.9	26.1	11.1	5.2	57.6

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

地域に対する感情・意識 ④住民への信頼

- 地域の住民を信頼できる人たちと感じているかをたずねたところ、未婚単身世帯全体は『感じる・計』が22.3%で一般世帯全体（38.7%）を大きく下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計で『感じる・計』を比べると、未婚単身世帯全体（22.3%）が一般世帯・未婚・計（34.5%）を大きく下回る。

未婚単身世帯

- 性年代別に『感じる・計』をみると、女性・計（24.6%）が男性・計（20.4%）をやや上回る。特に、女性・ミドル層、シニア層で『感じる・計』が他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に『感じる・計』をみると、持ち家・計（31.0%）が賃貸・計（20.4%）を大きく上回る。

一般世帯

- 未既婚別に『感じる・計』をみると、既婚・計（41.3%）が未婚・計（34.5%）を上回る。

④住民への信頼（全体／単一回答）

あなたは、現在お住まいの地域の住人たちは基本的に信頼できる人たちだと感じますか。

(%)

		感じる・計					感じる・計
		とても感じる	感じるがある	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	
●凡例							
未婚単身世帯全体	(n=3000)	2.7	19.6	49.9	14.5	13.3	22.3
性年代別	男性・計	2.5	17.9	51.3	14.0	14.3	20.4
	男性・若年層（20～39歳）	2.0	15.3	49.1	15.3	18.4	17.3
	男性・ミドル層（40～54歳）	2.9	17.7	52.7	13.1	13.5	20.6
	男性・シニア層（55～64歳）	2.5	21.5	52.1	13.7	10.3	24.0
	女性・計	2.9	21.7	48.2	15.2	12.0	24.6
	女性・若年層（20～39歳）	2.2	20.1	47.3	16.8	13.7	22.2
	女性・ミドル層（40～54歳）	3.8	24.2	51.9	11.1	8.9	28.0
女性・シニア層（55～64歳）	5.8	26.3	45.3	14.6	8.0	32.1	
居所 所有 形態 ×	持ち家・計	3.9	27.1	51.3	7.5	10.2	31.0
	持ち家【戸建て】	4.0	24.2	49.8	6.7	15.2	28.3
	持ち家【マンション】	3.9	29.1	52.4	8.1	6.5	33.0
	賃貸・計	2.4	17.9	49.6	16.0	13.9	20.4
	賃貸【戸建て】	2.3	30.2	30.2	20.9	16.3	32.6
	賃貸【マンション】	3.1	19.7	49.0	15.5	12.7	22.8
	賃貸【アパート】	1.8	15.6	51.3	16.4	14.9	17.4
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	5.7	33.0	46.7	9.2	5.5	38.7
婚未 別既	未婚・計	4.0	30.5	46.9	9.0	9.6	34.5
	既婚・計	6.3	35.0	45.4	8.6	4.6	41.3

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

2_5

■ 地域に対する感情・意識 ⑤地域での居場所感

- 地域に自分の居場所があると感じているかをたずねたところ、未婚単身世帯全体は『感じる・計』が23.0%で一般世帯全体（36.3%）を大きく下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計で『感じる・計』を比べると、未婚単身世帯全体（23.0%）が一般世帯・未婚・計（33.3%）を大きく下回る。

● 未婚単身世帯

- 性年代別に『感じる・計』をみると、男性・計（22.1%）と女性・計（24.1%）に大きな差はみられない。女性・ミドル層、シニア層で『感じる・計』が他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別に『感じる・計』をみると、持ち家・計（31.2%）が賃貸・計（21.2%）を大きく上回る。

● 一般世帯

- 未既婚別に『感じる・計』をみると、既婚・計（39.0%）が未婚・計（33.3%）を上回る。

■ ⑤地域での居場所感（全体／単一回答）

あなたは、自分が住んでいる地域に、どの程度「自分の居場所がある」と感じますか。

		感じる・計					感じる・計 (%)
		とても感じる	感じるがある	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	
●凡例							
未婚単身世帯全体	(n=3000)	3.0%	20.0	43.1	19.8	14.2	23.0
性年代別	男性・計	2.7	19.4	44.4	18.3	15.2	22.1
	男性・若年層（20～39歳）	2.7	18.9	43.8	17.3	17.3	21.6
	男性・ミドル層（40～54歳）	2.8	18.0	44.2	18.0	17.1	20.8
	男性・シニア層（55～64歳）	2.5	22.1	45.4	20.1	9.8	24.7
	女性・計	3.3	20.8	41.4	21.7	12.8	24.1
	女性・若年層（20～39歳）	2.5	19.3	40.1	23.4	14.7	21.8
	女性・ミドル層（40～54歳）	5.4	22.3	46.8	15.9	9.6	27.7
女性・シニア層（55～64歳）	3.6	27.0	37.2	24.1	8.0	30.7	
居所有形態別×	持ち家・計	4.5	26.7	44.4	13.9	10.5	31.2
	持ち家【戸建て】	4.5	26.0	42.2	14.3	13.0	30.5
	持ち家【マンション】	4.5	27.2	46.0	13.6	8.7	31.7
	賃貸・計	2.6	18.6	42.8	21.1	15.0	21.2
	賃貸【戸建て】	—	23.3	39.5	11.6	25.6	23.3
	賃貸【マンション】	2.7	20.2	44.3	19.2	13.6	22.9
賃貸【アパート】	2.6	17.0	41.3	23.1	16.0	19.6	
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	5.0	31.3	42.8	14.7	6.3	36.3
婚未別既	未婚・計	6.2	27.1	41.8	14.7	10.2	33.3
	既婚・計	5.6	33.4	41.7	14.1	5.2	39.0

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

地域に対する感情・意識のまとめ

- 地域に対する感情や意識をみると、「帰属意識」「愛着」「住民への信頼」「居場所感」で未婚単身世帯全体が一般世帯全体を10ポイント以上下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計を比べると、「帰属意識」「愛着」「住民への信頼」「居場所感」で未婚単身世帯全体のスコアが低い。

未婚単身世帯

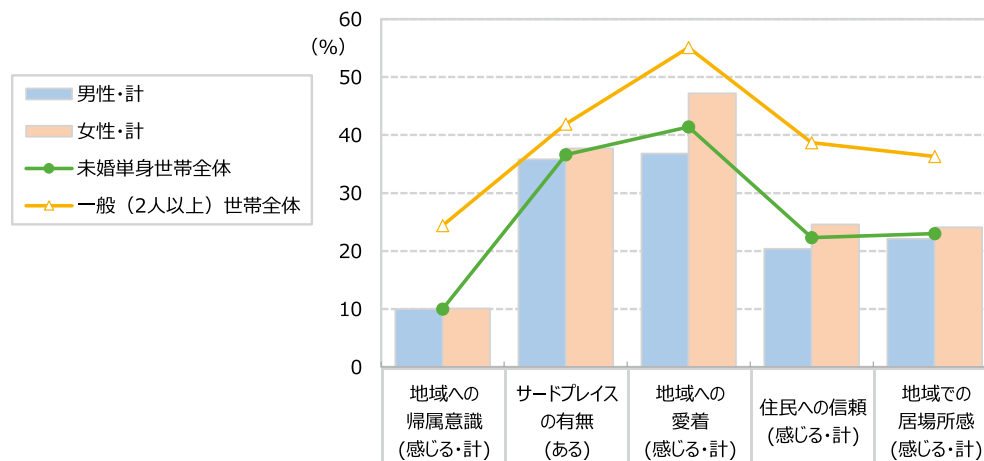
- 性年代別にみると、男性・若年層では「愛着」「住民への信頼」が他の層と比べて低い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「帰属意識」「愛着」「住民への信頼」「居場所感」で持ち家・計のスコアが高い。

一般世帯

- 未既婚別にみると、いずれの項目も既婚・計が未婚・計を上回る。

地域に対する感情・意識のまとめ（全体／各単一回答）

あなたは、現在のお住まいの地域の一員であるという実感をどの程度感じていますか。
 あなたは、現在住んでいる地域に、自宅以外でリラックスして楽しく過ごせる場所やお店がありますか。
 あなたは、現在住んでいる地域にどの程度愛着を感じていますか。
 あなたは、現在お住まいの地域の住人たちは基本的に信頼できる人たちと感じますか。
 あなたは、自分が住んでいる地域に、どの程度「自分の居場所がある」と感じますか。



		人数	地域への帰属意識 (感じる・計)	サードプレイスの有無 (ある)	地域への愛着 (感じる・計)	住民への信頼 (感じる・計)	地域での居場所感 (感じる・計)
未婚単身世帯全体		(n=3000)	10.0	36.6	41.4	22.3	23.0
性年代別	男性・計	(n=1667)	10.0	35.8	36.8	20.4	22.1
	男性・若年層 (20~39歳)	(n=550)	10.4	39.3	32.4	17.3	21.6
	男性・ミドル層 (40~54歳)	(n=679)	9.6	32.5	36.7	20.6	20.8
	男性・シニア層 (55~64歳)	(n=438)	10.0	36.3	42.5	24.0	24.7
	女性・計	(n=1333)	10.1	37.7	47.2	24.6	24.1
	女性・若年層 (20~39歳)	(n=882)	9.1	38.2	44.3	22.2	21.8
	女性・ミドル層 (40~54歳)	(n=314)	9.9	35.7	55.1	28.0	27.7
女性・シニア層 (55~64歳)	(n=137)	17.5	38.7	47.4	32.1	30.7	
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	14.8	35.9	45.7	31.0	31.2
	持ち家【戸建て】	(n=223)	17.0	31.4	41.7	28.3	30.5
	持ち家【マンション】	(n=309)	13.3	39.2	48.5	33.0	31.7
	賃貸・計	(n=2468)	9.0	36.8	40.5	20.4	21.2
	賃貸【戸建て】	(n=43)	7.0	51.2	37.2	32.6	23.3
賃貸【マンション】	(n=1192)	11.1	37.4	43.2	22.8	22.9	
賃貸【アパート】	(n=1193)	7.0	35.1	38.4	17.4	19.6	
一般（2人以上）世帯全体		(n=1000)	24.4	41.9	55.1	38.7	36.3
婚未別	未婚・計	(n=177)	18.1	35.0	46.9	34.5	33.3
	既婚・計	(n=823)	26.4	44.1	57.6	41.3	39.0

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

「街」満足度

- ★未婚単身世帯の「いま住んでいる地域に対する満足度」（「街」満足度）は一般世帯よりも低い。加重平均で0.33点の差であり、「家」満足度よりも差が小さい。
- ★その中で、女性・ミドル層の満足度は高め。

- 今住んでいる地域の満足度について10段階でたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均点は6.79で、一般世帯全体（7.12）よりも低い。「7点」～「8点」のスコアが低く、「3点」～「6点」のスコアが高いことの帰結である。
- 未婚単身世帯全体（6.79）と一般世帯・未婚・計の平均点（6.73）は同程度。

未婚単身世帯

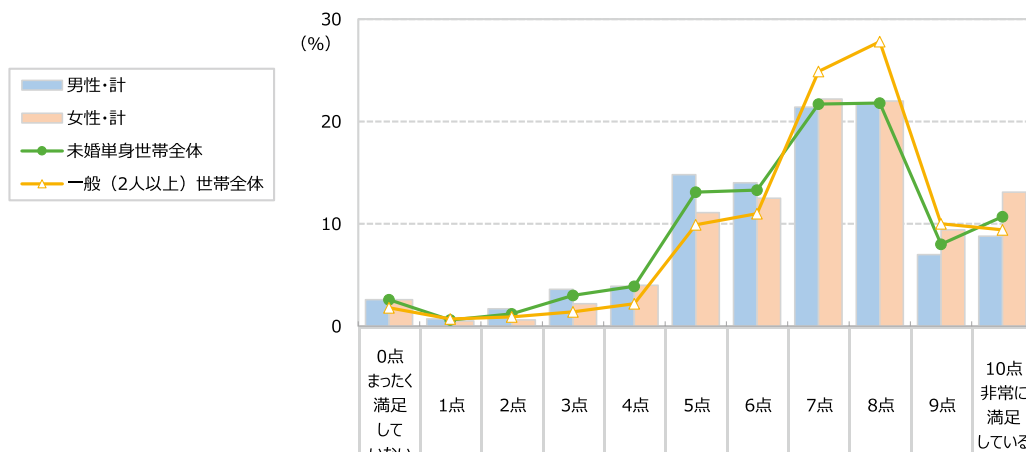
- 性年代別に平均点をみると、女性・計（7.01）が男性・計（6.61）をやや上回る。特に、女性・ミドル層が7.18で他の層と比べて高く、「10点」と答えた者も15.6%。
- 所有形態×居住形態別に平均点をみると、持ち家・計（6.94）と賃貸・計（6.76）で大きな差はみられない。

一般世帯

- 未既婚別に平均点をみると、既婚・計（7.24）が未婚・計（6.73）を上回る。

「街」満足度（全体／単一回答）

あなたは、「いま住んでいる地域」について、どの程度満足していますか。「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点とした場合、何点くらいになるかをお答えください。※「地域」とは、自宅がある市区町村を中心に、主な生活圏のことを指します。



		0点 まったく満足 していない	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 非常に満足 している	加重 平均値 (点)	
未婚単身世帯全体		(n=3000)	2.6	0.6	1.2	3.0	3.9	13.1	13.3	21.7	21.8	8.0	10.7	6.79
性 年 代 別	男性・計	(n=1667)	2.6	0.7	1.7	3.6	3.9	14.8	14.0	21.4	21.7	7.0	8.8	6.61
	男性・若年層（20～39歳）	(n=550)	2.0	0.5	1.1	2.7	3.8	15.6	17.5	19.5	20.2	8.4	8.7	6.69
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=679)	3.4	0.4	2.4	3.8	3.7	16.2	11.8	21.4	20.9	7.2	8.8	6.53
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=438)	2.3	1.1	1.6	4.3	4.3	11.4	13.0	23.7	24.7	4.8	8.7	6.63
	女性・計	(n=1333)	2.6	0.5	0.6	2.2	4.0	11.1	12.5	22.2	22.0	9.4	13.1	7.01
	女性・若年層（20～39歳）	(n=882)	2.7	0.6	0.8	1.6	3.9	11.0	13.0	23.2	20.6	9.8	12.8	6.99
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=314)	1.9	0.3	—	2.9	3.8	10.8	11.1	20.4	24.2	8.9	15.6	7.18
	女性・シニア層（55～64歳）	(n=137)	2.9	—	0.7	4.4	5.1	12.4	12.4	19.7	25.5	8.0	8.8	6.74
居 所 住 有 形 形 態 別	持ち家・計	(n=532)	1.7	0.8	1.5	2.8	2.6	13.2	12.0	22.9	22.0	8.1	12.4	6.94
	持ち家【戸建て】	(n=223)	1.8	1.3	2.2	4.0	3.1	15.7	12.1	23.3	20.6	4.9	10.8	6.62
	持ち家【マンション】	(n=309)	1.6	0.3	1.0	1.9	2.3	11.3	12.0	22.7	23.0	10.4	13.6	7.17
	賃貸・計	(n=2468)	2.8	0.5	1.2	3.0	4.2	13.1	13.6	21.5	21.8	8.0	10.3	6.76
	賃貸【戸建て】	(n=43)	9.3	—	—	2.3	9.3	18.6	9.3	20.9	20.9	—	9.3	6.00
	賃貸【マンション】	(n=1192)	2.7	0.6	1.2	2.7	4.5	10.3	13.4	21.6	22.1	9.3	11.6	6.89
	賃貸【アパート】	(n=1193)	2.5	0.3	1.3	3.3	3.7	15.8	13.7	21.7	21.6	7.2	8.9	6.67
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	1.8	0.7	0.9	1.4	2.2	9.9	11.0	24.9	27.8	10.0	9.4	7.12	
婚 未 既 別	未婚・計	(n=177)	3.4	—	1.1	2.3	5.1	14.1	13.6	18.6	22.6	11.3	7.9	6.73
	既婚・計	(n=823)	1.2	0.7	0.9	1.1	1.6	9.1	10.7	25.6	29.2	9.5	10.4	7.24

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

A large area of horizontal dashed lines for writing, spanning most of the page.

総合満足度

住生活満足度

★未婚単身世帯の「現在の住生活に対する満足度」(「住生活」満足度)は一般世帯よりも低い。加重平均で0.63点の差。

- 現在の住生活の満足度について10段階でたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均点は6.34で、一般世帯全体(6.97)を下回る。
- 未婚単身世帯全体(6.34)の平均点は、一般世帯・未婚・計(6.51)をやや下回る。

未婚単身世帯

- 性年代別に平均点をみると、男性・ミドル層(6.02)とシニア層(6.19)で他の層と比べてスコアがやや低くなっている。
- 所有形態×居住形態別に平均点をみると、持ち家・計(6.79)が賃貸・計(6.24)を上回る。持ち家の中でも、【マンション】の平均点が6.94で他の層と比べて高い。

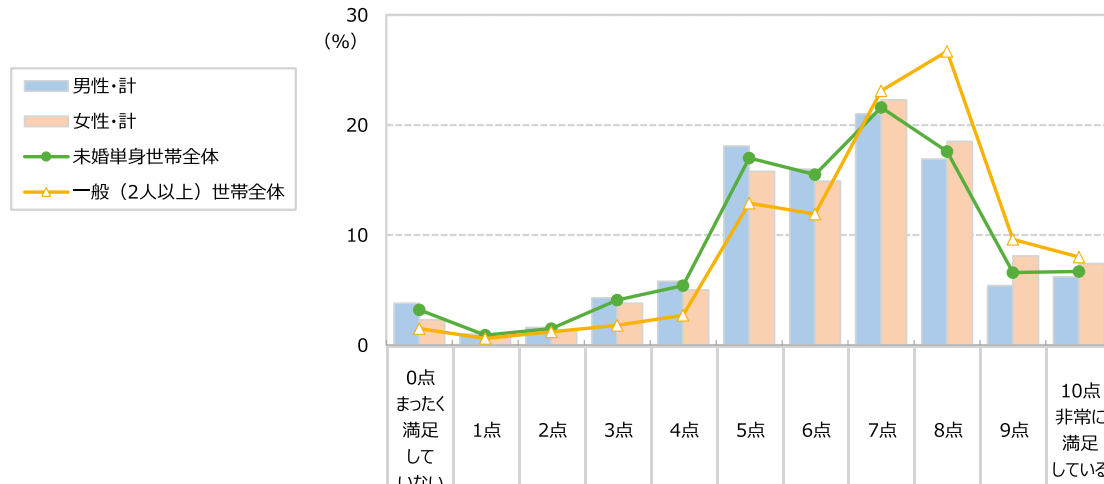
一般世帯

- 未既婚別に平均点をみると、既婚・計(7.12)が未婚・計(6.51)を上回る。

住生活満足度(全体/単一回答)

総合的にみて、あなたは現在の住生活(住居で営まれる暮らし)について、どの程度満足していますか。

「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を「0点」とした場合、何点くらいになるかを教えてください。



		0点 まったく 満足 して いない	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 非常に 満足 している	加重 平均値 (点)	
未婚単身世帯全体		(n=3000)	3.2	0.9	1.5	4.1	5.4	17.0	15.5	21.6	17.6	6.6	6.7	6.34
性 年 代 別	男性・計	(n=1667)	3.8	1.0	1.6	4.3	5.8	18.1	16.0	21.0	16.9	5.4	6.2	6.18
	男性・若年層(20~39歳)	(n=550)	2.5	1.3	0.9	2.7	4.2	20.4	17.1	20.7	17.3	6.2	6.7	6.39
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=679)	4.9	1.2	1.9	4.4	6.8	18.6	15.3	19.7	16.6	5.6	5.0	6.02
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=438)	3.9	0.5	2.1	6.2	6.2	14.4	15.5	23.3	16.7	4.1	7.3	6.19
	女性・計	(n=1333)	2.3	0.8	1.3	3.8	5.0	15.8	14.9	22.3	18.5	8.1	7.4	6.53
	女性・若年層(20~39歳)	(n=882)	2.3	0.9	1.4	3.4	4.6	15.1	16.6	21.4	17.3	9.2	7.8	6.57
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=314)	2.2	0.3	—	4.1	7.3	15.9	13.1	25.5	18.8	4.8	8.0	6.51
女性・シニア層(55~64歳)	(n=137)	2.9	0.7	3.6	5.1	1.5	19.7	8.8	20.4	24.8	8.8	3.6	6.37	
居 所 住 有 形 態 別	持ち家・計	(n=532)	1.7	0.4	0.8	2.8	4.3	15.2	13.5	23.5	19.5	8.8	9.4	6.79
	持ち家【戸建て】	(n=223)	1.8	0.4	1.3	4.0	4.5	18.8	12.6	22.4	17.0	7.2	9.9	6.59
	持ち家【マンション】	(n=309)	1.6	0.3	0.3	1.9	4.2	12.6	14.2	24.3	21.4	10.0	9.1	6.94
	賃貸・計	(n=2468)	3.5	1.0	1.6	4.3	5.6	17.4	15.9	21.2	17.1	6.1	6.2	6.24
	賃貸【戸建て】	(n=43)	11.6	—	—	2.3	11.6	18.6	11.6	20.9	18.6	—	4.7	5.58
	賃貸【マンション】	(n=1192)	3.1	0.7	1.3	4.5	5.5	15.3	15.6	21.6	18.3	7.2	6.9	6.40
賃貸【アパート】	(n=1193)	3.4	1.3	2.0	4.4	5.6	19.5	16.3	20.9	16.2	5.2	5.2	6.11	
一般(2人以上)世帯全体		(n=1000)	1.5	0.6	1.2	1.8	2.7	12.9	11.9	23.1	26.7	9.6	8.0	6.97
婚 未 別 既	未婚・計	(n=177)	2.3	0.6	2.3	5.1	3.4	16.4	11.9	22.0	22.0	7.3	6.8	6.51
	既婚・計	(n=823)	1.1	0.5	1.1	1.0	2.9	11.3	12.0	22.7	28.6	9.7	9.1	7.12

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

人生満足度

★ 未婚単身世帯の人生満足度は一般世帯よりも低い。加重平均で0.91点の差。「住生活満足度」よりも差が大きい。

- 現在の暮らしの全般的な満足度について10段階でたずねたところ、未婚単身世帯全体の平均点は5.54で、一般世帯全体(6.45)を下回る。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計との比較でも、未婚単身世帯全体(5.54)の平均点は一般世帯・未婚・計(5.92)よりも低い水準。

未婚単身世帯

- 性年代別に平均点をみると、女性・計(5.81)が男性・計(5.33)を上回る。特に、男性・ミドル層(5.05)で他の層と比べてスコアが低くなっている。
- 所有形態×居住形態別に平均点をみると、持ち家・計(5.97)が賃貸・計(5.45)をやや上回る。持ち家の中でも、【マンション】の平均点が6.29で他の層と比べて高い。

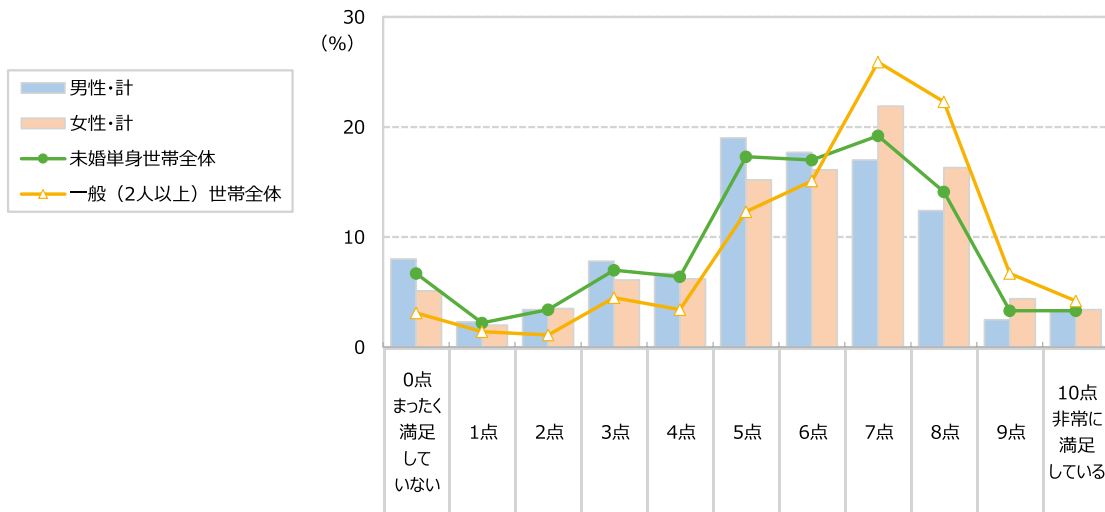
一般世帯

- 未既婚別に平均点をみると、既婚・計(6.65)が未婚・計(5.92)を上回る。

■人生満足度(全体/単一回答)

あらゆる点を考慮した上で、あなたは全体として現在の自分の暮らしについてどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を「0点」とした場合、何点くらいになるかをお答えください。



		0点 まったく満足していない	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 非常に満足している	加重 平均値 (点)	
未婚単身世帯全体		(n=3000)	6.7	2.2	3.4	7.0	6.4	17.3	17.0	19.2	14.1	3.3	3.3	5.54
性年代別	男性・計	(n=1667)	8.0	2.3	3.4	7.8	6.7	19.0	17.7	17.0	12.4	2.5	3.3	5.33
	男性・若年層(20~39歳)	(n=550)	6.5	2.9	2.0	6.5	6.0	21.3	18.7	15.8	12.4	2.5	5.3	5.55
	男性・ミドル層(40~54歳)	(n=679)	10.5	2.2	3.5	9.9	6.5	18.7	17.4	15.2	11.5	2.7	2.1	5.05
	男性・シニア層(55~64歳)	(n=438)	6.2	1.8	4.8	6.2	7.8	16.7	16.9	21.2	13.7	2.1	2.7	5.50
	女性・計	(n=1333)	5.1	2.0	3.5	6.1	6.2	15.2	16.1	21.9	16.3	4.4	3.4	5.81
	女性・若年層(20~39歳)	(n=882)	5.0	1.2	3.1	5.9	7.0	16.0	16.8	21.9	15.4	4.2	3.5	5.83
	女性・ミドル層(40~54歳)	(n=314)	5.7	2.9	3.8	7.3	3.8	14.6	15.3	22.3	16.9	4.1	3.2	5.73
	女性・シニア層(55~64歳)	(n=137)	4.4	4.4	5.8	4.4	5.8	11.7	13.1	21.2	20.4	5.8	2.9	5.83
居所有形態別	持ち家・計	(n=532)	4.5	1.5	3.0	4.9	6.2	15.8	15.6	22.6	18.2	3.4	4.3	5.97
	持ち家【戸建て】	(n=223)	7.6	1.3	4.9	5.8	8.1	17.9	13.9	16.6	16.1	3.1	4.5	5.52
	持ち家【マンション】	(n=309)	2.3	1.6	1.6	4.2	4.9	14.2	16.8	26.9	19.7	3.6	4.2	6.29
	賃貸・計	(n=2468)	7.2	2.3	3.5	7.5	6.5	17.7	17.3	18.4	13.2	3.3	3.1	5.45
	賃貸【戸建て】	(n=43)	11.6	2.3	—	9.3	9.3	23.3	11.6	16.3	4.7	7.0	4.7	5.14
	賃貸【マンション】	(n=1192)	7.4	1.8	3.5	6.3	5.5	15.8	17.8	20.1	14.7	3.9	3.3	5.61
賃貸【アパート】	(n=1193)	6.9	2.8	3.5	8.6	7.4	19.6	16.8	17.1	11.8	2.6	2.8	5.30	
一般(2人以上)世帯全体	(n=1000)	3.1	1.4	1.1	4.5	3.4	12.3	15.1	25.9	22.3	6.7	4.2	6.45	
婚未既別	未婚・計	(n=177)	6.2	1.1	1.7	6.8	5.6	15.3	15.8	22.0	16.9	1.7	6.8	5.92
	既婚・計	(n=823)	2.1	1.5	0.9	4.0	2.8	11.2	14.7	25.9	24.7	8.1	4.3	6.65

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

未婚単身世帯の暮らしと意識のまとめ

ここまで未婚単身世帯の暮らしと意識を中心にみてきた。概観しよう。

- 未婚単身世帯の居住エリア選択理由は、まず「通勤・通学の利便性」と「家賃・住宅価格」である。
- 未婚単身世帯は、「親しい地域の友人がいない」人が多く、「街」や「自宅」における交流頻度も低い。
- また、未婚単身世帯、特に男性は、インテリアや家での生活へのこだわりは低めである。
- 同様に「街」での交流に関わる行動も総じて低い。「近所の人に挨拶をする」者は2割弱に過ぎない。

- 一方で、未婚単身世帯の今後の交流意向も強くはない。

- 「街の満足度」も「家の満足度」も、その総合指標である「住生活満足度」も一般世帯より低い。
- 何よりも、「人生満足度」で一般世帯との差が大きい。
 - 特に「男性・ミドル層(40～54歳)」が低い。

未婚単身世帯の暮らしと意識の傾向を簡潔に表すと「利便性を求め／交流が少なく／交流を求めず／住生活満足度や人生満足度が低い」ということになる。自ら強く望んだのか、消費者なりの自然な選択として導かれたのかはわからないが、その結果は、自らの選択や希望が反映されたものであるとも言える。

補) 未婚単身世帯と一般世帯の未婚層との差異

ここでは、本章を通して確認できた「未婚単身層」と「一般世帯・未婚層」との差を整理する。

■ 結論 1

- 未婚単身層は一般世帯・未婚層と比べて、「街」での交流頻度・実態が低調な項目が多く、「地域への帰属意識」や「地域への愛着」、「地域での居場所感」も低い者が多い。
- 「住生活満足度」、「人生満足度」の総合指標も一般世帯・未婚層を下回っている。
 - なお未婚単身層の（「街」についての総合指標である）「街」満足度は、一般世帯・未婚層と同水準である。
この点、論理的な説明はつかないが、ここでは「街での生活実態」において両者には相当の差があることを確認するにとどめる。

結論 2

- 未婚単身層は一般世帯・未婚層と比べて、「家」での交流頻度が高いにも関わらず、「家」満足度が低い。
未婚単身層で一般世帯・未婚層との差がみられるのは、「家」での過ごし方^きこだわり度である。
- また、『ポジティブ感情』が低い一方で、「孤独」の感情が高いこと、
「家では、自分らしくいられる」一方で、「将来に対して楽観的でいられる」「家に誇りを感じる」が低いことなども影響していると考えられよう。

● 「家」での生活実態

- 「家」での交流頻度は、……………未婚単身>一般・未婚
- 「家」での交流意向は、……………未婚単身=一般・未婚 ※ただし一般・既婚と比べて低水準。
- 「家」での過ごし方^きこだわり度は、……未婚単身<一般・未婚
- 「家」における感情は、未婚単身層の『ポジティブ感情』項目が低く、「孤独」が高い。
- 「家」におけるエウダイモニア
 - ◆ 「家では、自分らしくいられる」……………未婚単身>一般・未婚
 - ◆ 「家では、気分転換しやすく、気持ちをリフレッシュすることができる」……未婚単身>一般・未婚
 - ◇ 「家では、自分の成長につながる時間を過ごすことができる」……………未婚単身<一般・未婚
 - ◇ 「この家があるおかげで、将来に対して楽観的でいられる」……………未婚単身<一般・未婚
 - ◇ 「家に誇りを感じる」……………未婚単身<一般・未婚

● 「街」での生活実態

- 「街」での友人の有無は、……………未婚単身<一般・未婚
- 「街」での交流頻度も、……………未婚単身<一般・未婚
- 「街」での交流意向は、……………未婚単身<一般・未婚
- 「近所の人に挨拶をする」は、……………未婚単身<<一般・未婚
- 地域へのスタンス
 - ① 地域への帰属意識……………未婚単身<一般・未婚
 - ② サードプレイスの有無……………未婚単身=一般・未婚
 - ③ 地域への愛着……………未婚単身<一般・未婚
 - ④ 住民への信頼……………未婚単身<<一般・未婚
 - ⑤ 地域での居場所感……………未婚単身<<一般・未婚

● 満足度

- 「家」満足度は、……………未婚単身<一般・未婚
- 「街」満足度は、……………未婚単身=一般・未婚
- 住生活満足度は、……………未婚単身<一般・未婚
- 人生満足度は、……………未婚単身<一般・未婚

II.

未婚単身世帯の住生活満足度分析

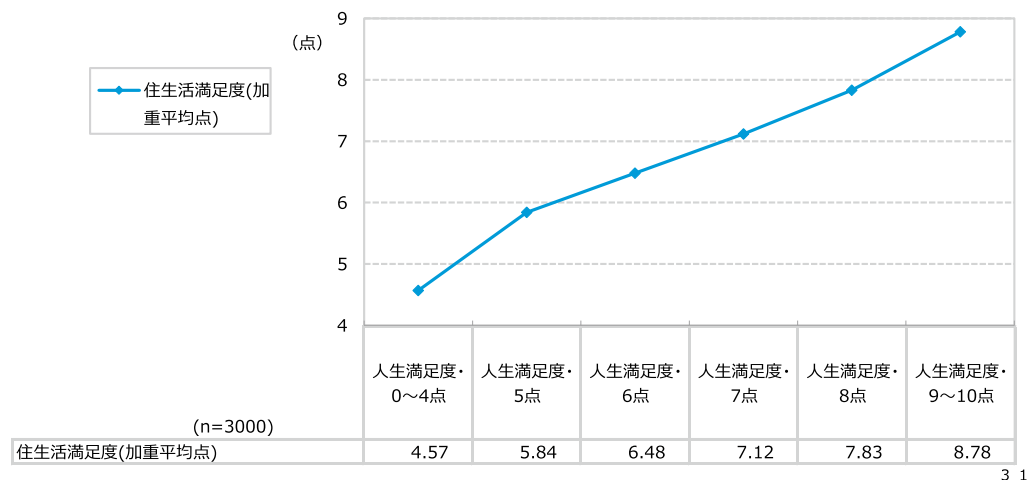


住生活満足度と人生満足度の関係

住生活満足度と人生満足度の関係

- 人生満足度が高くなるほど住生活満足度も上がる、リニアな関係になっている。
- 特に「人生満足度・0～4点」(4.57)から「人生満足度・5点」(5.84)の間での増加幅が大きい。

住生活満足度×人生満足度（未婚単身世帯全体／単一回答）

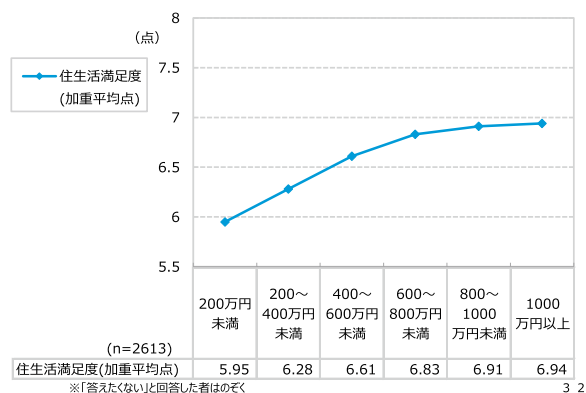


住生活満足度と住宅スペック

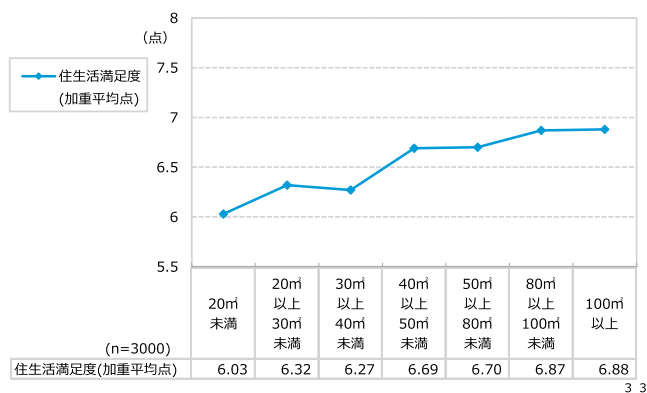
■ 住生活満足度と住宅スペック

□ 年収や、住居の広さなどの住宅スペックが高いほど住宅満足度（加重平均点）が高くなるが、一定水準を超えると住生活満足度が頭打ちになることがわかる。

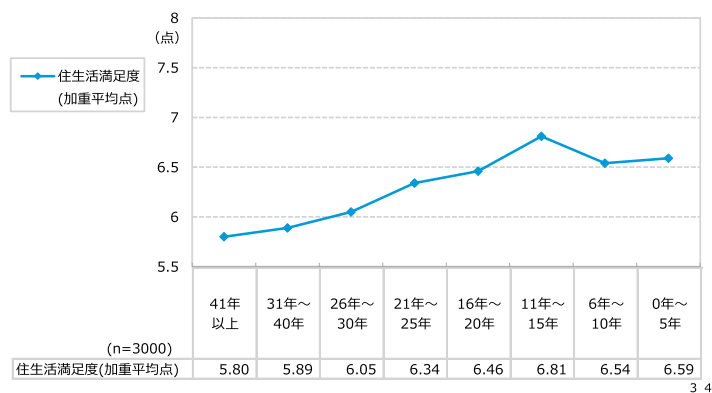
■ ① 世帯年収（未婚単身世帯全体／単一回答）



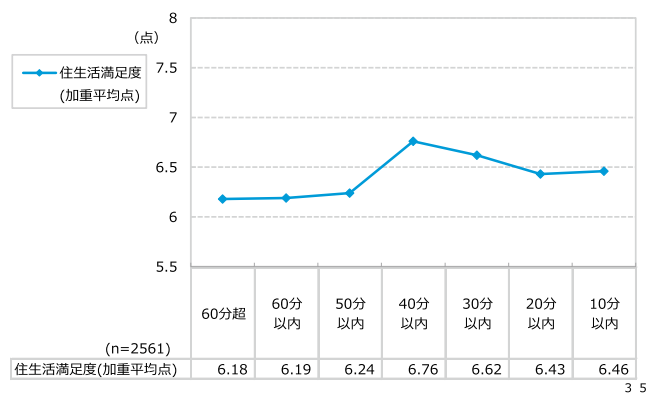
■ ② 住居の広さ（未婚単身世帯全体／単一回答）



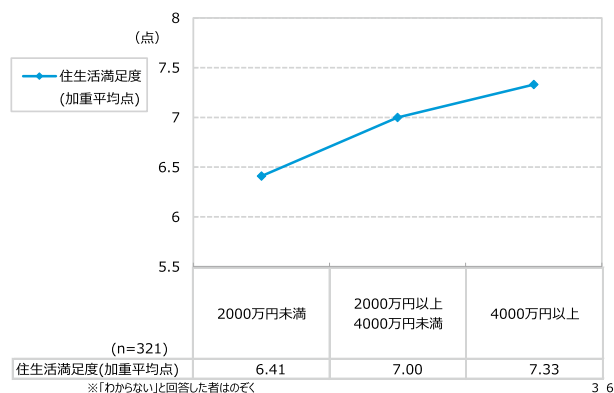
■ ③ 住居の築年数（未婚単身世帯全体／単一回答）



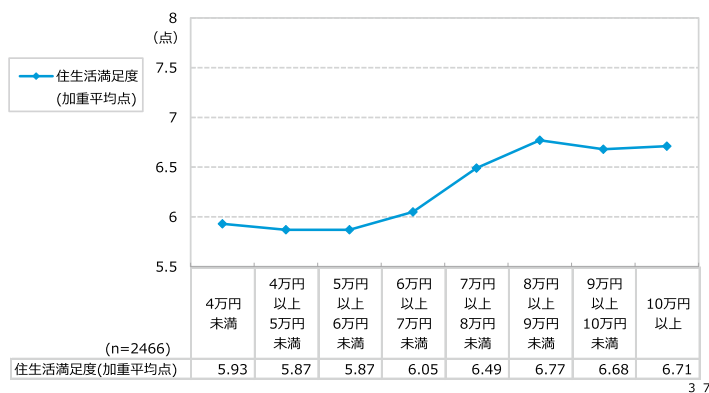
■ ④ 通勤時間（未婚単身世帯・通勤している者／単一回答）



■ ⑤ 住宅購入費（未婚単身世帯・持ち家居住者／単一回答）



■ ⑥ 家賃（未婚単身世帯・賃貸居住者／単一回答）

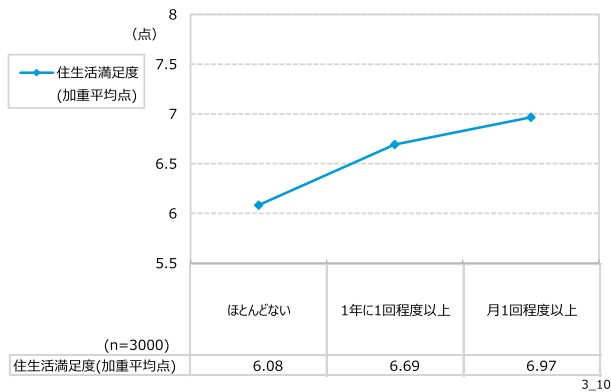


住生活満足度と「家」「街」ソフト領域

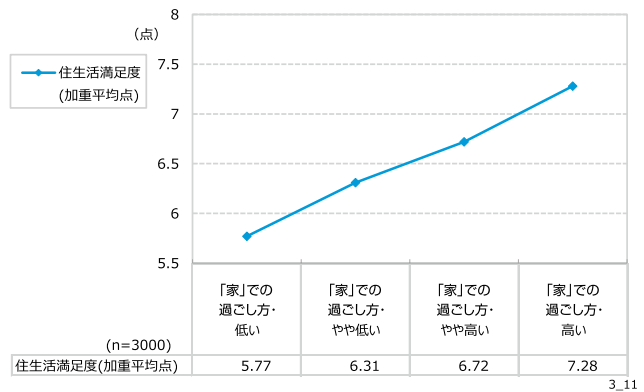
住生活満足度と「家」「街」ソフト領域

- 家や街での交流頻度や、「家」や「街」での過ごし方と住生活満足度（加重平均点）の関係をみると、いずれの項目も質が高い方が住生活満足度が高くなっている。
- 住宅スペックと住生活満足度との関係とは異なり、両者がリニアな関係にあることが確認できる。

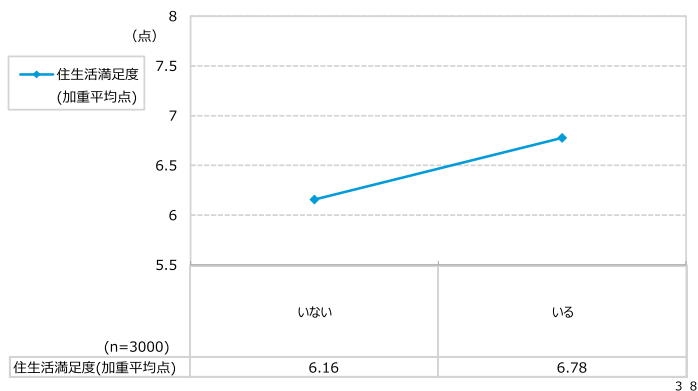
■ ①「家」での交流頻度（未婚単身世帯全体／単一回答）



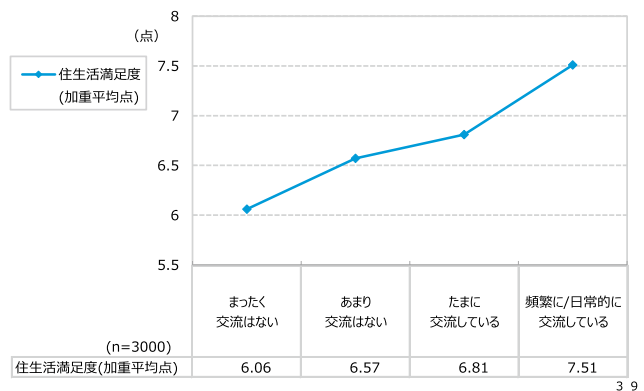
■ ②「家」での過ごし方（未婚単身世帯全体／単一回答）



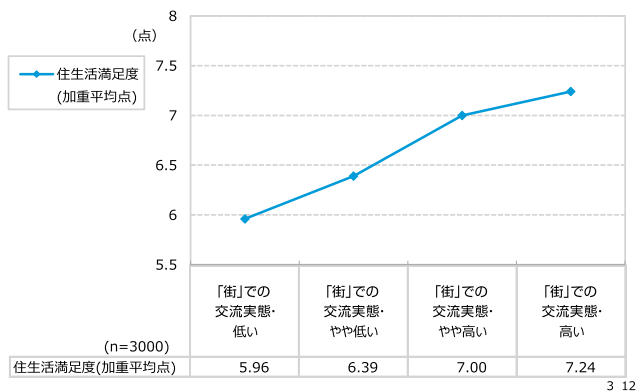
■ ③「街」における友人の有無（未婚単身世帯全体／単一回答）



■ ④「街」における交流頻度（未婚単身世帯全体／単一回答）



■ ⑤「街」での交流実態（未婚単身世帯全体／単一回答）



■ ②「家」での過ごし方について

「家」での過ごし方【現状】の16の選択肢の回答個数の積算を求め、以下のように分類した。

- ①「家」での過ごし方・高 4個以上
- ②「家」での過ごし方・やや高 2～3個
- ③「家」での過ごし方・やや低 1個
- ④「家」での過ごし方・低 0個

■ ⑤ 地域との交流度について

「街」での交流実態【現状】の10の選択肢の回答個数の積算を求め、以下のように分類した。

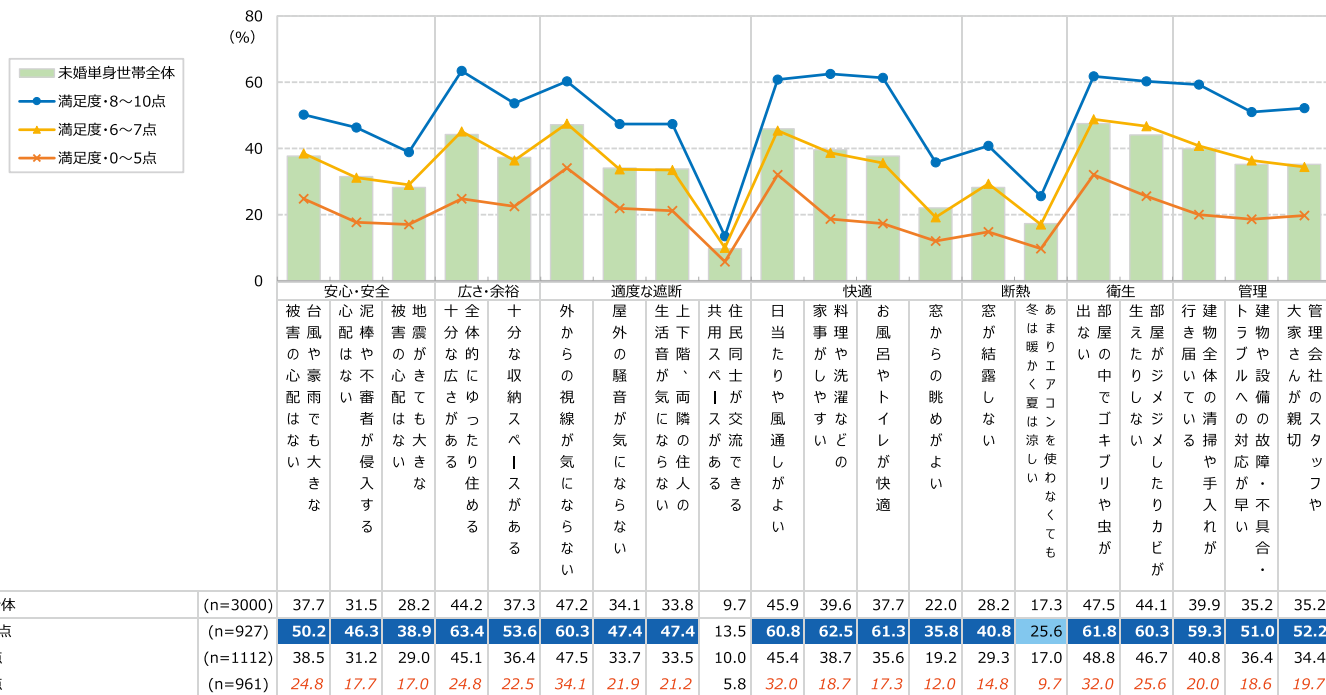
- ①「街」での交流実態・高 3個以上
- ②「街」での交流実態・やや高 2個
- ③「街」での交流実態・やや低 1個
- ④「街」での交流実態・低 0個

■「家」のハード評価

- ここからは、未婚单身世帯に絞って、住生活満足度の高い人々がどのような住生活を送っているのかを確認していく。
- 家についてあてはまることをたずねたところ、未婚单身世帯全体として高いのは、「外からの視線が気にならない」「部屋の中でゴキブリや虫が出ない」「日当たりや風通しがよい」がトップ3で、いずれも45%を超えている。
- 住生活満足度別にみると、いずれの項目も満足度が高いほどスコアが高くなっている。
- 8～10点層と0～5点層の差が大きい項目をみると、以下の項目で30ポイント以上の差がある。余裕のある広さに加えて、水回りの快適さ、衛生状態と、管理に関わる項目で大きな差がある。
 - 【広さ・余裕】「全体的にゆったり住める十分な広さがある」
 - 【広さ・余裕】「十分な収納スペースがある」
 - 【快適】「料理や洗濯などの家事がしやすい」
 - 【快適】「お風呂やトイレが快適」
 - 【衛生】「部屋がジメジメしたりカビが生えたりしない」
 - 【管理】「建物全体の清掃や手入れが行き届いている」
 - 【管理】「建物や設備の故障・不具合・トラブルへの対応が早い」
 - 【管理】「管理会社のスタッフや大家さんが親切」

■「家」のハード評価『あてはまる・計』（未婚单身世帯全体／各単一回答）

現在のお住まいについて、以下の各項目はどの程度あてはまりますか。



※未婚单身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリごとに未婚单身世帯全体の降順でソート

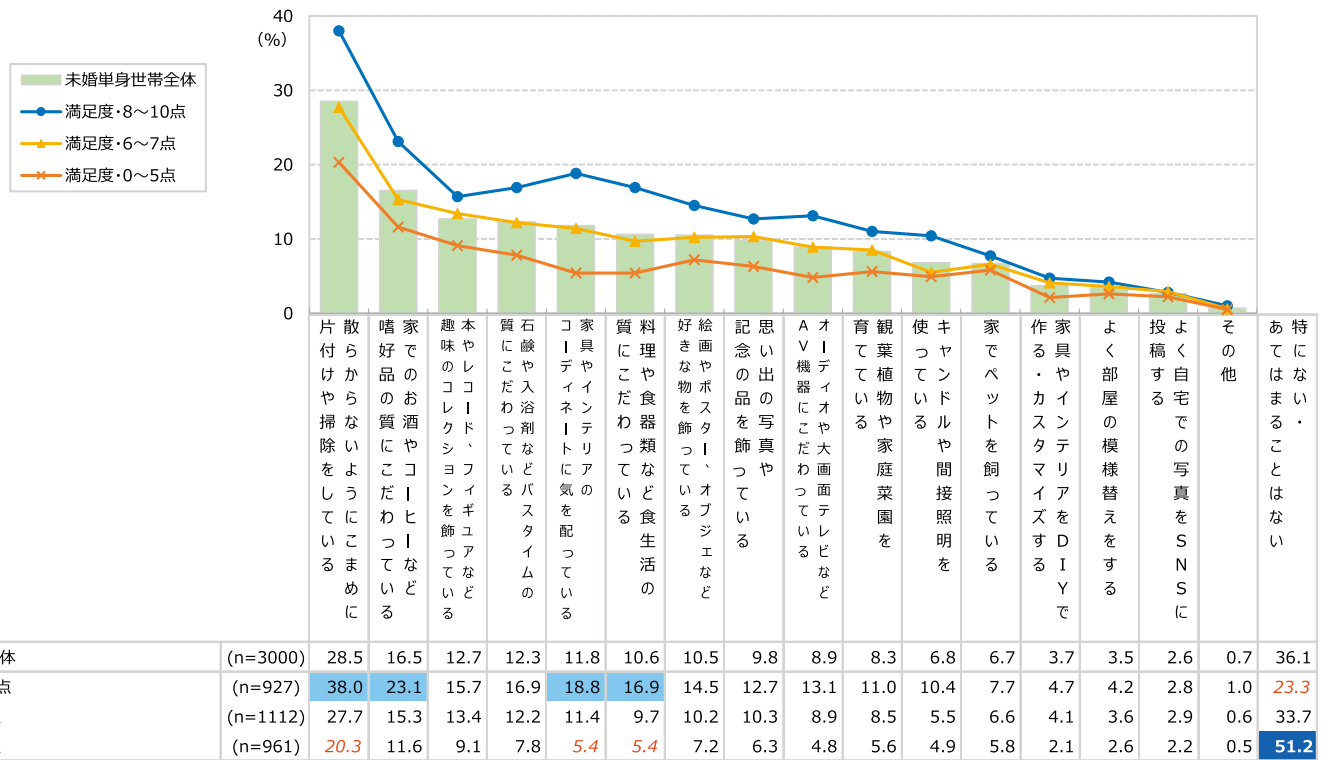
「満足度・8～10点」-「満足度・0～5点」	25.4	28.6	21.9	38.6	31.1	26.2	25.5	26.2	7.7	28.8	43.8	44.0	23.8	26.0	15.9	29.8	34.7	39.3	32.4	32.5
------------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

■「家」での過ごし方【現状】

- 家での過ごし方についてあてはまることをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」(28.5%)がトップ。
- 住生活満足度別にみると、住生活満足度が高いほどスコアが高い項目が多い。
- 8～10点層と0～5点層の差が大きい項目は以下の通り。いずれも10ポイント以上の差がある。
 - 「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」
 - 「家でのお酒やコーヒーなど嗜好品の質にこだわっている」
 - 「家具やインテリアのコーディネートに気を配っている」
 - 「料理や食器類など食生活の質にこだわっている」

■「家」での過ごし方【現状】(未婚単身世帯全体／複数回答)

現在のお住まいでの普段の生活において、「あてはまること」をすべてお選びください。



※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以下低い数値を斜体英文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

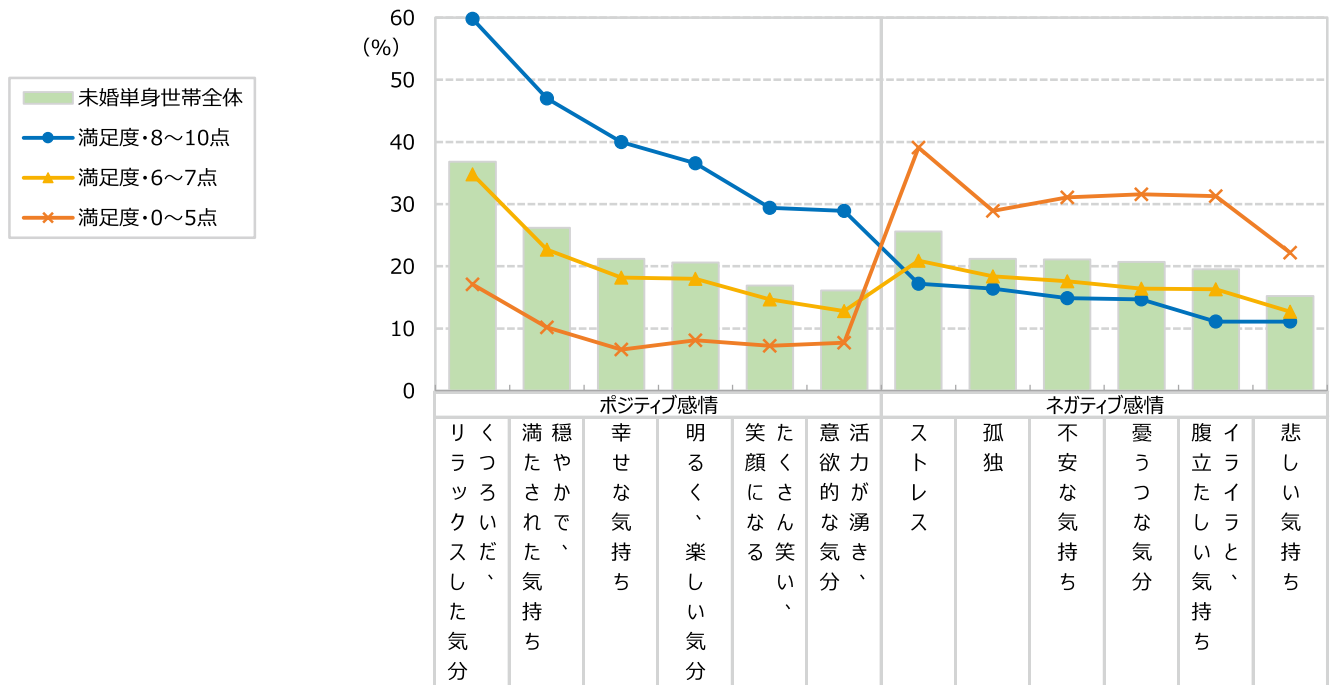
「満足度・8～10点」-「満足度・0～5点」	17.7	11.5	6.6	9.1	13.4	11.5	7.3	6.4	8.3	5.4	5.5	1.9	2.6	1.6	0.6	0.5	▲ 27.9
------------------------	------	------	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------

■「家」における「感情」

- 過去1週間の家での気分についてたずねたところ、未婚単身世帯全体では『ポジティブ感情』の「くつろいだ、リラックスした気分」(36.8%)が最も高く、「穏やかで満たされた気持ち」が続く。『ネガティブ感情』の中では、「ストレス」(25.6%)が高いが、「孤独」「不安な気持ち」「憂うつな気分」も2割を超えている。
- 住生活満足度別にみると、『ポジティブ感情』は満足度が高いほどスコアが高い。
- なお、『ネガティブ感情』は満足度が低いほどスコアが高くなっているが、6～7点層と8～10点層の差は小さい。『ネガティブ感情』と住生活満足度の低さとの相関が高いことがうかがえる。
- 8～10点層と0～5点層を比べると、『ポジティブ感情』で差が大きいのは以下の項目である。
 - 「くつろいだ、リラックスした気分」
 - 「穏やかで、満たされた気持ち」
- また、『ネガティブ感情』で差が大きいのは以下の項目である。
 - 「ストレス」
 - 「イライラと、腹立たしい気持ち」

■「家」における「感情」『感じた・計』（未婚単身世帯全体／各単一回答）

過去1週間、現在のお住まいであなたはどのような気分ですごしていましたか。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	36.8	26.2	21.2	20.6	16.9	16.1	25.6	21.2	21.1	20.7	19.5	15.2
住生活満足度別	8～10点	(n=927)	59.8	47.0	40.0	36.6	29.4	28.9	17.2	16.4	14.9	14.7	11.1	11.1
	6～7点	(n=1112)	34.8	22.7	18.2	18.0	14.7	12.8	20.9	18.4	17.6	16.4	16.3	12.7
	0～5点	(n=961)	17.1	10.2	6.6	8.1	7.2	7.7	39.1	28.9	31.1	31.6	31.3	22.2

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

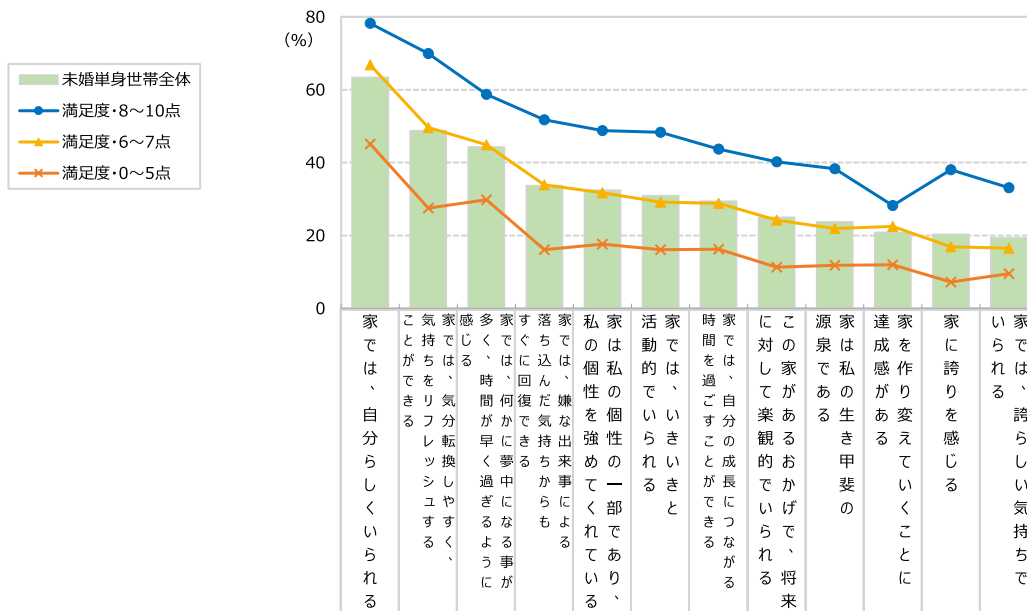
「満足度・8～10点」-「満足度・0～5点」	42.7	36.8	33.4	28.5	22.2	21.2	▲ 21.9	▲ 12.5	▲ 16.2	▲ 16.9	▲ 20.2	▲ 11.1
------------------------	------	------	------	------	------	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

■「家」における「エウダイモニア」

- 家での暮らしについてどのように感じているかをたずねたところ、未婚単身世帯全体は「家では、自分らしくいられる」(63.4%)が最も高い。
- 住生活満足度別にみると、いずれの項目も満足度が高いほどスコアが高くなっている。
- 8～10点層と0～5点層の差が30ポイント以上ある項目は以下の通りである。
 - 「家では、自分らしくいられる」
 - 「家では、気分転換しやすく、気持ちをリフレッシュすることができる」
 - 「家では、嫌な出来事による落ち込んだ気持ちからもすぐに回復できる」
 - 「家は私の個性の一部であり、私の個性を強めてくれている」
 - 「家では、いきいきと活動的でいられる」
 - 「家に誇りを感じる」

■「家」における「エウダイモニア」『あてはまる・計』（未婚単身世帯全体／各単一回答）

現在のお住まいでの暮らしについて、あなたはどのように感じていますか。



満足度別	人数	家では、自分らしくいられる	家では、気分転換しやすく、気持ちをリフレッシュすることができる	家では、嫌な出来事による落ち込んだ気持ちからもすぐに回復できる	家は私の個性の一部であり、私の個性を強めてくれている	活動的でいられる	家では、いきいきと活動的でいられる	家では、自分らしくいられる	家では、自分らしくいられる	家では、自分らしくいられる	家では、自分らしくいられる	家では、自分らしくいられる	家では、自分らしくいられる
未婚単身世帯全体	(n=3000)	63.4	48.8	44.3	33.7	32.4	30.9	29.4	25.0	23.7	20.8	20.3	19.4
8～10点	(n=927)	78.2	69.9	58.7	51.7	48.8	48.3	43.7	40.2	38.3	28.2	38.0	33.1
6～7点	(n=1112)	66.8	49.6	44.9	33.9	31.7	29.1	28.8	24.2	21.9	22.5	16.9	16.5
0～5点	(n=961)	45.1	27.5	29.8	16.1	17.6	16.1	16.2	11.3	11.8	11.9	7.2	9.5

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※未婚単身世帯全体の階層でソート

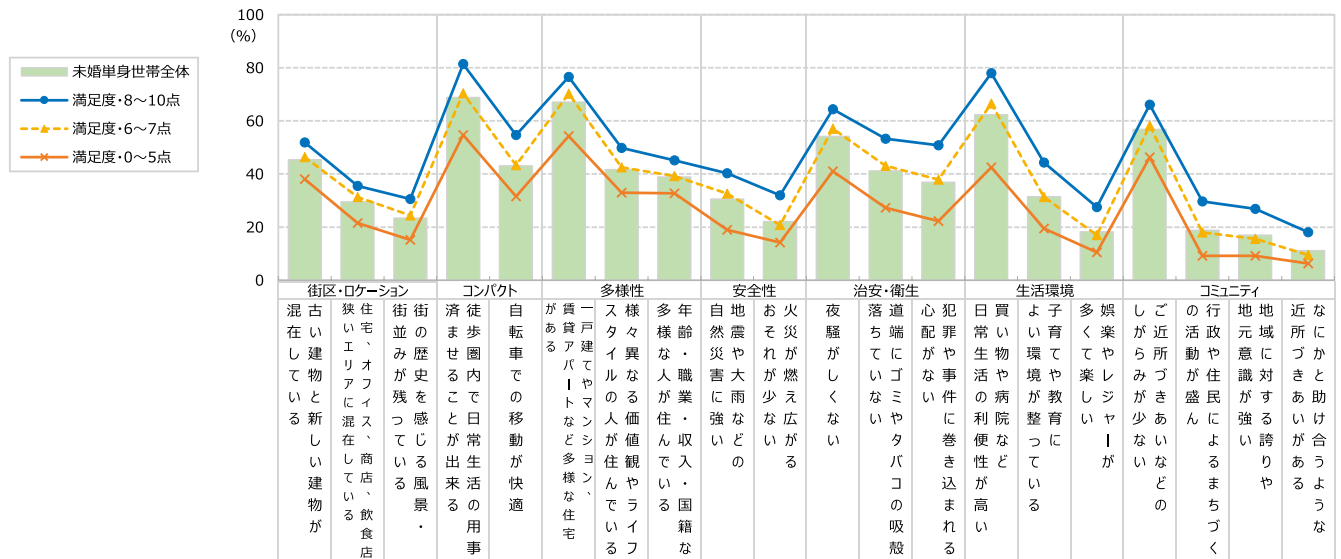
「満足度・8～10点」-「満足度・0～5点」	33.1	42.4	28.9	35.6	31.2	32.2	27.5	28.9	26.5	16.3	30.8	23.6
------------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

「街」のハード評価

- 未婚単身世帯全体として高いのは、「徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る」(68.8%)、「一戸建てやマンション、賃貸アパートなど多様な住宅がある」(67.1%)、「買い物や病院など日常生活の利便性が高い」(62.3%)など。いずれも6割を超える。
- 住生活満足度別にみると、いずれの項目も住生活満足度が高いほどスコアが高い関係にある。
- 8～10点層と0～5点層のスコア差をみると、以下の項目で20ポイント以上の大差がついている。**利便性や安心感に関わる項目群が中心**である。
 - 【コンパクト】「徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る」
 - 【コンパクト】「自転車での移動が快適」
 - 【多様性】「一戸建てやマンション、賃貸アパートなど多様な住宅がある」
 - 【安全性】「地震や大雨などの自然災害に強い」
 - 【治安・衛生】「夜騒がしくない」
 - 【治安・衛生】「道端にゴミやタバコの吸殻が落ちていない」
 - 【治安・衛生】「犯罪や事件に巻き込まれる心配がない」
 - 【生活環境】「買い物や病院など日常生活の利便性が高い」
 - 【生活環境】「子育てや教育により環境が整っている」
 - 【コミュニティ】「行政や住民によるまちづくりの活動が盛ん」

「街」のハード評価『あてはまる・計』（未婚単身世帯全体／各単一回答）

現在のお住まいの地域について、以下の各項目はどの程度あてはまりますか。



未婚単身世帯全体	(n=3000)	45.4	29.5	23.4	68.8	43.1	67.1	41.7	38.9	30.6	22.1	54.2	41.2	36.9	62.3	31.5	18.2	56.8	18.8	17.0	11.2
満足度別	8～10点 (n=927)	51.9	35.5	30.6	81.4	54.7	76.6	49.8	45.1	40.3	32.0	64.4	53.3	50.8	78.0	44.3	27.5	66.1	29.7	26.9	18.1
	6～7点 (n=1112)	46.4	31.3	24.4	70.4	43.3	70.2	42.5	39.2	32.6	20.8	57.1	43.1	37.9	66.5	31.3	17.0	58.2	18.0	15.6	9.5
	0～5点 (n=961)	38.1	21.5	15.2	54.7	31.6	54.3	33.0	32.7	19.0	14.2	41.0	27.3	22.3	42.5	19.5	10.5	46.3	9.2	9.2	6.3

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「満足度・8～10点」-「満足度・0～5点」	13.8	14.0	15.4	26.7	23.1	22.3	16.8	12.4	21.3	17.8	23.4	26.0	28.5	35.5	24.8	17.0	19.8	20.5	17.7	11.8
------------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

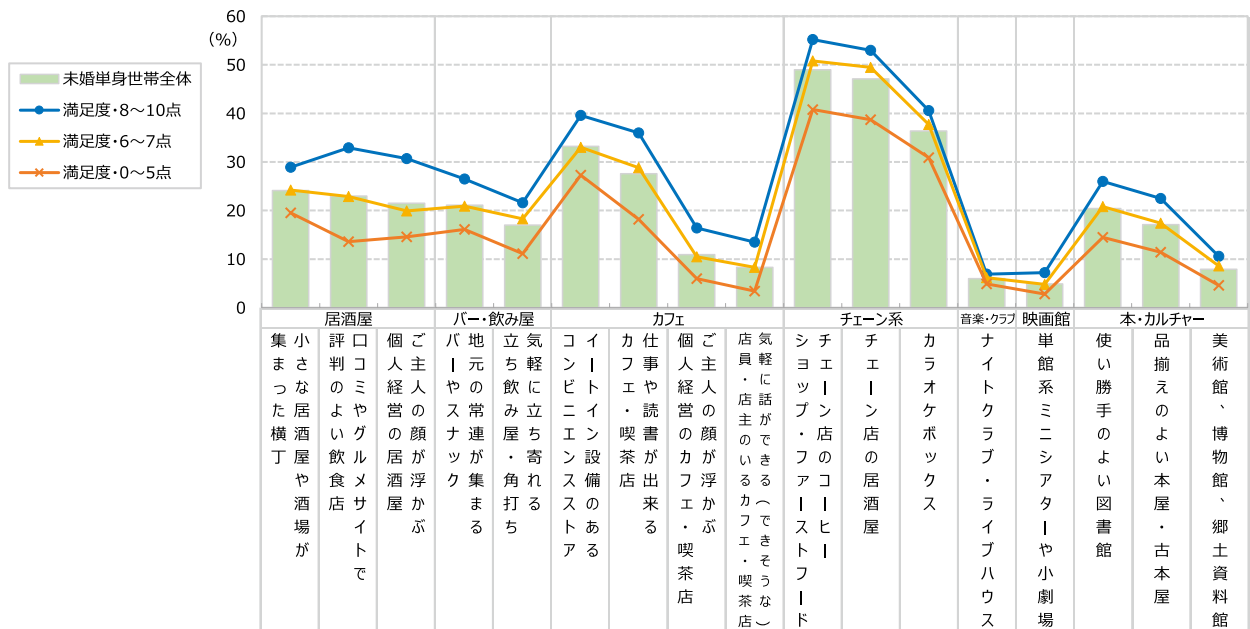
■ 「街」の要素

- 今住んでいる地域に何があるかをたずねたところ、未婚単身世帯全体では『チェーン系』、および「コインランドリー」が4割程度で高い。
- 住生活満足度別にみると、いずれの項目も住生活満足度が高いほどスコアが高い関係にある。
- 8～10点層と0～5点層の差が大きい項目をみると、以下の項目で15ポイント以上の差がついている。飲食店やカフェに関する項目群と、散歩・スポーツ・自然に関する項目群である。

- 【居酒屋】「口コミやグルメサイトで評判のよい飲食店」
- 【居酒屋】「ご主人の顔が浮かぶ個人経営の居酒屋」
- 【カフェ】「仕事や読書が出来るカフェ・喫茶店」
- 【スポーツ】「散歩が楽しめる遊歩道・緑道・街路・歩道」
- 【スポーツ】「ランニングやサイクリングに適したコース」
- 【公園・自然】「居心地のよい公園」

■ 「街」の要素①（未婚単身世帯全体／複数回答）

現在のお住まいの地域について、以下にあげるようなものはありますか。



未婚単身世帯全体	(n=3000)	24.1	23.0	21.5	21.1	17.0	33.2	27.6	10.9	8.3	49.0	47.1	36.4	6.0	4.9	20.4	17.1	7.9	
住生活	8～10点	(n=927)	28.9	32.9	30.7	26.5	21.6	39.6	36.0	16.4	13.5	55.2	53.0	40.6	6.9	7.2	26.0	22.5	10.6
住生活	6～7点	(n=1112)	24.2	22.9	19.9	20.9	18.3	33.0	28.8	10.5	8.3	50.8	49.5	37.7	6.2	4.8	20.8	17.4	8.6
住生活	0～5点	(n=961)	19.5	13.6	14.6	16.1	11.1	27.3	18.2	6.0	3.4	40.8	38.7	30.9	4.9	2.8	14.5	11.4	4.6

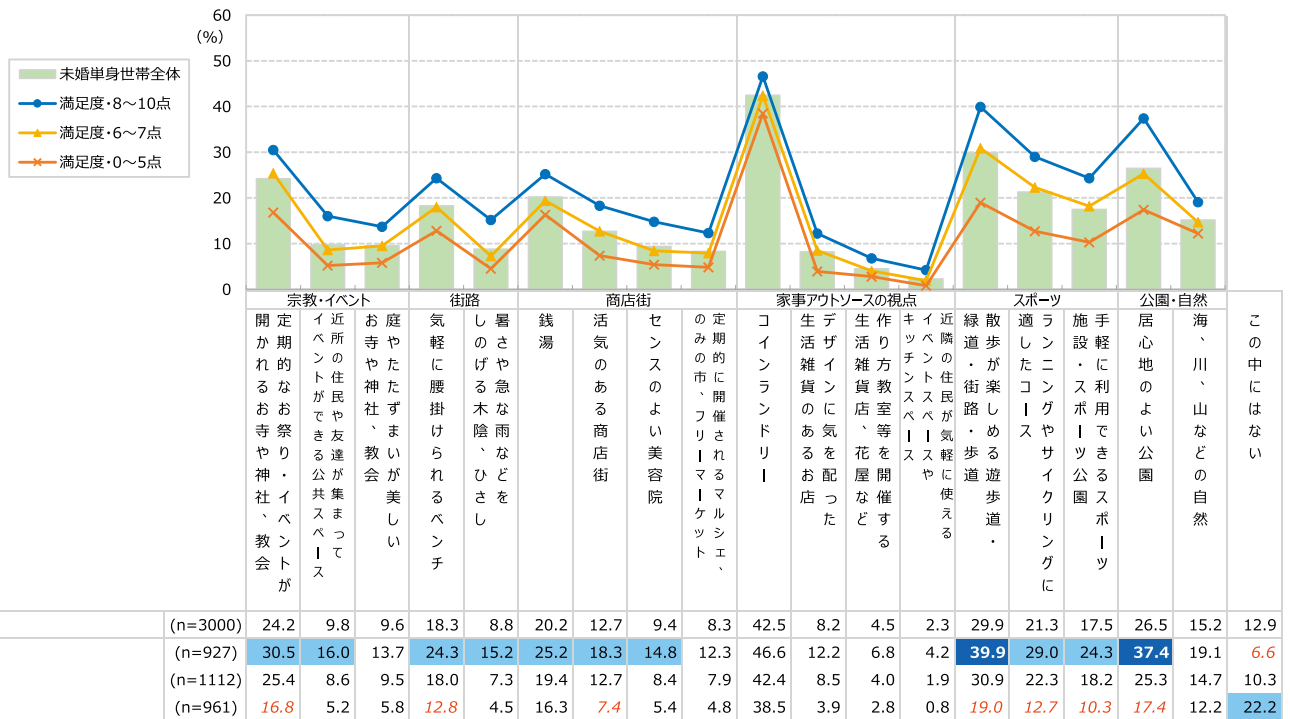
※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「満足度・8～10点」-「満足度・0～5点」	9.4	19.3	16.1	10.4	10.5	12.3	17.8	10.4	10.1	14.4	14.3	9.7	2.0	4.4	11.5	11.1	6.0
------------------------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	-----

■「街」の要素②（未婚単身世帯全体／複数回答）

現在のお住まいの地域について、以下にあげるようなものはありますか。



※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体赤字

※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「満足度・8~10点」-「満足度・0~5点」	13.7	10.8	7.9	11.5	10.7	8.9	10.9	9.4	7.5	8.1	8.3	4.0	3.4	20.9	16.3	14.0	20.0	6.9	▲15.6						
------------------------	------	------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	-------	--	--	--	--	--	--

ウェルビーイング研究に基づく「住まいの幸福」の再考

有馬雄祐

職業能力開発総合大学校 助教

1 ウェルビーイング研究と『住宅幸福論』

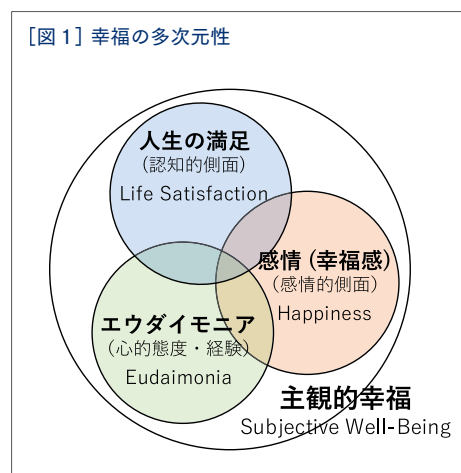
ウェルビーイング (WB: well-being) に関する研究、すなわち幸福の研究が、社会科学の主要なテーマの一つになりつつある。ウェルビーイング研究 (以降、WB 研究) は、生活の質 (QOL: quality of life) に関する研究が発展したものであるが、両者の特徴の最も大きな相違点は、WB 研究では生活の客観的な側面の情報のみならず、人生に対する主観的な情報 (個々人が人生をどのように経験し、判断しているか) を積極的に活用する点にある。「あなたはどれくらい自分の人生に満足していますか?」、或いは「あなたはどれだけ幸せを感じていますか?」、そうした問いで測定される主観的幸福 (SWB: subjective well-being) と呼ばれる人生に対する主観的な情報を、生活の客観的側面と共に分析することで、幸福の統計的な解明がWB 研究において進められている。本誌で3作目となる『住宅幸福論』シリーズを学術的な文脈に位置づけるならば、WB 研究という社会科学の新潮流における建築分野での先駆的な試みであると言えるだろう。

近年のWB 研究が明らかにした重要な知見の一つは、私たちが「幸福」と呼んでいる人生の良い状態には、実のところ多様な側面があるという事実である^[1]。幸福が多元的なものである事 (幸福の多次元性) の認識は、幸福を科学していくうえでの重要な土台である (図1)。自分の人生に対する満足を意味する「人生の満足」は、QOL 研究においても扱われてきた幸福の最も代表的な側面であり、幸福の認知的な側面であると言えるが、他方で、日々の暮らしの中で、喜んだり、笑ったりといったポジティブな感情をどれだけ多く経験しているか、そうした「感情」(「幸福感」と呼ばれる場合もある) も幸福の大切な一側面である。近年のWB 研究によって、これら幸福の認知的な側面と感情的な側面は、互いに異なる幸福の形態である事実が明らかにされている。ノーベル経済学賞を共に受賞しているカーネマンとティートンの報告^[2]によると、お金を稼げば稼ぐほど人生の満足は増大するが、感情

的側面の向上はある一定の所得において頭打ちとなり、それ以上ではむしろ幸福感は減少していく傾向にさえある。こうした事実から彼らは、「人生の満足はお金で

買えるが、幸せはお金では買えない」と結論する。とは言え、常識に違わず、生活の質を下支えしてくれるお金が幸福にとって重要なものである事も統計的な事実であり、所得の低さは人生の満足と幸福感の両面を押し下げる。しかしながら、感情は人生満足に比べて、所得よりも健康や人間関係とより強い相関がある事実からも、人生の満足と感情は異なる幸福の側面である事が分かる^[2]。さらに近年のWB 研究では、「人生の意味」(日本語における「生き甲斐」に近い)などを中心とする幸福の新たな側面も考慮され始めており、人生満足とも感情とも異なるこの幸福の第三の側面は「エウダイモニア」と総称されている^[3]。エウダイモニアは、元々はアリストテレスが『ニコマコス倫理学』という幸福論において人生の究極の目標として掲げたものである。この概念についてはWB 研究においてもその定義は議論の最中にあるが^[4]、単に人生に満足しているだけでも、単に良い気分で暮らしているというだけでもない、良い人生を送るうえで重要な心的態度や経験が一般的にはエウダイモニアと総称されている。具体的には、エウダイモニアの次元に属する幸福としては「人生の意味」の他にも、人生や物事への没頭を意味する「エンゲージメント (ないし、フロー経験)」や、自分自身を前向きに捉える「自尊心」などが挙げられる。エウダイモニア

【図1】幸福の多次元性



も、人生満足とも感情とも異なる幸福の一形態である事が確認されている。例えば、子どもを持つ人たちは人生の満足や感情的な側面では、子どもを持たない人たちと比べて幸福であるとは言えず、感情的側面においてはむしろ少しばかり不幸な傾向にさえある。しかし、「人生の意味」というエウダイモニックな幸福と比較すると、子どもを持つ人たちの幸福度は持たない人たちに比べて統計的にはずっと高い傾向がある^[3]。幸福は畢竟、主観的な現象であり、多様な顔がある。従って、その多彩な幸福を科学していくうえで幸福の多次元性の考慮が不可欠となるわけである。以下に（主観的）幸福の3つの代表的な側面を示す。

・ **人生の満足**：

自分の人生に対する認知的な満足。
人生評価とも呼ばれる。

・ **感情（幸福感）**：

楽しいや悲しいなど、日々の暮らしで経験される
ネガティブ/ポジティブな感情。

・ **エウダイモニア**：

人生の意味やフロー経験など、良い人生を
送るうえで重要な心的態度・経験。

家の「良さ」についても、幸福と同様に、多様な側面がある可能性

がある。従来の住環境評価の研究では、「家の満足」という認知的な側面を中心に家の良さの分析はなされてきた。「家の満足」という観点では、「広さ」や「築年数」、或いは「職場や学校へのアクセスの良さ」などが家の良さを決める支配的な要素である事が、『住宅幸福論 Episode.1』を含む数々の既往の調査や研究において明らかにされている。これら認知的な家の良さの評価は、私たちが自身の住まいを選ぶ際の基準にもなっているものであると推察される。しかし、人生における幸福がそうであるように、ある家に対する満足は、その家での日々の暮らしで経験される感情とは異なるものであるのかもしれない。つまり、満足できる家は、幸せに暮らせる家とは別物である可能性がある。家の「良さ（幸福）」もその多次元性を考慮することで、「家の満足」のみでは見えてこない住まいの幸福にとって重要な側面が明らかになる可能性があると言えるだろう。そこで『住宅幸福論 Episode.3』の調査では、住まいの幸福をより詳細に分析するために、家に対する満足度の他に、家に居る際の「幸せな気持ち」や「明るく、楽しい気分」といったポジティブな感情、或いは「憂うつな気分」や「ストレス」といったネガティブな感情の経験も測定することにした。さらに、「家に誇りを感じる」や「家は私の個性の一部であり、私の個性を強めてくれている」といった家がもたらすエウダイモニックな幸福の程度についても測定している。本分析パートでは、**WB 研究の知見を基に「幸福の多次元性」を手掛かりとして、『住宅幸福論』シリーズの中心的テーマである「住まいの幸福」とは何かについて再考**したい。

2 | ウェルビーイング研究と『住宅幸福論』

本調査では家の幸福の各側面として、「家の満足度」「家におけるポジティブ感情」「家におけるネガティブ感情」「家がもたらすエウダイモニア」の4つの領域を測定した。これら家の幸福を測定するためのアンケート項目は、人生全般における幸福度の各側面（人生の満足、感情、エウダイモニア）を家の問題へと変換したものであり、また各側面の測定技法も基本的にはWB研究の知見を基に作成している。「家の満足度」は家の幸福の認知的な側面であり、「人生の満足度」に対応する側面であると言える。「家でのポジティブ感情」及び「家でのネガティブ感情」は、生活全般における「感情」を家という領域に限定したものである。また、エウダイモニアはWB研究においても試験的な意味合いで測定がなされる幸福の一側面であるが、本調査ではエウダイモニアを、単なる満足や良い気分ではない、良い人生を送るうえで重要な心的態

度や経験として広義に捉えて、家がある事や家に居ることによって促進されるエウダイモニアを「家がもたらすエウダイモニア」として測定している。本調査が測定の対象とする家の幸福の各側面を以下に示す。

・ **家の満足度**：

家に対する認知的な満足度。（1項目）

・ **家でのポジティブ感情**：

家に居る際のポジティブ感情の経験（の頻度）。（6項目）

・ **家でのネガティブ感情**：

家に居る際のネガティブ感情の経験（の頻度）。（6項目）

・ **家がもたらすエウダイモニア**：

家のおかげで促進されるエウダイモニア（の程度）。（9項目）

表1に家の幸福度の各側面を測定するためのアンケート項目を示す。「家の満足度」は、「あなたは、『現在のお住まい』について、どの程度満足していますか」という問いに対して、「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点とした11段階の尺度で測定した。「家でのポジティブ感情」と「家でのネガティブ感情」は、「過去1週間、現在のお住まいであなたはどのような気分で過ごしていましたか。それぞれの気分について、どの程度感じていたかをお答えください」という問いに対して、「毎日、常に感じた」から「まったく感じなかった」の5段階で回答させた。測定したのは、「幸せな気持ち」「明るく、楽しい気分」「たくさん笑い、笑顔になる」「くつろいだ、リラックスした気分」「穏やかで、満たされた気持ち」「活力が湧き、意欲的な気分」のポジティブ感情、及び「憂うつな気分」「不安な気持ち」「ストレス」「悲しい気持ち」「イライラと、腹立たしい気持ち」「孤独」のネガティブ感情の計12種類の感情の頻度である。「家がもたらすエウダイモニア」は、「現在のお住まいでの暮らしについて、あなたはどのように感じていますか。以下の各項目がどの程度あてはまるかについてお答えください」という問いに対して、「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」の5段階で回答させた。

本調査では「家がもたらすエウダイモニア」として、WB研究で提唱されている理論^{[5][6]}を参考にしながら、「自己実現」「自尊心」「人生の意味」「エンゲージメント・フロー経験」「楽観性」「達成感」等に関する項目を用意した。自己実現に関する項目としては「家は私の個性の一部であり、私の個性を強めてくれている」、自尊心では「家に誇りを感じる」、人生の意味では「家は私の生き甲斐の源泉である」、エンゲージメント・フロー経験では「家では、何かに夢中になる事が多く、時間が早く過ぎるように感じる」などを設けている。その他、楽観性に関わる項目としては「この家があるおかげで、将来に対して楽観的でいられる」、さらに「達成」^[5]に関わる項目としては「家を作り変えていくことに達成感がある」という項目を設けている。

本分析パートでは、これらの項目で測定した家の幸福度の各側面を、

「家のハード面」と「家の住まい方」及び「交流実態」に関する要素と共に分析する。表2に「家のハード面」「家の住まい方」「交流実態」に関するアンケート項目を示す。「家のハード面」では「現在のお住まいについて、以下の各項目はどの程度あてはまりますか」という問いに対して、「とてもあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの5段階で回答させた。住環境評価の既往研究を参考に、「安心・安全」「広さ」「プライバシー」「共用スペース」「快適」「設備」「衛生」「管理」の要因に関する項目を設けている。「家の住まい方」は「現在のお住まいでの普段の生活において、『あてはまること』をすべてお選びください」という設問で測定した。加えて、「交流実態」では「家での交流頻度」を「日頃、ご自宅に友人を招く機会はどの程度ありますか」という問いに対して、「ほとんどない」から「1週間に1回以上」までの7段階で回答させており、また「SNSの利用時間」を「あなたは、以下のSNSや掲示板、オンラインゲームなどを、平均すると1日あたりどの程度の時間、利用していますか。1日あたりの利用分数を記入してください」という問いに対して、各SNSの各利用時間[分]を回答させた。

本パートで分析対象とする被験者は、首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の未婚単身者3,000人（男性1,667人、女性1,333人、平均年齢±標準偏差：40.7±12.6歳）である。ただし、続く「3. 家の幸福度の実態」の結果においてのみ、2人以上世帯1,000人（男性500人、女性500人、平均年齢±標準偏差：44.4±13.1歳）も比較のために分析対象としている。以降の結果では、先ず「3. 家の幸福度の実態」にて家の幸福の各側面の値^{*1}を示し、次に「4. 家の幸福度の相関分析」では「家のハード面」「家の住まい方」及び「交流実態」（「家での交流頻度」と「SNSの利用時間」）の各項目と家の幸福度との相関係数^{*2}による分析結果について報告する。「5. 家の幸福度の重回帰分析」では、家の幸福度への影響が推察される人生満足度や個人属性といった要因も考慮して分析を実施するため、家の幸福度の各側面を目的変数とした重回帰分析の結果について報告する。最後に「6. 住まいの幸福の再考」において、分析結果を基に住まいの幸福を再考する。

※1：「家の満足度」は11段階評価の0点（まったく満足していない）から10点（非常に満足している）の値をそのまま使用した。「家でのポジティブ感情」は、各ポジティブ感情のスコアを1点（まったく感じなかった）から5点（毎日、常に感じた）とし、反対に各ネガティブ感情のスコアはネガティブ感情の無さ（「家でのネガティブ感情（なさ）」）として1点（毎日、常に感じた）から5点（まったく感じなかった）とした。また、分析における「家でのポジティブ感情」及び「家でのネガティブ感情（なさ）」は、計6つの各感情のスコアの平均値（1点～5点）として算出した。「家がもたらすエウダイモニア」では、家がもたらす各エウダイモニアのスコアを1点（まったくあてはまらない）から5点（とてもよくあてはまる）とし、計9つのスコアの平均値（1点～5点）として算出した。

※2：相関係数はピアソンの積率相関係数を使用した。家の幸福度の各側面のスコアと各ダミー変数の相関係数を算出した。「家のハード面」の各要素は「とてもあてはまる」「あてはまる」を1、「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を0としてダミー変数を作成した。「家の住まい方」のスコアは「あてはまること」で選択されれば1、選択されなければ0としてダミー変数を作成した。「家での交流頻度（家・頻繁に交流）」は「月に1回程度」以上であれば1、それ未満であれば0としてダミー変数を作成した。「SNS利用時間（SNS長時間利用）」は各SNSの利用時間の合計値が1時間を超過していれば1、それ以下であれば0としてダミー変数を作成した。

表 1. 「家の幸福」に関する項目

幸福の次元	項目	評価手法
家の満足度	「現在のお住まい」についての満足	11 段階 (※1)
家でのポジティブ感情	「幸せな気持ち」「明るく、楽しい気分」「たくさん笑い、笑顔になる」「くつろいだ、リラックスした気分」「穏やかで、満たされた気持ち」「活力が湧き、意欲的な気分」	「毎日、常に感じた」「よく感じた」「時々感じた」「あまり感じなかった」「まったく感じなかった」の 5 段階 (※1)
家でのネガティブ感情	「憂うつな気分」「不安な気持ち」「ストレス」「悲しい気持ち」「イライラと、腹立たしい気持ち」「孤独」	同上 (※1)
家もたらすエウダイモニア	「家は私の生き甲斐の源泉である」「家では、自分の成長につながる時間を過ごすことができる」「家では誇らしい気持ちでいられる」「家に誇りを感じる」「家では、いきいきと活動的でいられる」「家では、何かに夢中になる事が多く、時間が早く過ぎるように感じる」「家は私の個性の一部であり、私の個性を強めてくれている」「この家があるおかげで、将来に対して楽観的でいられる」「家を作り変えていくことに達成感がある」	「とてもよくあてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の 5 段階 (※1)

表 2. 「家のハード面」「家の住まい方」「交流実態」に関する項目

内容	項目	評価手法
家のハード面	「地震がきても大きな被害の心配はない」「台風や豪雨でも大きな被害の心配はない」「泥棒や不審者が侵入する心配はない」「十分な収納スペースがある」「全体的にゆったり住める十分な広さがある」「上下階、両隣の住人の生活音が気にならない」「屋外の騒音が気にならない」「外からの視線が気にならない」「住民同士が交流できる共用スペースがある」「日当たりや風通しがよい」「窓からの眺めがよい」「あまりエアコンを使わなくても冬は暖かく夏は涼しい」「お風呂やトイレが快適」「料理や洗濯などの家事がしやすい」「窓が結露しない」「部屋の中にゴキブリや虫がでない」「部屋がジメジメしたりカビが生えたりしない」「建物全体の清掃や手入れが行き届いている」「建物の設備の故障・不具合・トラブルへの対応が早い」「管理会社のスタッフや大家さんが親切」	「とてもあてはまる」「あてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の 5 段階 (※2)
家の住まい方	「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」「絵画やポスター、オブジェなど好きな物を飾っている」「家具やインテリアのコーディネートに気を配っている」「キャンドルや間接照明を使っている」「思い出の写真や記念の品を飾っている」「本やレコード、フィギアなど趣味のコレクションを飾っている」「観葉植物や家庭菜園を育てている」「家でペットを飼っている」「よく部屋の模様替えをする」「家具やインテリアを DIY で作る・カスタマイズする」「料理や食器類など食生活の質にこだわっている」「家でのお酒やコーヒーなど嗜好品の質にこだわっている」「オーディオや大画面テレビなど AV 機器にこだわっている」「石鹸や入浴剤などバスタイムの質にこだわっている」「よく自宅での写真を SNS に投稿する」	「あてはまること」を選択 (※2)
交流実態	家での交流頻度	「1 週間に 1 回以上」「月に 2~3 回程度」「月に 1 回程度」「2~3 ヶ月に 2 回程度」「半年に 1 回程度」「1 年に 1 回程度」「ほとんどない」の 7 段階 (※2)
	SNS の利用時間	「Facebook」「Twitter」「Instagram」「LINE」「その他の SNS」「掲示板 (5 ちゃんねる/2 ちゃんねるなど)」「オンラインゲーム/ソーシャルゲーム」「オンラインサロン」の利用時間[分] (※2)

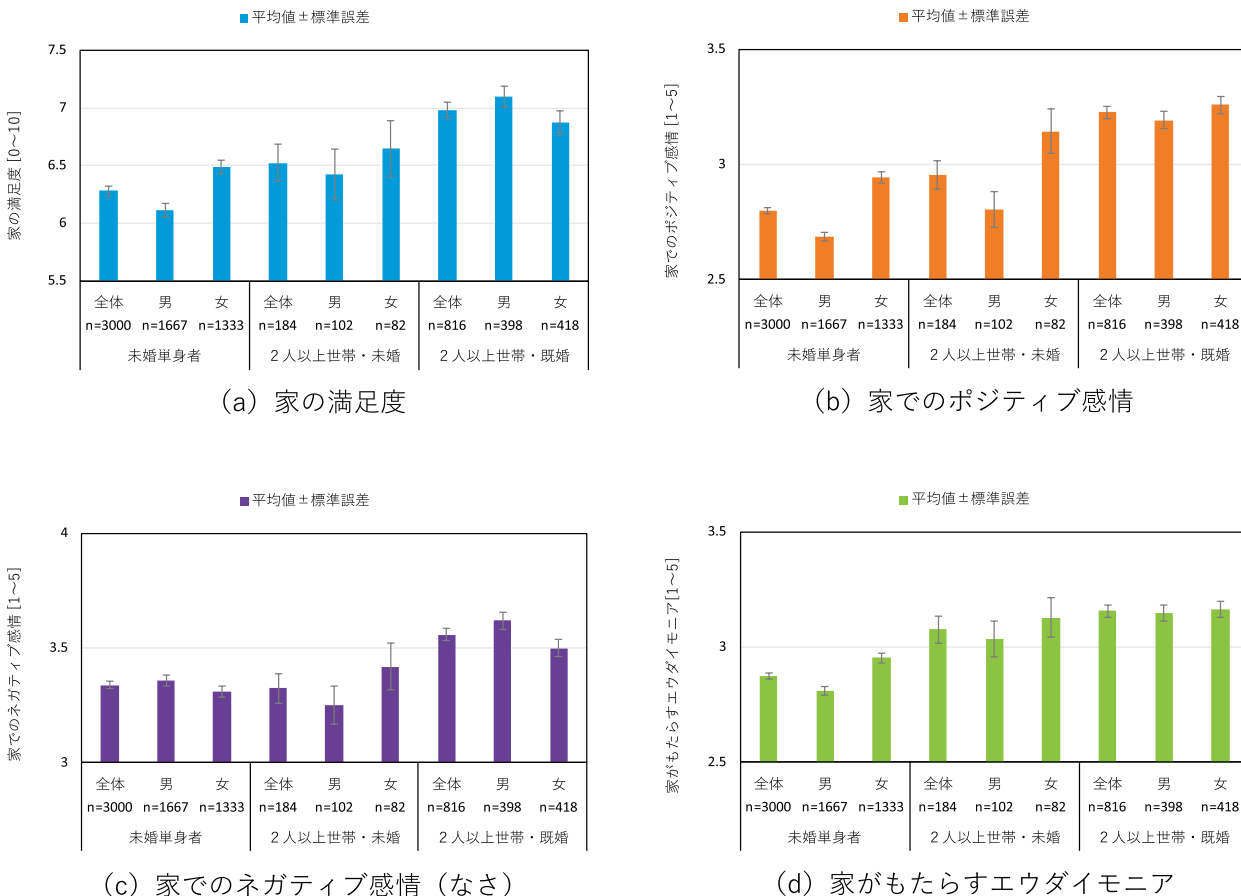
3 | 家の幸福度の実態

図2に世帯属性ごとの家の幸福度の平均値と標準誤差を示す*1。世帯属性で比べると、**家の幸福度はいずれの側面においても、未婚単身者において低く、2人以上世帯・既婚者で高い傾向**がある。また、未婚単身者における男性と女性を比べると、「家でのネガティブ感情(なさ)」以外の家の幸福度は女性の方が高い傾向があり、特に「家でのポジティブ感情」においてはその差が顕著である。

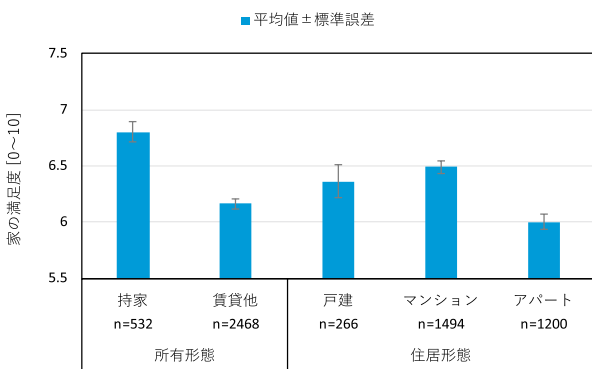
図3に家の所有形態(持家/賃貸他)、及び住居形態(戸建/マンション/アパート)ごとの家の幸福度の平均値と標準誤差を示す。所有形態と住居形態の違いによる家の幸福度の差の傾向は、家の各側

面で似ているものの、いくつかの特徴的な傾向の違いが確認できる。所有形態で比べると、家の幸福度のいずれの側面においても持家は賃貸他に比べて値が高く、その差は「家の満足度」や「家をもたらすエウダイモニア」においてはより顕著である。また、住居形態で比べると、「家でのポジティブ感情」はマンションが他の住居形態に比べて高い傾向があるが、「家をもたらすエウダイモニア」は戸建の値が最も高い。**家の幸福度は家の所有形態や住居形態で差があり、その差の傾向は家の幸福度の各側面で異なる事**が確認できる。

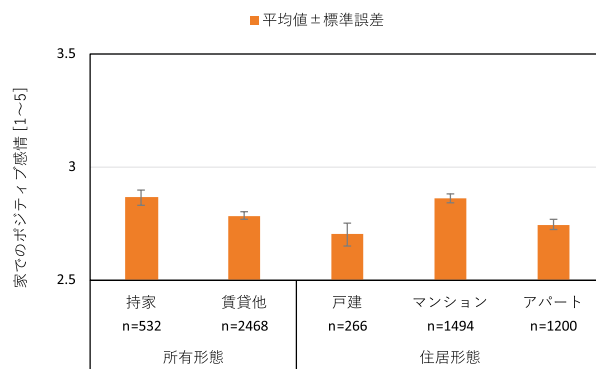
[図2] 各世帯属性と性別ごとの家の幸福度の平均値



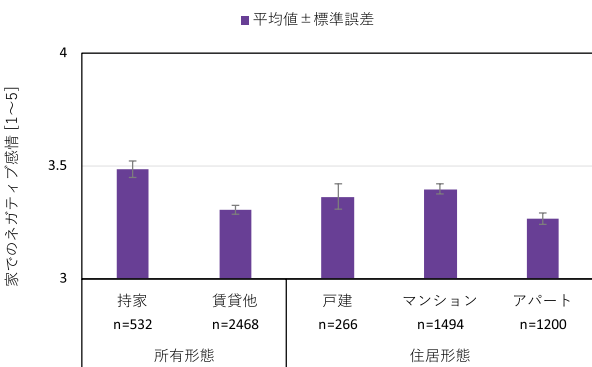
[図3] 家の所有形態と住居形態ごとの家の幸福度の平均値



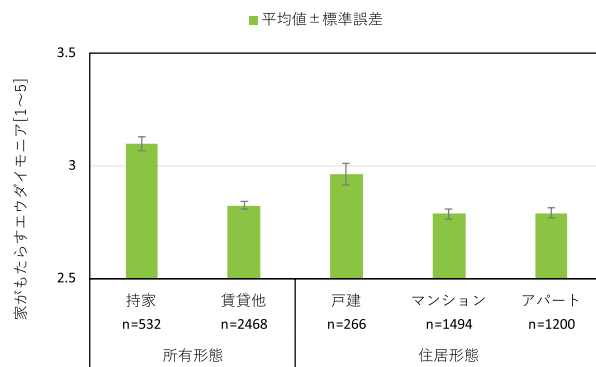
(a) 家の満足度



(b) 家でのポジティブ感情



(c) 家でのネガティブ感情 (なさ)



(d) 家がもたらすエウダイモニア

4 | 家の幸福度の相関分析

4.1 家の幸福度と家のハード面

図4に「家の満足度」「家でのポジティブ感情」「家でのネガティブ感情（なさ）」及び「家もたらすエウダイモニア」と、「家のハード面」の各要素との相関係数^{*2}を示す。家の幸福度の各側面と家のハード面の各要素との相関の傾向は互いに似ており、「家の満足度」「家でのポジティブ感情」「家もたらすエウダイモニア」では正の相関の強さも同程度である。しかしながら、詳細な相関の傾向を見ていくと、家の幸

福度の各側面で違いがある事が確認できる。「家の満足度」は「広さ」「設備」及び「衛生」の要因に関する家のハード面との相関係数の値が家の幸福度の他の側面に比べて大きい、「安心・安全」「共用スペース」及び「快適」の要因に関する家のハード面との相関係数の値は「家でのポジティブ感情」の方が大きい傾向がある。**家のハード面との相関の強さは、家の満足度と家における感情では若干の異なる傾向**がある事が確認できる。また、「家もたらすエウダイモニア」は「共用スペース」や「快適」などの要素と相対的に強い相関がある。

【図4】 家の幸福度と家のハード面の相関係数

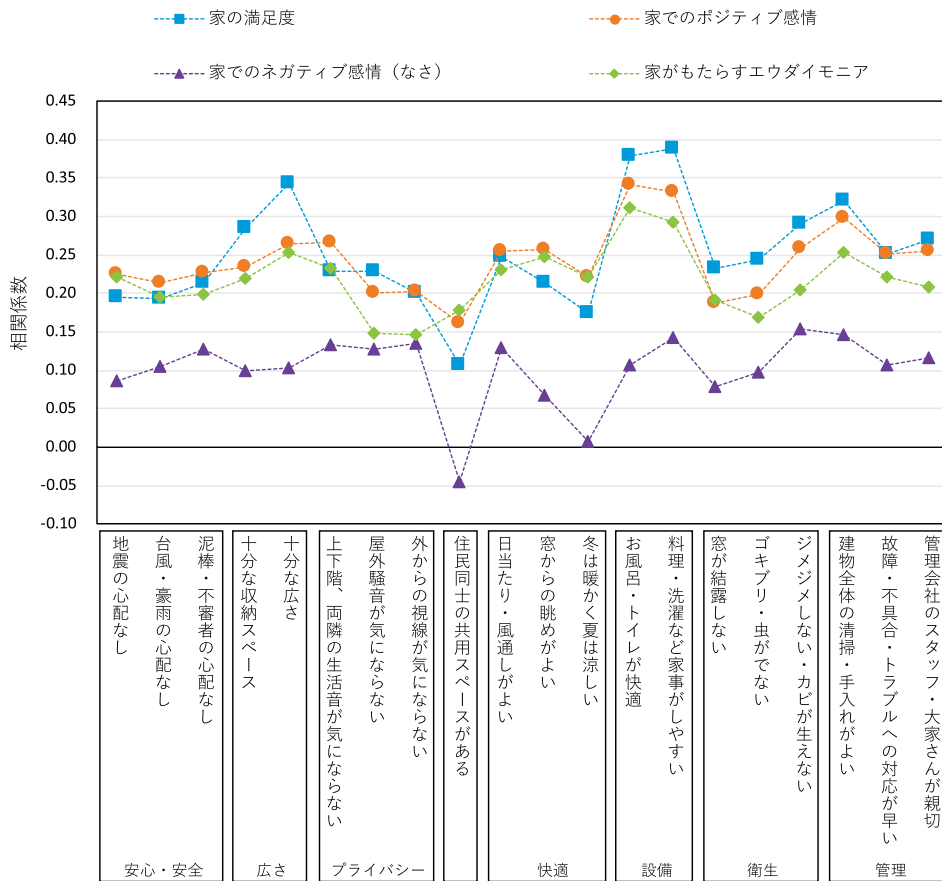
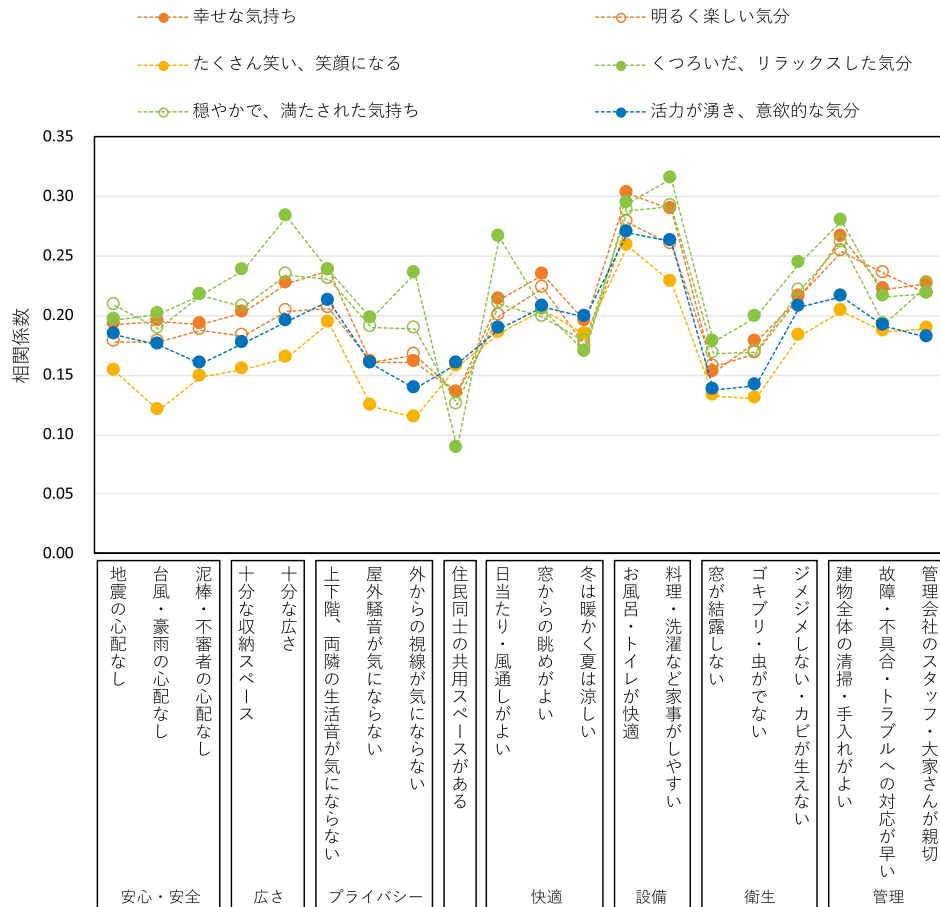


図5に家における各ポジティブ感情と家のハード面の各要素との相関係数を示す。一般的にポジティブ感情は「明るく、楽しい気分」「たくさん笑い、笑顔になる」「活力が湧き、意欲的な気分」などの覚醒系の感情と、「くつろいだ、リラックスした気分」「穏やかで、満たされた気持ち」といった非覚醒系の感情の異なる種類に分けられる。家での各ポジティブ感情と家のハード面との相関の傾向は互いに似ているが、ポジティブ感情の種類により、相関の傾向には若干の違いがある事が確認できる。特徴的な傾向の違いを挙げれば、「プライバシー」に関わる

家のハード面との相関は非覚醒系のポジティブ感情で強く、覚醒系のポジティブ感情では弱い傾向があるが、反対に「住民同士が交流できる共用スペースがある（共用スペース）」との相関は覚醒系のポジティブ感情との相関の方が強く、非覚醒系のポジティブ感情との相関は弱い傾向がある。家でのポジティブ感情はその種類により家のハード面との相関の傾向が異なるため、**感情の多様な側面に配慮した家のハード面の充実が幸せに暮らせる家の実現にとっては重要**であると言える。

[図5] 家でのポジティブ感情と家のハード面の相関係数



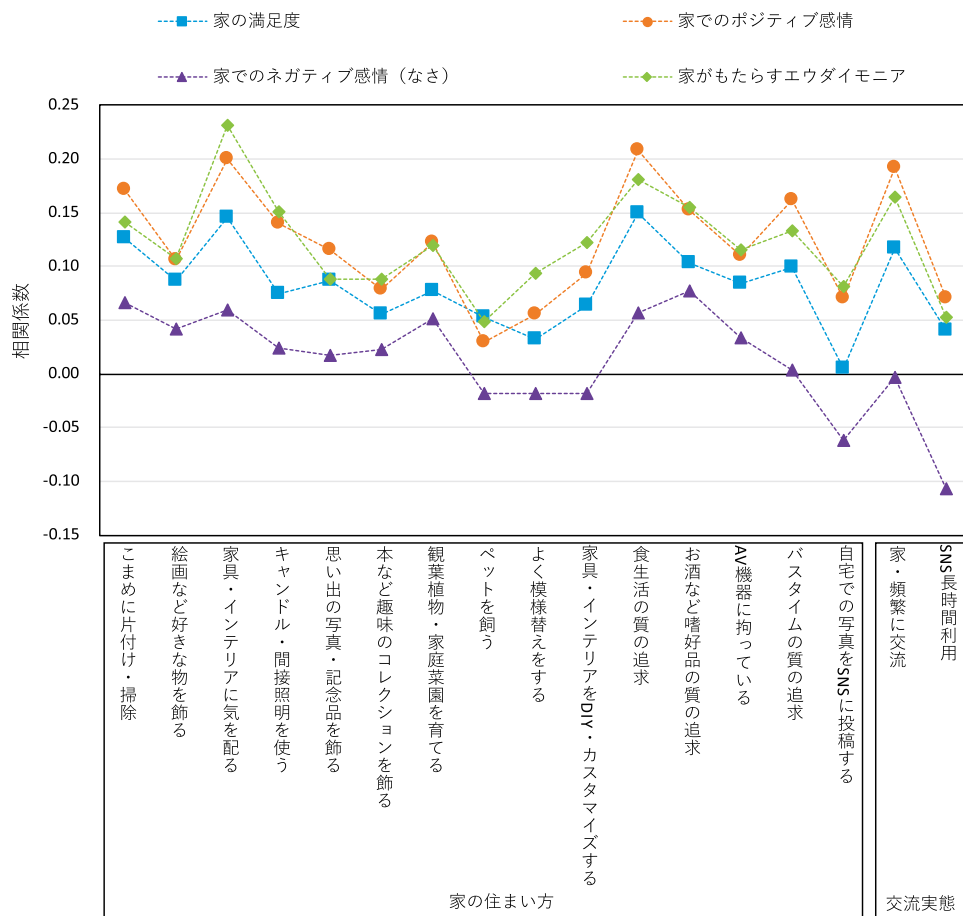
4.2 家の幸福度と家の住まい方及び交流実態

図6に家の幸福度の各側面と「家の住まい方」及び「交流実態」の各要素との相関係数を示す。家のハード面との相関の傾向と同様に、家の住まい方と交流実態との相関においても家の幸福度は各側面でその傾向が互いに似ている事が確認できる。ただし、「家でのポジティブ感情」や「家がもたらすエウダイモニア」との正の相関が、「家の満足度」との相関に比べて全般的に強く、**家の住まい方や交流実態は家のハード面以上に、家でのポジティブ感情や家がもたらすエウダイモニアとの相関が強い事**が確認できる。また、「家がもたらすエウダイモニア」

では「家具やインテリアのコーディネートに気を配っている（家具・インテリアに気を配る）」や「よく部屋の模様替えをする」「家具やインテリアをDIYで作る・カスタマイズする」といった家の住まい方との相関が家の幸福度の他の側面に比べて強い事などの特徴的な傾向も確認できる。

図7に家における各ポジティブ感情と家の住まい方及び交流実態との相関係数を示す。家での各ポジティブ感情と家の住まい方との相関の傾向は互いに似ているが、「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている（こまめに片付け・掃除）」は「くつろいだ、リラックスした気分」「穏やかで、満たされた気持ち」など非覚醒系のポジティブ感情と

[図6] 家の幸福度と家の住まい方及び交流実態の相関係数

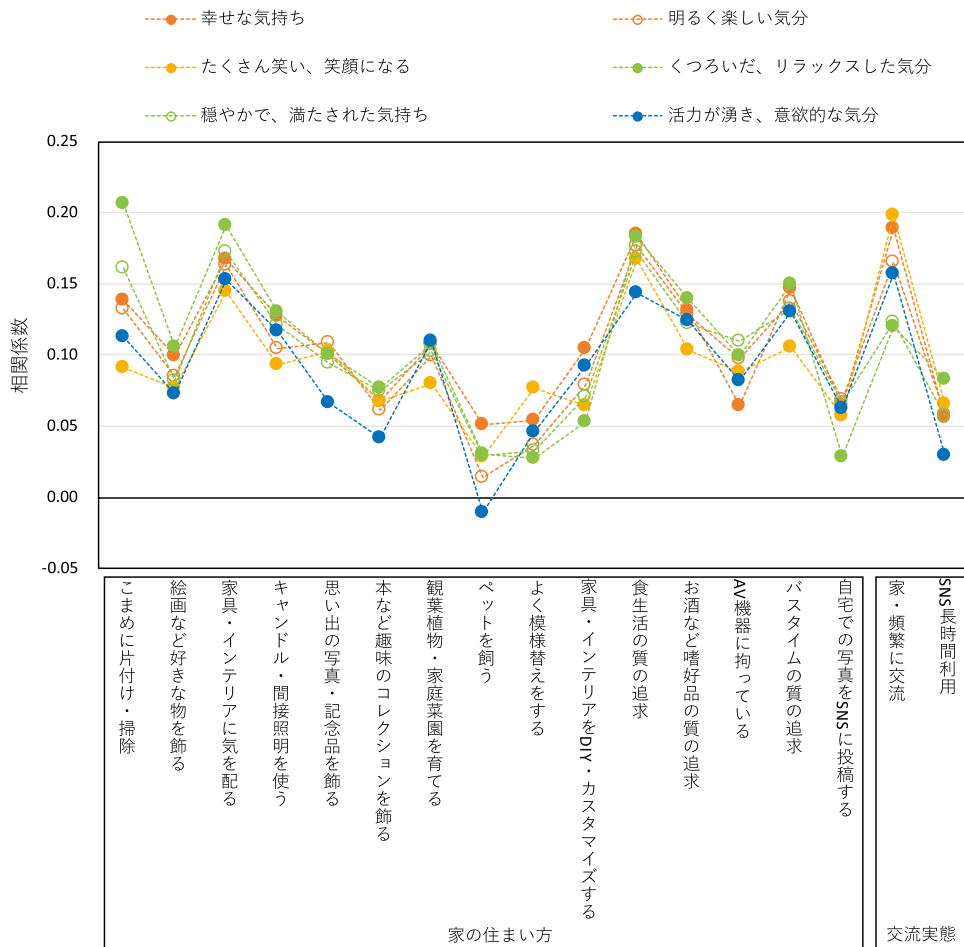


の相関が強いなど、ポジティブ感情の種類で傾向の違いがある事も確認できる。家の住まい方では「家具・インテリアに気を配る」や「料理や食器類など食生活の質に拘っている（食生活の質の追求）」、或いは「石鹸や入浴剤などバスタイムの質に拘っている（バスタイムの質の追求）」などの項目でポジティブ感情との相関が全般的に強い。また、交流実態との相関に関しては「自宅に友人を頻繁に招待（家・頻繁に交流）」は「たくさん笑い、笑顔になる」や「幸せな気持ち」などポジティブ感情と正の相関があるが、「SNSの長時間利用」と家でのポジティブ感情との相関は弱い。**家における感情という観点からは、他者とのリアルな交流とSNSを介したバーチャルな交流は質的に異なる**もので

ある事が確認できる。

図8に家もたらす各エウダイモニアと家の住まい方及び交流実態との相関係数を示す。いくつかの特徴的な傾向を確認することができ、例えば、「家具・インテリアに気を配る」は「家は私の個性の一部であり、私の個性を強めてくれている（家は個性の一部・個性を強める）」との正の相関が強く、家具やインテリアに拘りのある家は住まい手の「自己実現」の源泉になり得る可能性が示唆されている。また、「家具・インテリアに気を配る」「よく部屋の模様替えをする」「家具やインテリアをDIYで作る・カスタマイズする」「よく自宅での写真をSNSに投稿する」といった家の住まい方は「家を作り変えていくことに達成感が

【図7】 家でのポジティブ感情と家の住まい方及び交流実態の相関係数



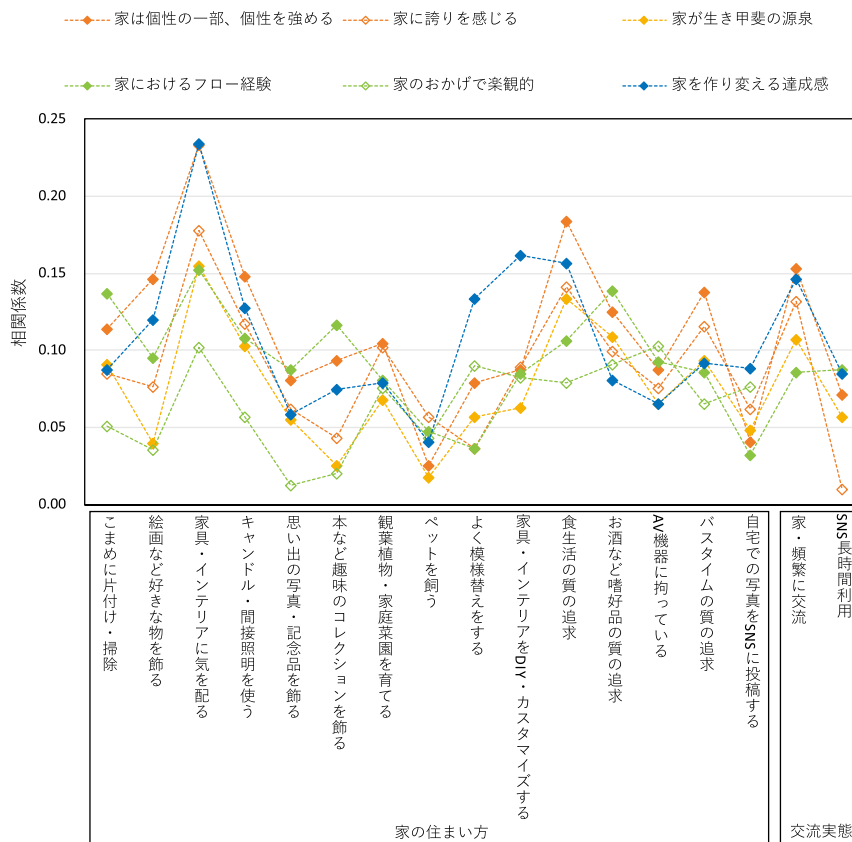
ある(家を作り変える達成感)との相関が強く、家がWBの主要な柱の一つである「達成感」の源泉にもなり得る可能性が示唆されている。また、「家では、何かに夢中になる事が多く、時間が早く過ぎるように感じる(家におけるフロー経験)」は「本やレコード、フィギュアなど趣味のコレクションを飾っている」との相関が他の家もたらすエウダイモニアに比べて相対的に強く、趣味の空間を追求した家はフロー経験の場にもなり得る可能性がある事が推察される。このように、**家は住まい方の工夫次第では住まい手のエウダイモニアの源泉になり得る事**が確認できる。

4.3 家でのネガティブ感情と家の問題

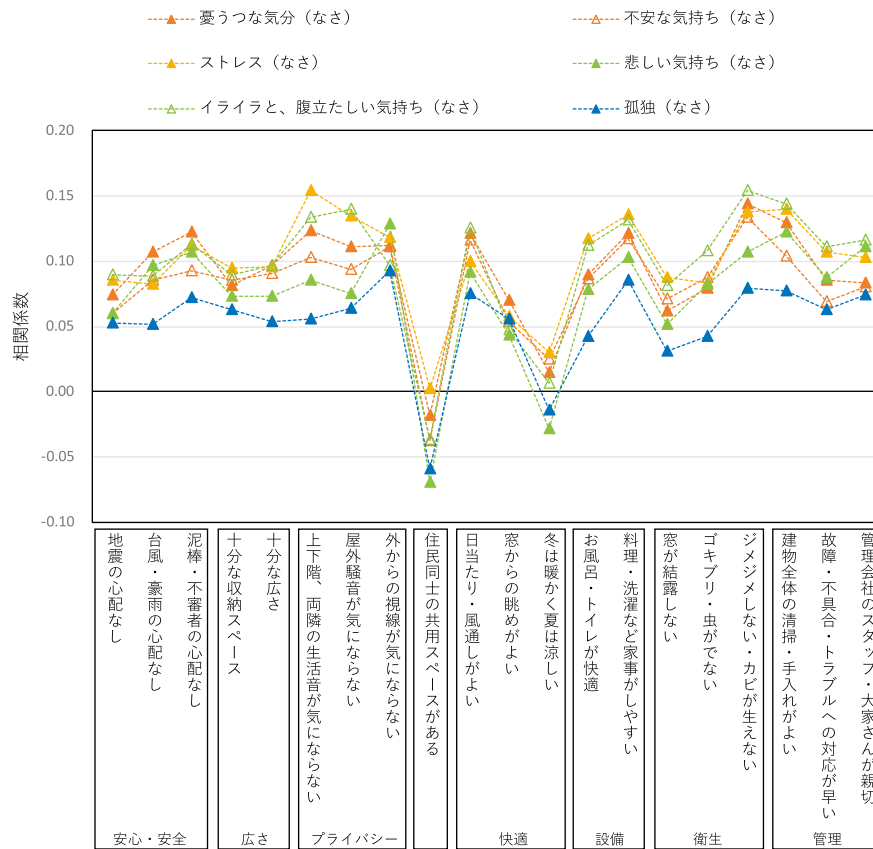
図4と図6でも確認できるように、家でのネガティブ感情は家の幸福の他の側面に比べて、家のハード面や家の住まい方及び交流実態との

相関が弱い。図9と図10に家における各ネガティブ感情(なさ)と家のハード面と家の住まい方及び交流実態の相関係数を示す。家のハード面では、「プライバシー」に関する要素や、「ジメジメしない・カビが生えない」などの「衛生」に関する要素などで「ストレス(なさ)」「イライラ・腹立たしさ(なさ)」「憂鬱な気分(なさ)」と正の相関が確認できるものの、家でのネガティブ感情と家のハード面との相関係数の値自体は総じて小さい(図9)。家の住まい方と家でのネガティブ感情の相関においても同様に、相関係数の値自体はいずれもかなり小さい。交流実態においても「家・頻繁に交流」とも殆ど相関が確認できず、「SNS長時間利用」にいたっては負の相関の傾向すら見られる。これら相関分析の結果からは、**家におけるネガティブ感情の経験は家のハード面や家の住まい方といった家の問題としては対策が困難**である可能性が示唆されている。

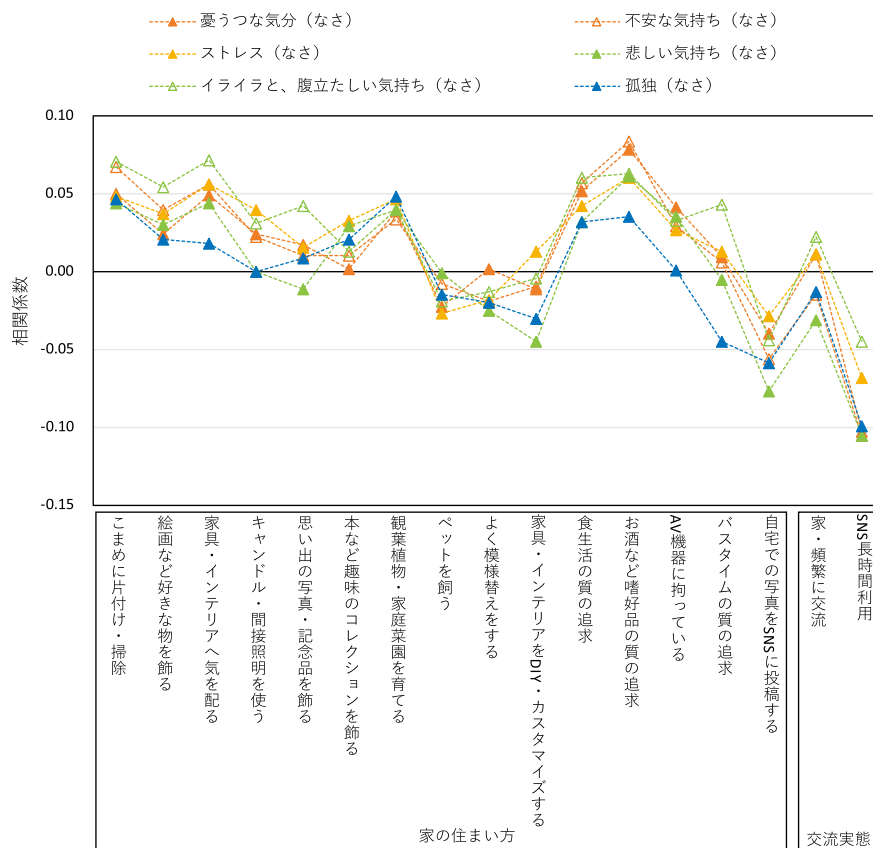
[図8] 家もたらすエウダイモニアと家の住まい方及び交流実態の相関係数



【図9】家でのネガティブ感情と家のハード面の相関係数



【図10】家でのネガティブ感情と家の住まい方及び交流実態の相関係数

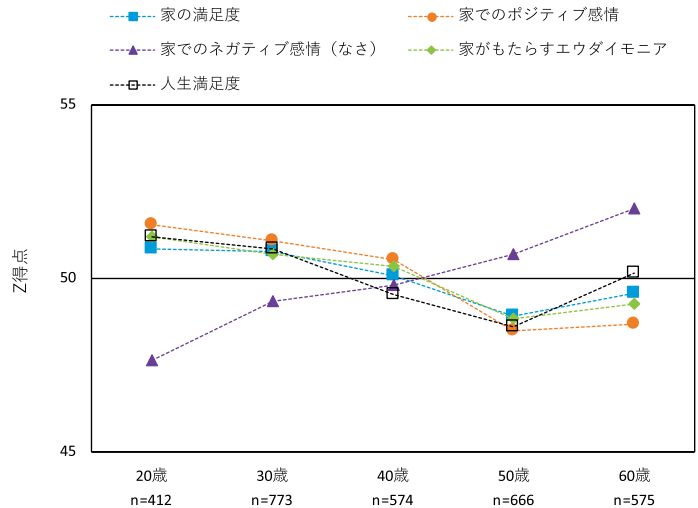


5 | 家の幸福度の重回帰分析

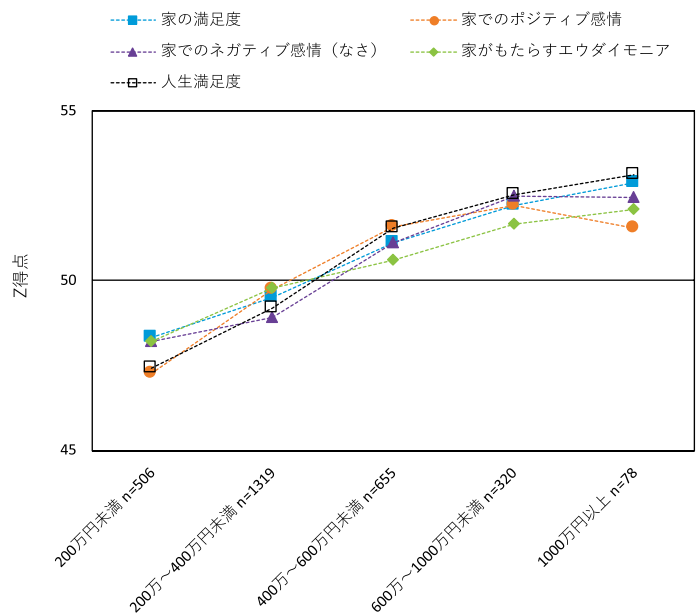
家の幸福度の各側面は、家のハード面及び家の住まい方との相関の傾向が互いに似ている事が相関分析により確認された(図4,6)。これは、「3. 家の幸福度の実態」で示した通り、世帯属性や性別、及び家の所有形態や住居形態などの因子が、家の幸福度の各側面に同様の影響を与えている事が一つの理由であると推察される。特に、年齢や所得といった人口統計的な要素は人生の幸福度と密接な関係にあり、家の幸福度に対しても強い影響があると推察される。図11は未婚単身者の家の幸福度の各側面と年齢の関係性を示した結果であり、年齢層ごと^{*3}の家の幸福度の平均値をZ得点(平均値が50、標準偏差が10となるように変換した値)で図示したものである。家でのネガティブ感情(なさ)を除き、家の幸福度の各側面は年齢を経るにつれて50歳頃までは低下し、60歳付近で再び少し上昇するという傾向がある事が確認できる。図11では、比較として人生満足度^{*4}の年齢に依る推移も示しているが、人生満足度にも家の幸福度と同様の傾向がある事が確認できる。人生満足度が中年期において最も低くなるこの現象は一般に「中年の危機」とも呼ばれているが、家の幸福度においても人生満足度における「中年の危機」と似た傾向がある事が確認できる。ちなみに、図11においても確認できるネガティブ感情(なさ)が年齢と共に上昇していく現象は、WB研究において「高齢のパラドックス」と呼ばれており^[6]、一般にネガティブな感情は年齢の増加に伴い減少する事が知られている。また、図12は所得層ごとの未婚単身者の家の幸福度の各側面の平均値をZ得点で示した結果である。図12では人生満足度の所得^{*5}に依る推移も同時に示しているが、人生満足度と所得の関係性と同様に、家の幸福度も所得の上昇に伴い高くなる傾向がある事が確認できる。これらの事実からも、**家の幸福と人生の幸福は密接な関係にある事**が分かる。

家の幸福は人生全般の幸福の問題から切り離して考える事が難しい。従って、家の幸福度の分析を試みる際には、個人属性や人生の幸福度などの因子の影響を考慮する必要があると言える。そこで、本分析パートでは、家の幸福度の各側面を目的変数として、人生全般の幸福度である「人生満足度」^{*3}と性別と年齢と所得の「個人属性」を統制用の説明変数、「家のハード面」と「家の住まい方」及び「交流実態」の各要素を説明変数とする重回帰分析を実施した^{*6}。所得で「答えたくない」と回答した被験者を除く2,613人の未婚単身者が分析の対象である。尚、「交流実態」には「恋人」の有無の説明変数も加えている。重回帰分析で推定される標準偏回帰係数は、他の変数の影響

[図11] 年齢と家の幸福度の各側面、及び人生満足度



[図12] 所得と家の幸福度の各側面、及び人生満足度



を除いたうえで各説明変数が目的変数へ与える影響の強さを表す目安として解釈ができるため、本分析により「人生満足度」や「個人属性」の影響を除いたうえでの「家のハード面」「家の住まい方」「交流実態」の各要因が家の幸福度の各側面へ与える影響を把握する事が可能である。表3に「家の満足度」「家でのポジティブ感情」「家でのネガティブ感

情(なさ)」「家もたらすエウダイモニア」のそれぞれを目的変数とした重回帰分析の結果として、各説明変数の標準偏回帰係数を示す。表3では標準偏回帰係数のうち、5%有意水準、0.1%有意水準、0.01%有意水準で有意となる標準偏回帰係数の値を色付けしており、これらが家の幸福度の各側面に対して統計的に有意な影響がある説明変数である。家の幸福度のいずれの側面に対しても「人生満足度」の標準偏回帰係数の値は大きく、人生全般の幸福度が家の幸福度に対して強い影響がある事が確認できる。しかし、**人生満足度や個人属性の影響を統制した上でもなお家のハード面及び家の住まい方に家の幸福度へ有意に影響のある説明変数があり**、また家の幸福度の各側面で影響が有意な説明変数が異なる事。

「家の満足度」に対しては、「広さ」や「設備」及び「管理」に関する家のハード面において影響の有意な説明変数がある。これに対して、「家でのポジティブ感情」を目的変数とする結果では、「上下階、両階の音が気にならない」といったプライバシーに関する説明変数や、「冬は暖かく夏は涼しい」「窓からの眺めが良い」といった快適に関わる家のハード面の説明変数で有意な影響が確認できる。プライバシーや快適は広さや設備に対してより定性的(感覚的)な要素であると言えるため、**家でのポジティブ感情は家の満足度」に比べて、より定性的(感覚的)な家のハード面の要素からの影響が強い**と言える。また、「家・

頻繁に交流」や「恋人がいる」など交流実態に関わる要素も「家でのポジティブ感情」に対しては有意な影響がある。

「家もたらすエウダイモニア」を目的変数とした結果では、「家具・インテリアに気を配る」「よく模様替えをする」や「キャンドル・間接照明を使う」などの家の住まい方にも有意な説明変数がある事が確認できる。**エウダイモニックな次元の家の幸福にとつては、家のハード面だけでなく家の住まい方も重要**である事が分かる。また、「持家」という家の所有形態も「家もたらすエウダイモニア」に対しては統計的に有意な影響がある。

重回帰モデルのあてはまり(予測精度)の良さの指標である自由度修正済み決定係数は、「家の満足度」「家でのポジティブ感情」が同程度であり、「家もたらすエウダイモニア」も比較的に近い大きさであるが、これらモデルに比べて「家でのネガティブ感情」の予測精度は低い。また、「ジメジメしない・カビが生えない」や「建物全体の清掃・手入れがよい」などの家のハード面の説明変数は家でのネガティブ感情のなさに対して有意な影響があるが、「若年(30歳未満)」「シニア(50歳以上)」や「低所得(200万円未満)」など個人属性による影響も有意であり、**家でのネガティブ感情は家の幸福の他の側面に比べて家のハード面や家の住まい方からの影響が小さい**事が分かる。

※3：年齢層は、「20歳」を20歳以上25歳未満、「30歳」を25歳以上35歳未満、「40歳」を35歳以上45歳未満、「50歳」を45歳以上55歳未満、「60歳」を55歳以上65歳未満とした。

※4：「人生満足度」は「あらゆる点を考慮した上で、あなたは全体として現在の自分の暮らしについてのどの程度満足していますか。『非常に満足している』を10点、『まったく満足していない』を0点とした場合、0点から10点の間の何点くらいになるかをお答えください」という問いで11段階評価で測定した。尚、家の幸福度の重回帰分析においては6点以上を1.5点以下を0とするダミー変数を作成して説明変数で使用した。

※5：所得は「あなたの世帯年収(税込み)はどのくらいですか」という問いに対して、「収入はない」「100万円未満」「100万～200万円未満」「200万～300万円未満」「300万～400万円未満」「400万～500万円未満」「500万～600万円未満」「600万～700万円未満」「700万～800万円未満」「800万～900万円未満」「900万～1000万円未満」「1000万～1200万円未満」「1200万～1500万円未満」「1500万～2000万円未満」「2000万円以上」「答えたくない」の16段階で回答させた。

※6：重回帰モデルの推定は最小二乗法を使用した。各説明変数のVIFは2未満(1.05から1.79)であり多重共線性は認められない。目的変数である家の幸福度の各側面は連続変数、説明変数はいずれもダミー変数である。

表 3. 家の幸福度の重回帰分析 (標準偏回帰係数)

説明変数		家の満足度	家でのポジティブ感情	家でのネガティブ感情 (なさ)	家もたらすエウダイモニア	
人生の幸福度	人生満足度 (6 以上)	0.319***	0.325***	0.249***	0.238***	
個人属性	性別	女性 (男性・ベース)	-0.024	0.039*	-0.028	-0.018
	年齢	若年 (30 歳未満) (30~50 歳・ベース)	0.016	0.015	-0.046*	0.040*
		シニア (50 歳以上) (30~50 歳・ベース)	-0.057*	-0.057*	0.070*	-0.068*
	所得	低所得 (200 万円未満) (200~600 万円・ベース)	0.001	-0.045*	-0.044*	-0.013
高所得 (600 万円以上) (200~600 万円・ベース)		0.018	0.016	0.033	-0.005	
住居属性	所有形態	持家 (賃貸・ベース)	0.045*	0.029	-0.002	0.110***
	住居形態	戸建 (マンション・ベース)	0.031	0.013	-0.019	0.024
		アパート (マンション・ベース)	-0.016	0.022	-0.014	-0.002
家のハード面	安心・安全	地震の心配なし	-0.010	0.014	-0.029	0.044*
		台風・豪雨の心配なし	-0.007	0.013	0.010	0.004
		泥棒・不審者の心配なし	-0.001	0.007	0.040	0.008
	広さ	十分な収納スペース	0.050*	0.020	0.011	0.021
		十分な広さ	0.096***	0.020	-0.011	0.031
	プライバシー	上下階、両隣の生活音が気にならない	0.012	0.082***	0.032	0.080***
		屋外騒音が気にならない	0.060	0.010	0.036	-0.020
		外からの視線が気にならない	0.003	-0.003	0.034	-0.032
	共用スペース	住民同士の共用スペースがある	-0.014	0.038*	-0.068*	0.058*
	快適	日当たり・風通しがよい	-0.014	0.021	0.030	0.026
		窓からの眺めがよい	0.017	0.056*	-0.027	0.057*
		冬は暖かく夏は涼しい	0.019	0.076***	-0.048*	0.082***
	設備	お風呂・トイレが快適	0.103***	0.073**	-0.019	0.080**
		料理・洗濯など家事がしやすい	0.127***	0.078***	0.044	0.059*
	衛生	窓が結露しない	0.028	-0.033	-0.007	-0.006
		ゴキブリ・虫がでない	0.034	-0.035	-0.014	-0.006
		ジメジメしない・カビが生えない	0.020	0.006	0.054*	-0.030
	管理	建物全体の清掃・手入れがよい	0.056*	0.029	0.046*	0.005
		故障・不具合・トラブルへの対応が早い	0.022	0.025	0.004	0.036
		管理会社のスタッフ・大家さんが親切	0.070**	0.055*	0.037	0.044*
家の住まい方	こまめに片付け・掃除	-0.005	0.026	0.010	0.018	
	絵画など好きな物を飾る	0.006	0.002	0.023	-0.005	
	家具・インテリアに気を配る	0.005	0.025	0.017	0.084***	
	キャンドル・間接照明を使う	-0.014	0.006	-0.019	0.040*	
	思い出の写真・記念品を飾る	0.008	0.022	0.000	0.013	
	本など趣味のコレクションを飾る	-0.006	0.010	0.000	0.011	
	観葉植物・家庭菜園を育てる	-0.019	0.014	0.008	0.007	
	ペットを飼う	0.014	-0.012	-0.032	0.007	
	よく模様替えをする	0.006	-0.008	-0.015	0.038*	
	家具・インテリアを DIY・カスタマイズする	0.010	0.014	-0.031	0.028	
	食生活の質の追求	0.028	0.054*	0.007	0.043*	
	お酒など嗜好品の質の追求	0.009	0.017	0.031	0.039*	
	AV 機器に拘っている	-0.012	0.011	-0.003	0.014	
	バスタイムの質の追求	-0.001	0.025	-0.044*	0.006	
	自宅での写真を SNS に投稿する	-0.017	0.025	-0.046*	0.038*	
交流実態	恋人がいる	-0.012	0.038*	0.008	-0.015	
	家・頻繁に交流	0.011	0.052*	-0.026	0.046*	
	SNS 長時間利用	0.009	0.009	-0.073**	-0.004	

自由度修正済み決定係数 R² 0.366*** 0.367*** 0.140*** 0.302***

*5%水準で有意 (p<0.05), **0.1%水準で有意 (p<.001), ***0.01%水準で有意 (p<.0001)

サンプルサイズ n=2,613

6 | 住まいの幸福の再考

WB 研究の知見を基に幸福の多次元性を考慮した本分析により、住まいの幸福も多次元的なものである事が確認された。例えば、認知的な「家の満足度」から住まいの幸福を評価すると「広さ」や「設備」などの家のハード面の重要性が際立つのに対して、経験的な「家でのポジティブ感情」で評価すると「窓からの眺めがよい」「冬は暖かく夏は涼しい」といったより定性的な家のハード面の重要性の比重が高くなる。また、「家具・インテリアに気を配る」は「家は個性の一部、個性を強める」などの「家がもたらすエウダイモニア」と強い相関があり、家は住まい手にとってのエウダイモニアの源泉にもなり得る可能性が示唆されている。従来の「家の満足度」のみに基づく住まいの良さの評価では、認知的な満足とは異なる住まいの幸福に寄与する家の側面の重要性が過小に評価されてしまう危険性があるため、**住まいの幸福を考える際には、認知的な満足、感情的な経験、およびエウダイモニアなどの幸福の多様な側面を考慮する必要がある**と言える。以下に本分析から得られた住まいの幸福に関する主要な知見を示す。

- 「家の満足度」「家でのポジティブ感情」「家でのネガティブ感情」「家がもたらすエウダイモニア」は「家のハード面」「家の住まい方」及び「交流実態」とそれぞれ異なる関係性がある。
- 「家の満足度」は、「広さ」や「設備」を中心とする家のハード面の要素との相関が強い。
- 「家でのポジティブ感情」は、「上下階、両隣の生活音が気にならない」といったプライバシーに関する家のハード面や、「冬は暖かく夏は涼しい」「窓からの眺めが良い」といった快適に関わる家のハード面など、より定性的（感覚的）な家のハード面との相関が強い。また、交流に関わる要素も「家でのポジティブ感情」に対して有意な影響がある。
- 家でのポジティブ感情はその種類により相関の傾向に違いがあり、例

えば「住民同士が交流できる共用スペースがある」という家のハード面は、「活力が湧き、意欲的な気分」「たくさん笑い、笑顔になる」などの覚醒系のポジティブ感情との相関は強いが、「くつろいだ、リラックスした気分」「穏やかで、満たされた気持ち」など非覚醒系のポジティブ感情との相関は弱い。

- 「家がもたらすエウダイモニア」は、家のハード面に加えて、「家具・インテリアへ気を配る」「よく模様替えをする」といった家の住まい方との相関が強い。また、「持家」である事も「家がもたらすエウダイモニア」を高める。

他方で、家におけるネガティブな感情は家のハード面及び家の住まい方との相関が全般的に弱く、この事実は**ネガティブ感情が家の問題としては対策が困難である可能性を示唆**していると言える。特に、『幸福住宅論 Episode.3』における中心的な問題である「孤独（緩和）」は、家でのネガティブ感情の中でも家のハード面及び家の住まい方との相関が特に弱い傾向にある（図9,10）。もし、「孤独」という問題に対して、建築が何かしらの影響を与え得る可能性があるとするならば、それは家という物理的境界を越えた対策になるものと思われる。

PROFILE

有馬雄祐（ありま・ゆうすけ）：職業能力開発総合大学校 建築環境設備エネルギーユニット助教。東京大学博士（工学）。専門は、建築環境工学、環境心理学、環境疫学。日本学術振興会特別研究員を経て現在に至る。

参考文献

- [1] Huppert, F.A. & So, T.T.C.: Flourishing across Europe: Application of a new conceptual framework for defining well-being. Soc. Indic. Res., 110(3), 837-861, 2013
- [2] Kahneman, D. & Deaton, A.: High income improves evaluation of life but not emotional well-being. Proceedings of the National Academy of Sciences (PANAS), 107(38), 16489-16493, 2010
- [3] OECD: How's Life? 2015 MEASURING WELL-BEING. 2015
- [4] イローナ・ポニウェル: ポジティブ心理学が1冊でわかる本. 成瀬まゆみ監訳, 国書刊行会, 2015
- [5] マーティン・セリグマン: ポジティブ心理学の挑戦 “幸福” から持続的幸福感へ. 宇野カオリ訳, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2014
- [6] 堀毛一也: ポジティブなところの科学, サイエンス社, 2019
- [7] Carstensen, L.L.& Mikels J.A.: At the intersection of emotion and cognition: Aging and the positivity effect. Current Directions in Psychological Science, 14(3), 2005

III.

未婚単身世帯の孤独度分析



孤独の水準（誰が・どの程度孤独なのか）

■ 孤独の心性

- ここではUCLA指標と呼ばれる「孤独の状態」を問う20問について、回答状況を見ていく（UCLA指標については次ページ参照）。
- 未婚単身世帯全体は、「自分には内気であると感じる」「自分の関心や考えは周りの人たちにはわからないと感じる」「自分には人との付き合いがないと感じる」が6割を超えて高い。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯全体を比べると、総じてネガティブな項目は未婚単身世帯のスコアが高く、ポジティブな項目は低いことが一目瞭然である。特に、「自分の関心や考えは周りの人たちにはわからないと感じる」「自分には人との付き合いがないと感じる」「自分はひとりぼっちだと感じる」などで未婚単身世帯の方が高い一方で、「話し相手がいると感じる」「希望すれば自分と気の合う仲間が見つかると感じる」「頼れる人がいると感じる」などでは大きく下回っている。

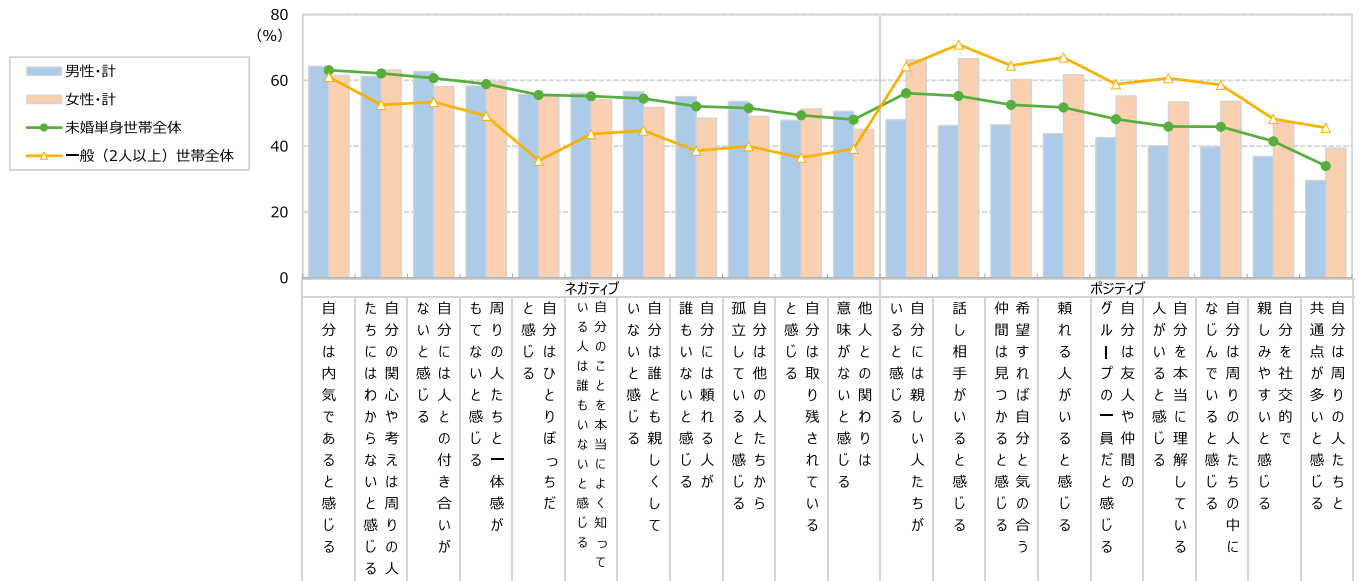
● 未婚単身世帯

- 性年代別にみると、「自分には親しい人たちがいると感じる」「話し相手がいると感じる」「希望すれば自分と気の合う仲間が見つかると感じる」「頼れる人がいると感じる」などで女性・計が男性・計を上回る。特に、男性・ミドル層、シニア層で、これらの項目のスコアが他の層と比べて低い。
- 所有形態×居住形態別にみると、「自分は取り残されていると感じる」で賃貸・計が持ち家・計を上回る。



■ 孤独の心性 『ある・計』（全体／各単一回答）

現在の生活において、それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。



		(n=3000)	63.1	62.1	60.7	58.9	55.6	55.2	54.5	52.1	51.6	49.4	48.1	56.1	55.3	52.6	51.8	48.2	46.0	45.9	41.5	34.0
未婚単身世帯全体		(n=3000)	63.1	62.1	60.7	58.9	55.6	55.2	54.5	52.1	51.6	49.4	48.1	56.1	55.3	52.6	51.8	48.2	46.0	45.9	41.5	34.0
性 年 代 別	男性・計	(n=1667)	64.3	61.2	62.7	58.3	55.7	56.1	56.6	55.1	53.6	47.9	50.6	48.0	46.3	46.5	43.8	42.6	40.1	39.8	36.8	29.6
	男性・若年層（20～39歳）	(n=550)	62.0	59.8	56.7	55.1	54.5	52.5	52.5	49.3	52.5	50.4	49.6	50.2	51.6	46.2	49.6	46.5	43.8	42.4	37.8	35.5
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=679)	69.2	63.5	66.6	59.8	57.0	59.8	58.9	59.2	56.7	48.9	52.1	45.9	42.4	44.0	39.8	38.6	36.5	36.5	35.3	26.5
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=438)	59.6	59.6	64.2	60.0	55.0	55.0	58.2	55.9	50.2	43.2	49.3	48.4	45.7	50.7	42.7	43.8	41.1	41.6	37.9	27.2
	女性・計	(n=1333)	61.5	63.2	58.1	59.7	55.4	54.1	51.8	48.5	49.1	51.3	45.1	66.2	66.6	60.2	61.7	55.3	53.4	53.6	47.3	39.4
	女性・若年層（20～39歳）	(n=882)	63.5	63.5	56.5	58.6	55.2	52.9	50.3	45.1	49.8	55.2	45.2	68.0	67.6	60.5	63.3	55.9	53.6	52.0	45.2	39.6
女性・ミドル層（40～54歳）	(n=314)	59.9	61.5	66.9	60.8	55.4	57.6	57.3	55.7	48.4	45.5	46.8	60.8	62.4	59.2	58.3	52.5	52.5	56.1	49.0	39.8	
女性・シニア層（55～64歳）	(n=137)	52.6	65.7	48.9	64.2	56.9	53.3	48.2	53.3	46.7	39.4	40.1	66.4	70.1	60.6	59.9	57.7	54.0	58.4	56.2	37.2	
居 所 有 形 態 別	持ち家・計	(n=532)	59.4	57.0	61.1	59.2	54.7	53.2	55.6	53.6	52.3	41.9	49.1	51.1	51.1	52.1	47.9	44.5	44.4	45.9	41.2	32.0
	持ち家【戸建て】	(n=223)	61.4	59.6	65.9	59.6	58.3	55.6	61.4	57.0	55.6	48.0	48.4	45.3	45.7	48.0	41.7	42.6	39.9	39.0	39.5	27.8
	持ち家【マンション】	(n=309)	57.9	55.0	57.6	58.9	52.1	51.5	51.5	51.1	49.8	37.5	49.5	55.3	55.0	55.0	52.4	46.0	47.6	50.8	42.4	35.0
	賃貸・計	(n=2468)	63.9	63.2	60.6	58.9	55.8	55.7	54.2	51.8	51.5	51.0	47.9	57.1	56.2	52.7	52.6	49.0	46.4	45.9	41.5	34.4
	賃貸【戸建て】	(n=43)	72.1	72.1	55.8	69.8	53.5	58.1	53.5	58.1	51.2	53.5	46.5	58.1	53.5	48.8	46.5	48.8	44.2	46.5	46.5	39.5
	賃貸【マンション】	(n=1192)	60.9	62.7	59.6	56.8	51.9	53.4	52.6	50.3	48.9	47.4	47.0	58.6	56.7	54.6	53.6	51.5	48.7	48.9	44.4	35.1
賃貸【アパート】	(n=1193)	66.7	63.5	62.2	60.9	59.3	57.7	56.2	53.4	54.3	54.7	48.7	55.4	55.7	50.9	51.6	46.4	44.5	42.9	38.8	33.4	
一般（2人以上）世帯全体	(n=1000)	61.0	52.6	53.4	49.2	35.6	43.7	44.7	38.6	40.0	36.5	39.2	64.3	70.9	64.5	67.0	58.8	60.7	58.6	48.3	45.6	
婚 別	未婚・計	(n=177)	61.6	58.2	55.9	52.5	45.2	49.2	42.9	41.8	52.0	42.9	40.7	53.7	56.5	52.5	52.5	42.4	52.5	41.2	36.2	32.2
	既婚・計	(n=823)	59.9	51.3	51.6	49.0	32.6	41.7	44.7	36.7	36.8	34.4	38.4	67.3	74.0	67.9	69.9	63.7	63.2	62.8	51.6	50.1

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

■ UCLA指標について

- 本パートで主要分析軸として用いるUCLA指標は、1978年にRussellらが開発した孤独感や孤立感の尺度（University of California, Los Angeles Loneliness Scale（UCLA LS））を参考に、日本語版として開発された『日本語版UCLA孤独感尺度（第3版）』（舛田ゆづり，田高悦子，臺有桂（2012）：『高齢者における日本語版UCLA孤独感尺度（第3版）の開発とその信頼性・妥当性の検討』日本地域看護学会誌）を指している。
- 孤独感・孤立感を測定する指標は過去さまざま開発されてきたが、孤独感を単一次元で測定・表記できる指標として定評がある。
- 選択肢は、ポジティブな意味合いの選択肢9個とネガティブな意味合いの選択肢11個（下記表でグレー網掛け）の20項目から構成され、自分の状態の当てはまり度を4段階で回答するものである。
- 本パートでは、各選択肢の回答に応じて1点から4点までの加重得点を付与し、その積算値を孤独度として指標化した。

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
◆1 自分は周りの人たちの中になじんでいると感じますか	4	3	2	1
◆2 自分には人との付き合いがないと感じることがありますか	1	2	3	4
◆3 自分には頼れる人が誰もいないと感じることがありますか	1	2	3	4
◆4 自分はひとりぼっちだと感じるがありますか	1	2	3	4
◆5 自分は友人や仲間のグループの一員だと感じるがありますか	4	3	2	1
◆6 自分は周りの人たちと共通点が多いと感じることがありますか	4	3	2	1
◆7 自分は誰とも親しくしていないと感じることはありますか	1	2	3	4
◆8 自分の関心や考えは周りの人たちにはわからないと感じることがありますか	1	2	3	4
◆9 自分を社会的で親しみやすいと感じますか	4	3	2	1
◆10 自分には親しい人たちがいると感じますか	4	3	2	1
◆11 自分は取り残されていると感じることがありますか	1	2	3	4
◆12 他人との関わりは意味がないと感じることがありますか	1	2	3	4
◆13 自分を本当によく知っている人は誰もいないと感じることはありますか	1	2	3	4
◆14 自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか	1	2	3	4
◆15 希望すれば自分と気の合う仲間は見つかると感じますか	4	3	2	1
◆16 自分を本当に理解している人がいると感じますか	4	3	2	1
◆17 自分は内気であると感じますか	1	2	3	4
◆18 周りの人たちと一体感がもてないと感じるがありますか	1	2	3	4
◆19 話し相手があると感じますか	4	3	2	1
◆20 頼れる人がいると感じますか	4	3	2	1

UCLA指標の加重平均積算値分布

- 前ページで示した加重平均値を積算して個人のUCLA指標を得点化し、その分布をみたのが以下のグラフである。加重平均積算値のスコアが高ければ高いほど、孤独度も高いことになる。グラフでいえば、左のカテゴリーが大きければ大きいほど孤独度は低く、右のカテゴリーが大きければ大きいほど孤独度の高い人が多いことになる。
- 未婚単身世帯全体は「加重平均積算値・40～49点」まで合わせても半数に及ばず、一般世帯全体と比べて孤独度の高い層が多いことがわかる。
- 未婚単身世帯全体と一般世帯・未婚・計で比べても、その結果は変わらない。一般世帯・未婚・計の「加重平均積算値・40～49点」までのスコアはちょうど半分程度であり、一般世帯全体より差が縮まるとはいえ、未婚単身世帯全体には孤独度の高い層が多い。

未婚単身世帯

- 性年代別にみると、「加重平均積算値・40～49点」までのスコア合計が、女性・計の方が男性・計より高い。つまり男性・計の方が孤独度の高い人が多い。中でも、男性・ミドル層で加重平均積算値の高い層、つまり孤独度の高い層が多くなっていることがわかる。
- 所有形態×居住形態別でスコアに大きな差はみられない。

一般世帯

- 未婚別別にみると、「加重平均積算値・50～59点」で未婚・計（36.7%）が既婚・計（28.4%）を上回る。

UCLA指標の加重平均積算値分布（全体）

		加重平均積算値・20～29点	加重平均積算値・30～39点	加重平均積算値・40～49点	加重平均積算値・50～59点	加重平均積算値・60～69点	加重平均積算値・70～80点	加重平均積算値（点）	
		●凡例							
未婚単身世帯全体		(n=3000)	1.5%	8.2	34.0	37.0	12.3	7.1	51.81
性年代別	男性・計	(n=1667)	1.3	5.9	31.1	39.8	12.8	9.2	53.19
	男性・若年層（20～39歳）	(n=550)	1.3	5.3	36.0	42.0	9.5	6.0	51.83
	男性・ミドル層（40～54歳）	(n=679)	0.6	6.0	28.9	37.3	14.7	12.5	54.55
	男性・シニア層（55～64歳）	(n=438)	2.3	6.4	28.3	40.9	13.9	8.2	52.79
	女性・計	(n=1333)	1.8	11.0	37.6	33.5	11.6	4.5	50.09
	女性・若年層（20～39歳）	(n=882)	1.8	9.6	39.7	34.4	10.4	4.1	49.94
	女性・ミドル層（40～54歳）	(n=314)	1.9	13.4	31.8	32.8	14.6	5.4	50.75
女性・シニア層（55～64歳）	(n=137)	1.5	14.6	37.2	29.2	12.4	5.1	49.50	
居住形態別	持ち家・計	(n=532)	1.3	7.7	32.5	40.0	10.9	7.5	52.13
	持ち家【戸建て】	(n=223)	0.9	6.3	31.8	37.7	11.7	11.7	53.87
	持ち家【マンション】	(n=309)	1.6	8.7	33.0	41.7	10.4	4.5	50.87
	賃貸・計	(n=2468)	1.5	8.3	34.3	36.3	12.6	7.1	51.74
	賃貸【戸建て】	(n=43)	—	7.0	27.9	41.9	14.0	9.3	52.63
	賃貸【マンション】	(n=1192)	1.5	9.1	37.2	33.7	11.3	7.2	51.18
賃貸【アパート】	(n=1193)	1.6	7.6	31.3	38.9	13.6	7.0	52.29	
一般（2人以上）世帯全体		(n=1000)	3.1	12.8	46.0	30.1	5.4	2.6	47.51
婚未別	未婚・計	(n=177)	1.7	7.9	40.7	36.7	6.2	6.8	50.25
	既婚・計	(n=823)	3.5	15.2	46.5	28.4	5.0	1.3	46.62

■ 孤独指標の定義と分布

- 前ページで、UCLA 指標の加重平均積算値の分布をみたが、ここではよりシンプルに、孤独度の高さによって4つのグループを作った。これらの4つのグループを「孤独指標」と呼ぶ。
- 未婚单身層の UCLA 指標の加重平均積算値の平均値を求め、そこを基点に2層に分ける。さらにそれらの各層を、±1標準偏差にあたる得点で2つずつに分けるという方法で4分割した。
 - 平均値=51.8, 平均値+1標準偏差=62.2, 平均値-1標準偏差=41.4 である。これらの3つの基点で4グループに分けた。
 - 一般世帯も、上記の未婚单身世帯の基準の絶対値を用いて4分割したので、同じスコア水準での比較が可能である。
 - なお、グラフは左側にある方がより孤独度が高い点に注意されたい。
- 未婚单身世帯全体は「孤独度・高い」が14.1%、「孤独度・やや高い」まで合わせた『孤独度・高い・計』は45.2%。
- 未婚单身世帯全体と一般世帯全体で『孤独度・高い・計』のスコアを比べると、未婚单身世帯全体（45.2%）が一般世帯全体（26.4%）を大きく上回っており、相対的に孤独な人の割合が高いことがわかる。
- 一般世帯・未婚・計の『孤独度・高い・計』のスコア（35.6%）は、一般世帯・既婚・計と比べると10ポイント以上高いのだが、それでも未婚单身世帯全体の方が10ポイント程度上回っている。

● 未婚单身世帯

- 性年代別に『孤独度・高い・計』をみると、男性・計（50.0%）が女性・計（39.2%）を大きく上回る。特に、男性・ミドル層とシニア層は『孤独度・高い・計』が5割を超えており、他の層と比べて高い。
- 所有形態×居住形態別でスコアに大きな差はみられない。

■ 孤独指標の定義と分布（全体）

		孤独度・高い・計				孤独度・高い・計 (%)
		孤独度・高い	孤独度・やや高い	孤独度・やや低い	孤独度・低い	
●凡例						
未婚单身世帯全体	(n=3000)	14.1%	31.1	41.9	12.9	45.2
性年代別	男性・計	16.7	33.3	40.5	9.5	50.0
	男性・若年層（20～39歳）	10.7	34.5	46.5	8.2	45.3
	男性・ミドル層（40～54歳）	22.1	31.4	38.1	8.4	53.5
	男性・シニア層（55～64歳）	15.8	34.7	36.5	13.0	50.5
	女性・計	10.8	28.4	43.7	17.1	39.2
	女性・若年層（20～39歳）	9.8	28.5	45.9	15.9	38.2
	女性・ミドル層（40～54歳）	13.4	30.3	37.9	18.5	43.6
居住形態別 ×	女性・シニア層（55～64歳）	11.7	23.4	43.1	21.9	35.0
	持ち家・計	14.5	31.6	41.2	12.8	46.1
	持ち家【戸建て】	20.6	28.7	39.9	10.8	49.3
	持ち家【マンション】	10.0	33.7	42.1	14.2	43.7
	賃貸・計	14.0	31.0	42.1	12.9	45.0
	賃貸【戸建て】	14.0	30.2	44.2	11.6	44.2
	賃貸【マンション】	13.2	28.8	43.9	14.2	41.9
一般（2人以上）世帯全体	賃貸【アパート】	15.0	32.9	40.2	11.8	47.9
	一般（2人以上）世帯全体	5.0	21.4	50.7	22.8	26.4
	未婚・計	8.5	27.1	52.0	12.4	35.6
既婚・計	3.9	20.0	49.5	26.6	23.9	

※未婚单身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

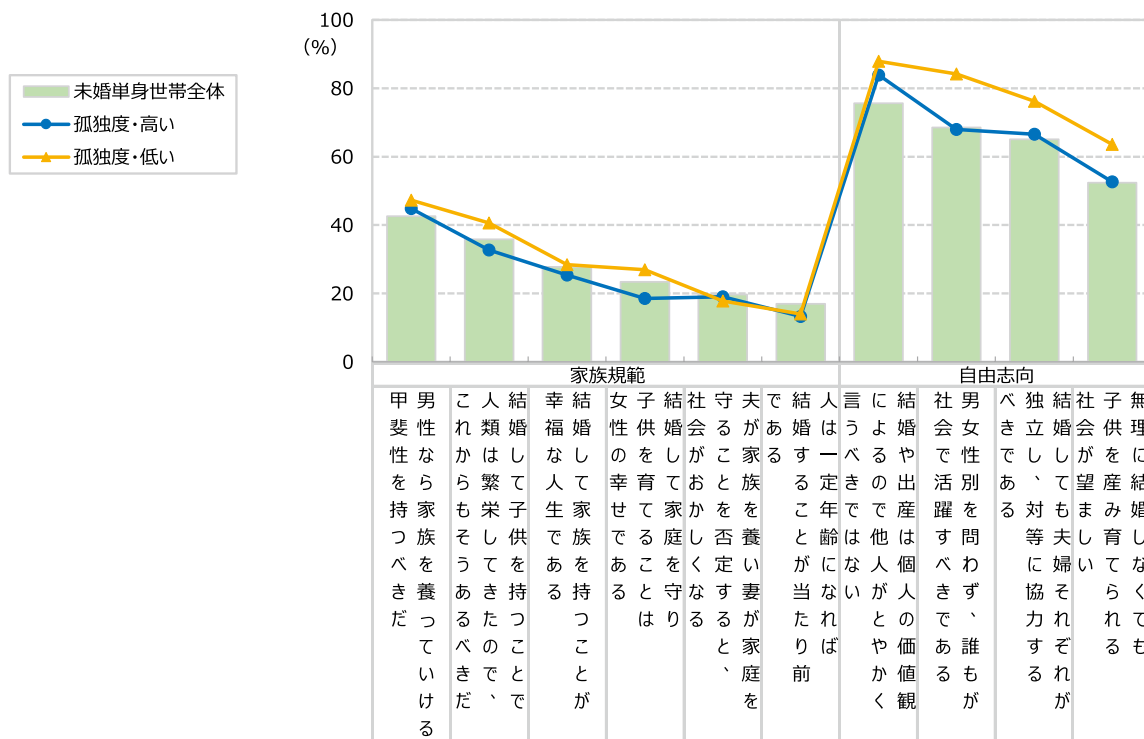


孤独指標と家族に関する規範意識

- 以降では、「孤独指標」によるクロス集計をみることで、孤独な人とそうでない人との基本的な差を確認していく。
- 家族に関する規範意識についてたずねたところ、未婚単身世帯全体では「結婚や出産は個人の価値観によるので他人がとやかく言うべきではない」(75.6%)が最も高い。『家族規範』では「男性なら家族を養っていける甲斐性を持つべきだ」(42.6%)が高い。
- 孤独指標別にみると、『自由志向』の各項目では、孤独度の高い層が低い層よりもスコアが低い。孤独度が高い人は、いわゆる“リベラル”な考え方のスコア水準自体は高いものの、孤独ではない人たちに比べると弱含みであることがわかる。
- 一方で、『家族規範』の各項目については、孤独度の高い層と低い層とで大きな差はみられない。**孤独度が高い人は、『自由志向』の考え方が相対的に低い一方で、「男性なら家族を養っていける甲斐性を持つべきだ」などの家族に対する規範意識は低くはないことがわかる。**

■ 家族に関する規範意識 『そう思う・計』(未婚単身世帯全体/各単一回答)

家庭についての以下のような考え方に、あなたはどの程度賛同しますか。



項目	未婚単身世帯全体 (n=3000)	孤独度・高い (n=422)	孤独度・やや高い (n=933)	孤独度・やや低い (n=1258)	孤独度・低い (n=387)
甲斐性なをもち養ってきたい	42.6	44.8	43.0	40.1	47.3
男性なら家族を養っていける	42.6	44.8	43.0	40.1	47.3
結婚や出産は個人の価値観によるので他人がとやかく言うべきではない	75.6	83.9	77.4	67.6	87.9
自由志向 (各項目)	68.5, 65.1, 52.4	68.0, 66.6, 52.6	69.7, 66.1, 51.9	63.0, 60.4, 49.2	84.2, 76.2, 63.6

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

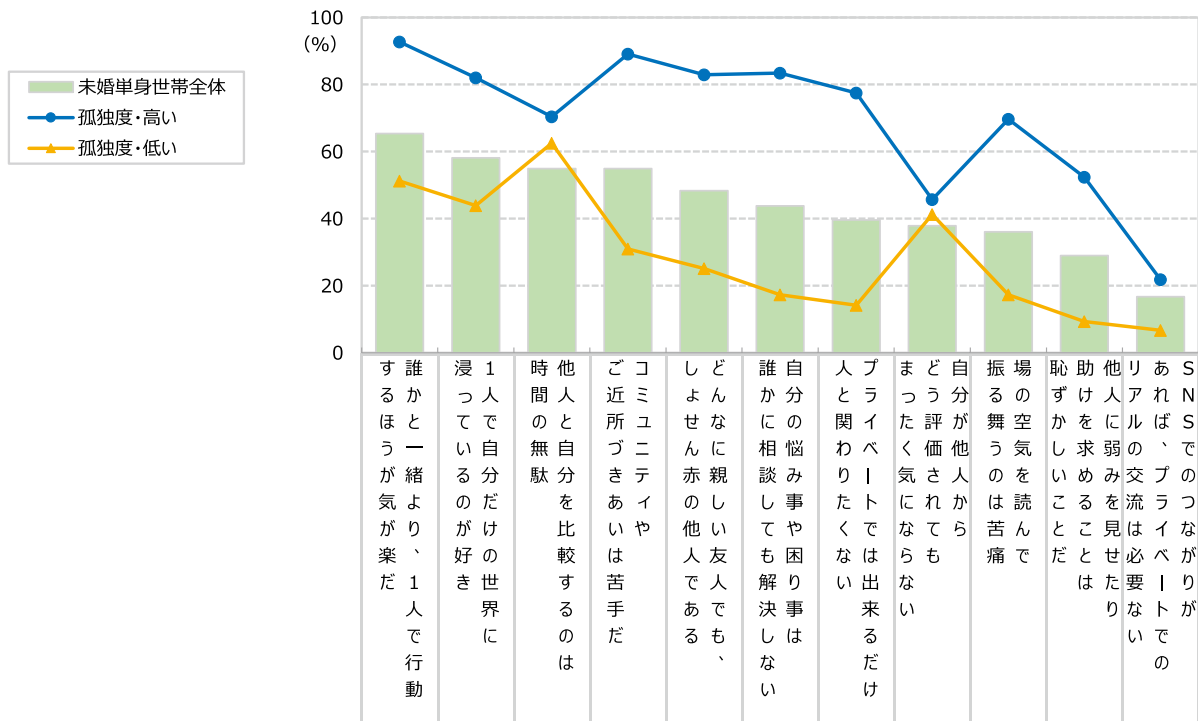
「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 2.5	▲ 7.9	▲ 3.0	▲ 8.4	1.2	▲ 0.7	▲ 4.0	▲ 16.2	▲ 9.6	▲ 11.0
-------------------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	--------	-------	--------

■ 孤独指標とパーソナリティ

- 人との関わり方に関する考え方（パーソナリティ）についてみると、未婚単身世帯全体は「誰かと一緒に、1人で行動するほうが気が楽だ」（65.4%）がトップ。以下、「1人で自分だけの世界に浸っているのが好き」（58.1%）、「他人と自分を比較するのは時間の無駄」「コミュニティや近所づきあいは苦手だ」（54.9%）が5割台で続く。
- 孤独指標別にみると、孤独度が高いほど、スコアが高い項目が多い。
 - 「他人と自分を比較するのは時間の無駄」「自分が他人からどう評価されてもまったく気にならない」はスコアに大きな差はみられない。
- 孤独度が高い層と低い層の差が50ポイント以上の項目は以下の通り。
 - 「コミュニティや近所づきあいは苦手だ」
 - 「どんなに親しい友人でも、しょせん赤の他人である」
 - 「自分の悩み事や困り事は誰かに相談しても解決しない」
 - 「プライベートでは出来るだけ人と関わりたくない」
 - 「場の空気を読んで振る舞うのは苦痛」
- つまり孤独度が高い人は、少なくとも調査回答上は、その状態をよしとしている（例えば「誰かと一緒に、1人で行動する方が気が楽だ」、「プライベートでは出来るだけ人と関わりたくない」など）人が多いという結果である。
 - しかし、孤独度の高い人はその状態をよしと回答する人が多いに関わらず、精神健康状態のすぐれない人も多いことを、後のページで確認することになる。

■ パーソナリティ『あてはまる・計』（未婚単身世帯全体／各単一回答）

あなたご自身について、以下のこと・考え方はどの程度あてはまりますか。



孤独指標	人数	誰かと一緒に、1人で行動	1人で自分だけの世界に浸っているのが好き	他人と自分を比較するのは時間の無駄	コミュニティや近所づきあいは苦手だ	どんなに親しい友人でも、しょせん赤の他人である	自分の悩み事や困り事は誰かに相談しても解決しない	人と関わりたくない	自分が他人からどう評価されてもまったく気にならない	場の空気を読んで振る舞うのは苦痛	助けを求めたい	あれだけ、必要がない
未婚単身世帯全体	(n=3000)	65.4	58.1	54.9	54.9	48.3	43.8	39.6	37.9	36.1	29.0	16.7
孤独度・高い	(n=422)	92.7	82.0	70.4	89.1	82.9	83.4	77.5	45.7	69.7	52.4	21.8
孤独度・やや高い	(n=933)	74.9	64.8	55.4	66.5	58.0	50.5	47.4	35.6	39.1	32.5	16.5
孤独度・やや低い	(n=1258)	53.6	49.4	47.0	42.2	36.6	33.6	28.9	36.0	28.5	24.7	18.1
孤独度・低い	(n=387)	51.2	43.9	62.5	31.0	25.1	17.3	14.2	41.3	17.3	9.3	6.7

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	41.5	38.1	7.9	58.1	57.8	66.1	63.3	4.4	52.4	43.1	15.1
-------------------	------	------	-----	------	------	------	------	-----	------	------	------

■ 孤独指標と地域に対する感情・意識のまとめ

- 孤独が未婚単身世帯の気持ちや意識、場合によっては行動にどのような影響を与えるかをみるため、孤独指標によるクロス集計データを確認している。
- ここで用いているのは5つの「地域に対する感情・意識」に関するデータである。念のために質問文を再掲する。これらの質問に対して5段階評価で回答してもらい、そのうちポジティブに回答した比率を掲載している。

【地域への帰属意識】現在のお住まいの地域の一員であるという実感をどの程度感じていますか。

【サードプレイスの有無】現在住んでいる地域に、自宅以外でリラックスして楽しく過ごせる場所やお店がありますか。

※この質問のみ「ある・ない」で回答。

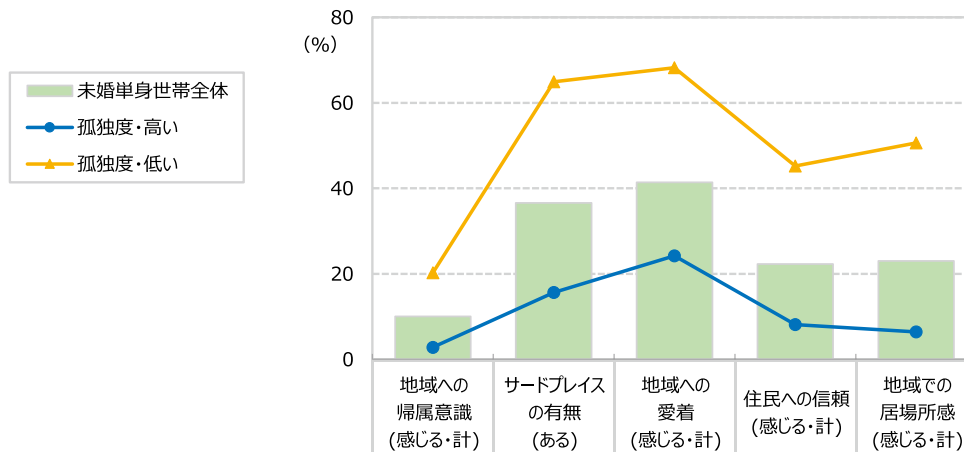
【地域への愛着】現在住んでいる地域にどの程度愛着を感じていますか。

【住民への信頼】現在お住まいの地域の住人たちは基本的に信頼できる人たちだと感じますか。

【地域での居場所感】自分が住んでいる地域に、どの程度「自分の居場所がある」と感じますか。

- 地域での居場所感や孤独感について孤独指標別にみると、すべての項目で孤独度が高いほどスコアが低い。
- この中で、「地域への帰属意識」は孤独度が低い層でも2割強のスコアにとどまり、孤独度が高い層との差もそれほど大きくはないが、その他の項目では孤独度の高い層と低い層とで40ポイント前後の差がつく。

■ 地域に対する感情・意識のまとめ（未婚単身世帯全体／各単一回答）



未婚単身世帯全体		(n=3000)	10.0	36.6	41.4	22.3	23.0
孤独指標	孤独度・高い	(n=422)	2.8	15.6	24.2	8.1	6.4
	孤独度・やや高い	(n=933)	7.4	30.3	39.0	18.4	17.6
	孤独度・やや低い	(n=1258)	11.3	39.6	40.7	22.8	24.0
	孤独度・低い	(n=387)	20.2	64.9	68.2	45.2	50.6

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

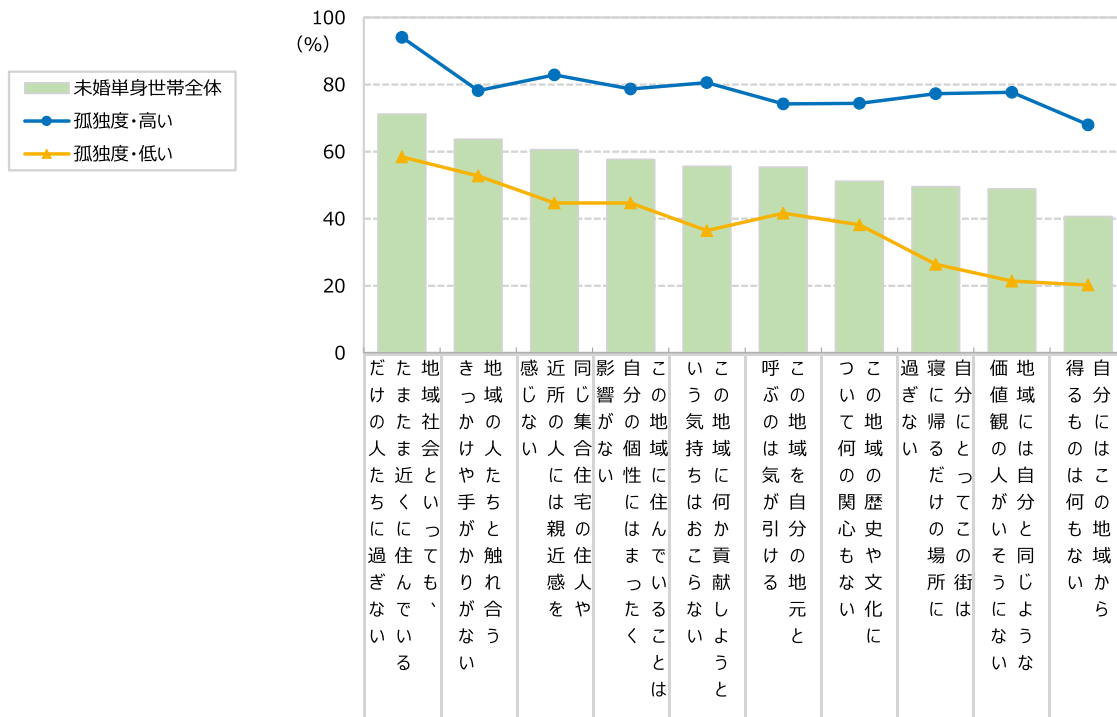
「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 17.4	▲ 49.3	▲ 44.0	▲ 37.1	▲ 44.2
-------------------	--------	--------	--------	--------	--------

■ 孤独指標と地域への関与感

- 地域への関与感に関する項目についてたずねたところ、未婚単身世帯全体は「地域社会といっても、たまたま近くに住んでいるだけの人たちに過ぎない」(71.2%)が最も高い。
- 孤独指標別にみると、いずれの項目を孤独度が高いほどスコアが高くなっている。特に、以下の項目は孤独度の高い層が低い層を40ポイント以上上回る。孤独度の高い人は、「住んでいる地域から得るものもないし、与えるつもりもない」というスタンスの人が多く、住んでいる地域にある種のあきらめをもって対していることがわかるデータである。
 - 「この地域に何か貢献しようという気持ちはおこらない」
 - 「自分にとってこの街は寝に帰るだけの場所に過ぎない」
 - 「地域には自分と同じような価値観の人がいそうにない」
 - 「自分にはこの地域から得るものは何もない」

■ 地域への関与感 『感じる・計』 (未婚単身世帯全体/各単一回答)

現在のお住まいでの普段の生活において、以下のようなことをどの程度お感じになりますか。



孤独指標	人数	だた地	けま社	のた会	人ま近	ちくい	ににつ	過住て	ぎんも	なで、	いる
未婚単身世帯全体	(n=3000)	71.2	63.7	60.6	57.7	55.6	55.4	51.2	49.5	48.9	40.6
孤独度・高い	(n=422)	94.1	78.2	82.9	78.7	80.6	74.2	74.4	77.3	77.7	68.0
孤独度・やや高い	(n=933)	77.3	69.3	65.1	62.3	60.1	57.8	54.9	53.1	56.1	43.4
孤独度・やや低い	(n=1258)	62.9	57.9	54.6	51.3	49.8	51.6	44.6	44.8	42.3	35.5
孤独度・低い	(n=387)	58.4	52.7	44.7	44.7	36.4	41.6	38.2	26.4	21.4	20.2

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	35.7	25.5	38.2	34.0	44.2	32.6	36.2	50.9	56.3	47.8
-------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

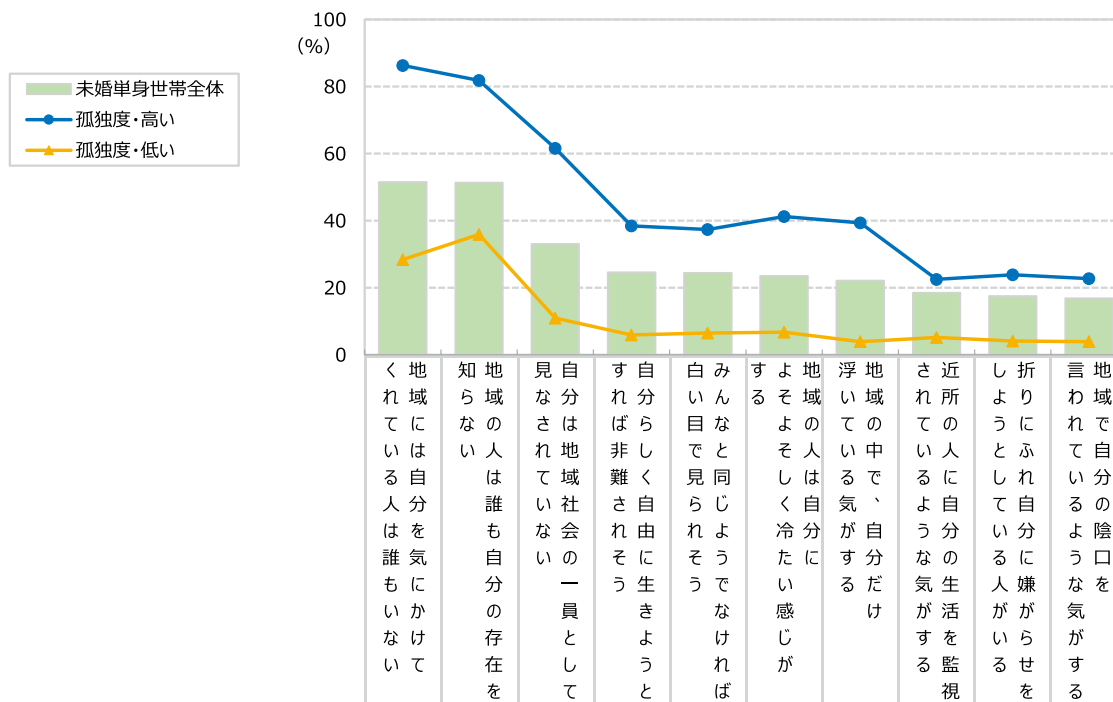


孤独指標と地域からの排除感

- 地域からの排除感に関する項目についてたずねたところ、「地域には自分を気にかけてくれる人は誰もいない」(51.5%)、「地域の人は誰も自分の存在を知らない」(51.4%)が同程度で高い。
- 孤独指標別にみると、いずれの項目も孤独度が高いほどスコアが高くなっている。特に、以下の項目は孤独度の高い層が低い層を40ポイント以上上回る。
 - 「地域には自分を気にかけてくれる人は誰もいない」
 - 「地域の人は誰も自分の存在を知らない」
 - 「自分は地域社会の一員として見なされていない」
- “誰かに非難されている”という強迫観念や、“みんなと同じようであれば白い目で見られる”などの同調圧力よりも、誰からも気にされない・知られていないといった“透明な存在”だという意識が強いことがわかる。

■ 地域からの排除感 『感じる・計』 (未婚単身世帯全体/各単一回答)

現在のお住まいでの生活において、以下のようなことを感じることはありますか。



孤独指標	人数	く地域にいては自分もいかに	知らぬ間に誰かの存在を	自分と地域社会の一員として	自分自身を自由に生きようとする	みんなと同じように見られたい	よその人から冷たい感じがする	地域の中で自分が浮いてる感じがする	近所の人から監視されている感じがする	折角に自分らしく生きていきたいのに	地域で自分陰気な感じがする
未婚単身世帯全体	(n=3000)	51.5	51.4	33.1	24.6	24.4	23.5	22.1	18.5	17.5	16.9
孤独度・高い	(n=422)	86.3	81.8	61.6	38.4	37.4	41.2	39.3	22.5	23.9	22.7
孤独度・やや高い	(n=933)	58.2	57.3	37.2	27.2	26.6	25.3	25.4	18.0	16.5	16.8
孤独度・やや低い	(n=1258)	42.1	41.6	27.4	23.7	23.9	21.3	19.6	21.5	20.1	19.1
孤独度・低い	(n=387)	28.4	35.9	10.9	5.9	6.5	6.7	3.9	5.2	4.1	3.9

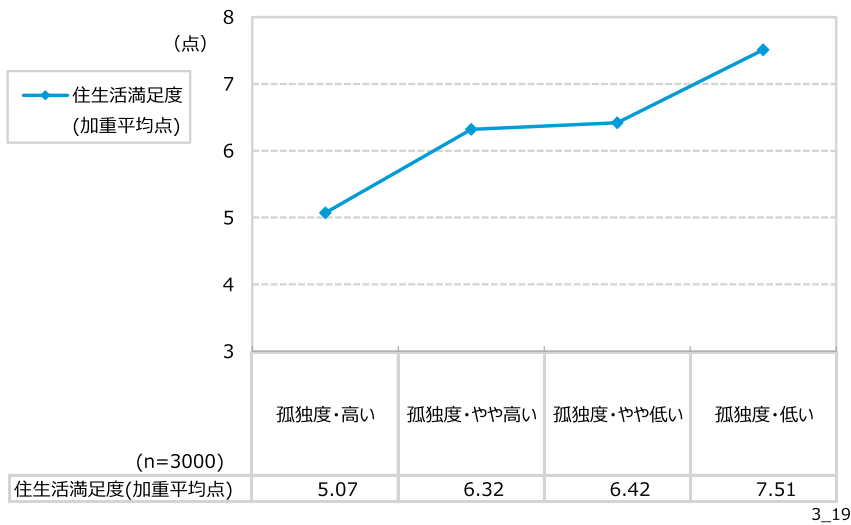
※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字
 ※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	57.9	45.9	50.7	32.5	30.9	34.5	35.4	17.3	19.8	18.8
-------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

孤独指標と住生活満足度

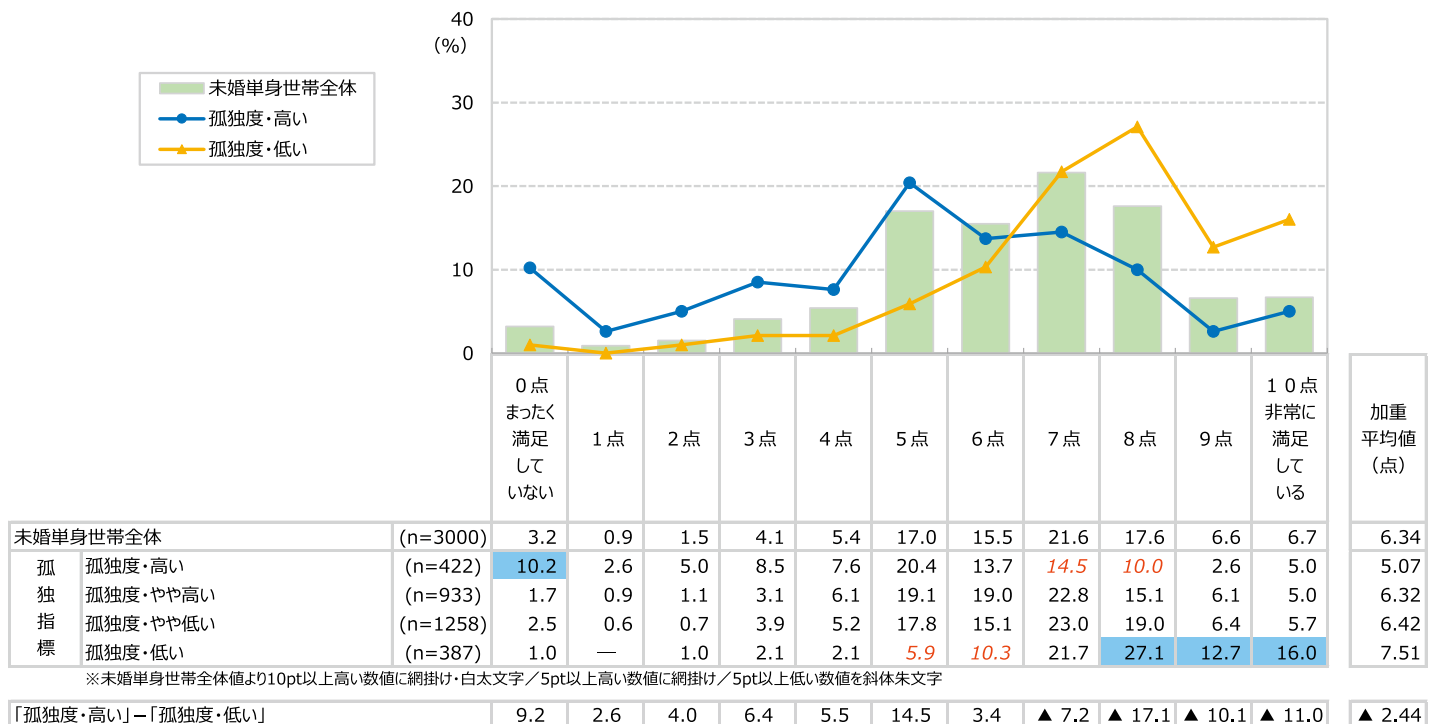
- 次に総合指標のひとつである、住生活満足度を孤独指標別にみる。
- 孤独度が高いほどスコアが低く、孤独度が高い層（5.07）と低い層（7.51）の差は2.44点に及ぶ。
- 住生活満足度の得点分布をみると、孤独度が高い層は「5点」（20.4%）がピーク。「0点」と答えた者（10.2%）が1割。一方、孤独度が低い層は「8点」（27.1%）がピークで、「10点」と答えた者が16.0%いる。
- もちろん、孤独度が高くても住生活満足度が高い層も一定数存在する（孤独度が「やや高い」層も「高い」層も住生活満足度では「9点」「10点」のスコア合計が1割前後を占める）が、孤独度の高さと住生活満足度の高さは逆相関の度合いが高いことがわかる。

住生活満足度（未婚単身世帯全体／単一回答）



住生活満足度（未婚単身世帯全体／単一回答）

総合的にみて、あなたは現在の住生活（住居で営まれる暮らし）について、どの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を「0点」とした場合、何点くらいになるかをお答えください。

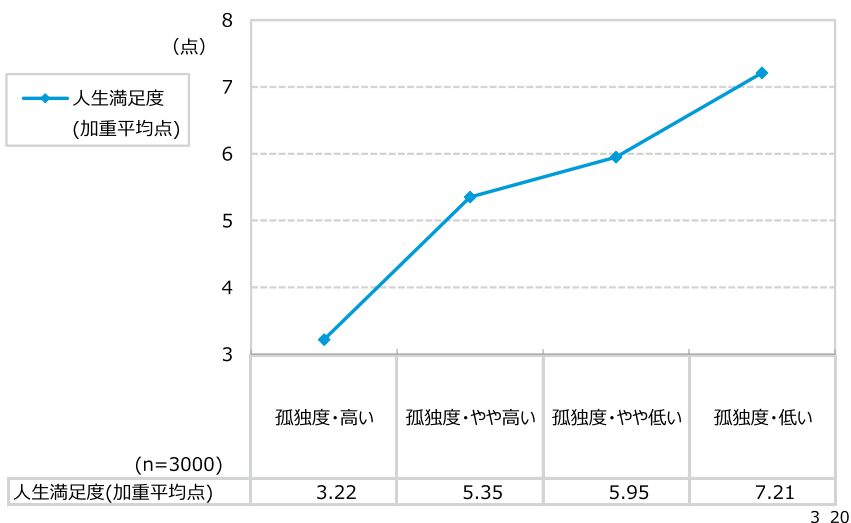




■ 孤独指標と人生満足度

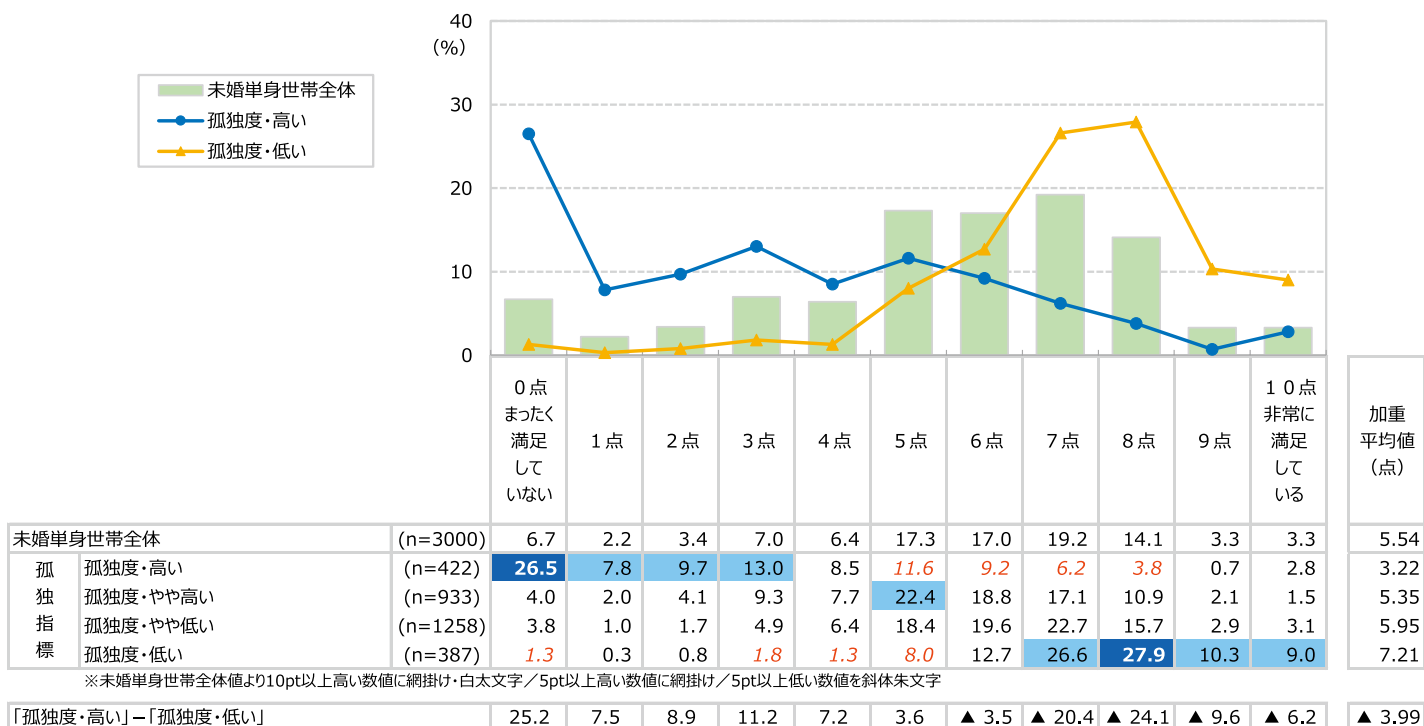
- 孤独指標別に人生満足度の平均点をみると、孤独度が高いほどスコアが低く、孤独度が高い層(3.22)と低い層(7.21)とで約4点の大差がついている。
- 孤独度が高い層は「0点」が最も高く、26.5%を占める。一方、孤独度が低い層は「7点」(26.6%)、「8点」(27.9%)がピーク。
- 住生活満足度と同様に、孤独度が高くても人生満足度が高い層は一定数存在するが、孤独度の高さと人生満足度の高さは逆相関の度合いが高いことが確認できる。

■ 人生満足度 (未婚単身世帯全体/単一回答)



■ 人生満足度 (未婚単身世帯全体/単一回答)

あらゆる点を考慮した上で、あなたは全体として現在の自分の暮らしについてどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を「0点」とした場合、何点くらいになるかをお答えください。



WHO-5について

- WHO-5とは、世界保健機関（World Health Organization; WHO）が推奨する精神的健康の測定指標である。日本における先行研究でも、精神的健康を測定する簡易的尺度として有用であることが確認されている。
- 選択肢は下表の5項目から構成され、最近2週間の状態について各々6段階であてはまる状態を回答するものである。
- 医療・保険分野での運用にあたっては指標化に一定のルールがあるが、**基本的に該当する割合が高い選択肢が多いほど、精神的健康状態が良好である**ことを示す。
- 今回は各選択肢に以下の加重平均得点を設定のうえ、その積算値×4（つまり上限値100、下限値0）を個人の得点として設定し、以降の分析を行っている。
- 自己申告データではあるが、より客観的な精神的健康状態を表す指標として用いている。

	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない
◆1 明るく楽しい気分で過ごした	5	4	3	2	1	0
◆2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	5	4	3	2	1	0
◆3 意欲的で、活動的に過ごした	5	4	3	2	1	0
◆4 ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた	5	4	3	2	1	0
◆5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	5	4	3	2	1	0

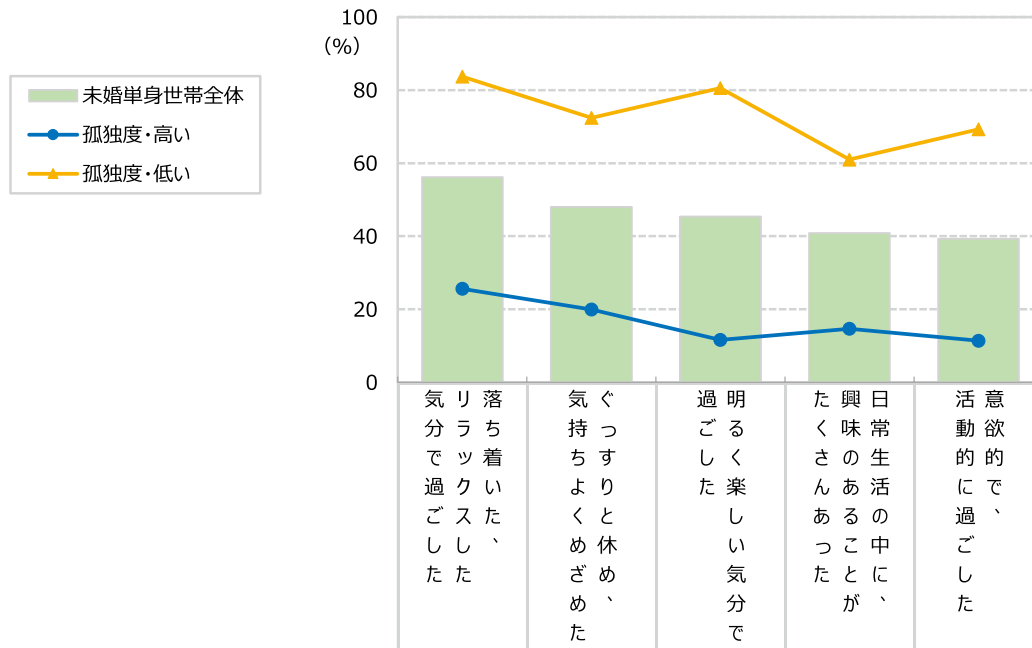


■ 孤独指標と精神的健康状態 (WHO-5)

- まず、孤独指標とWHO-5各設問との関係を確認しておく。
- いずれの項目も孤独度が低いほどスコアが高くなっており、特に「明るく楽しい気分で過ごした」において、孤独度の高い層が低い層を70ポイント程度下回っている。

■ 精神的健康状態 (WHO-5) 『半分以上の期間以上・計』 (未婚単身世帯全体/各単一回答)

以下の5つの各項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものをお答えください。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	56.2	48.0	45.4	40.9	39.3
孤独指標	孤独度・高い	(n=422)	25.6	19.9	11.6	14.7	11.4
	孤独度・やや高い	(n=933)	52.4	42.7	36.7	37.2	30.2
	孤独度・やや低い	(n=1258)	60.9	54.0	52.4	46.3	46.2
	孤独度・低い	(n=387)	83.7	72.4	80.6	61.0	69.3

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 58.1	▲ 52.5	▲ 69.0	▲ 46.3	▲ 57.9
-------------------	--------	--------	--------	--------	--------

3_24

■ 孤独指標と精神的健康状態 (WHO-5 指標)

- 既述の通り、5つの質問項目について加重平均得点を設定のうえ、その積算値×4で求められるスコアを以下のように4段階に分けた。

精神的健康状態・良好	75～100
精神的健康状態・やや良好	50～74
精神的健康状態・やや不良	25～49
精神的健康状態・不良	0～24

- WHO-5指標で精神的健康状態の段階を分類した結果、未婚単身世帯全体は「良好」が11.4%、「不良」が23.8%となった。
- 孤独度が高い層では、「精神的健康状態・やや不良」+「精神的健康状態・不良」のスコア(88.2%)がほぼ9割に達する。
- 「精神的健康状態・やや不良」+「精神的健康状態・不良」のスコア水準にある人について、WHOではさらに精緻な精神的健康状態測定のためのテストを受けることを推奨している。
- 既述の「孤独指標とパーソナリティ」の分析では、孤独度が高い人は「誰かと一緒より、1人で行動する方が気が楽だ」、「プライベートでは出来るだけ人と関わりたくない」と考える人が多く、自ら望んで孤独度の高い状態を選び取っているようにもみえた。また、孤独であっても幸福な人は一定数存在することも確認した。
- しかし、少なくともWHO-5指標で測定する限りにおいて、孤独度の高さは精神的健康状態の悪さにつながる傾向が強いと言わざるを得ない。

■ 精神的健康状態 (WHO-5指標) (未婚単身世帯全体)

		精神的健康状態・良好	精神的健康状態・やや良好	WHO-5による「精神的健康状態・不良」者の比率		WHO-5による「精神的健康状態・不良」者の比率 (%)
				精神的健康状態・やや不良	精神的健康状態・不良	
●凡例						
未婚単身世帯全体 (n=3000)		11.4%	32.6	32.2	23.8	56.0
孤独指標	孤独度・高い (n=422)	2.4	9.5	25.1	63.0	88.2
	孤独度・やや高い (n=933)	7.1	28.7	41.4	22.8	64.2
	孤独度・やや低い (n=1258)	12.1	38.5	31.9	17.6	49.4
	孤独度・低い (n=387)	29.5	48.3	18.6	3.6	22.2
「孤独度・高い」-「孤独度・低い」		▲ 27.1	▲ 38.8	6.5	59.4	65.9

※各全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

3_25

Blank page with horizontal dashed lines for writing.

孤独の緩衝材

□ 前項まで、孤独が未婚単身者の生活や心性にどのような影響を及ぼしているかをみてきた。

□ 主要な結論をまとめると、孤独度の高い人ほど、

- 地域に居場所がない、愛着も持てない人が多く、周囲の住民を信頼する人が少ない。
- 「住んでいる地域から得るものもないし、地域に与えるつもりもない」というスタンスの人が多い。
- 地域から明確に排除されているというより、「誰からも知られていない」という疎外感を持つ人が多い。
- 住生活満足度も人生満足度も低い。
- 上記の状況を自分が選び取っているようにも見えるが、精神健康状態は良くない人が多い。

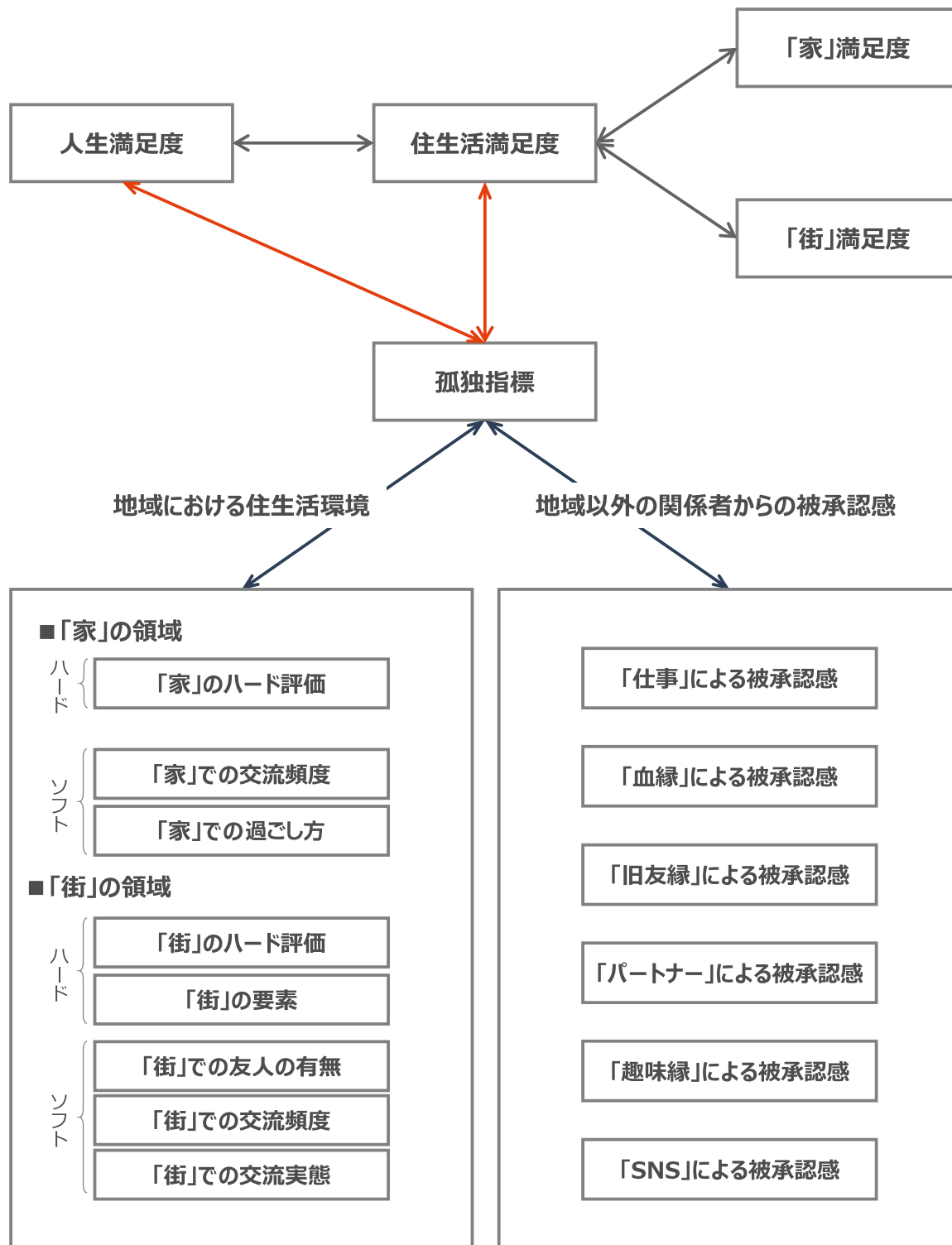
ということになる。

□ そうした孤独を解消するには何が必要だろうかと大上段に構えても、なかなか有効な答えは得られないというのが我々の直観である。ひとつひとつの住環境や、人々のコミュニケーションのあり方、住み方などが積み重なって、ようやく孤独を和らげる要素として機能すると考える方が実情に即していると考えた。

□ それらの「孤独の緩衝材」ともいえる諸要素を、次ページのように構造化した。この見取り図に沿って、孤独指標別に特徴的な項目を丁寧に洗い出し、特に住生活において、単身世帯の人が寂しさを感じずに済むアーキテクチャがどう構想され得るかについての手がかりを揃える。それが本項の目的である。

□ 次ページは、「孤独指標」を中心におき、孤独度が住生活満足度、ひいては人生満足度にマイナスの影響を与えるが、それを和らげる要因もあることを表している。詳細を説明すると以下の通りである。

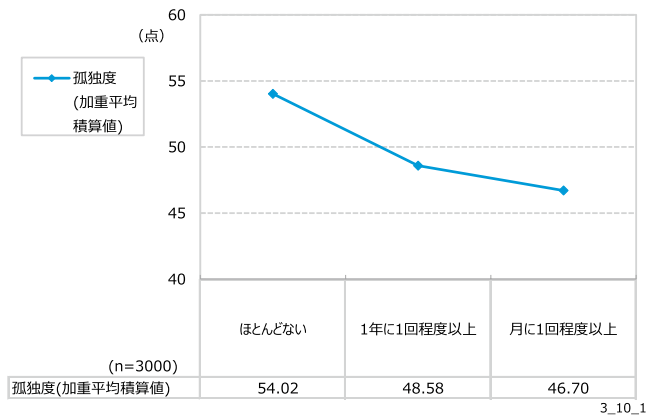
- 孤独度の緩衝要因として、大きく「地域における住生活環境に属する要因」と、「地域以外の関係者からの被承認感に属する要因」の2つに分類した。
- 「**地域における住生活環境に属する要因**」は、「家」と「街」のそれぞれ「ハード領域」と「ソフト領域」から構成されると考えた。「**ハード領域**」は、そこに住む未婚単身者が感じる「家」や「街」の物理面、環境面での水準である。感じられている**スペック**、と言ってもよい。それに対して「**ソフト領域**」は、そこ（「家」や「街」）での**過ごし方**を指す。
- 既に見たように、「ハード領域」（スペック）は住生活満足度や人生幸福度を一定水準まで押し上げるが、やがて頭打ちになる。それに対して「ソフト領域」はリニアに住生活満足度や人生幸福度を押し上げる傾向がみられた。ここでは、「**家**」と「**街**」の「**ハード領域**」（**スペック**）、「**ソフト領域**」（**過ごし方**）の**具体的な諸相が孤独度を押し下げると仮定して、クロス分析を行った。**
- 一方の「**地域以外の関係者からの被承認感に属する要因**」は、そうした住環境、住生活以外の領域にある。具体的には、「仕事」「血縁」「旧友縁」「パートナー」「趣味縁」「SNS」の6つの領域を設定し、それらから**承認されているという自覚の有無が孤独の緩衝要因になる**と考えた。
 - ▶ 「旧友縁」は「地域における住生活環境に属する要因」に属してもよい項目のように感じるが、提示項目は「昔からの友人とのつきあいが多い方だ」であり地縁とも限らないことから、「地域以外の関係者からの被承認感に属する要因」に設定した。



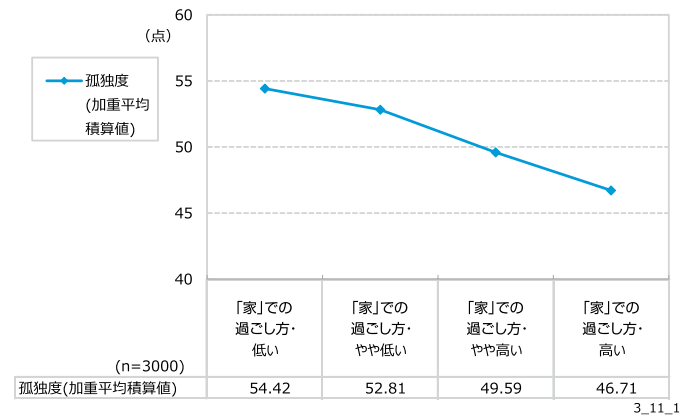
■ 孤独指標と「家」「街」のソフト領域

- 家や街での交流頻度や、「家」での過ごし方、「街」での交流実態などの、「家」「街」のソフト領域と孤独度との関係を一氣にみてみよう。
- いずれの項目も、コミュニケーションの量と質が高いほど孤独度が低くなっている。「街」「家」のソフト領域と住生活満足度との関係と同じく、両者がリニアな関係にあることが確認できる。

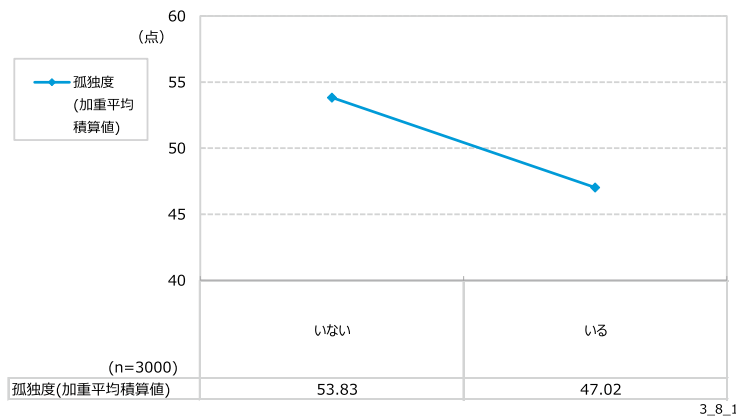
■①「家」での交流頻度（未婚単身世帯全体／単一回答）



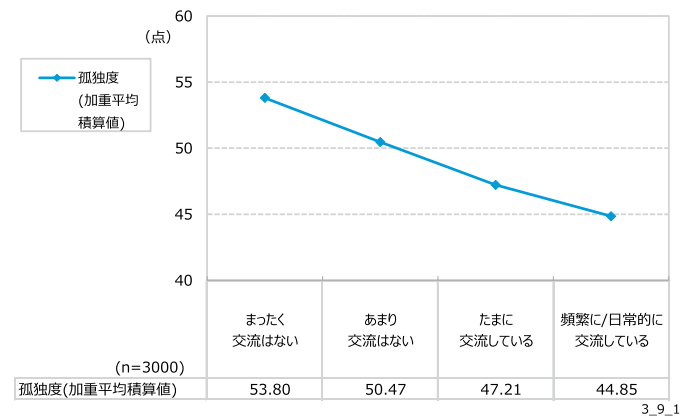
■②「家」での過ごし方（未婚単身世帯全体／単一回答）



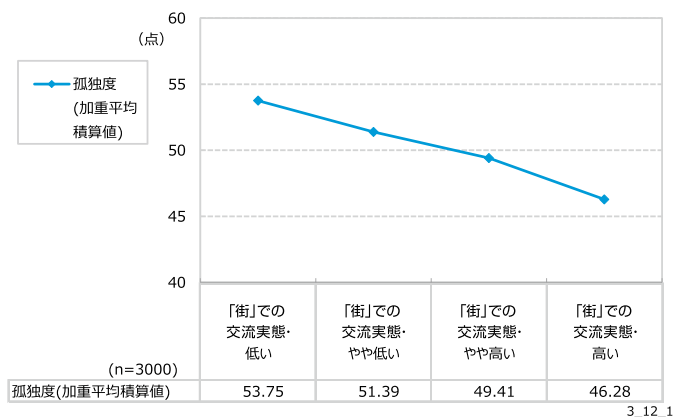
■③「街」における友人の有無（未婚単身世帯全体／単一回答）



■④「街」における交流頻度（未婚単身世帯全体／単一回答）



■⑤「街」での交流実態（未婚単身世帯全体／単一回答）



■ ②「家」での過ごし方について

「家」での過ごし方【現状】の16の選択肢の回答個数の積算を求め、以下のように分類した。

- ①「家」での過ごし方・高 4個以上
- ②「家」での過ごし方・やや高 2～3個
- ③「家」での過ごし方・やや低 1個
- ④「家」での過ごし方・低 0個

■ ⑤「街」での交流実態について

「街」での交流実態【現状】の10の選択肢の回答個数の積算を求め、以下のように分類した。

- ①「街」での交流実態・高 3個以上
- ②「街」での交流実態・やや高 2個
- ③「街」での交流実態・やや低 1個
- ④「街」での交流実態・低 0個

孤独指標と「家」での過ごし方【現状】

□ 孤独指標別にみると、孤独度が低いほどスコアが高い項目が多い。

- 「家でペットを飼っている」「家具やインテリアをDIYで作る・カスタマイズする」「よく部屋の模様替えをする」「よく自宅での写真をSNSに投稿する」はスコアに大きな差はみられない。

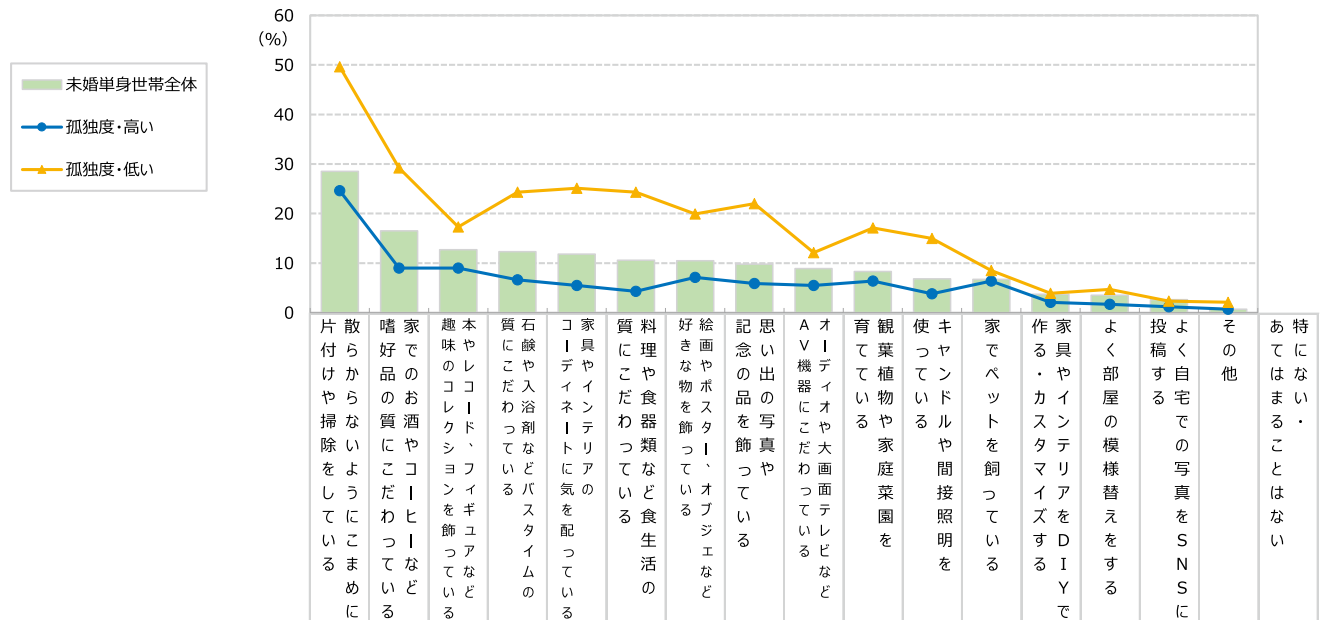
□ 孤独度が高い層と低い層の差が20ポイント以上の項目は以下の通り。ほぼ住生活満足度別の結果と同じ項目である。

- 「散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている」
- 「家でのお酒やコーヒーなど嗜好品の質にこだわっている」
- 「料理や食器類など食生活の質にこだわっている」

▶ なお、本設問への反応の高さは、「家」での生活におけるこだわり度を示していると考えられるが、「特にない・あてはまることはない」でも30ポイント以上の差がみられる。

■「家」での過ごし方【現状】（未婚単身世帯全体／複数回答）

現在のお住まいでの普段の生活において、「あてはまること」をすべてお選びください。



孤独指標	人数	片付けや掃除をこまめに	散らからないように	家での質やコーヒーなど	趣味のコレクションや	本やレコード、フィギュアなど	質にこだわっている	石鹸や入浴剤などバスタブの	コーディネートに気を配っている	家具やインテリアの	コーディネートに気を配っている	AV機器にこだわっている	思い出の品を飾っている	記念の品を飾っている	好きな物を飾っている	絵画やポスター、オブジェなど	調理や食器類など食生活の	質にこだわっている	観葉植物や家庭菜園を	育てている	キャンダルや間接照明を	使っている	家でペットを飼っている	作る・カスタマイズする	家具やインテリアをDIYで	よく部屋の模様替えをする	投稿する	よく自宅での写真をSNSに	その他	あてはまることはない	特にない	
未婚単身世帯全体	(n=3000)	28.5	16.5	12.7	12.3	11.8	10.6	10.5	9.8	8.9	8.3	6.8	6.7	3.7	3.5	2.6	0.7	36.1														
孤独度・高い	(n=422)	24.6	9.0	9.0	6.6	5.5	4.3	7.1	5.9	5.5	6.4	3.8	6.4	2.1	1.7	1.2	0.7	49.5														
孤独度・やや高い	(n=933)	25.5	14.0	13.8	9.9	9.1	7.6	9.4	6.4	8.4	5.9	4.3	6.3	3.2	2.4	2.8	0.6	40.8														
孤独度・やや低い	(n=1258)	25.5	16.9	11.8	12.2	11.8	10.7	9.6	9.8	9.4	8.1	7.2	6.4	4.5	4.5	3.1	0.3	34.2														
孤独度・低い	(n=387)	49.6	29.2	17.3	24.3	25.1	24.3	19.9	22.0	12.1	17.1	15.0	8.5	3.9	4.7	2.3	2.1	16.3														

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体太文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 8.3	▲ 17.7	▲ 19.6	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 16.1	▲ 6.6	▲ 10.7	▲ 11.2	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 3.0	▲ 1.1	▲ 1.4	33.2
-------------------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	------

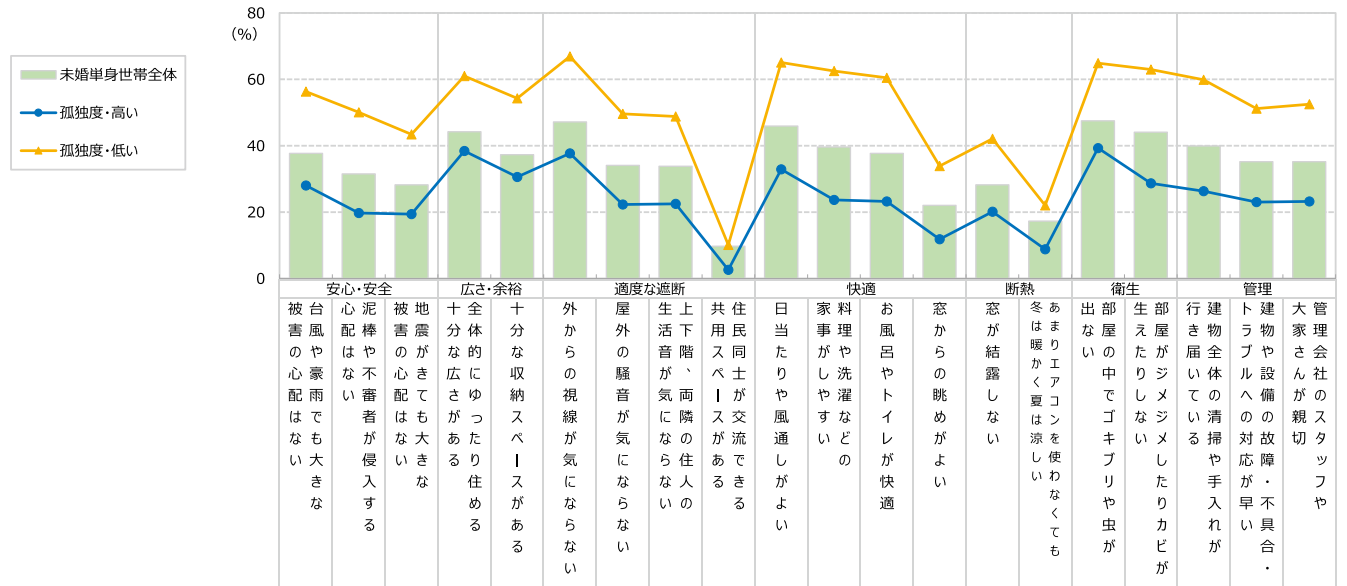
■ 孤独指標と「家」のハード評価

- 孤独指標別にみると、孤独度が低いほどスコアが高くなる関係である。
- 以下の項目で30ポイント以上の差。**生活の快適さや衛生状態と、管理に関わる項目**で大きな差がある。なお、住生活満足度別の結果とほぼ同じであるが、住生活満足度別では大きかった【広さ・余裕】に関する項目の差が相対的に小さい。

- 【安心・安全】「泥棒や不審者が侵入する心配はない」
- 【快適】「日当たりや風通しがよい」
- 【快適】「料理や洗濯などの家事がしやすい」
- 【快適】「お風呂やトイレが快適」
- 【衛生】「部屋がジメジメしたりカビが生えたりしない」
- 【管理】「建物全体の清掃や手入れが行き届いている」

■「家」のハード評価『あてはまる・計』（未婚単身世帯全体／各単一回答）

現在のお住まいについて、以下の各項目はどの程度あてはまりますか。



未婚単身世帯全体	(n=3000)	37.7	31.5	28.2	44.2	37.3	47.2	34.1	33.8	9.7	45.9	39.6	37.7	22.0	28.2	17.3	47.5	44.1	39.9	35.2	35.2
孤独指標	孤独度・高い (n=422)	28.0	19.7	19.4	38.4	30.6	37.7	22.3	22.5	2.6	32.9	23.7	23.2	11.8	20.1	8.8	39.3	28.7	26.3	23.0	23.2
	孤独度・やや高い (n=933)	35.8	29.8	27.3	43.4	36.7	47.2	34.9	32.3	9.5	44.6	37.0	35.8	21.0	27.3	15.8	46.5	42.8	37.7	34.8	32.2
	孤独度・やや低い (n=1258)	36.6	31.1	27.2	41.7	34.7	44.3	32.8	34.2	12.2	45.3	39.9	36.9	22.5	27.3	19.9	45.5	44.5	39.8	34.7	36.2
	孤独度・低い (n=387)	56.3	50.1	43.4	61.0	54.3	66.9	49.6	48.8	10.1	65.1	62.5	60.5	33.9	42.1	22.0	64.9	63.0	59.9	51.2	52.5

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲28.3	▲30.4	▲24.0	▲22.6	▲23.7	▲29.2	▲27.3	▲26.3	▲7.5	▲32.2	▲38.8	▲37.3	▲22.1	▲22.0	▲13.2	▲25.6	▲34.3	▲33.6	▲28.2	▲29.3
-------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

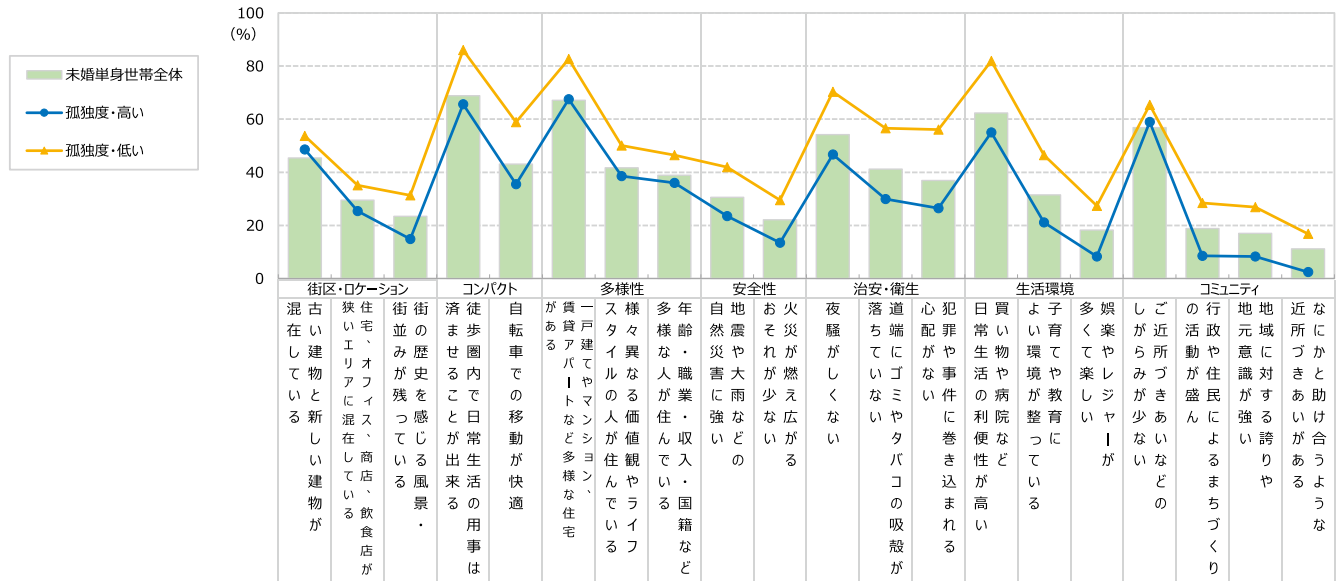


孤独指標と「街」のハード評価

- 孤独指標別にみると、いずれの項目も孤独度が低い層のスコアの方が孤独度の高い層のスコアよりも高い関係にある。
- 高い層と低い層の差が大きい項目は以下の通り。20ポイント以上の差がある。**利便性や安心感に関わる項目群が中心**である点、住生活満足度別の結果と同様である。
 - 【コンパクト】「徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る」
 - 【コンパクト】「自転車での移動が快適」
 - 【治安・衛生】「夜騒がしくない」
 - 【治安・衛生】「道端にゴミやタバコの吸い殻が落ちていない」
 - 【治安・衛生】「犯罪や事件に巻き込まれる心配がない」
 - 【生活環境】「買い物や病院など日常生活の利便性が高い」
 - 【生活環境】「子育てや教育により環境が整っている」

「街」のハード評価『あてはまる・計』（未婚単身世帯全体／各単一回答）

現在のお住まいの地域について、以下の各項目はどの程度あてはまりますか。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	45.4	29.5	23.4	68.8	43.1	67.1	41.7	38.9	30.6	22.1	54.2	41.2	36.9	62.3	31.5	18.2	56.8	18.8	17.0	11.2
孤独指標	孤独度・高い	(n=422)	48.6	25.4	14.9	65.6	35.5	67.5	38.6	36.0	23.5	13.5	46.7	29.9	26.5	55.0	21.1	8.3	59.0	8.5	8.3	2.4
	孤独度・やや高い	(n=933)	46.8	28.8	22.2	69.9	42.9	66.5	42.6	40.2	29.4	20.7	56.5	41.2	35.3	62.4	31.3	16.3	59.2	16.4	14.6	9.8
	孤独度・やや低い	(n=1258)	40.8	29.6	24.6	63.8	40.9	62.6	39.6	36.6	30.5	23.8	50.1	40.2	35.7	58.7	30.6	20.0	51.7	21.0	18.7	13.4
	孤独度・低い	(n=387)	53.7	35.1	31.3	86.0	58.9	82.7	50.1	46.5	41.9	29.5	70.3	56.6	56.1	81.9	46.5	27.4	65.4	28.4	26.9	16.8

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 5.1	▲ 9.7	▲ 16.4	▲ 20.4	▲ 23.4	▲ 15.2	▲ 11.5	▲ 10.5	▲ 18.4	▲ 16.0	▲ 23.6	▲ 26.7	▲ 29.6	▲ 26.9	▲ 25.4	▲ 19.1	▲ 6.4	▲ 19.9	▲ 18.6	▲ 14.4
-------------------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------

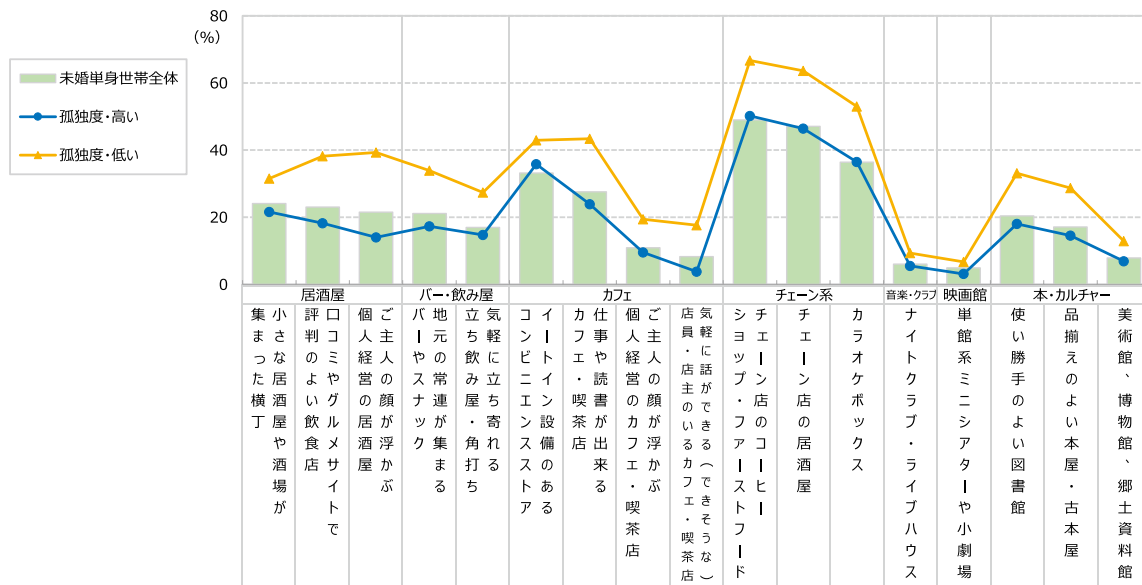
■ 孤独指標と「街」の要素

- 孤独指標別にみると、いずれの項目も孤独度が低い層のスコアが他の層と比べて高い。
- 孤独度の高い層と低い層の差が大きい項目をみると、以下の項目で15ポイント以上の差がついている。住生活満足度別で差が大きかった**飲食店やカフェ、散歩・スポーツ・自然に関する項目群に加えて、チェーン系、宗教・イベント、街路に関する項目群**での差が大きい。

- 【居酒屋】「口コミやグルメサイトで評判のよい飲食店」
- 【居酒屋】「ご主人の顔が浮かぶ個人経営の居酒屋」
- 【バー・飲み屋】「地元の常連が集まるバーやスナック」
- 【カフェ】「仕事や読書が出来るカフェ・喫茶店」
- 【チェーン系】「チェーン店のコーヒョップ・ファーストフード」
- 【チェーン系】「チェーン店の居酒屋」
- 【チェーン系】「カラオケボックス」
- 【本・カルチャー】「使い勝手のよい図書館」
- 【宗教・イベント】「定期的なお祭り・イベントが開かれるお寺や神社、教会」
- 【スポーツ】「散歩が楽しめる遊歩道・緑道・街路・歩道」
- 【スポーツ】「手軽に利用できるスポーツ施設・スポーツ公園」
- 【公園・自然】「居心地のよい公園」

■「街」の要素①（未婚単身世帯全体／複数回答）

現在のお住まいの地域について、以下にあげるようなものはありますか。



未婚単身世帯全体	(n=3000)	24.1	23.0	21.5	21.1	17.0	33.2	27.6	10.9	8.3	49.0	47.1	36.4	6.0	4.9	20.4	17.1	7.9
孤独指標	孤独度・高い (n=422)	21.6	18.2	14.0	17.3	14.7	35.8	23.9	9.5	3.8	50.2	46.4	36.5	5.5	3.1	18.0	14.5	6.9
	孤独度・やや高い (n=933)	24.1	19.5	17.9	19.4	13.7	32.3	23.3	9.3	7.8	47.3	46.4	35.5	5.5	5.0	19.7	14.9	7.1
	孤独度・やや低い (n=1258)	22.7	22.6	21.3	19.7	17.1	30.0	27.3	9.9	7.4	44.4	42.8	32.0	5.6	4.8	17.7	16.1	7.4
	孤独度・低い (n=387)	31.5	38.2	39.3	33.9	27.4	42.9	43.4	19.4	17.6	66.7	63.6	53.0	9.3	6.7	33.1	28.7	12.9

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字 / 5pt以上高い数値に網掛け / 5pt以上低い数値を斜体朱文字

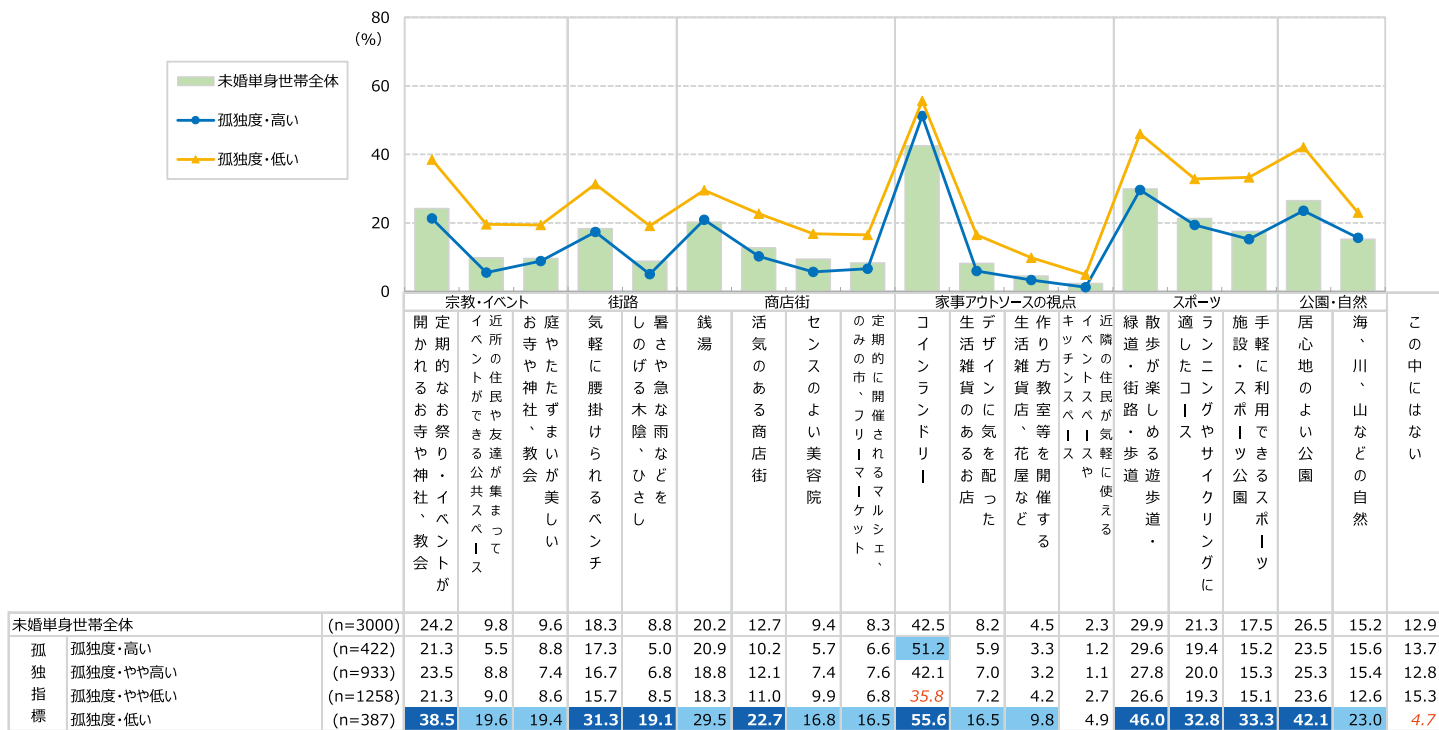
※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 9.9	▲ 20.0	▲ 25.3	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 7.1	▲ 19.5	▲ 9.9	▲ 13.8	▲ 16.5	▲ 17.2	▲ 16.5	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 15.1	▲ 14.2	▲ 6.0
-------------------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	-------



■「街」の要素②（未婚単身世帯全体／複数回答）

現在のお住まいの地域について、以下にあげられるようなものはありますか。



※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字／5pt以上高い数値に網掛け／5pt以上低い数値を斜体朱文字 ※カテゴリーごとに未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲17.2	▲14.1	▲10.6	▲14.0	▲14.1	▲8.6	▲12.5	▲11.1	▲9.9	▲4.4	▲10.6	▲6.5	▲3.7	▲16.4	▲13.4	▲18.1	▲18.6	▲7.4	9.0
-------------------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-----

■ 孤独指標と地域以外の関係者からの被承認感

- 孤独度の低い人ほど、地域以外の関係者からの被承認感のスコアも高いという構造にある。
- 未婚単身世帯全体では「SNS」(34.6%)、「旧友縁」(31.7%)、「仕事」(31.2%)での被承認感が高い(「とてもあてはまる」または「あてはまる」と回答した人が多い)。
- 孤独指標別にみると、**孤独度の高い層と低い層とで最も差が大きいのは、「旧友縁」**(「昔からの友人とのつきあいが多い方だ」)であり、続いて**「仕事縁」、「趣味縁」**での差が大きくなっている。
- 「SNS」については、そもそもの「フォローしている／されている」のスコア水準は高いのだが、孤独度との関係は相対的に強くないことがわかる。

■ 設問は以下の通り。※各項目について「とてもあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの5段階回答。

Q. あなたご自身について、以下のことはどの程度あてはまりますか。(単一回答)

- ◆1. 仕事で十分に評価を受けている【仕事】
- ◆2. 仕事を中心とする仲間とのつきあいが多い方だ【仕事】
- ◆3. 親や親戚とのつきあいが多い方だ【血縁】
- ◆4. 昔からの友人とのつきあいが多い方だ【旧友縁】
- ◆5. 配偶者や恋人に恵まれている【パートナー】
- ◆6. 仕事以外で知り合った仲間とのつきあいが多い方だ【趣味縁】
- ◆7. TwitterやFacebook、Instagram等のSNSでたくさんの人にフォローされている【SNS】
- ◆8. TwitterやFacebook、Instagram等のSNSでたくさんの人をフォローしている【SNS】

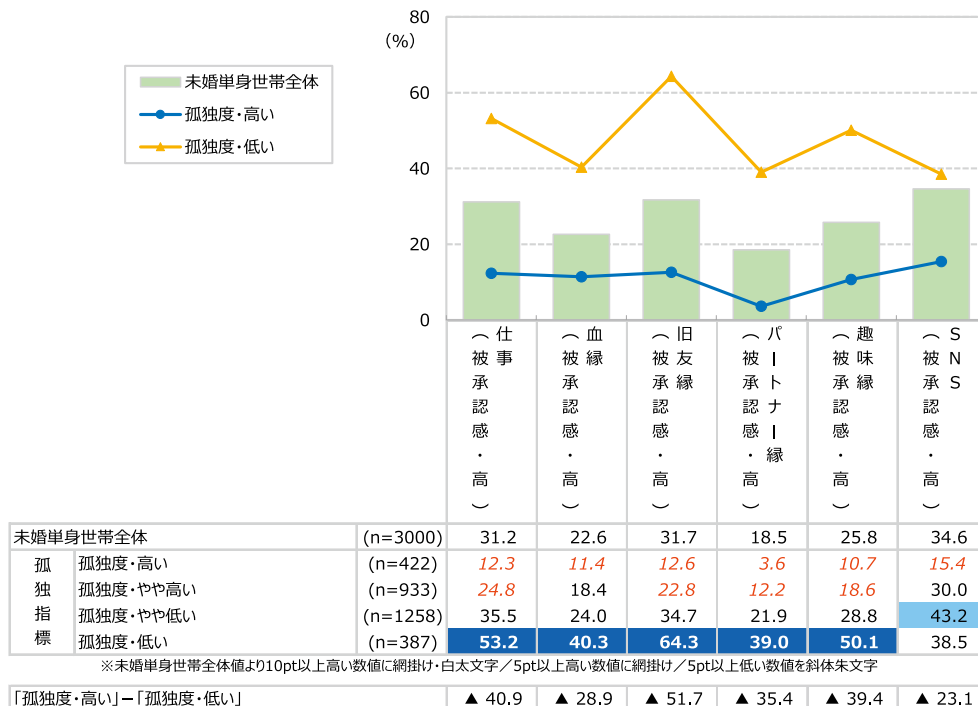
■ 被承認感のスケールについては、以下のように設定した。

「仕事」◆1と◆2の回答の加重平均積算値から、スコアの高い層を「被承認感・高」とした。

「SNS」◆7と◆8の回答の加重平均積算値から、スコアの高い層を「被承認感・高」とした。

それ以外の項目は、5段階回答状況で「とてもあてはまる」または「あてはまる」と回答した人を「被承認感・高」とおいた。

■ 地域以外の関係者からの被承認感 (未婚単身世帯全体/各単一回答)



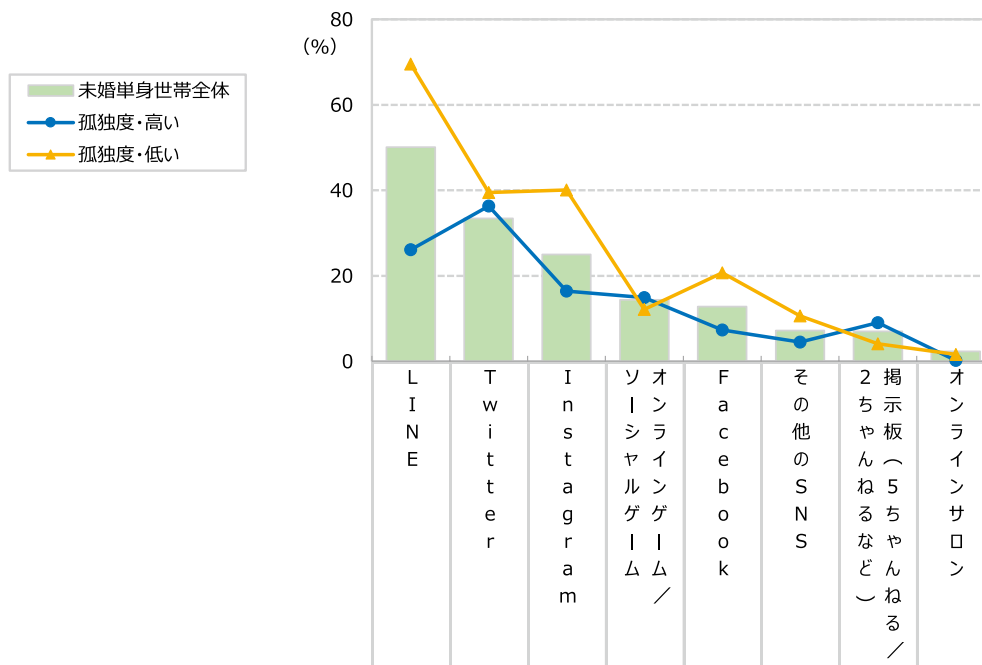
参考) ネットコミュニティ利用実態と孤独指標

a) SNS 利用状況

- SNSの利用状況についてたずねたところ、未婚単身世帯全体は「LINE」(50.1%)が最も高い。
- 孤独指標別にみると、「LINE」「Instagram」「Facebook」で孤独度の高い層が低い層を下回る。つまり、「LINE」「Instagram」「Facebook」は、孤独度の高い人はあまり使っていないということである。
- 「Twitter」は孤独度の高い層と低い層とで差がみられず、「オンラインゲーム/ソーシャルゲーム」や「掲示板(5ちゃんねる/2ちゃんねるなど)」は、むしろ孤独度の高い人の利用率が高いことがわかる。

■ a) SNS利用状況 『よく利用している・計』(未婚単身世帯全体/各単一回答)

あなたは普段、以下のSNSや掲示板、オンラインゲームなどをどのように利用していますか。



未婚単身世帯全体		(n=3000)	50.1	33.4	25.0	14.4	12.8	7.2	7.0	2.3
孤独指標	孤独度・高い	(n=422)	26.1	36.3	16.4	14.9	7.3	4.5	9.0	0.2
	孤独度・やや高い	(n=933)	46.0	32.0	20.7	15.6	11.4	7.3	7.3	2.3
	孤独度・やや低い	(n=1258)	55.2	31.5	26.6	13.9	13.3	7.0	6.9	3.3
	孤独度・低い	(n=387)	69.5	39.5	40.1	12.1	20.7	10.6	4.1	1.6

※未婚単身世帯全体値より10pt以上高い数値に網掛け・白太文字/5pt以上高い数値に網掛け/5pt以上低い数値を斜体朱文字

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 43.4	▲ 3.2	▲ 23.7	2.8	▲ 13.4	▲ 6.1	4.9	▲ 1.4
-------------------	--------	-------	--------	-----	--------	-------	-----	-------

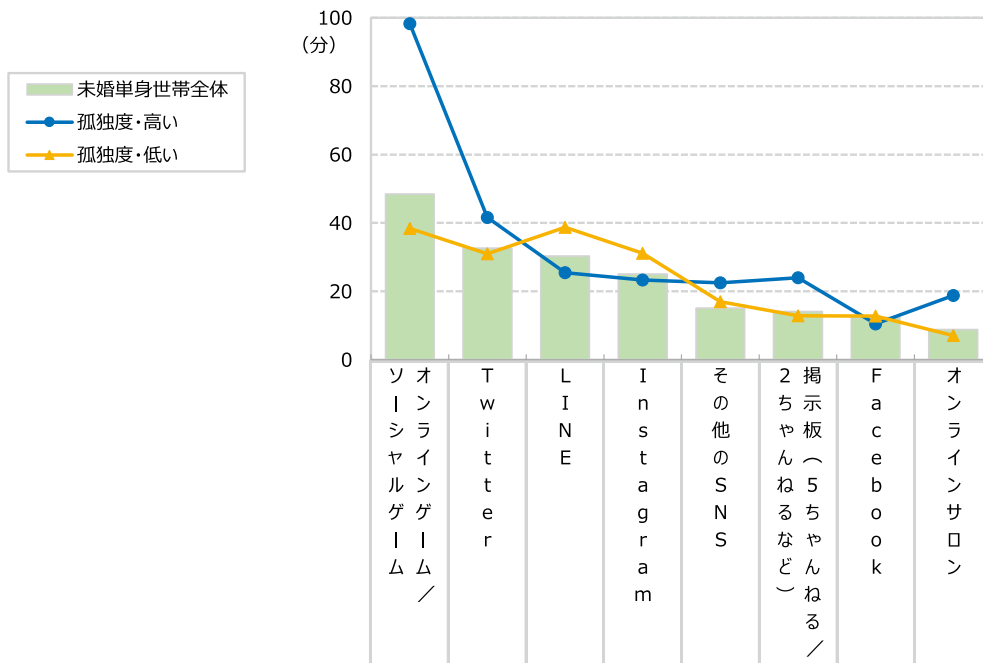
3_27

b) SNS 利用時間

- SNSの利用時間についてたずねたところ、未婚単身世帯全体は「オンラインゲーム/ソーシャルゲーム」の平均利用時間(48.5分)が最も長い。
- 孤独指標別にみると、「LINE」「Instagram」は孤独度の低い層の利用時間が長い。これに対して、「オンラインゲーム/ソーシャルゲーム」「Twitter」「掲示板(5ちゃんねる/2ちゃんねるなど)」は、孤独度の高い層の方が利用時間が長い。

■ b) SNS利用時間 『平均利用時間』(未婚単身世帯・各利用者/各実数回答)

あなたは、以下のSNSや掲示板、オンラインゲームなどを、平均すると1日あたりどの程度の時間、利用していますか。



未婚単身世帯全体		ソ	オ	T	L	I	そ	2	掲	F	オ
		ン	ン	w	I	n	の	ち	示	a	ン
		シ	シ	i	N	s	S	や	板	c	シ
		ラ	ラ	t	E	t	の	ね	5	e	イ
		イ	イ	e		a	S	る	ち	b	ン
		ン	ン	r		g	N	な	ん	o	ゲ
		ゲ	ゲ			r	S	ん	だ	o	ゲ
		ム	ム			a		ど	ん	k	ム
		ム	ム			m		ね	る		ム
		／	／					る	／		／
		／	／					／			／
未婚単身世帯全体		48.5	32.7	30.3	25.1	15.1	14.1	12.3	8.9		
孤独度・高い		98.3	41.6	25.5	23.2	22.5	24.0	10.5	18.8		
孤独度・やや高い		48.1	35.8	25.6	23.2	16.2	14.5	13.6	7.8		
孤独度・やや低い		38.2	28.2	32.0	24.5	12.3	11.5	11.7	9.2		
孤独度・低い		38.4	31.0	38.7	31.1	17.0	12.9	12.8	7.1		

※未婚単身世帯全体の降順でソート

「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	59.9	10.6	▲ 13.3	▲ 7.8	5.5	11.1	▲ 2.3	11.7
-------------------	------	------	--------	-------	-----	------	-------	------

3_28

■ 各SNS利用者数(未婚単身世帯)

(人)

		F	T	I	L	そ	2	掲	ソ	オ	オ
		a	w	n	I	の	ち	示	ン	ン	ラ
		c	i	s	N	S	や	板	シ <td>シ <th>イ</th> </td>	シ <th>イ</th>	イ
		e	t	t	E	S	ね	5	ラ <td>ラ <th>ン</th> </td>	ラ <th>ン</th>	ン
		b	e	a		N	る	ち	イ <td>イ <th>ゲ</th> </td>	イ <th>ゲ</th>	ゲ
		o	r	g		S	な	ん	ン <td>ン <th>ゲ</th> </td>	ン <th>ゲ</th>	ゲ
		k		r			だ	ん	ム <td>ム <th>ム</th> </td>	ム <th>ム</th>	ム
				a			ん	だ	ム <td>ム <th>ム</th> </td>	ム <th>ム</th>	ム
				m			る	／	／	／	／
							／				／
未婚単身世帯全体		1268	1791	1407	2316	888	1021	1004	345		
孤独度・高い		104	236	136	256	82	121	118	9		
孤独度・やや高い		378	550	400	703	266	342	323	97		
孤独度・やや低い		570	764	643	1015	411	448	453	207		
孤独度・低い		216	241	228	342	129	110	110	32		

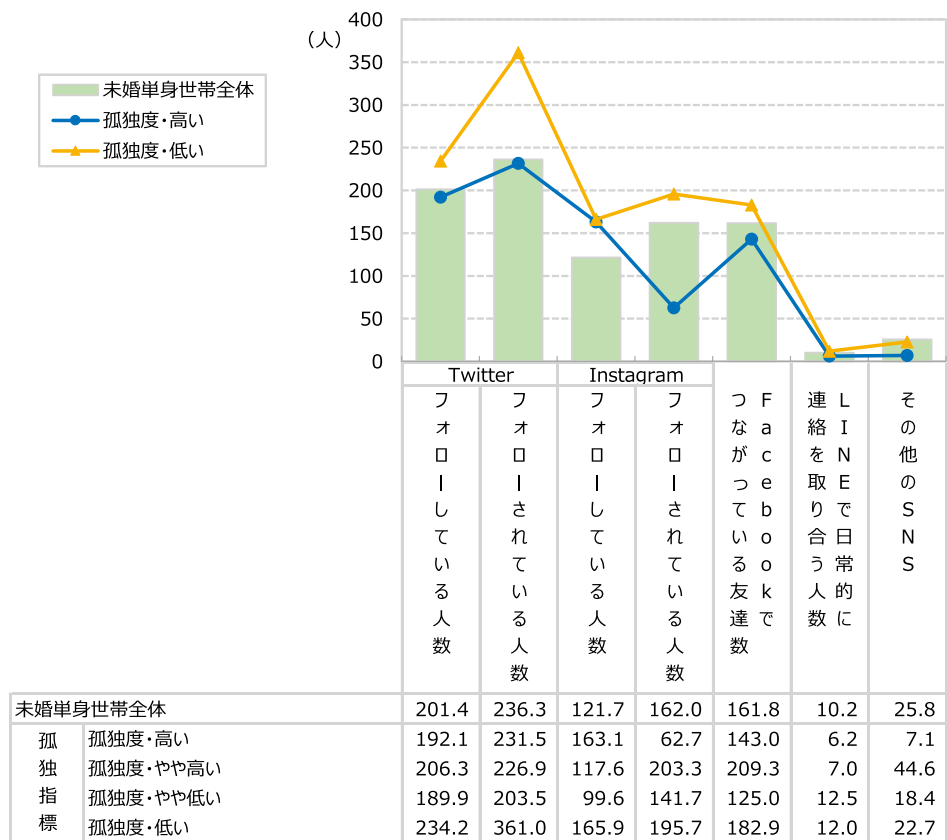
3_28_1

■ c) SNS でつながっている人数

- SNSのフォロワー数についてたずねたところ、未婚単身世帯全体は「Twitterでフォローされている人数」の平均が236.3人で最も多く、「Twitterでフォローしている人数」(201.4人)が続く。
- 孤独指標別にみると、総じて孤独度の低い人ほど“SNSでつながっている人数”が多い。
 - 特に「Twitterでフォローされている人数」「Instagramでフォローされている人数」は、孤独度の低い人ほど多くなっている。

■ c) SNSでつながっている人数 『平均人数』 (未婚単身世帯・各利用者／各実数回答)

あなたは、TwitterやInstagram、Facebook、LINEなどのSNSで、どの程度のフォロワーや友達がありますか。



「孤独度・高い」-「孤独度・低い」	▲ 42.1	▲ 129.5	▲ 2.8	▲ 133.0	▲ 39.9	▲ 5.8	▲ 15.6
-------------------	--------	---------	-------	---------	--------	-------	--------

3_29

孤独の構造

■ 人生満足度と孤独指標との相関

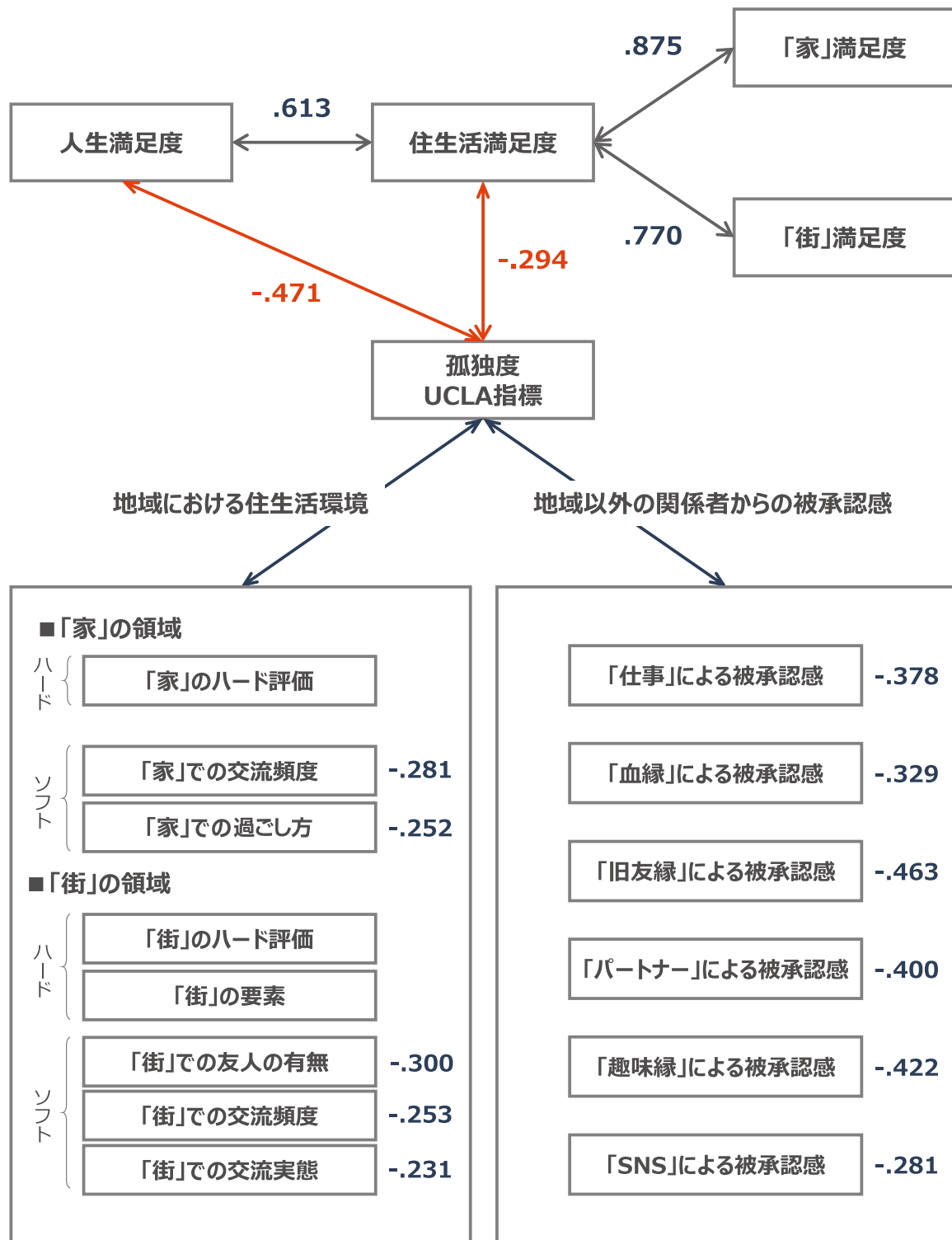
- ここでは、前項までの分析をまとめる観点から、人生満足度と孤独指標（およびその緩衝要因）との関係を概観する。
- 次ページの図は、前掲の「人生満足度」「住生活満足度」と孤独指標、および孤独の緩衝要因に関するモデル図に、相関係数を記載したものである。おおよそ、これまで確認してきたクロス分析と同様の結果が得られているが、概観を把握するにはこちらが適している。
 - 相関係数であるため、モデルの妥当性を担保するものではない点、留意されたい。

- 住生活満足度と人生満足度との相関は相当に高い水準にある。これは先行レポート『住宅幸福論II』でも確認されたことである。
- 人生満足度と孤独指標とが相当に強い逆相関の関係にある。孤独であることが人生満足度を相当にスポイルすることは間違いない。
- 孤独指標は、人生満足度ほどではないが、住生活満足度とも逆相関の関係にある。

- 「地域における住生活環境」において、「家」での交流頻度、「街」での友人数、「街」での交流頻度など、一般的な表現での“コミュニケーションの量”が孤独度を和らげていることがうかがえる。
- 数値の水準自体は少し弱めではあるが、「家」での過ごし方、「街」での交流実態などの、“暮らし方の質”、“コミュニケーションの質”もまた、孤独の緩衝要因として十分機能していることがわかる。

- 「地域以外の関係者からの被承認感」において、以下の領域の相関係数が0.4前後であり、孤独の緩衝要因として効果大きい。
 - 「仕事」による被承認感
 - 「旧友縁」による被承認感
 - 「パートナー」による被承認感
 - 「趣味縁」による被承認感

- この中で、「SNS」による被承認感の相関係数は一段低い。決して孤独度を促進する方向には働いていないが、SNSは孤独を癒す被承認分野として相対的に弱いようだ。
 - なお、「地域における住生活環境」の各要因の相関係数が、「地域以外の関係者からの被承認感」の各要素の相関係数よりも低いが、「家」のハード評価、「街」のハード評価などを統合指標として設定できないため、一義的に判断はできないことにも留意されたい。



■ 孤独指標の重回帰分析

- 前項まで、孤独指標が住生活満足度や人生満足度にネガティブな影響を及ぼし、様々な要因によって緩和されるということのみてきたが、本章の最後に、その孤独指標の構造を重回帰分析結果によって示す。
- 相関係数とは異なり、一定の関係性の中での各要素の相対的な強さがわかる。
- 表では、標準偏回帰係数のうち10%有意水準、5%有意水準、0.1%有意水準、0.01%有意水準で有意となる標準偏回帰係数の値を色付けている。これらが孤独指標に対して統計的に有意な影響がある説明変数である。
- 符号がマイナスになる項目が多いが、それらは個々の説明変数についてポジティブに回答されるほど、孤独度は低くなる関係にある。
- 分析結果として以下のような点を指摘できる。

● 「地域以外の関係者からの被承認感」の各項目が大きな影響を持っている。

- 中でも、「仕事」、「旧友縁」、「パートナー」による承認は、優位水準が高く、標準偏回帰係数の絶対値も高い。つまり、仕事で認められていたり、その中でよい仲間を持てたり、友人やパートナーに恵まれていることが孤独度を大きく引き下げることだ。
 - ▶ なお、「地域における住生活環境」の各項目と、「地域以外の関係者からの被承認感」の各項目とのレベル感が異なるため、一概に「地域における住生活環境」以外の項目の方が、孤独度に大きな影響を持つ」とは結論づけられない点、留意されたい。
- なおこの中で、「SNSによる承認」の孤独度への影響度は相対的に小さい点も指摘したい。SNSによるつながりは、孤独度を癒す方向（マイナス）にあるが、「仕事」、「旧友縁」、「パートナー」による承認の影響には及ばない。

● 友人数や交流頻度が孤独度に大きく影響する。

- 「「家」での交流頻度」、「「街」での友人数」、「「街」での交流頻度」などの“コミュニケーションの量”に関わる項目の優位水準が高く、より確実な影響を及ぼしていることがわかる。

● 街の多様性が孤独度を和らげる。

- 「街」のハード評価」の優位水準が高く、標準偏回帰係数の絶対値も大きい。
- この「多様性」は、以下の項目の回答の加重平均積算値を用いている。なお、「「街」のハード評価」のその他のカテゴリーも、個々の調査項目を因子分析にかけてグルーピングしたものである。
 - ▶ 年齢・職業・収入・国籍など多様な人が住んでいる
 - ▶ 様々な異なる価値観やライフスタイルの人が住んでいる
 - ▶ 一戸建てやマンション、賃貸アパートなど多様な住宅がある
 - ▶ 古い建物と新しい建物が混在している

□ 孤独指標と諸要素の重回帰分析結果

- 被説明変数は、孤独指標（加重平均積算値>51.8、前項までの「孤独度・高い」「孤独度・やや高い」の層）。
- 分析対象は、世帯所得について「答えたくない」と回答した者を除く2,613人の未婚単身者。

			標準化係数	優位水準
個人属性	性別	女性（男性・ベース）	-0.039	*
	年齢	若年（30歳未満）（30～50歳・ベース）	0.015	
		シニア（50歳以上）（30～50歳・ベース）	0.030	
	所得	低所得（200万円未満）（200～600万円・ベース）	0.058	***
		高所得（600万円以上）（200～600万円・ベース）	-0.052	***
「家」のハード評価	安心・安全	地震がきても大きな被害の心配はない	-0.037	*
		台風や豪雨でも大きな被害の心配はない	0.032	
		泥棒や不審者が侵入する心配はない	-0.012	
	広さ余裕	十分な収納スペースがある	0.010	
		全体的にゆったり住める十分な広さがある	-0.004	
	適度な遮断	上下階、両隣の住人の生活音が気にならない	0.026	
		屋外の騒音が気にならない	-0.021	
		外からの視線が気にならない	0.001	
		住民同士が交流できる共用スペースがある	0.016	
	快適	日当たりや風通しがよい	0.009	
		窓からの眺めがよい	-0.034	
		お風呂やトイレが快適	-0.004	
		料理や洗濯などの家事がしやすい	0.008	
	断熱	あまりエアコンを使わなくても冬は暖かく夏は涼しい	-0.038	*
		窓が結露しない	0.006	
	衛生	部屋の中でゴキブリや虫が出ない	0.003	
		部屋がジメジメしたりカビが生えたりしない	0.024	
	管理	建物全体の清掃や手入れが行き届いている	-0.036	
		建物や設備の故障・不具合・トラブルへの対応が早い	-0.006	
		管理会社のスタッフや大家さんが親切	0.019	
「家」での交流頻度		「月に1回程度」以上	-0.071	****
「家」での過ごし方	散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている		-0.004	
	絵画やポスター、オブジェなど好きな物を飾っている		0.004	
	家具やインテリアのコーディネートに気を配っている		-0.020	
	キャンドルや間接照明を使っている		-0.013	
	思い出の写真や記念の品を飾っている		-0.065	****
	本やレコード、フィギュアなど趣味のコレクションを飾っている		0.026	
	観葉植物や家庭菜園を育てている		-0.027	
	家でペットを飼っている		0.005	
	よく部屋の模様替えをする		-0.021	
	家具やインテリアをDIYで作る・カスタマイズする		0.034	*
	料理や食器類など食生活の質にこだわっている		-0.026	
	家でのお酒やコーヒーなど嗜好品の質にこだわっている		-0.021	
	オーディオや大画面テレビなどAV機器にこだわっている		0.000	
	石鹸や入浴剤などバスタイムの質にこだわっている		-0.012	
	よく自宅での写真をSNSに投稿する		0.049	***
	その他		0.007	

※次ページにも結果を掲載。

		標準化係数	優位水準
「街」での友人数		友人数1人以上（親しい友人はいない・ベース）	-0.112 ****
「街」での交流頻度		「街」・頻繁に交流	-0.068 ***
「街」のハード評価	伝統的共同体		0.074 ****
	治安		0.018
	多様性		-0.086 ****
	利便性		-0.031
	防災		0.038 *
「街」の要素	飲食店・個店		0.004
	飲食店・チェーン		-0.030
	自然		-0.013
	商店街		0.013
	歩行空間		0.029
	文化・歴史		0.009
	銭湯		-0.005
「街」での交流実態	近所の人に挨拶をする		-0.008
	よく散歩やジョギングをする		0.003
	意識的に地元の商店や飲食店を利用する		0.036 *
	商店や飲食店などで店員や他のお客さんと会話する		-0.025
	地域によいお店や飲食店がないか情報収集をする		-0.001
	町内会・自治会の活動をする		-0.014
	地元のお祭りやチャリティ、ボランティアに参加する		0.020
	NPOや自治体が主催する交流イベントに参加する		0.029
	近所の商店や飲食店などが主催するイベントに参加する		0.007
	ご近所のお店のSNSをフォローする		-0.006
地域以外の関係者からの被承認感	仕事による承認「あてはまる・計」一定以上		-0.098 ****
	血縁による承認「あてはまる・計」		-0.033 *
	旧友縁による承認「あてはまる・計」		-0.112 ****
	パートナーによる承認「あてはまる・計」		-0.091 ****
	趣味縁による承認「あてはまる・計」		-0.061 ***
	SNSによる承認「あてはまる・計」一定以上		-0.061 ***

※上記表中に説明のない説明変数のカテゴリーのデータ設定

◆「家」のハード評価

それぞれの項目について「とてもあてはまる」「あてはまる」の回答を1、それ以外を0。

◆「家」での過ごし方

それぞれの項目について回答があった場合を1、なかった場合を0。

◆「街」での交流実態

それぞれの項目について回答があった場合を1、なかった場合を0。



※表中に説明のない説明変数のカテゴリのデータ設定

◆「街」のハード評価

- 「街」のハード評価20項目についての「とてもあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの5段階データをもとに因子分析をかけ5つにグルーピング。
- 各項目の加重平均値を積算し、グループごとの平均値を求め、それぞれの平均より高い場合を1、平均以下の場合を0とした。

	因子				
	伝統的 共同体	治安	多様性	利便性	防災
地域に対する誇りや地元意識が強い	0.674	0.169	0.097	0.051	0.095
なにかと助け合うような近所づきあいがある	0.637	0.091	-0.066	-0.126	0.084
行政や住民によるまちづくりの活動が盛ん	0.593	0.160	0.095	0.161	0.097
街の歴史を感じる風景・街並みが残っている	0.523	0.068	0.216	0.063	0.030
娯楽やレジャーが多くて楽しい	0.500	-0.150	0.125	0.313	0.162
住宅、オフィス、商店、飲食店が狭いエリアに混在している	0.333	-0.200	0.277	0.322	0.092
夜騒がしくない	-0.003	0.690	0.047	0.066	0.118
犯罪や事件に巻き込まれる心配がない	0.125	0.610	-0.007	0.101	0.250
道端にゴミやタバコの吸殻が落ちていない	0.163	0.608	-0.051	0.089	0.157
子育てや教育により環境が整っている	0.338	0.395	0.142	0.235	0.071
年齢・職業・収入・国籍など多様な人が住んでいる	0.124	-0.120	0.700	0.119	0.039
様々な価値観やライフスタイルの人が住んでいる	0.103	-0.024	0.662	0.168	0.068
一戸建てやマンション、賃貸アパートなど多様な住宅がある	-0.037	0.240	0.485	0.295	-0.045
古い建物と新しい建物が混在している	0.220	0.094	0.425	0.139	-0.045
買い物や病院など日常生活の利便性が高い	0.146	0.139	0.212	0.745	0.064
徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る	0.082	0.146	0.233	0.656	0.051
ご近所づきあいなどのしがらみが少ない	-0.175	0.228	0.240	0.331	0.142
自転車での移動が快適	0.216	0.229	0.173	0.276	0.035
地震や大雨などの自然災害に強い	0.119	0.274	0.018	0.126	0.581
火災が燃え広がるおそれが少ない	0.178	0.216	0.020	0.028	0.577

因子抽出法：主因子法 回転法：Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

◆「街」の要素

- 「街」の要素35項目についての「とてもあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの5段階データをもとに因子分析をかけ7つにグルーピング。
- 各項目の加重平均値を積算し、グループごとの平均値を求め、それぞれの平均より高い場合を1、平均以下の場合を0とした。

	因子						
	飲食店 ・個店	飲食店 ・チェーン	自然	商店街	歩行空間	文化・歴史	銭湯
ご主人の顔が浮かぶ個人経営の居酒屋	0.573	0.086	0.080	0.072	0.114	0.107	0.142
地元の常連が集まるバーやスナック	0.561	0.174	0.108	0.107	0.086	0.022	0.116
気軽に立ち寄れる立ち飲み屋・角打ち	0.537	0.190	0.082	0.158	0.092	0.026	0.075
ご主人の顔が浮かぶ個人経営のカフェ・喫茶店	0.462	0.032	0.075	0.211	0.149	0.244	0.103
小さな居酒屋や酒場が集まった横丁	0.449	0.255	0.042	0.126	0.004	-0.018	0.032
口コミやグルメサイトで評判のよい飲食店	0.423	0.240	0.098	0.252	0.016	0.212	-0.006
気軽に話ができる（できそうな）店員・店主のいるカフェ・喫茶店	0.402	0.049	0.041	0.317	0.214	0.176	0.035
ナイトクラブ・ライブハウス	0.340	0.204	0.057	0.286	-0.006	0.038	-0.004
チェーン店の居酒屋	0.214	0.734	0.107	0.046	0.092	0.062	0.123
チェーン店のコーヒーショップ・ファーストフード	0.152	0.732	0.124	0.100	0.062	0.108	0.154
カラオケボックス	0.244	0.671	0.079	0.137	0.089	0.018	0.095
品揃えのよい本屋・古本屋	0.176	0.381	0.134	0.276	0.019	0.166	-0.014
イトイン設備（買った商品を飲食できるスペース）のあるコンビニエンスストア	0.161	0.367	0.180	0.137	0.045	0.144	0.199
仕事や読書が出来るカフェ・喫茶店	0.349	0.355	0.135	0.233	0.095	0.216	0.045
散歩が楽しめる遊歩道・緑道・街路・歩道	0.116	0.117	0.729	0.121	0.100	0.044	0.129
ランニングやサイクリングに適したコース	0.101	0.117	0.671	0.106	0.132	0.060	0.024
居心地のよい公園	0.076	0.104	0.492	0.095	0.228	0.191	0.093
手軽に利用できるスポーツ施設・スポーツ公園	0.114	0.181	0.443	0.161	0.155	0.167	0.080
海、川、山などの自然	0.012	0.022	0.401	0.045	0.019	0.088	0.035
デザインに気を配った生活雑貨のあるお店	0.184	0.121	0.151	0.643	0.067	0.094	0.060
作り方教室等を開催する生活雑貨店、花屋など	0.164	0.034	0.104	0.603	0.142	0.012	0.129
センスのよい美容院	0.225	0.168	0.090	0.403	0.109	0.157	-0.014
近隣の住民が気軽に使えるイベントスペースやキッチンスペース	0.041	0.008	0.057	0.349	0.244	0.071	0.121
定期的に開催されるマルシェ、のみの市、フリーマーケット	0.153	0.141	0.153	0.344	0.111	0.207	0.032
活気のある商店街	0.318	0.186	0.129	0.321	0.031	0.067	0.111
単館系ミニシアターや小劇場	0.205	0.185	0.074	0.307	-0.041	0.062	-0.002
気軽に腰掛けられるベンチ	0.129	0.166	0.326	0.114	0.530	0.051	0.047
暑さや急な雨などをしのげる木陰、ひさし	0.161	0.058	0.240	0.190	0.496	0.095	0.013
近所の住民や友達が集まってイベントができる公共スペース	0.172	0.084	0.200	0.262	0.299	0.150	0.097
美術館、博物館、郷土資料館	0.059	0.092	0.228	0.117	0.116	0.411	0.044
定期的なお祭り・イベントが開かれるお寺や神社、教会	0.197	0.203	0.282	0.169	0.042	0.343	0.233
使い勝手のよい図書館	0.112	0.282	0.252	0.111	0.091	0.335	0.063
庭やたたずまいが美しいお寺や神社、教会	0.220	0.064	0.249	0.180	0.035	0.334	0.069
コインランドリー	0.153	0.280	0.185	0.063	0.088	0.034	0.508
銭湯	0.200	0.162	0.132	0.174	0.032	0.126	0.418

因子抽出法：主因子法 回転法：Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

参考) 孤独指標と住生活との相関

■ 孤独指標と住生活『ソフト領域』との相関

- 前項「孤独の構造」で統合指標として設定できなかった、「家」での過ごし方、および「街」での交流実態」の各設問と、孤独指標との相関係数を以下に記す。住生活のソフト領域に属する項目である。
- また、次ページに、統合指標として設定した「家」のハード評価、「街」のハード評価、「街」の要素」の個別項目・選択肢と孤独指標との相関係数を掲載する。住生活のハード領域に関する項目である。
- 結果は相関係数一覧にまとめるが、まず、ソフト領域よりもハード領域に孤独指標と相関の高い項目が多いことがわかる。そのうえで、以下の枠囲み内の項目は、孤独の緩衝材として無視できない(ソフト領域:相関係数0.15以上、ハード領域:相関係数0.2以上)行動・環境である。
- ソフト領域では、インテリアのこだわりと飲食店での交流が重要である。
- ハード領域では、家の日当たり・風通しのよさ等に加え、水まわりの快適性とコミュニケーションも含めた管理の良さが鍵であること、助け合えるような近所づきあいがある街であることが重要である。
- 重回帰分析では、「伝統的共同体」要素は孤独指標と正の相関があったが、個々の項目ごとに相関をみると、逆相関(つまり孤独を癒す)を示す項目もあることがわかる。

- 【「家」での過ごし方】「家具やインテリアのコーディネートに気を配っている」
- 【「家」での過ごし方】「思い出の写真や記念の品を飾っている」
- 【「家」での過ごし方】「料理や食器類など食生活の質にこだわっている」
- 【「街」での交流実態】「商店や飲食店などで店員や他のお客さんと会話する」
- 【「家」のハード評価】「日当たりや風通しがよい」
- 【「家」のハード評価】「窓からの眺めがよい」
- 【「家」のハード評価】「お風呂やトイレが快適」
- 【「家」のハード評価】「料理や洗濯などの家事がしやすい」
- 【「家」のハード評価】「部屋がジメジメしたりカビが生えたりしない」
- 【「家」のハード評価】「建物全体の清掃や手入れが行き届いている」
- 【「家」のハード評価】「管理会社のスタッフや大家さんが親切」
- 【「街」のハード評価】「行政や住民によるまちづくりの活動が盛ん」
- 【「街」のハード評価】「なにかと助け合うような近所づきあいがある」
- 【「街」のハード評価】「地域に対する誇りや地元意識が強い」

■ 「家」での過ごし方

住み方のこだわり度＝「家」での過ごし方 ・個別設問	孤独指標との 単相関係数
散らからないようにこまめに片付けや掃除をしている	-0.127 **
絵画やポスター、オブジェなど好きな物を飾っている	-0.099 **
家具やインテリアのコーディネートに気を配っている	-0.164 **
キャンドルや間接照明を使っている	-0.128 **
思い出の写真や記念の品を飾っている	-0.152 **
本やレコード、フィギュアなど趣味のコレクションを飾っている	-0.055 **
観葉植物や家庭菜園を育てている	-0.103 **
家でペットを飼っている	-0.020
よく部屋の模様替えをする	-0.059 **
家具やインテリアをDIYで作る・カスタマイズする	-0.043 *
料理や食器類など食生活の質にこだわっている	-0.169 **
家でのお酒やコーヒーなど嗜好品の質にこだわっている	-0.144 **
オーディオや大画面テレビなどAV機器にこだわっている	-0.054 **
石鹸や入浴剤などバスタイムの質にこだわっている	-0.141 **
よく自宅での写真をSNSに投稿する	-0.021

■ 「街」での交流実態

「街」での交流実態・個別設問	孤独指標との 単相関係数
近所の人に挨拶をする	-0.137 **
よく散歩やジョギングをする	-0.057 **
意識的に地元の商店や飲食店を利用する	-0.134 **
商店や飲食店などで店員や他のお客さんと会話する	-0.171 **
地域によいお店や飲食店がないか情報収集をする	-0.114 **
町内会・自治会の活動をする	-0.054 **
地元のお祭りやチャリティ、ボランティアに参加する	-0.089 **
NPOや自治体が主催する交流イベントに参加する	-0.026
近所の商店や飲食店などが主催するイベントに参加する	-0.087 **
ご近所のお店のSNSをフォローする	-0.083 **

孤独指標と住生活『ハード領域』との相関

■「家」のハード評価

「家」のハード評価・個別設問	孤独指標との 単相関係数
地震がきても大きな被害の心配はない	-0.175 **
台風や豪雨でも大きな被害の心配はない	-0.154 **
泥棒や不審者が侵入する心配はない	-0.181 **
十分な収納スペースがある	-0.158 **
全体的にゆったり住める十分な広さがある	-0.155 **
上下階、両隣の住人の生活音が気にならない	-0.190 **
屋外の騒音が気にならない	-0.196 **
外からの視線が気にならない	-0.160 **
住民同士が交流できる共用スペースがある	-0.137 **
日当たりや風通しがよい	-0.206 **
窓からの眺めがよい	-0.200 **
お風呂やトイレが快適	-0.237 **
料理や洗濯などの家事がしやすい	-0.236 **
あまりエアコンを使わなくても冬は暖か夏は涼しい	-0.165 **
窓が結露しない	-0.178 **
部屋の中でゴキブリや虫が出ない	-0.178 **
部屋がジメジメしたりカビが生えたりしない	-0.215 **
建物全体の清掃や手入れが行き届いている	-0.223 **
建物や設備の故障・不具合・トラブルへの対応が早い	-0.194 **
管理会社のスタッフや大家さんが親切	-0.200 **

■「街」の要素

「街」の要素・個別設問	孤独指標との 単相関係数
小さな居酒屋や酒場が集まった横丁	-0.071 **
ご主人の顔が浮かぶ個人経営の居酒屋	-0.164 **
口コミやグルメサイトで評判のよい飲食店	-0.130 **
地元の常連が集まるバーやスナック	-0.106 **
気軽に立ち寄れる立ち飲み屋・角打ち	-0.112 **
仕事や読書が出来るカフェ・喫茶店	-0.118 **
ご主人の顔が浮かぶ個人経営のカフェ・喫茶店	-0.090 **
気軽に話ができる（できそうな）店員・店主のいるカフェ・喫茶店	-0.128 **
イートイン設備（買った商品を飲食できるスペース）のあるコンビニエンスストア	-0.034
チェーン店の居酒屋	-0.075 **
チェーン店のコーヒーショップ・ファーストフード	-0.068 **
カラオケボックス	-0.068 **
ナイトクラブ・ライブハウス	-0.038 *
単館系ミニシアターや小劇場	-0.044 *
品揃えのよい本屋・古本屋	-0.105 **
使い勝手のよい図書館	-0.077 **
美術館、博物館、郷土資料館	-0.055 **
定期的なお祭り・イベントが開かれるお寺や神社、教会	-0.093 **
庭やたたずまいが美しいお寺や神社、教会	-0.084 **
近所の住民や友達が集まってイベントができる公共スペース	-0.126 **
気軽に腰掛けられるベンチ	-0.089 **
暑さや急な雨などをしのげる木陰、ひさし	-0.130 **
活気のある商店街	-0.082 **
センスのよい美容院	-0.116 **
銭湯	-0.047 *
定期的で開催されるマルシェ、のみの市、フリーマーケット	-0.079 **
コインランドリー	0.010
デザインに気を配った生活雑貨のあるお店	-0.105 **
作り方教室等を開催する生活雑貨店、花屋など	-0.086 **
近隣の住民が気軽に使えるイベントスペースやキッチンスペース	-0.089 **
ランニングやサイクリングに適したコース	-0.081 **
散歩が楽しめる遊歩道・緑道・街路・歩道	-0.080 **
手軽に利用できるスポーツ施設・スポーツ公園	-0.110 **
居心地のよい公園	-0.094 **
海、川、山などの自然	-0.026

■「街」のハード評価

「街」のハード評価・個別設問	孤独指標との 単相関係数
住宅、オフィス、商店、飲食店が狭いエリアに混在している	-0.101 **
古い建物和新しい建物が混在している	-0.023
街の歴史を感じる風景・街並みが残っている	-0.154 **
徒歩圏内で日常生活の用事は済ませることが出来る	-0.124 **
自転車での移動が快適	-0.120 **
年齢・職業・収入・国籍など多様な人が住んでいる	-0.046 *
一戸建てやマンション、賃貸アパートなど多様な住宅がある	-0.061 **
様々な価値観やライフスタイルの人が住んでいる	-0.064 **
地震や大雨などの自然災害に強い	-0.132 **
火災が燃え広がるおそれが少ない	-0.118 **
犯罪や事件に巻き込まれる心配がない	-0.143 **
道端にゴミやタバコの吸殻が落ちていない	-0.162 **
夜騒がしくない	-0.125 **
買い物や病院など日常生活の利便性が高い	-0.151 **
娯楽やレジャーが多くて楽しい	-0.175 **
子育てや教育により環境が整っている	-0.129 **
行政や住民によるまちづくりの活動が盛ん	-0.200 **
なにかと助け合うような近所づきあいがある	-0.210 **
ご近所づきあいなどのしづらみが少ない	-0.001
地域に対する誇りや地元意識が強い	-0.209 **

人生満足度と年齢の関係性の再考

所得と他者との交流が「中年の危機」を緩和する

有馬雄祐

職業能力開発総合大学校 助教

1 所得を考慮した人生満足度と年齢の関係

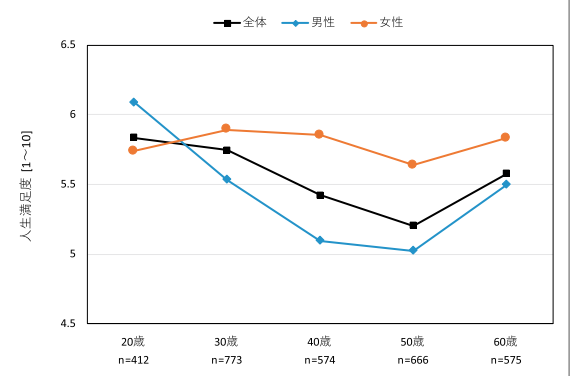
近年のウェルビーイング研究（WB研究）により、幸福に関わる様々な現象が明らかにされてきた。幸福の現象の中でもよく知られているものの一つに、「中年の危機」と呼ばれている人生満足度と年齢の関係性に関するものがある。「あなたは自分の人生にどれほど満足していますか？」といった問いで測定される人生満足度は、幸福の最も代表的な側面であるが、人生満足度の平均値を年齢層ごとと描いていくと、若い頃に高く、その後はいったん低下していき、60歳付近で再び上昇し始め、人生全体を通してみるとU字型となる^[1]。人生満足度が40歳から50歳付近の中年期で底値となるためこの現象は「中年の危機」と呼ばれており、世界中の多くの国々で観測されている。図1は、本調査で得られた未婚単身者3,000人（男性1,667人、女性1,333人）の各年齢層^{*1}の人生満足度^{*2}の平均値を示した結果であるが、一般的な知見と同様、50歳頃を底値とする「中年の危機」が観測される。この現象のメカニズムについては、中年期までは社会的な責務が増加してゆき、退職後にはそれらから解放されるためである等々、様々に解釈されているが、ハッキリとした理由については明らかにされていない。ともあれ、**人生満足度と年齢の間に何かしら密接な関係がある事**

は確かなようである。

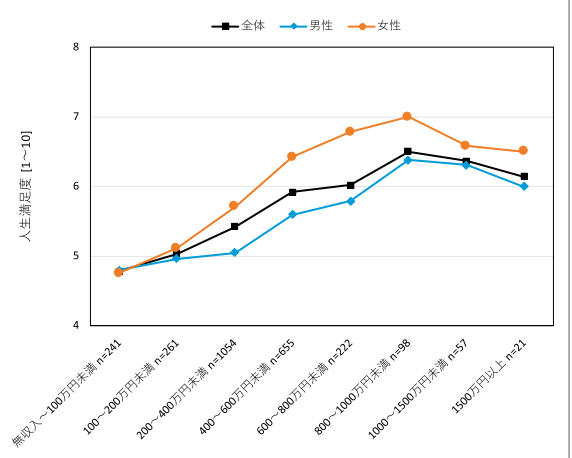
人生満足度は所得とも密接な関係がある。図2は、同じ被験者（ただし、所得を「答えたくない」と回答した被験者を除く2,613人）の各所得層^{*3}の人生満足度の平均値を示した結果であるが、1,000万円付近までは所得の増加に伴い人生満足度は上昇する傾向がある事が確認できる。このように、統計的に見れば**お金は稼げば稼ぐほど人生の満足度は高くなる傾向がある**。

ところで、幸福度に影響を与える所得の分布もまた、年齢によって変化していく。図3は各年齢層における所得の分布割合を示した結果である。本調査が対象とした未婚単身者全体の所得の中央値は300万～400万円であり、各年齢層の所得の中央値も概ねこれに近い所得であるが、図3からも明らかであるように、低年齢層では200万～400万円未満の所得層の割合が高くなっているのに対して、**年齢の上昇に従い所得の分布**

【図1】 所得を考慮した人生満足度と年齢の関係

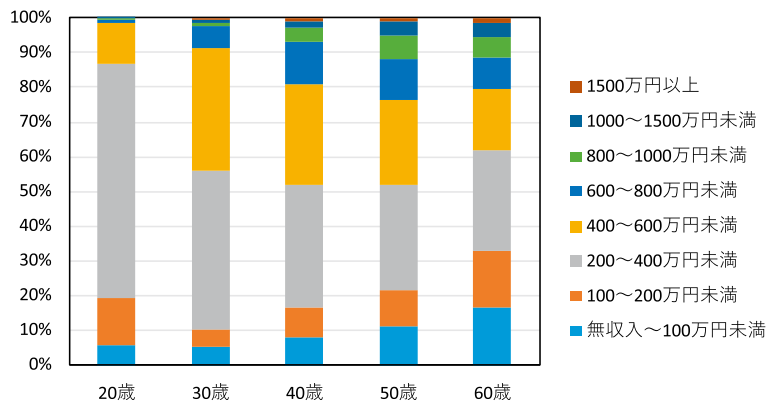


【図2】 各所得における人生満足度の平均値



のバラツキ（所得格差）は広がっていく。その結果、年齢層が高くなるにつれて低所得層及び高所得層の両方の割合が高くなっている事が分かる。

【図3】各年齢層における所得の分布割合(%)



幸福度に大きな影響を与える所得は年齢層ごとでその分布が異なるため、人生満足度と年齢の関係性を分析する際には、所得の年齢層による変化も同時に考慮する必要があると言える。しかしながら、人生満足度と年齢の関係性を分析している既往の調査では、所得の影響が同時には考慮されておらず、有名な「中年の危機」と呼ばれる現象も所得の影響が考慮されたとえでの観測事実ではない。そのため、年齢層による所得の分布の変化まで考慮に入れた分析を実施することで、人生満足度と年齢の関係性についても新たな知見が得られる可能性がある。

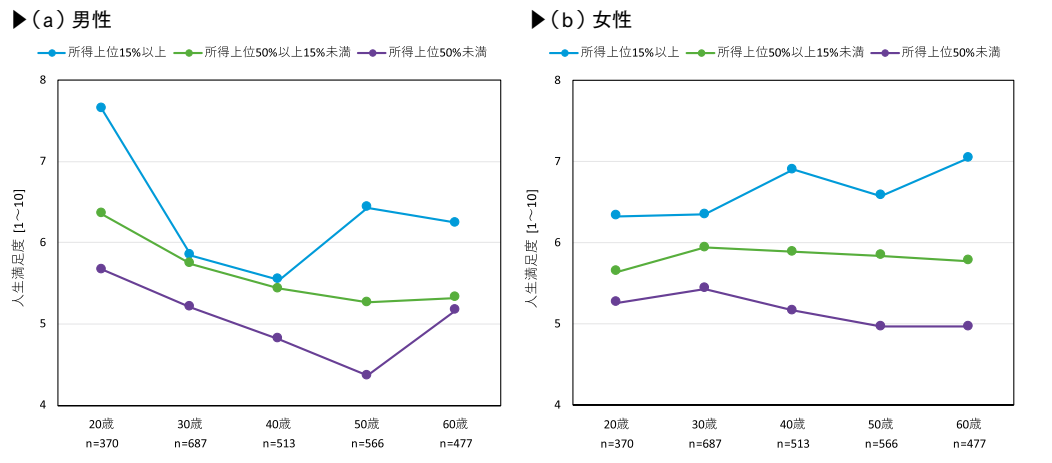
そこで、年齢層ごとの所得の分布の違いを考慮するために、図3に示すように各年齢層で所得の分布を算出し、年

齢層ごとに所得の高低で被験者を3つのグループに分類した^{※4}。一つ目の超高所得なグループは各年齢層内で所得が上位15%以内に属する人たちであり(所得上位15%以上)、二つ目の比較的高所得なグループは各年齢層内で所得が上位50%以内で15%未満に属する人たち(所得上位50%以上15%

未満)、三つ目の比較的低所得なグループは各年齢層内で所得が上位50%未満に属する人たち(所得上位50%未満)である(表S1参照)。

図4に、男性と女性それぞれの各年齢層の所得グループごとの人生満足度の平均値を示す。男性の結果を見ると、所得上位50%以上15%未満と所得上位50%未満のグループでは50歳付近で人生満足度が最低値となっており、「中年の危機」が観察される。しかしながら、超高所得なグループ(所得上位15%以上)では、50歳頃の人生満足度の底値が見られない。また、女性の超高所得なグループでは年齢の増加に伴い人生満足度はむしろ上昇してゆく傾向がある事が確認できる。男女共に、人生満足度と年齢の関係性は、各年齢層内での所得階層で異なり、**超高所得なグループにおいては明確な「中年の危機」は生じない事が確認できる。**

【図4】各所得グループの各年齢層における人生満足度の平均値



※1:各年齢層は、「20歳」を20歳以上25歳未満、「30歳」を25歳以上35歳未満、「40歳」を35歳以上45歳未満、「50歳」を45歳以上55歳未満、「60歳」を55歳以上65歳未満としている。

※2:「人生満足度」は「あらゆる点を考慮した上で、あなたは全体として現在の自分の暮らしについてどの程度満足していますか。『非常に満足している』を10点、『まったく満足していない』を0点とした場合、0点から10点の間の何点くらいになるかをお答えください」という問いに対して11段階で回答させた。

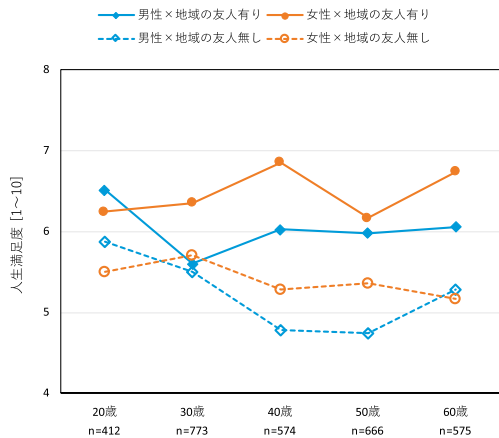
※3:所得は「あなたの世帯年収(税込み)はどのくらいですか」という問いに対して、「収入はない」「100万円未満」「100万~200万円未満」「200万~300万円未満」「300万~400万円未満」「400万~500万円未満」「500万~600万円未満」「600万~700万円未満」「700万~800万円未満」「800万~900万円未満」「900万~1000万円」「1000万~1200万円未満」「1200万~1500万円未満」「1500万~2000万円未満」「2000万円以上」「答えたくない」の16個の選択肢で回答させた。

※4:本調査では所得は16個の選択肢で回答させているため、被験者の「所得上位15%以上」「所得上位50%以上15%未満」及び「所得上位50%未満」への分類は近似的な手段に依らざるを得ない。本分析では、各年齢層で所得の低い側から選択肢ごとに累積相対度数を作成することでグループ分けを行った。例えば、全体の「所得上位15%以上」のグループであれば、累積相対度数が85%を超えている選択肢以上の所得を選択している被験者がこのグループに該当する。表S1に本調査で対象とした未婚単身者の全体、男性、女性、の各年齢層の累積相対度数を示す。

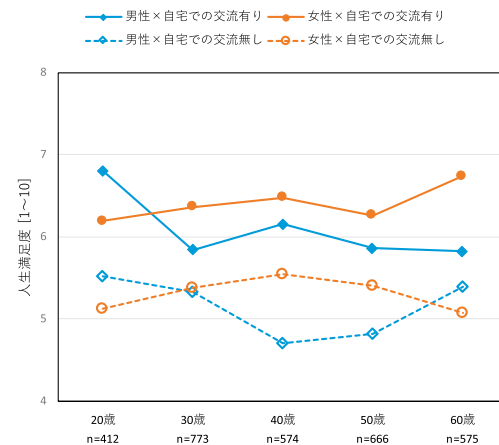
2 他者との交流が人生満足度と年齢の関係に与える影響

【図5】 交流実態に基づく各グループの各年齢層における人生満足度の平均値

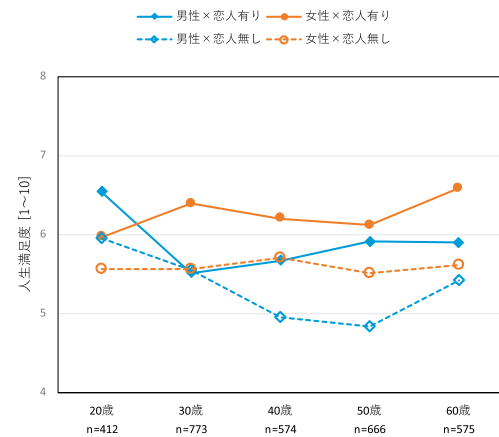
▶ (a) 地域の友人



▶ (b) 自宅での交流

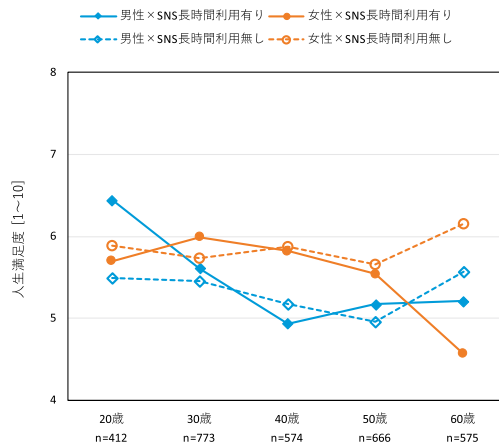


▶ (c) 恋人

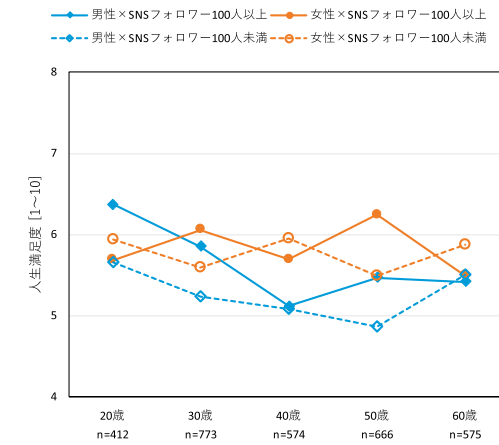


【図6】 SNSを介した交流実態に基づく各グループの各年齢層における人生満足度の平均値

▶ (a) SNS長時間利用



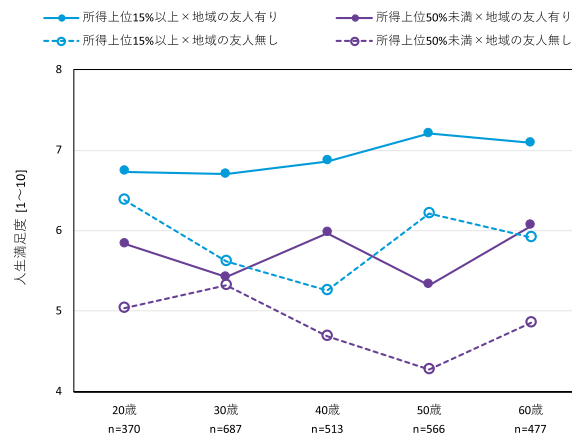
▶ (b) SNSフォロワー多数



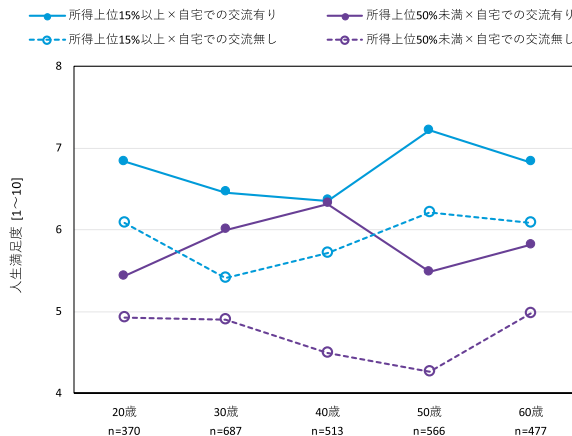
幸福度を最も大きく左右する要因は「豊かな人間関係」という事実も、WB研究によって明らかにされた重要な知見の一つである。例えば、75年以上にわたり724人の男性を対象とした有名なコホート研究（ハーバード成人発達研究）によって、「良い人生は良い人間関係によって築かれる」という事実が明らかにされている^[2]。そこで、他者との交流実態が人生満足度と年齢の関係に与える影響についても把握するため、「地域の友人の有無（地域でよく会って話をする親しい友人が1人以上）」、「自宅での交流の有無（自宅に友人を招く機会が「1年に1回程度」以上）」、また「恋人の有無」の交流実態で被験者を分類した。図5に、交流実態に基づき分類された各グループの人生満足度の平均値を年齢層ごとに示す。男女共に、何かしら交流があるグループでは50歳付近の人生満足度の低下が見られない。対して、交流のないグループでは、中年期における人生満足度の低下が確認され、特に交流のない男性グループにおいてそうした傾向は顕著である。地域の友人や自宅での交流、或いは恋

[図7] 所得と交流実態に基づく各グループの各年齢層における人生満足度の平均値

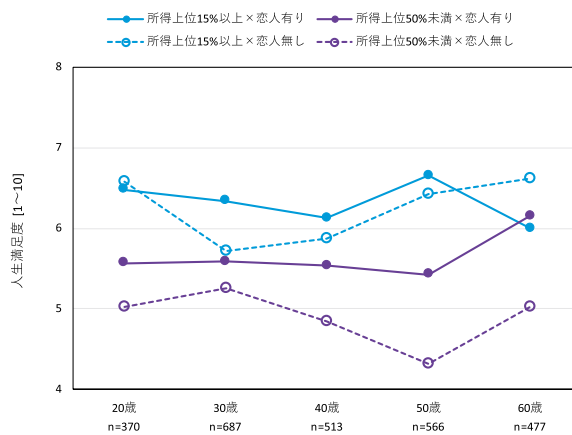
▶(a) 所得グループ×地域の友人



▶(b) 所得グループ×自宅での交流

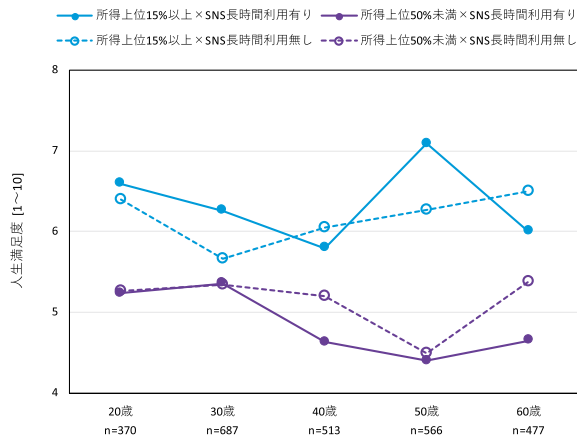


▶(c) 所得グループ×恋人

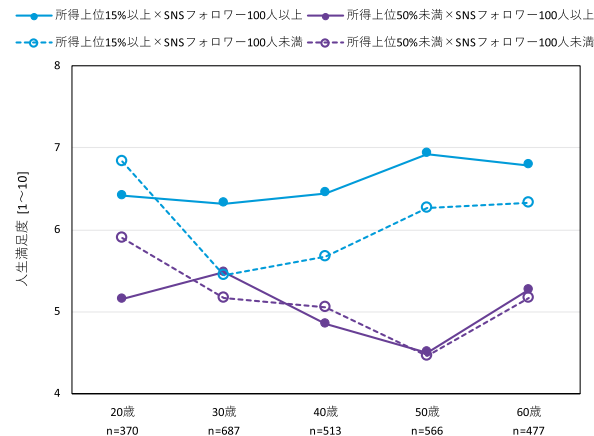


[図8] 所得と交流実態に基づく各グループの各年齢層における人生満足度の平均値

▶(a) 所得グループ×地域の友人



▶(b) 所得グループ×自宅での交流



人の有無などの交流実態の違いにより、人生満足度と年齢の関係性は異なっており、**交流のある人たちでは明確な「中年の危機」が観測されない**。また、図6はSNSを介した交流実態として、「SNS長時間利用(1日60分を超過)」「SNSフォロワー多数(100人以上)」で分類した各グループの人生満足度の平均値を年齢層ごとに示した結果である。SNSを介した交流はリアルな交流に比べて、人生満足度と年齢の関係に与える影響が小さい事が確認でき、**リアルな交流とSNSを介した交流では人生満足度へ与える影響が質的に異なる可能性が示唆されている**。

図7に所得と交流実態の両方で被験者を分類した各グループの人生満足度の平均値を年齢層ごとに示す。所得グループは、超高所得グループ(所得上位15%以上)と比較的低所得なグループ(所得上位50%未満)の2グループについての結果を図示しているが、所得のみによる分類では「中年の危機」

が観測された比較的低所得なグループであっても（図4参照）、何かしらのリアルな交流が有るグループでは50歳付近での人生満足度の大幅な低下は見られない。特に、「地域の友人」と「自宅での交流」が有る比較的低所得なグループの人生満足度は、超高所得だが交流の無いグループの人生満足度とほぼ同程度であり、**他者との交流は所得と同程度に人生満足度に影響する**事が確認できる。また、図8に所得とSNSを介した交流実態の両方で被験者を分類した各グループの人生満足度の平均値を年齢層ごとに示す。SNSを介した

交流があっても比較的低所得なグループでは、50歳付近で人生満足度の底値が観測され、リアルな交流とは違ってSNSによるバーチャルな交流には「中年の危機」を緩和する効果が見られない。ただし、超高所得なグループにおいてはSNSフォロワーが多数いるグループの方が人生満足度が高い傾向が見られ、**SNSを介した交流が人生満足度へ与える影響は所得階層ごとで異なる可能性**も示唆されている。

3 | 「中年の危機」について

人生満足度と年齢の関係性は、所得階層によって異なり、年齢層内で高所得なグループでは中年期における人生満足度の明確な低下は確認されず、女性においては年齢の上昇に伴い上昇していく傾向すら観測される。また、比較的低所得なグループであっても「地域の友人」や「自宅での交流」があれば中年期における人生満足度の低下は見られない。従って、「**中年の危機**」と呼ばれる**幸福と年齢の関係に関する現象は、従来そう考えられてきたほど確かなものではなく、所得や交流の豊かさ次第なもの**である事実が本分析で明らかにされたと言える。

ただし、人口全体で見た場合は、「中年の危機」は確かに存在する幸福の現象である。「中年の危機」を引き起こす原因については、年齢の上昇に伴う社会的責務の増大など様々な仮説が提唱されている。しかしながら、社会的責務が最も高いと推察される中年期の超高所得なグループにおいては人生満足度の低下が観測されないため、「中年の危機」の原因を中年期における社会的責務の増大に求める事は難しいように思われる。「中年の危機」を引き起こすメカニズムについて、本調査の結果を基に考えられる可能性を挙げるな

らば、所得の中央値は各年齢層で大きな差は無いが、所得の分布が各年齢層で大きく異なる事実があるため、「**中年の危機**」は**所得それ自体というよりも、年齢層の上昇に伴う所得格差の増大に起因した統計的現象である可能性**がある。或いは、60歳頃で人生満足度が再び上昇していく事実まで考慮して推察するならば、所得格差以上に社会的地位の格差が中年期頃に最も意識される事で、統計的な「中年の危機」が引き起こされている可能性もある。また、地域の友人の有無で中年期やそれ以降の人生満足度に大きな差が生じているため、**勤続年数が長くなる過程で仕事以外の社会的な繋がりが希薄化してしまう場合に「中年の危機」が生じる**のかもしれない。「中年の危機」は、年齢に伴い変化する様々な要因が絡み合った複雑な現象であると言えるが、いずれにせよ、地域の友人や自宅での交流が幸福度に大きな影響を及ぼし、**SNSを介した交流ではなくリアルな交流の豊かさによって「中年の危機」が緩和される**という本調査の結果は、家や街というリアルな交流の場所の創出にたずさわる者にとっては大切な観測事実であると言えるだろう。

参考文献

- [1] Cheng, T.C., Powdthavee, N., & Oswald, A.J.: Longitudinal evidence for a midlife nadir in human well-being: Results from four data sets. *Economic Journal*, 127(599), pp.126-142, 2017.]
- [2] Waldinger, R.: What makes a good life? Lessons from the longest study on happiness, TED Talks, 2018 (https://www.ted.com/talks/robert_waldinger_what_makes_a_good_life_lessons_from_the_longest_study_on_happiness/transcript)

表 S1 各年齢層の所得の選択肢に対する累積相対度数 [%]

(青は「所得上位 15%以上」、緑は「所得上位 50%以上 15%未満」、紫は「所得上位 50%未満」)

(a) 全体 (n=2,613)

	20歳 (n=370)	30歳 (n=687)	40歳 (n=513)	50歳 (n=566)	60歳 (n=477)
収入はない	2 (n=7)	3 (n=20)	5 (n=25)	7 (n=37)	9 (n=42)
100万円未満	6 (n=14)	5 (n=17)	8 (n=16)	11 (n=26)	17 (n=37)
100万～200万円未満	19 (n=51)	10 (n=34)	16 (n=43)	22 (n=60)	33 (n=77)
200万～300万円未満	63 (n=162)	29 (n=127)	29 (n=67)	37 (n=84)	48 (n=73)
300万～400万円未満	87 (n=87)	56 (n=185)	52 (n=115)	52 (n=87)	62 (n=67)
400万～500万円未満	96 (n=33)	81 (n=171)	68 (n=83)	65 (n=76)	71 (n=45)
500万～600万円未満	99 (n=11)	91 (n=72)	81 (n=65)	76 (n=61)	79 (n=38)
600万～700万円未満	99 (n=2)	96 (n=32)	88 (n=40)	84 (n=44)	83 (n=18)
700万～800万円未満	99 (n=1)	98 (n=14)	93 (n=23)	88 (n=23)	88 (n=25)
800万～900万円未満	99 (n=0)	98 (n=4)	95 (n=12)	92 (n=22)	90 (n=9)
900万～1000万円未満	100 (n=1)	99 (n=2)	97 (n=10)	95 (n=18)	95 (n=20)
1000万～1200万円未満	100 (n=0)	99 (n=5)	98 (n=5)	98 (n=17)	98 (n=17)
1200万～1500万円未満	100 (n=1)	99 (n=0)	99 (n=5)	99 (n=6)	98 (n=1)
1500万～2000万円未満	100 (n=0)	100 (n=2)	100 (n=2)	100 (n=4)	99 (n=4)
2000万円以上	100 (n=0)	100 (n=2)	100 (n=2)	100 (n=1)	100 (n=4)

(b) 男性 (n=1,470)

	20歳 (n=105)	30歳 (n=288)	40歳 (n=297)	50歳 (n=411)	60歳 (n=369)
収入はない	0 (n=0)	3 (n=9)	5 (n=14)	8 (n=31)	8 (n=31)
100万円未満	5 (n=5)	7 (n=10)	9 (n=12)	12 (n=18)	16 (n=29)
100万～200万円未満	15 (n=11)	10 (n=11)	16 (n=22)	21 (n=37)	33 (n=63)
200万～300万円未満	49 (n=35)	24 (n=38)	26 (n=30)	34 (n=54)	47 (n=50)
300万～400万円未満	81 (n=34)	44 (n=59)	44 (n=53)	48 (n=59)	59 (n=46)
400万～500万円未満	90 (n=10)	71 (n=78)	62 (n=54)	62 (n=54)	69 (n=35)
500万～600万円未満	96 (n=6)	86 (n=43)	76 (n=42)	73 (n=47)	77 (n=30)
600万～700万円未満	97 (n=1)	92 (n=17)	87 (n=31)	82 (n=35)	81 (n=16)
700万～800万円未満	98 (n=1)	97 (n=13)	93 (n=19)	86 (n=18)	87 (n=20)
800万～900万円未満	98 (n=0)	98 (n=3)	96 (n=8)	91 (n=20)	89 (n=9)
900万～1000万円未満	99 (n=1)	98 (n=1)	97 (n=4)	94 (n=14)	94 (n=19)
1000万～1200万円未満	99 (n=0)	99 (n=3)	98 (n=2)	98 (n=15)	98 (n=15)
1200万～1500万円未満	100 (n=1)	99 (n=0)	99 (n=3)	99 (n=6)	98 (n=0)
1500万～2000万円未満	100 (n=0)	100 (n=2)	100 (n=2)	100 (n=3)	99 (n=2)
2000万円以上	100 (n=0)	100 (n=1)	100 (n=1)	100 (n=0)	199 (n=4)

(c) 女性 (n=1,143)

	20歳 (n=264)	30歳 (n=399)	40歳 (n=216)	50歳 (n=155)	60歳 (n=108)
収入はない	3 (n=7)	3 (n=11)	5 (n=11)	4 (n=6)	10 (n=11)
100万円未満	6 (n=9)	5 (n=7)	7 (n=4)	9 (n=8)	18 (n=8)
100万～200万円未満	21 (n=40)	10 (n=23)	17 (n=21)	24 (n=23)	31 (n=14)
200万～300万円未満	69 (n=127)	33 (n=89)	34 (n=37)	43 (n=30)	52 (n=23)
300万～400万円未満	89 (n=53)	64 (n=126)	63 (n=62)	61 (n=28)	71 (n=21)
400万～500万円未満	98 (n=23)	87 (n=93)	76 (n=29)	75 (n=22)	81 (n=10)
500万～600万円未満	100 (n=5)	95 (n=29)	87 (n=23)	85 (n=14)	88 (n=8)
600万～700万円未満	100 (n=1)	98 (n=15)	91 (n=9)	90 (n=9)	90 (n=2)
700万～800万円未満	100 (n=0)	99 (n=1)	93 (n=4)	94 (n=5)	94 (n=5)
800万～900万円未満	100 (n=0)	99 (n=1)	94 (n=4)	95 (n=2)	94 (n=0)
900万～1000万円未満	100 (n=0)	99 (n=1)	97 (n=6)	97 (n=4)	95 (n=1)
1000万～1200万円未満	100 (n=0)	100 (n=2)	99 (n=3)	99 (n=2)	97 (n=2)
1200万～1500万円未満	100 (n=0)	100 (n=0)	100 (n=2)	99 (n=0)	98 (n=1)
1500万～2000万円未満	100 (n=0)	100 (n=0)	100 (n=0)	99 (n=1)	100 (n=2)
2000万円以上	100 (n=0)	100 (n=1)	100 (n=1)	100 (n=1)	100 (n=0)